

 神奈川県立新城高等学校
創立50周年記念誌

未来へ繋ぐ 伝統と魂

神奈川県立新城高等学校
創立50周年記念誌

未来へ繋ぐ 伝統と魂



校歌

作詞 磯崎 健之助(初代校長)
作曲 熊谷 茂
補修編曲 中村 太郎

一、歴史に薫る橘樹の
邑にそびゆる学舎に
旭日映えて美しく
白亜の殿堂ゆるぎなし
霊峰富士を仰ぎ見て
東にのぞむ多摩の水
清楚質実わが校風
誉れはたかし 新城高校

二、大川崎の中原に

いでやはげまん学の道
工都の栄え担うべき
使命は重し若人よ
理想に燃ゆる瞳あけ
清らの心みがくとき
力協する成果あり
永遠に伸びゆく 新城高校

三、文化の光り身に享けて

われら英才覇を競う
自由の空気内に満ち
真理を究めいよ達し
若き企鵲はつらつと
み国の明日の窓ひらく
追みゆく世を照らしつつ
栄光輝く 新城高校

旧校舎全景



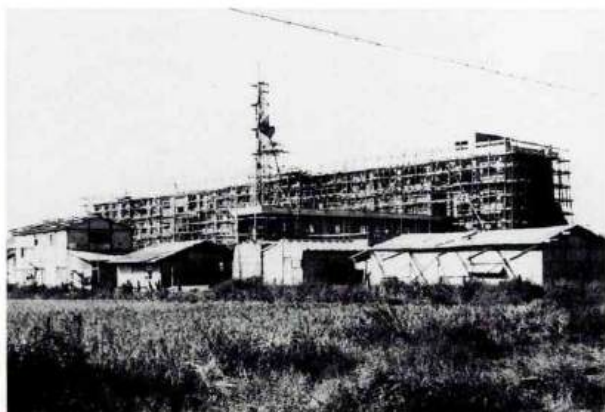
新校舎
イメージ



平成27(2015)年完成予定

■学校創立時の風景 昭和38～42(1963～67)年頃撮影

未だ管理棟はなく新城小学校側の校舎のみ建設中。グラウンドは田んぼで昭和40年に体育館完成時も未造成箇所が見られる



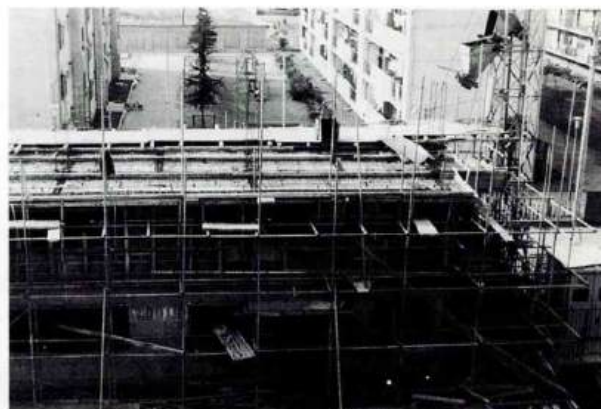
建築中の校舎



グラウンド予定地



石だらけのグラウンド



建築中の生徒会館



昭和40年頃



平成26年7月

■創立時の学校生活



通学風景



雪合戦



社会人のためのテーブルマナー教室



中庭でフォークダンス



スケート教室

文化祭・体育祭

第1回体育祭は昭和38(1963)年、多摩高グラウンドにて開催。昭和40(1965)年に第1回文化祭が行われた



第1回文化祭アーチ



創立時ごろの体育祭



第1回体育祭（多摩高校にて）



旧校舎の風景

平成26(2014)年7月現在すでに管理棟はなく、新築工事が進んでいる



平成26(2014)年7月撮影

■ JR武蔵新城駅付近 昭和30年代／平成26(2014)年7月撮影

昭和30年代の非常に貴重な写真。武蔵新城～武蔵中原間の高架に伴ない北口・南口の景色は一変した



JR武蔵中原駅付近

武蔵中原駅は高架になり富士通まで連絡橋ができた



JR武蔵溝ノ口駅付近



JR・東急武蔵小杉駅付近の 高層ビル 平成26(2014)年7月撮影



エクラストワー武蔵小杉からの眺望

■等々力緑地・競技場付近

等々力緑地：陸上競技場(改築中)・アリーナ・市民ミュージアム・野球場・プール・釣池ほか



1977年10月

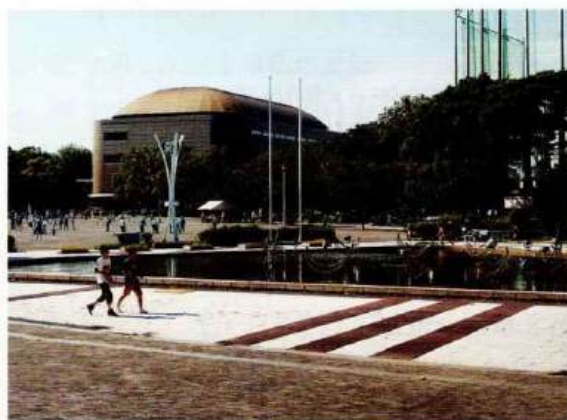
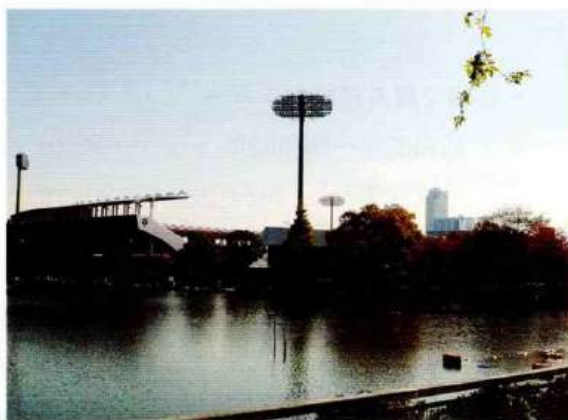


1995年12月



2011年9月

平成21～26(2009～2014)年



《写真提供》神奈川新聞社、佐野孝、宮川誠、平澤正司

神奈川県立新城高等学校
創立50周年記念誌

～未来へ繋ぐ 伝統と魂～

目次

写真で見る 今むかし

挨拶

祝辞

第1章 || 50年のあゆみ

～寄稿で綴る母校の歩み～

昭和37年～昭和63年	20
平成元年～	54

第2章 || 新城高校のいま

シチズンシップ教育	80
合唱コンクール	86
体育祭	88
球技大会	90
校外LHR	91
文化祭	92
芸術鑑賞会	94
修学旅行	94
生徒会	96
地域貢献活動	97
部・同好会活動	98
50周年記念座談会	107
「次の半世紀に向けて」(学校長・生徒代表)	

第3章 || PTA活動

歴代PTA会長	114
会長寄稿	116
PTA活動について	123
委員会の活動	127

第4章 || 50周年記念事業

創立50周年記念講演	130
「新城高校の思い出と高校生活」 (植木繁晴さん・石川洋さん)	
創立50周年記念事業の足跡	136
創立50周年記念事業実行委員会	138

資 料

歴代校長	140
教職員一覧	142
教育課程の変遷	157
過去進路実績	163
合格実績	164
新城時報	166
編集後記	167

■ 創立50周年事業と記念誌刊行に寄せて

創立50周年記念事業実行委員長 宮川 誠 (城友会会長・1期生)



神奈川県立新城高等学校の創立50周年、まことにおめでとうございます。一連の記念事業の実施にご協力下さった総ての皆様にご心から御礼を申し上げます。平成26年の今年は、私たち1期生の卒業から数えて丁度50年目になります。生徒数の減少で統廃合を余儀なくされる学校もあるようですが、新城高校は、多くの方たちに支えられて半世紀を迎えることが出来ました。

新城高校50年を辿る記念誌の刊行に寄せて、5年に亘った記念事業の経緯についてお話ししたいと思います。

それは、平成21年12月に、新城高校の小泉力也前校長先生から頂いた一本の電話が始まりでした。お話の内容は、新城高校は平成24年に創立50年目を迎えること、預託されてきた同窓会費を学校と在校生のために有意義に活用して欲しいということでした。長らく城友会(同窓会)活動に関与していなかった私は、突然のご相談に戸惑いはしたものの、先生の新城高校に寄せられる想いには共感していました。

幾度かの話し合いを経て、平成23年7月に、学校側とPTA役員、十名余りの同窓生有志で記念事業の実行委員会を立上げることが出来ました。委員会では、①記念行事(式典・祝賀会)の開催、②記念誌の刊行、③記念品の寄贈、④「青春かながわ校歌祭」の参加を、実施する四事業と決めて活動をスタートさせました。しかし校舎の建て替え工期の影響により、平成24年の本来の創立50年目の式典は内輪に留めて、来賓をお招きする正規の式典・祝賀会は、先送りして平成26年の秋に変更したのです。

平成24年10月には、卒業生による記念講演会(詳細は本誌に掲載)を実施し、学校には新調した校旗や優勝杯・盾を寄贈しました。併せて50周年のロゴマークとキャッチコピーを制作した生徒を表彰し、それらを印刷したクリアファイルを記念品として配布しました。

羽中田圭子現校長先生が赴任された平成25年9月には、前年組織した同窓生と現役生徒の混声合唱団で「青春かながわ校歌祭」に初参加を果たしました。そしてようやく本日の記念式典と祝賀会の開催に至りました。新校舎の完成後、ソーラーパネルの時計塔(予定)を校庭に設置すれば記念事業の総ては終了となります。

5年に亘り実行委員として事業運営に携わって下さった皆様と同窓生の仲間たちに感謝しつつ、私を支えて下さったことに重ねて御礼申し上げます。そして実行委員長という身に余る役割を与えて下さったことに感謝します。

この50年誌が、今や1万7000人を越えた同窓生と、次世代の後輩たちに読み継がれ、語り継がれてゆくことを願ってやみません。

■ ご挨拶

学校長 羽中田 圭子



新城高等学校は昭和37年10月1日に、地元の皆様の熱心な誘致運動により、川崎市の中央に位置するこの中原の地に産声を上げ、爾来、幾星霜をかさね、この度、50周年の記念すべき式典の日を迎えました。

20世紀後半から21世紀の現在に至るまで、本校が歩んだ50年を振り返りますと、その歩みは工都川崎が、人口140余万人を有する総合都市へと変貌する歩みに重なり、校歌に「旭日映えて美しく白亜の殿堂ゆるぎなし」と謳われている学び舎も、当初は田んぼの真ん中にその威容を誇っていましたが、今では住宅の只中に佇み、新校舎への建て替えが進んでいます。

この間、本校に学び、巣立っていった卒業生は1万7000有余名を数え、日本の繁栄を支える人材を輩出してまいりました。「社会人として有為な人材になるため、正確な知識と、深い思考力を有する責任感の強い人間を養成する」という建学以来の精神は脈々と本校の教育活動の底流をなし、現在800名を超える在校生も社会に有為な人材たらんと勉学に勤しんでいます。

就中、本校は平成22年度より県教育委員会からシチズンシップ教育の研究指定を受け、政治・法・金融・モラルという、4つの視点から、持続可能な社会について考え、責任ある市民として積極的に社会に参画するために必要な資質の陶冶に努めています。社会がこれからも「持続可能な発展を遂げる」ためには、人口、食料、環境、資源・エネルギーといった社会全体で取り組むべき課題に、社会の構成員一人ひとりが真剣に向かい合い、思考を深め、合意を形成する力をつける必要があります。本校の生徒には、勉学、部活動・学校行事、ボランティアなど社会参加と、ぜひ三兎を追って、知力を高め、思考力を養い、行動力を練磨し、社会を支え、よりよい社会を創造していく人材になってほしい。それが建学の精神すなわち伝統を未来に繋ぐことであると思います。

最後に、文末で大変失礼とは存じますが、黒岩祐治神奈川県知事様、福田紀彦川崎市長様をはじめ、各界の錚々たる方々から、本校の創立50周年に対して心温まるご祝辞やご寄稿を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。また、創立50周年記念事業実行委員の皆様はじめ関係者の皆様におかれましてはご尽力をいただき本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。これからも新城高等学校に旧に倍したご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

■ 創立50周年を迎えて

PTA会長 伊藤 恵



創立50周年おめでとうございます。

P T Aを代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

50周年という母校の節目に立ち会える在校生は必ず良き思い出になることでしょう。

一言で50周年と言いますが、第一期生は60台半ばになられていることになります。多くの卒業生が巣立ち、社会の一員としてあらゆる分野でご活躍されています。50周年を迎えるに至るまで、山あり谷ありで色々あったことでしょう。幾多の困難を乗り越えつつ、本学が発展するのにご尽力頂いた先生方、更には同窓生、そして地域の皆様方の今日に至るまでのご指導ご鞭撻に、敬意と感謝を申し上げます。

旧いと言われるかもしれませんが、日々の生活から其々の家庭に「家風」というものがあるのと同様に、会社には「社風」、学校では「校風」があります。新城高校は「清楚質実」の校訓の下、生徒達が伸び伸びと飾り気なく素直に、己の自由な発想と意志で、日々勉学、部活動に励んでいます。学校行事などを運営実行する際の自由闊達さを持つDNAは、伝統として代々受け継がれている素敵な校風だと思います。

今後も引き続き学校、地域、P T Aが緊密な連携を図り、生徒達が充実した高校生活ができるための環境づくりに寄与できますようにP T A活動を推進し、50周年という輝く歴史と伝統が更に積み重ねられますように努力してまいります。

最後になりますが、新城高校の益々の発展と、ご関係の皆様方のご多幸をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

■ 羽ばたく

生徒会長 鈴木芹佳



新城高校50周年という記念すべき年に、生徒会長として文章を書かせていただくことを、とても光栄に思います。

新城高校には、生徒のことを熱心に考えてくださる素晴らしい先生方がいます。また、生徒もとても意識が高く、勉強にも行事にも真剣に取り組む姿がとても印象的です。そのような素晴らしい新城高校に通う生徒は多くの方々から期待されていると、生徒会として学校紹介の場に出る度に感じています。

期待されるということは、とても誇りに思うべきことだと思います。しかし、それと同時に、期待されているという自覚や責任を持たなくてはいけないことでもあります。根拠のない誇りではだれもそれを認めてはくれません。私は、誇りというものは、新城高校の生徒として何か自信を持てるものを身につけている人が持てるものだと思います。そのためには、何事にも広く、深く、考え、取り組むことが大切だと思います。自ら考え、行動に移すことを重ねていき、初めて自信というものがついてくるのではないのでしょうか。そして、その自信が期待に押しつぶされない、誇りを持てる自分を創るということだと思います。

また、その誇りは、新城高校の生徒としての誇りだけではなく、自分自身への誇りとなるに違いありません。

人生の中で高校の3年間というのは、ほんの一部のとても短い時間です。しかし、この3年間で手に入れたものは、今後の人生を歩んでいく上でとても大きなエネルギーとなってくれると思います。たくさんの方に支えられている、この新城高校という素晴らしい環境で新城高生として、自分自身に誇れるような学校生活を送り、自信を持って社会へ羽ばたいていきたい、それが新城高生としての私たちの希望であり、目標です。

祝辞

神奈川県知事 黒岩祐治



神奈川県立新城高等学校が、創立50周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。

新城高等学校は、昭和37年10月に、地元川崎市民の強い要望を受け設立が認可され、昭和38年に開校いたしました。初代校長が作詞をされた校歌には、「清楚質実わが校風」とあり、清らかで飾らない中に、実り豊かな力を秘めた青年像を理想に教育を実践する中、1万7千名を超える卒業生を輩出し、様々な分野で活躍をされています。

新城高等学校が、半世紀の長きにわたり歴史と伝統を積み重ね地域に根ざした学校として発展することができましたのも、保護者や同窓会、地域の皆様の多年にわたるご尽力と温かいご支援のたまものであり深く感謝申し上げます。また、歴代校長をはじめとする教職員の方々にも心から敬意を表するものであります。

21世紀は、知識基盤社会の時代であるといわれて久しく、社会や経済のグローバル化が急速に進展する中で、持続可能な社会の実現や異なる文化との共存など、容易でない課題が数多くあります。社会の変化に対応し、これからの時代を自分らしく生き抜いていく力として、教育に求められるものも多様化しています。

新城高等学校では昭和58年度に文部省（当時）の帰国子女教育研究協力校の指定を受けて以来、入学定員に帰国子女枠を設け、多くの帰国子女を受け入れてきました。

外国での生活経験のあるクラスメイトの存在が、異文化理解や他者理解を深め、豊かな人間性の育成につながってきたのではないのでしょうか。今後も引き続き、特色ある教育活動を実践していただき、神奈川から世界に羽ばたく人材が育まれることを願っています。

創立50周年を機に、新城高等学校がさらなる飛躍を遂げることを期待いたしますとともに、関係の皆様のみますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

■ 祝辞

川崎市長 福田紀彦



神奈川県立新城高等学校の創立50周年を心からお祝い申し上げます。

新城高等学校は、私たち川崎市民の大きな期待のもと、昭和38年に中原の地に誕生いたしました。川崎市が政令指定都市となった昭和47年に、中原区が誕生しましたが、その中原区で新城高等学校は、学業と学校行事、部活動など川崎市内の高校の中でひととき大きく成長され、1万7千余の卒業生を輩出し、特に市内では、様々な企業や官公庁、教育機関を始め、多方面で多くの卒業生が活躍されていらっしゃいます。

中原区は、川崎市のほぼ中央に位置し、交通アクセスに恵まれ、人口・世帯数は川崎市7区の中で最も多くなっています。市内在住の方だけでなく、市外からも通学しやすい立地条件により、新城高等学校の存在感はますます高まっています。

また、本年7月に川崎市は市制90周年を迎えました。90年という歴史の重みの上に今日の川崎市があることを思い、市民の皆様が誇りと愛着を持てる「最幸のまち かわさき」の実現に向け、川崎の未来を先頭に立って切り開いてまいりたいと考えております。そのためには、行政の力「公助」だけではなく、市民の皆様同士の「共助」「自助」は不可欠です。

新城高等学校では、シチズンシップ教育を推進されています。シチズンシップ教育の目的は、市民意識の向上にあります。積極的に社会に参加する能力と態度を身に付けた人材の育成を、さらに進めていただきたいと思います。そして、卒業された方々が、それぞれの地域でよき市民として活躍されることを期待します。

今後も新城高等学校が、教育活動だけでなく、スポーツや文化活動など様々な面において大いに活躍され、川崎市を代表する高等学校として市民の皆様への期待に応え、ますます発展されますことを祈念して、お祝いのことばといたします。

祝辞

神奈川県教育長 桐谷次郎



神奈川県立新城高等学校が、創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

新城高等学校は、昭和38年に、川崎市民の強い要望と大きな期待を担って開校いたしました。以来、50年にわたって、1万7千人以上の有為な人材を社会に送り出し、輝かしい伝統を築き上げてこられました。これはひとえに、歴代の校長先生をはじめとした教職員の皆さんの熱意ある教育活動のもと、PTAや同窓会の皆様、そして開校以来支えてくださった地域の方々の力強いご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

神奈川県教育委員会は、平成22年度から、県立高校教育力向上推進事業を展開し、多彩な教育活動の展開や個に応じた学習指導の充実など、各校の特色ある高校づくりを推進し、県立高校全体の教育力向上、信頼と期待に応える県立高校づくりを進めてまいりました。

新城高等学校は、シチズンシップ教育に係る教育活動開発校、さらには研究推進校として、司法参加教育、政治参加教育、消費者教育、道德教育の4本柱に基づき、市民感覚を磨き、これからの社会を担う自立した社会人を育成するための先進的な取組を展開されてきました。今後も、シチズンシップ教育を一層推進いただき、本県における先導的な役割を果たしていただくとともに、ますます地域に親しまれ、期待される学校として発展されることを期待しています。

新城高等学校は、50年の節目を迎え、これまで築き上げてきた伝統を継承しながら、これから目指す生徒像や学校像をあらためて明確に示されました。また、折よく校舎の新築工事も進み、新しい時代へと進もうとしているところであり、新城高等学校が、今後果たしていくべき役割と責任、県民からの期待はますます大きくなっていくものと思われます。

校歌にある、「清楚質実」の変わらぬ校風を大切にしながら、この半世紀の伝統を新たな礎として、さらに飛躍されることを祈念して、お祝いの言葉といたします。

新城

CHAPTER 1



50 年のあゆみ

■ 揺籃期の思い出

岩本 保 (職員)

南武線武蔵中原駅から徒歩で新城高校へ向かう道の両側には田圃が広がっていた。

昭和40年4月、私は新卒で5年間勤めた横浜市立中学から新設3年目の本校に他の16名の職員と共に着任した。中3生を送り出して新城3期生9クラス中の4組の担任に任命されたので持ち上がり感覚でした。それから数年後、神奈川県立高校百校計画[※]実践の揺籃期を迎えます。



部室も未完成で校庭の一隅には廃車バス利用の食堂があって生徒諸君うどん等を食べていた。部活動もかなり始動していて私も市村(旧姓飯吉)先生と女子ソフトボール部の顧問になったが生徒と一緒にスコップや一輪車でのグラウンド整備が初仕事だった。

週番生徒は毎朝国旗を掲揚してから各教室を巡回して清掃状況を板書していた。

3期生の遠足は1年時が千葉鋸山、2年で箱根明神明星岳(はぐれ班が出て帰校が夜になり大目玉)。修学旅行は3年生の4月当初に2年時のクラス編成で実施、大阪から船で九州へ渡っての名所旧跡巡りだったと記憶している。

年末のスキー教室も思い出深い。2台の夜行バスで山形蔵王へ。最初の2日間は教師が1班15名ずつの生徒を受け持ち基礎訓練、3日目にはゴンドラで樹氷の山頂へ。帰りは樹氷原コースをボーゲン等で回り下った。高柴、上田両先生は後に神奈川県スキークラブを設立して後進の若者達を育成された。

職員野球も盛んで土曜の午後には他校と練習試合を組む等本当に古き良き時代であった。

草創期の卒業生で有名人を若干名。1期の山崎洋子は江戸川乱歩賞、8期植木繁晴はサッカー・ベルマーレ監督時代中田英寿を育てた。2年



昭和41年頃の校舎とグラウンド

転出だが9期佐野稔はフィギュアスケートの名手、13期石川洋は松坂・上重対決の甲子園野球や高橋尚子、荒川静香、北島康介のオリンピック優勝時の実況放送を担当したNHKの名物アナウンサーだったが、平成25年1月病死されてしまい残念至極。

教え子も 早や還暦か 城の秋

昭和37(1962)年度

10月1日 新城高校設立認可

昭和38(1963)年度

4月5日 PTA創立
4月6日 1期生入学式(440名)
4月7日 多摩、向の岡工に分かれ授業開始
5月10日 開校式(多摩高にて)校旗完成
5月13日 社会見学
7月12～15日 球技大会
10月6日 体育祭(多摩高にて)
12月15日 第1棟竣工(北棟)
1月4～7日 スキー教室
1月11日 多摩、向の岡工より移転



3期生修学旅行(大阪港～別府港)

●世相

ブレタボルテ カギっ子 バカンス
スルック流行 ポウリング・ブーム
「鉄腕アトム」放送始まる
映画「天国と地獄」

●流行語

ハッスル 私はカモメ ガチョーン

●流行歌

「こんにちは赤ちゃん」「高校三年生」「見上げてごらん夜の星を」

●県内・国内・国際

内山知事5選(4月)、横浜市長に飛鳥田一雄氏(4月)、国電鶴見事故。死者162人、負傷者72人(11月)、伊藤博文の千円札発行(11月)、ケネディ大統領暗殺(11月)

※県立高校百校計画…生徒数の急増に対応するため、百校の県立高校新設を計画し、昭和48年から実施。



新城の町をパレードする1期生



1期生卒業アルバム編集委員

■ 創立50周年おめでとうございます

宮田起男 (1期生)

信じられないでしょうが、我々1期生入学時に校舎の落成が間に合わず、県立多摩高校と県立向の岡工業高校とに生徒が半分ずつ分かれて授業が行われました。これは中々経験の出来ない事です、他校生徒の触れ合いも良い思い出だったと思います。1年生の2学期まで両校にお世話になりました。

3学期になり、やっと新校舎が完成し、地元の皆様、特に商店街の方々の大歓迎のうち、武蔵新城駅から行進し入校式が執り行われました。式典では、初代校長の磯崎先生より「皆さんは、選ばれて入学したエリート達です。これから大いに精進して下さい」との訓示がありました。先生方も情熱を持って、新城高校発展の為御尽力されていた事と存じます。生徒たちもそれを感じていたことは間違いありません。

校舎は出来たものの、グラウンドは未整備で、体育の時間には生徒達が横一列に並んで、砂利拾いから始まったものでした。部活動も始まり、新しい部が次々と創設されました。英語部、コーラス部、バレー部、柔道部等、私も点々と顔を出したものです。また、ベンチャーズの影響でエレキギターが流行し、校内でもいくつかのバンドが出来ました。文化祭は結構賑やかでした。

昭和39年10月10日アジアで初めての東京オリンピックが開催されました。1期生が2年生のときです。時期は正に修学旅行と重なり、私達は九州への修学旅行へと出発しました。それでオリンピックの全競技は見る事が出来ませんでした。そのかわり、学校で新城駅前にあった映画館に市川崑監督の映画「東京オリンピック」を見に行きました。3年生になり、全校揃っての体育祭は今までの少人数とは違い盛大に行われました。色々思い出は切りがありませんが、これからも益々の新城高校の御発展を祈念致します。

50周年おめでとうございます。

昭和39(1964)年度

- 4月6日 2期生入学式(440名)
- 5月4日 球技大会
- 5月12日 社会見学
- 5月19日 体育祭
- 6月27日 校歌制定
- 10月13~20日 修学旅行
(B班14~21)
- 2月17日 校内マラソン大会
- 3月28日 管理棟竣工

●世相

海外旅行自由化 「東洋の魔女」に脚光 みゆきスタイル ノースリーブ ニットウェア流行 放送「三匹の侍」など時代劇ブーム 映画「007危機一髪」

●流行語

ウルトラC オレについてこい コンパニオン

●流行歌

「東京五輪音頭」「幸せなら手をたたこう」「お座敷小唄」

●県内・国内・国際

よみうりランド開園(3月)、鶴見線開通(3月)、東京オリンピック開幕(10月)、東海道新幹線開業(10月)、佐藤栄作内閣成立(11月)、横浜ダイヤモンド地下街開業(12月)



体育祭で行進する1期生

■ 一期生としての思い出

小林 昇 (1期生)

我々が、県立新城高校に入学した昭和38年は、東京オリンピック開催を翌年に控えた年であった。発展途上であり右肩上りの時代であった。高校進学率も高く、神奈川県でも3校の新設校が開校した年であったと記憶している。県立川和高校、同じく大和高校、そして我が新城高校である。

私自身は新設校という環境に特に不満もなく、先輩のいない、歴史も伝統もない極めて自由で、奔放な、楽しい高校生活をイメージして入学した様に思う。しかしながら現実は大いに違い、校舎も完成しておらず、多摩高校や向の岡工業高校に分散し、間借りして授業を受けていた。

私の入部したバレー部も、日本鋼管の多摩川河川敷コート借りての練習であった。この様にインフラの整備されていない状況も予想外の事であった。それでも、こんな半年間程のバレー部の練習は、私を含め未経験者が多く、楽しく和気藹藹とした仲間で過す事が出来た時期であった。しかし、川崎市の大会に出場すると、負けが続いた。30名以上いた部員も、新校舎が落成し現体育館の敷地に、新しいコートを自分達で作り始めた頃には、数名に激減していた。そんな中、バレー部顧問、故和田重信先生の名声もあって、市内の中学でバレー部部長を経験した後輩が、一挙に5名も入部し、バレー部の基礎を築く事になる。

先輩のいない1・2年生だけのチームであったが、新人戦では、1回戦、2回戦と勝利しベスト8を賭けて、名門藤沢商業と対戦し、1セット先取し、2セット目も7対1とリードし、藤商の顧問や先輩を慌てさせ、我が顧問和田先生を、大会役員席からコートサイドへ引っ張り出す快挙をなした。我々1・2期のバレー部員の良い思い出である。新設校という、先輩もいない歴史もない所から、新しい歴史を生み出し、伝統を培っていくには、日々の絶え間ない努力と、すばらしい仲間が必要と感じる3年間であった。



新校舎への入学式

創部2年目
川崎市新人戦



1期生修学旅行 鹿児島にて

昭和40(1965)年度

4月5日 3期生入学式(479名)

5月4日 球技大会

5月12日 社会見学

9月4日～5日

文化祭(第1回)

9月26日 体育祭

10月13～20日 修学旅行

(B班14～21)

2月16日 校内マラソン大会

3月1日 1期生卒業式

3月31日 体育館兼講堂竣工

●世相

銀座にアイビー族 エレキギター
モンキーダンス ひざ上10^{センチ}の
ミニスカート登場 大学生の間に
マンガブーム
映画「赤ひげ」「サウンド・オブ
ミュージック」

●流行語

シェー まじめ人間 やったるで

●流行歌

「柔」「まつの木小唄」「女心の唄」

●県内・国内・国際

城山ダム完成(3月)、朝永振一郎
氏ノーベル賞受賞(10月)、中国
文化大革命始まる(11月)

大切な友人達

廣山寿男 (2期生)



創立50周年おめでとうございます。

私は新城で生まれ新城で育ちました。そして2期生として入学しました。1期生の先輩方は開校当時は校舎を建築中のため多摩高と向の岡工高に分かれて励んでいたと思います。その高校の敷地は新城小学校の校庭をゆずってもらって(3分の1位だと思います)その

前の田畑を高校の敷地として新校舎が出来ました。当然校舎は立派でしたが校庭には石がゴロゴロ、使える状態ではありませんでした。体育の時間は横一列になって石拾いで使える様になってからは部活が盛んになりました。私はハンドボール部に入って顧問の富田英雄先生にご指導いただきました。その部活での特別の思い出といいますと暑い合宿です。おかげ様で気力体力共に自分自身で思うに非常に成長したと思います。3年の後半になり卒業後の進路では担任の先生と部活の顧問に相談しました。以前自分は3年の冬休みに浅草の向島の知り合いの寿司店に手伝いに行って心は決まっていたので、先生に自分の考えを伝えご指導いただきました。入店して修業中もハンドボール部以外の友達も遊びに来てくれました。

高校時代の時の仲間は人生においてとても大切だと思いました。26歳で店を始めて40年位になりますが、当時のハンドボールの仲間は毎年集っています。もちろん富田先生も一緒に出席いただいています。現在も皆様が助けてくださっています。高校のすぐ近くにいますので毎日校舎の変わりゆく様子を見届けていきたいと思っています。最後に実行委員会の皆様方大変お世話になりました。ご苦労様でした。



体育祭バン食い競走



ハンドボール部



昭和41(1966)年度

4月5日 4期生入学式(414名)
5月4日 球技大会
5月13日 社会見学
7月31日～8月3日
1年キャンプ
9月25日 体育祭
1月3～8日 スキー教室
1月13日 生徒会館竣工
3月1日 2期生卒業式

●世相

カー・クーラー・カラーテレビの3Cブーム「ウルトラマン」誕生 カセット・テレコ登場

●流行語

びっくりしたなーもう ポクァレ あわせだなァー

●流行歌

「バラが咲いた」「君といつまでも」

●県内・国内・国際

全日空ボーイング727が東京湾に墜落、133人死亡(2月)、英海外航空機が富士山付近で墜落124人死亡(3月)、米原潜「スヌーク」横須賀寄港に抗議、連日数万人の集会(5月)、成田市三里塚に新空港を閣議決定(7月)、神奈川県の本イチョウに決まる(10月)

懐かしき演劇部の「時」

中村一孝 (2期生)

演劇部では木下順二作「夕鶴」を上演しました。小生が与ひょうで、主役が今は亡き小泉さん、運ずと惣どが友田君と堀君でした。友田君は早逝、堀君とは一昨年の2期生が集う会場で再会しています。慣れなれし気に話しかけてこられ、一体誰なのかと思ったほど昔とは違っていました。

吉永小百合似の仕種をする小泉さんとは、小生の学生時代に、彼女の勤め先まで出向いて散歩したことがあります。言葉の通じない者たちに結びつきはないという「夕鶴」のテーマそのものの間柄でした。その後結婚したと伝え聞きましたが、不幸な結果に終わったようです。

高校時代のはつらつとした姿がよみがえります。通学時、新城駅で降りると、遅刻すまいと懸命に走って行った彼女の、翻るスカートが、今も眼に焼きついています。

季節は春か、さわやかな風。

合掌。



ポーランドのクラクフにて



演劇部

昭和42(1967)年度

4月5日 5期生入学式(404名)
5月4日 球技大会
8月1日～4日 1年キャンプ
9月2日～3日 文化展示会
9月8日 体育祭
1月3日～7日 スキー教室
2月9日 予餞会
3月1日 3期生卒業式
3月31日 格技場竣工

●世相

グループサウンズ・ブーム フーテン族 サユリスト シンナー遊び流行 ベストセラー「頭の体操」

●流行語

大きいことはいいことだ ポインケロヨン

●流行歌

「ブルー・シャトー」「世界は二人のために」「夜霧よ今夜も有難う」「真っ赤な太陽」

●県内・国内・国際

日本民家園開園(1月)、県知事に津田文吾氏(4月)、初の建国記念日(2月)、美濃部革新都政誕生(4月)、ミニスカートの女王ツイギー来日(10月)、吉田茂元首相死去(10月)、佐藤栄作首相が非核三原則表明(12月)、等々力競技場開業、東百合ヶ丘に調布学園女子短大が開校



■ 教師生活の源点 “情熱をもって”

下内義光（教頭・職員）

新城高校創立50周年の記念すべき年を迎えられ心からお祝い申し上げます。

私の教師生活のスタートは創立4年目の昭和41年4月から始まりました。平成元年までの23年間の思い出を述べさせていただきます。新卒の私は教師1年生です。学校も私も若く生徒達は明るく生き生きとしておりました。新しい学校の校則は今よりはるかに厳しく、服装、髪型、登下校の時間等教職員、PTA、生徒達もよりよい学校を目ざし一丸となって頑張っていました。

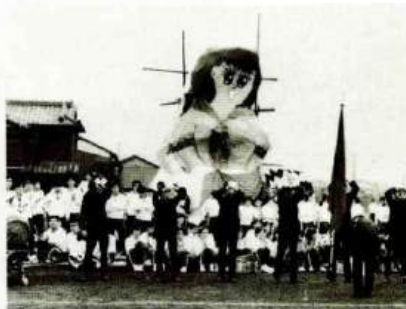
電車から見える一面の梨畑があり、新城駅を出てまっすぐにのびる道の先に見える校舎があり、学校に行くのが楽しかったです。私が思っていた川崎の工業地帯のイメージはどこにもなくとても良い環境の中に学校はあります。校舎は新築ですのできれいですがグラウンドはまだまだ整備されてなく、石がゴロゴロという状態でした。石拾いから始める体育の授業では皆協力的でした。体育館も完成し体育館開きではまだ現役の体操選手でしたので体操部員と鉄棒などの演技をしたのがいい思い出として残っています。その後生徒会館、格技場、プールと施設は出来上がり校舎全体が完成しました。22～45歳の体力も気力も十分ある時に新城高校で教師生活を送れた事は私の人生の輝かしい時代でもありました。新城高校は勉学は勿論ですが部活動や文化祭、体育祭、合唱コンクール、修学旅行など学校行事に積極的に取り組み、その結果学力は向上し、部活動においてもいろいろな大会でいい成績を修める事ができました。

教師生活最後も新城高校で終わる事ができました。新城高校との強い絆を感じずにはられません。教師生活を振り返ると多くの良い生徒、卒業生に恵まれた事、そして私が育てられた事、感謝の気持ちで一杯です。

これから益々のご発展を心から祈っております。



体育祭 校庭も整備された



体育祭 応援風景

昭和43(1968)年度

- 4月5日 6期生入学式(394名) 始業式
- 4月7日～13日 3年修学旅行
- 5月4日 球技大会
- 5月10日 社会見学
- 5月11日 陸上競技大会
- 6月20日 プール竣工
- 7月31日～8月3日 1年キャンプ
- 8月13日～15日 2・3年キャンプ
- 9月2日 水泳大会
- 9月11日～12日 文化祭
- 10月6日 体育祭
- 12月25～30日 スキー教室
- 2月10日 予餞会
- 3月6日 4期生卒業式



体操部

●世相

いざなぎ景気 サイケデリック・ファッション ヒッピー・ファッション

●流行語

昭和元禄 全共闘 ノンポリ ハレンチ

●流行歌

「伊勢佐木町ブルース」「長い髪の少女」「帰ってきたヨッパライ」

●県内・国内・国際

京急油壺マリンパーク開園(4月)、横浜市の人口200万人突破、名古屋を抜き全国3位に(4月)、霞ヶ関ビル完成(4月)、東名高速道路部分開通(4月)、小笠原諸島返還(6月)、鷺沼プール開業(7月)、日本初の心臓移植(8月)、川端康成氏にノーベル文学賞(10月)、3億円事件発生(12月)



■ 創立50周年に寄せて

持田文男 (4期生)

創立間もない4期生として、懐かしの学舎
新城高校を卒業して早や45年余。ここに創立50
周年を迎え記念誌を発刊されますこと、卒業
生、並びにご関係皆様と共に大きな喜びとさ
せて頂くところであります。

当時、市内の県立普通科高校は、川崎高校、多摩高校、そして新設間
もない新城高校と3校でありましたが、我が母校新城高校においては、
正門前の道路など、雨が降ると水溜りだらけの砂利道であり、周辺整備
の遅れが否めない感がありました。しかし、一方では真新しい鉄筋コン
クリート造りの校舎、広々とした体育館等、学舎としてまばゆい輝きと
伸びゆく夢のある高校としてオーラを放っていたのであります。

一方、イタズラ坊主の面影の残る中学生から、いよいよ大人社会へ歩
を踏み入れようとする高校生へ。しかし、私のその志望動機は単純なも
のでありました。先程述べさせて頂いた校舎環境に加え、当時、公立高
校としては珍しい蛇腹の詰め襟に黒ボタン、この憧れが現実となり入学
させて頂くことになりました。

この様な入学動機ではありましたが、友達と共に学び、遊び、語り
合った3年間で、今でも走馬灯のように脳裏に浮かんでまいります。先
生方が、多感な私達の心情を大きく受け止め、先導をして頂いたこと
等、これまで先生方から賜ったご教授の一つ一つが、人生、社会生活の
羅針盤として生かされておりますこと、改めて実感いたし心から感謝を
申し上げます。

時代は少子・高齢化社会の進行、経済、並びに社会情勢の変化等、見
逃すことのできない状況にあります。申すまでもなく、教育は未来に
向け、将来の社会の担い手を育むものであります。

母校新城高校におきましては、新校舎の完成と共に、創立50周年を
機に、質実ともにハード、ソフト両面で正に教育の“新しい城”とし
て、より一層の充実を図られ発展さ
れますようご祈念申し上げ、また卒
業生の一人として共に努力をさせて
頂きますこととお誓いし、お祝いの
言葉とさせていただきます。

飯吉(現市村)先生の
英語授業
(卒業アルバムより)



「リピート アフター ミー
はい」

シーン…

昭和44 (1969) 年度

4月5日 7期生入学式(382名)
4月7~14日 3年修学旅行
5月2日 球技大会
5月26日 社会見学
6月10日 陸上競技大会
7月16日 合唱コンクール
8月6~8日 2,3年キャンプ
8月21~23日 1年キャンプ
9月4日 水泳大会
9月21~22日 文化展示会・
研究発表会
10月5日 体育祭
12月25~30日 スキー教室
2月10日 予餞会
3月1日 5期生卒業式

●世相

若者向け深夜ラジオ放送全盛
シンナー遊び再燃 ミディ マキ
シ シースルー登場 放送「8時
だよ! 全員集合」「ゲバゲバ90分」
映画「男はつらいよ」第1作封切り

●流行語

オー・モーレツ あつと驚くタメ
ゴロウ ニャロメ はっぱふみふ
み エコノミック・アニマル

●流行歌

「ブルー・ライト・ヨコハマ」「港町
ブルース」「長崎は今日も雨だっ
た」

●県内・国内・国際

東大安田講堂に機動隊導入、封鎖
を解除(1月)、川崎市電が全廃(4
月)、東名高速道路開通(5月)、
そごうが横浜駅東口進出を発表
(6月)、アメリカの「アポロ11号」
が月に着陸(7月)、箱根・彫刻の
森美術館が開館(8月)、佐藤・ニ
クソン会談で沖縄返還決定(11月)

■ 悩んで、泣いて、たくさん笑った

市橋 (井口) 綾子 (6期生)



私たち6期生(1960年代後半)が通っていた頃の学校周辺は多くが田んぼや畑でした。学校生活に目を転じれば、学生運動がそろそろ下火になってきた頃で、それでもデモに参加したことが学校に知れると、指導担当教師が全校生徒の視線が集まる中庭に生徒を呼び出して問い詰めるといった緊迫した場面がありました。その一方で、夏合宿中の体育クラ

ブの部員が隣の小学校プールで泳いでいるのが見つかって大騒ぎになったことも。どちらも同期会では笑い話ですが、子どもと大人の境目にある時期の生徒と日々接しておられる先生方のご苦勞が親になって初めてわかりました。

城高祭で丸木位里さん俊さんご夫妻が描いた「原爆の図」を展示したいという友人の企画に賛同し、当時本数が少なかった東上線に乗って一日がかりで東松山市にある丸木美術館を訪ねました。おどろおどろしい「原爆の図」が訴える反戦への強烈なメッセージもさることながら、友人の一所懸命な姿に同級生ながら感銘を受けました。その結果、城高祭で絵を展示することが叶ったのです。拍手！

我が身のことで、私は音楽の教師を目指していてコーラス部に在籍していました。そこで出会ったのが顧問の小野里暢高先生です。先生のご指導の下、東洋一の音響設備と言われる県立音楽堂で歌ったことは私の自慢です。小野里先生の「合唱は相手の音を聞くことから始まる」という言葉は、地域社会に生きる私の宝物になっています。

その後、音大受験に見事失敗。初めての挫折でした。悩んで、悩んで、そして悩んだ末に選んだ道は、音楽とは程遠い食物学。その試験が卒業式と重なり、式を欠席しました。そのせいか、いまだに高校を卒業したという実感が無いのは困ったものです。

このたび「50周年」「新校舎竣工」と伺い、還暦を過ぎて「疲れ」を覚えるわが身に納得です。母校の益々のご発展を祈念します。



6期生卒業アルバムより(3年4組)

昭和45(1970)年度

4月6日 8期生入学式(373名)
4月7～13日
3年修学旅行
(B班8～14日)
5月4日 野球大会
7月14日 合唱コンクール
9月4日 水泳大会
9月15～16日 文化祭
9月27日 体育祭
10月2～8日 2年修学旅行
(B班3～9日)
12月18～21日
サッカー・ハンドボール大会
12月24日～29日 スキー教室
2月4日 予餞会
3月1日 6期生卒業式

●世相

ウーマン・リブ 歩行者天国
光化学スモッグ被害続出
ベストセラー「冠婚葬祭入門」

●流行語

しらける グンバツ ヘドロ
鼻血ブー 男は黙って…

●流行歌

「走れコタロー」「今日でお別れ」
「戦争を知らない子どもたち」

●県内・国内・国際

日本万国博覧会大阪で開幕(3月)、プロ野球の黒い霧国会で問題化(3月)、日航機よど号のハイジャック事件(3月)、横浜に全国初の「こども医療センター」開業(5月)、安保条約自動延長(6月)、県内に集中豪雨、14人死亡(7月)、三島由紀夫が割腹自殺(11月)

吹奏楽部の創生期

高橋 彰 (5期生)

私が新城高校に入学したのは、昭和42年の4月。通学路は武蔵中原駅から歩いておりましたが、学校近くの道の両側には一面の水田が広がり、夏前になると、カエルの鳴き声がにぎやかでした。当時男子生徒は、学帽をかぶっておりましたので、ある日強風で帽子が飛ばされ、水田に落ちてしまい、仕方なく靴を脱ぎ、ズボンをまくり上げ、帽子を取りに入ったことが、ついこの前のように思い出されます。

また、入学当時は、校庭のあちらこちらに土盛りがあり、整備中の体育祭では、当時流行していた「ジェンカ」を全校生徒で踊り、地固めをしながら開催されたと思います。

きちんと校庭らしく整備されたのは、私が3年になった頃だったと思います。

吹奏楽部、当時はなぜか「吹奏楽委員会」と言われておりました。なぜ委員会だったのかは残念ながら記憶しておりません。

私は、中学校から吹奏楽部に入っておりましたし、先輩も数名吹奏楽部におりましたので、迷うことなく入部しました。

新城高校吹奏楽部（当時は委員会）は、3期生が入学した時に発足し、私たちが入部し、やっと1年から3年まで揃った時でした。楽器も、特殊楽器を除き、最低限の楽器は揃っており、私達1年生にも行き渡り、総勢30名程の部員数となりました。顧問は、校歌の作曲者でもあります熊谷先生。先生はとても優しく、いつも笑顔で私達に接していただき、いまでも大変感謝いたしております。

2年生、3年生の先輩方は、年はたったの1つか2つしか変わらないのに、とても偉大であり、大きな存在感がありました。しかし、決して偉ぶらず、優しく導いてくれました。

普段の練習のことは、あまり覚えておりませんが、文化祭のとき、体育館で演奏したこと、市民音楽祭で、現川崎教育文化会館のステージで演奏したこと、野球部の応援に授業免除で行ったことなど、懐かしく思い出されます。

普段の練習のことは、あまり覚えておりませんが、文化祭のとき、体育館で演奏したこと、市民音楽祭で、現川崎教育文化会館のステージで演奏したこと、野球部の応援に授業免除で行ったことなど、懐かしく思い出されます。

代々引き継いだ部の方針が、「音楽を通じて部活動を楽しむ」という感

昭和46(1971)年度

4月5日 9期生入学式(369名)
5月1日 校外LHR
6月11日 合唱コンクール
8月1～3日 1年キャンプ
9月18～19日 文化祭
10月4日 1,3年社会見学
10月4～9日 2年修学旅行
10月17日 体育祭
12月18日～22日
サッカー・ハンド・剣道大会
2月4日 予餞会
3月1日 7期生卒業式



2012年9月、吹奏楽部OB会にて
(前列左端)。中央が校歌作曲者の
熊谷先生

じでしたので、とにかく、先輩後輩仲が良く、練習の合間に部室でよくゲームをしながら楽しく遊んでおりました。下校の際は、全員がロータリーに集合し、上級生、下級生と一緒に武蔵中原方面、武蔵新城方面へと帰り、時には、時効だから書きますが、新城商店街の甘味処に立ち寄ったこともありました。また、休みには、皆でハイキングやスケートにも出かけておりました。

部の方針で、コンクールには縁がありませんでしたので、上手な中学校から入部してきた部員の中には、多少物足りなかったところもあったかもしれませんね。

昭和45年3月に卒業してからは、皆がそれぞれ社会人となり、忙しくなるまで、3期生を頭に、毎年OB会でキャンプに行き、交流を続けておりました。

35歳になった時、同期の女性が亡くなりました。その時を機会に、最低年1回は皆で顔を合わせようと約束し、以降、私達5期生が中心となり、4期生にも声を掛け、7期生、6期生、3期生、9期生と輪が広がり、更に、熊谷先生にもご出席いただき、毎月夏には30名前後のOBが集う会となりました。これも、部活を3年間続けてよかったという思いと、現役の時から仲が良かった延長だと思っております。いつ会っても、すぐに高校時代にタイムスリップできる喜びを大変、嬉しく思います。

部の創生期を支えたOBの集いが、毎年続いておりますので、母校の50周年を機会に若い世代にまで広がる事を期待し、また、再結成された吹奏楽部の発展と、我母校、新城高校の益々の飛躍を祈念いたします。



昭和42年9月文化祭



昭和45年3月卒業
(3年2組)

●世相

第2次ベビーブーム マクドナルド日本上陸 カップヌードル発売 電卓出回る

●流行語

がんばらなくちゃ ディスカバー・ジャパン 脱サラ アンノン族

●流行歌

「よこはま・たそがれ」「知床旅情」「また逢う日まで」

●県内・国内・国際

葉山御用邸、放火で焼失(1月)、川崎市長に伊藤三郎氏(4月)、営生に聖マリアンナ医科大学開設(4月)、川崎市青少年科学館開設(8月)、川崎、横浜で光化学スモッグ被害9000人(9月)、川崎の崖崩れ実験で生き埋め事故15人死亡(11月)、初の円切り上げ実施、1ドル308円に(12月)

魅力的な学び舎 新城

中村成彦 (5期生)

創立50周年おめでとうございます。私は、昭和44年度卒の5期生です。在学中は軟式テニス部に所属。入学当初、テニスコートは校庭の南西部分に2面ありましたが、すぐに校庭整備のために無くなりましたので、東京電力の変電所内や、千代田化工社員寮内、等々力緑地などのテニスコートをお借りして練習し、卒業するまで部活動を続けたものです。練習も厳しいもので、雨天でも校舎内での基礎体力づくり（腕立て、腹筋、ランニング、素振り等の反復練習）で鍛えられたものです。今でも激しい運動を続けられるのは、当時厳しく鍛えられたおかげと感謝しています。

また、恒例の体育祭は魅力的でした。生まれ月により、春組、夏組、秋組、冬組に分かれ、各組のマスコット（私は冬組で『天狗』でした）を全員で作成して競い合いました。数ある競技のうち、雨でぬかるんだ校庭で泥だらけになりながらも行った男子生徒全員による柔道の受け身の披露は、なぜかとても鮮明な記憶として残っています。

卒業後は星薬科大学へ薬剤師を目指して進学し、大学卒業後、無事薬剤師国家試験に合格し薬剤師免許を取得しました。

同じ志を持つ同じ薬剤師である妻と23歳で結婚し、2男1女をもうけ、独立開業をめざし、大手製薬メーカー、大手薬局にて修業の後、27歳にて薬局を開業しました。順調に営業していましたが、農家の次男坊の私に家業を継ぐよう両親に懇願され、薬局は弟に任せ、43歳で就農（花卉栽培）しました。平成21年関東東海花の展覧会にて花桃の枝折り物で金賞一席農林水産大臣賞を受賞。

現在は、平成25年6月にJAセレサ川崎の理事に就任し、農協経営に携わりながら、草花や枝物の生産をしています。

新城高校50年の歴史は、とても長い年月の積み重なりではありますが、私たちのあの時代はとても魅力的な学び舎であったように思います。新城高校を卒業してよかったと感じることができるのは、とても幸せなことでありますし、いつまでもその校風を継承していただきたいな、と思います。



5期生唯一の
男子クラス (3年7組)

昭和47 (1972) 年度

県体育実験校 (格技) に指定
4月5日 10期生入学式 (359名)
5月4日 球技大会
5月6日 校外LHR
7月17日 合唱コンクール
8月1～3日 1年キャンプ
9月3～10日 2年修学旅行 (B班4～11日)
1. 3年遠足
9月29日 創立10年記念講演・祝宴
9月30日～10月1日 文化祭
10月8日 体育祭
12月 球技・剣道大会
12月24～29日 スキー教室
2月5日 予餞会
2月16日 防球ネット完成
3月1日 8期生卒業式
3月27日 スプリングラー完成



5期生の軟式テニス部員は10名 (中庭にて)

- 世相
日中国交回復 バンダ・ブーム
札幌冬季五輪 ジーパン・Tシャツファッション全盛 「恍惚の人」ベストセラーに
- 流行語
恥ずかしながら どうにもとまらない 総括
- 流行歌
「瀬戸の花嫁」「ひとりじゃないの」「女のみち」
- 県内・国内・国際
元日本兵横井庄一グアム島で発見 (1月)、連合赤軍浅間山荘事件 (2月)、高松塚古墳で極彩色の壁画 (3月)、川崎市が政令指定都市に (4月)、沖縄復帰 (5月)、「日本列島改造論」発表 (6月)、ウォーターゲート事件 (6月)、米軍戦車輸送阻止闘争 (8月)、上野動物園でパンダの初公開 (11月)、夢見ヶ崎動物公園が開園 (11月)



私と新城高校

笠谷一夫（7期生）

私たち7期生は、1972（昭和47年）3月卒業ということで、卒業からはや42年の歳月が流れたことになります。

振り返ってみれば、入試の合格発表時に大雪が降り、寒さに震えながら番号を確認した記憶があります。そして入学。自分の住まいより北の学校へと、多摩か新城かで悩みつつ、結果的に田んぼに「蛙飛び込む水の音」を聞きながら通った3年間でした。まさに私たちの頃は白亜の校舎と漸く完成したグラウンド、食堂付きの生徒会館等々、何もかも目新しい環境でした。お昼の時間になると真っ先に食堂に駆け込み、定食のAかBにうどんかソバというのが日常で、終わると部室に行くか、体育館でバレーボールというのが定番。私は剣道部でしたので、格技場と教室、校門の間を重い防具を担ぎながら行き交う毎日。当時の柔道部や剣道部は当初女子も少なく、今考えれば道場の更衣室やシャワーを我が物顔に使っていた気がします。水しか出ないシャワーが何と心地よかったことか。

しかし忘れもしない高1、6月の梅雨空の下、あと少しで腹膜炎という急性虫垂炎で緊急手術、そして初めての入院生活、いきなり退院明けに待っていたあの「sine・cosine・tangent」（三角関数）の数学の期末試験に見事赤点！（この段階で私の文科系は確定したのです!?）その後傷口が膿んでしまい再手術となり、初めての合宿を棒に振るという試練も味わいました。当時流行っていた曲はビリーバンバン「白いブランコ」。美しく甘いメロディに乗って、トワ・エ・モア「或る日突然」を聞きながら突然お腹が痛くなり、メリーホプキンの「悲しき天使」になってしまった感じです。

一方、高校紛争・学園紛争という世相の影響も残る中で、3年となり春組のマスコット「ガリバー」を皆んなで一丸となって造った体育祭、大学受験が現実になる頃、進路先の研究で「東大」に行ってインタビュー調査をし発表した文化祭、後夜祭のフォークダンスで手を取り合った時のドキドキ感、非現実的な思い出です。

大学を卒業して教職の道に就き、今こうして退職後の第二の人生の岐路に立っている自身を振り返ると、やはり「新城高校」での3年間、あの学校生活が人生の大きな原体験であり、これからも新鮮にして神聖な思い出であることは否めません。

新城高校は私の心にいつまでもそびえる、その名の通り「新しいお城」なのです。本年7月21日（海の日）にはエポック中原にて、7期生同期会が開催されました。次の再会を楽しみにしております。

昭和48（1973）年度

- 4月5日 11期生入学式(405名)
- 5月4日 球技大会
- 5月12日 校外LHR
- 6月19日 合唱コンクール
- 7月13日 遠足
- 8月1～3日 1年生キャンプ
- 9月22～23日 文化祭
- 9月27～10月3日 修学旅行
(B班28日～4日)
- 10月5日 1. 3年遠足
- 10月14日 体育祭
- 12月17～20日 スポーツ大会
- 12月24～29日 スキー教室
- 2月5日 予餞会
- 3月2日 9期生卒業式



3年1組 ある日の休み時間



3年時剣道部の卒業写真

●世相

トイレットペーパー買いだめに主婦殺到 繁華街のネオン消える
「日本沈没」ベストセラーに ブルース・リー旋風 ハイセイコーブーム

●流行語

じっと我慢の子 ユックリズム
ちょっとだけよ せまい日本そんなに急いでどこへいく

●流行歌

「神田川」「喝采」「女のみち」

●県内・国内・国際

根岸線全線開通(4月)、作家大仏次郎没(4月)、川崎市の人口が100万人突破(5月)、金大中誘拐事件(8月)、米空母ミッドウェーが横須賀母港化(10月)、政府が石油緊急事態宣言(12月)



止まっていた時が動き出す

田口浩一 (11期生)

校舎取り壊し直前に、11期有志26名で校舎見学をさせていただきました。卒業から36年が経過したと思えないほど、当時のままの教室や廊下が昔の記憶を呼び起こします。板張りの廊下の木目ですら、抜け落ちたジグソーパズルのピースが埋まる思いがしました。鮮烈だったのが部室棟で、ドアを開けたら、当時の自分がそこにいるようで、まるでタイムスリップしたような異様な感覚に包まれました。私たちの卒業時から時が止まっていたように感じ、校舎を大切に使ってくれていた後輩への感謝の思いが沸き上がってきました。新校舎の竣工で時は動き出すでしょう。これからの歴史を刻んで行く生徒の皆さんのご活躍ご健闘を祈念しています。

バレーボール部でしたが、夏休み中の合宿は1週間ほど教室で寝泊まりし、食堂で朝昼晩の食事をしていました。OBも合宿に参加して昼は練習に汗を流し、夜な夜な新城の街で飲み歩いていたようです。OBとなってからは、久しぶりに会う同期や先輩との同窓会の雰囲気楽しい思い出です。合宿終盤には、現役とOBの対抗戦があり、どちらも意地でも負けたくない真剣勝負が行われました。

修学旅行は、夜行寝台特急で中国地方に行きました。(広島、萩、津和野、鳥取砂丘、錦帯橋、秋芳洞、松江城など) 自転車でのグループ行動が懐かしい思い出です。

教室での記憶が少ないのですが、放課後には担任がいた化学準備室で、友人とコーヒーを飲みながら過ごす事が多く、助手(大学生?)のお姉さんが常駐していましたので、喫茶店感覚で利用していました。ストーブで焼きリンゴを作ってもらった良き思い出もあり、人生初の焼きリンゴでした。

校舎見学会後の2012年6月に第2回同期会を開催し、恩師を含め116名が懐かしさにひたりました。今は、同期生約400名の半数以上が地元川崎市を離れ国内各地で活躍されているようです。



卒業から38年後の再会

昭和49(1974)年度

- 4月5日 12期生入学式(399名)
- 5月4日 校外LHR
- 5月9日 球技大会
- 6月18日 合唱コンクール
- 7月15~16日 スポーツ大会
- 8月1~3日 1年生キャンプ
- 9月16日 体育祭
- 9月28日~10月4日 修学旅行
(B班29~5)
- 10月4日 1,3年遠足
- 10月12~13日 文化祭
- 11月1日 校舎落成記念事業
芸能鑑賞
- 11月30日 特別教室棟完成
- 12月16~19日 スポーツ大会
- 12月24~29日 スキー教室
- 3月1日 10期生卒業式



修学旅行(山口県岩国市錦帯橋にて)



和田重信先生と11期バレーボール部

- 世相
ユリ・ゲラー来日で超能力ブーム
「ノストラダムスの大予言」ベストセラーに 食品添加物ショック
- 流行語
金脈 中ビ連 ストリーキング
「巨人軍は永遠に不滅です」(長島茂雄引退)
- 流行歌
「襟裳岬」「ひと夏の経験」「あなた」
- 県内・国内・国際
フィリピン・ルバンガ島で小野田元少尉30年ぶり救出(3月)、小田急多摩線が開通(6月)、東京・三菱重工業ビルで爆破事件(8月)、田中首相退陣表明(11月)



■輝ける3年1組!

小倉 弘 (11期生)

私は昭和48年に入学し、51年に卒業した11期生です。入学当時、学区内の県立高校は多摩高校が頭一つレベルが飛び抜けていて、通っていた渡田中学に近い川崎高校も人気がありました。選択は迷いに迷いましたが、2

つ上のバスケット部先輩の存在が大きく、結局新城に決めました。それがその後私の人生を57歳になる現在まで左右する決断になるとは。

そして新城高校に入学する訳ですが、人数の多い中学の成績で常に学年ベスト10内をキープしていた私は、正直油断しておりました。それが忘れもしない最初の中間テストで18点の赤点です! それから誰もが味わうであろう青春ドラマの幕開けでした。

当然のようにバスケ部に入部して、それが高校生活の中心を担うのですが、それが終了してから最終学年の3年生時代が最も輝いていた時期だと言えます。受験勉強の息苦しい時ではありましたが、クラスメイトに恵まれ大騒ぎです。有志の男子だけで夏休み前に伊豆大島に旅行し、担任の西澤先生に大目玉をくらったり、秋の学園祭では女子が衣装を作成し、男子が演じた「ロミオとジュリエット」が大当たりしたりしました。もうあの時代は戻ってきません。

今でもその3年1組では毎年西澤先生を囲んでクラス会を実施しています。昨年は品川プリンスホテルで開催した学年同期会の幹事役をこなしました。いつまでも先生には長生きしていただきたい、事あるごとに同級生は語り合っております。私は高校卒業後大学を経て就職し、現在では横浜市で店舗関連の不動産コンサルタント会社を経営しています。社会人になってからは、クラス会以外で友人と会う機会はなかなかありませんが、蒲田では焼鳥屋さんをやっている同期生もおり、寂しくなると一人でふらっと顔を出します。全ては新城高校あってのおかげだと、この歳になってしみじみ思います。



体育祭



文化祭

昭和50(1975)年度

- 4月7日 13期生入学式 (396名)
- 5月8日 球技大会
- 5月10日 校外LHR
- 6月10日 合唱コンクール
- 7月14~16日 スポーツ大会
- 9月18~24日 修学旅行
(B班19~25)
1, 3年社会見学
- 10月 文化祭・体育祭
- 12月24~29日 スキー教室
- 3月1日 11期生卒業式



バスケットボール部

●世相

フィールド・アスレチック「紅茶キノコ」ブーム ゆかた復活 ビデオカセット発売 キャンディーズ人気 のらくろリバイバル

●流行語

ちかたびー オヨヨ あんたあの娘のなんなのさ

●流行歌

「シクラメンのかほり」「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」

●県内・国内・国際

県民ホール開館(1月)、新幹線博多まで開通(3月)、ベトナム戦争終結(4月)、長洲一革新県政誕生(4月)、エリザベス女王夫妻来日(5月)、経企庁、GNPが戦後初めてマイナス成長と発表(6月)、沖縄国際海洋博覧会が開幕(7月)、天皇・皇后初の訪米(9月)、3億円事件時効(12月)



■ 竹刀に込めた思い出

田川尚登 (11期生)

卒業してから40年近くになりますが、在校時の思い出は、まだ記憶に鮮明に残っています。同期の仲間や先輩、後輩達とも交流は今でも続いていて、高校での出会いはその後の人生に大きな影響を与えてくれました。

入学後、中学から続けていた剣道部に入部しました。神奈川県では、現在でも剣道部は、私学が強豪校の全てであり、公立高校で上位に食い込むのは難しい現実がありました。しかし、我々11期生は、当時入部した仲間や正式に顧問に就任された秀島勇治先生や先輩方のご指導により、力を蓄えていき当時の個人戦、団体戦においても川崎市内では男女ともに上位を占め、3年生春の関東大会神奈川県団体予選で女子は優勝、男子は3位に食い込み、関東大会には男女ペアで出場することが出来ました。夏のインターハイ男子神奈川県予選では、決勝戦で東海大相模高校と闘い、健闘むなしく準優勝で終わりました。今でも11期生の男女の記録は、後輩たちに受け継がれて語られているのか？分かりませんが、剣道部が存続し、竹刀を交え、汗を流し稽古に励んでいる後輩達がいることを本当にうれしく思っています。

50周年を前に取り壊しが決まった校舎内を昨年春見学し、当時の格技場が残っていたことに感激し、さまざまな思い出が蘇ってきました。内部まで見ることはできませんでしたが、11期生の木の名札はまだ壁に掛けられているのか…。もし1期生から50期生までの名札が残っているのであれば新城高校剣道部の歴史の重みを改めて感じられたことでしょう。先輩・後輩の皆さんとのご縁を感謝しつつ、今後の母校の発展をお祈りしています。



剣道部員 (11期生)

昭和51 (1976) 年度

4月6日 14期生入学式 (403名)
5月4日 球技大会
6月17日 合唱コンクール
7月13～14日 スポーツ大会
9月15日 体育祭
9月20～26日 2年修学旅行
1. 3年社会見学
10月9日～10日 文化祭
12月15日～16日 スポーツ大会
12月24日～29日 スキー教室
3月1日 12期生卒業式



11期生修学旅行担任・副担任の先生方
(山口県 萩にて)

●世相

物価急上昇 若い母親による捨て子続発 五つ子ブーム ローティーン自殺急増 乱塾時代 ビンクレディー・ブーム

●流行語

記憶にございません ビーナッツ 団塊の世代

●流行歌

「横須賀ストーリー」「およげ! たいやきくん」「北の宿から」「ベッパ-警部」

●県内・国内・国際

横浜市営地下鉄全通(6月)、河野洋平氏ら新自由クラブ結成(6月)、ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕(7月)、川崎市が環境アセス条例(7月)、厚木基地騒音公害を提訴(9月)、横浜市がペット条例(12月)、福田赳夫内閣成立(12月)

■ おもいで

中西英樹（11期生）

現在の場所より少し新城駅側に位置した武蔵中原駅、川崎から必ず座れた中原駅3番線止まりの電車。田舎風のホームをあとに大戸小学校の横をって通学が始まったのは昭和48年4月です。小学校を過ぎた角に見える銭湯の周りの田んぼからは蛙の鳴き声も聞こえていました。銭湯の名前は忘れましたが、校内合宿のときに汗を流しに通ったことを覚えています。道々ステイタスシンボルだった蛇腹飾りの詰襟と黒いボタンの学生服はとても自慢でした。

私たち11期生は8クラスから9クラスに増えた学年でした。ある先生に「1クラス分勉強のできない生徒が増えた」と言われ腹を立てたことを覚えています。しかし、そのとおり勉強よりも友人との交流が盛んな学年でした。多くの友人が部活に熱中しつつも、クラスを越えた友人とのコミュニケーションも大切にし、体育祭や文化祭など学校行事の際には級友とおおいに人生を語り合ったものです。新城商店街の喫茶店などはその思い出深い場所です。あたたかく見守っていただいた当時の地域の方に大変感謝しています。

車中1泊を含む、たしか6泊7日だった山陰山陽の修学旅行は今と比べ豪華な旅でした。旅行先を決めるアンケートでは、一番自由行動が多いコースであると先生に説得？され、九州一周を抑えて山陰山陽方面を選びました。往路は寝台特急で山口へ、秋芳洞、萩、津和野、鳥取砂丘、大山、そして広島などをバスで巡り、帰りは開業間もない山陽新幹線で帰路につきました。

思い出深いことばかりの3年間でした。部活も充実し、高校生活は最高のものでした。よき恩師にも恵まれ、高校時代の経験から現在の職業を選んだのは間違いありません。50周年おめでとうございます。新しい白亜の殿堂が完成し、これからも良き思い出を残せる学校であってほしいと願っています。



三野先生の愛車と生徒たち



11期学年団の先生方



11期生修学旅行（島根県津和野）

昭和52(1977)年度

- 4月6日 15期生入学式（408名）
- 5月4日 球技大会
- 6月14日 合唱コンクール
- 7月13～15日 スポーツ大会
- 9月11日 体育祭
- 9月17～18日 文化祭
- 9月30日～10月6日
2年修学旅行 1, 3年社会見学
- 12月15～17日 スポーツ大会
- 12月25～29日 スキー教室
- 1月20日 神奈川県優良PTA校として表彰
- 3月1日 13期生卒業式

●世相

王選手がホームラン世界新 ディスカウントショップ盛況 裏口入学・不正入試問題化 ジョギング・カラオケブーム 「人間の証明」「エーゲ海に捧ぐ」ベストセラー

●流行語

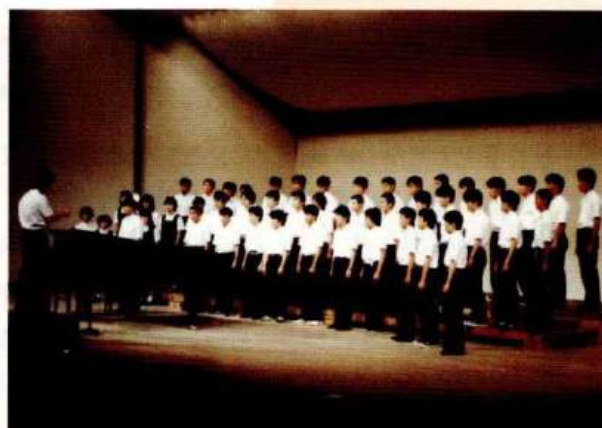
よっしゃよっしゃ ルーツ とんでる

●流行歌

「勝手にしやがれ」「津軽海峡冬景色」「雨やどり」

●県内・国内・国際

大洋の横浜移転本決まり、川崎球場にはロッテ(12月)



合唱コンクールの思い出

内山 哲 (職員)

前日まで学生だった自分が、1975年4月1日から新城高校の教員となり、「先生」と呼ばれるようになりました。初めは教員というより生徒に感覚が近く、2、3年生の生徒が先輩に見え、13期の1年生が同輩に感じられました。今思うと、先輩の先生方にはずいぶん迷惑をかけたことと思います。こんな未熟者ではありますが、こと音楽に関しては、はっきりした理想像を持っていた気がします。私の着任以前から体育館で合唱コンクールは実施されていました。真剣に合唱の美を追求するクラスがあるかと思えば、おそろいのリボンをつけることや、踊ることに集中するクラスもありました。私は高校生の今でしか体験できない、若々しくみずみずしい演奏を味わい、かつ全クラスが同じベクトルで盛り上がっていけないだろうかと思っていました。

様々な工夫をしましたが、ホールを借りるようになってから、各クラスが合唱に燃える行事として軌道に乗せることができました。音楽にあまり縁のなさそうな生徒が懸命に歌ったり、始業前や放課後、校舎の様々な場所から合唱が聞こえてくるようになりました。私のわずかなアドバイスに対し、生徒たちが想像を超えどんどんレベルの高い合唱を作り上げていくのは、音楽教師冥利に尽きるものでした。

コンクールの中で一番印象深かったのは、21期生が3年生の時です。内野みち子先生が担任の、理系クラスだったと記憶しています。男子が多く女子の少ないアンバランスなクラスでしたが、パワーあふれる演奏で、ステージ袖で聞いていて鳥肌が立つ思いでした。「たたら」を歌ったこのクラスは、賞品としてお菓子を受け取りました。ちょうどこの年、NHK学校音楽コンクールにおいて合唱部が県で1位となり、関東大会で放映されたのもうれしい思い出になりました。

昭和53(1978)年度

共通一次試験開始

- 4月6日 16期生入学式(393名)
- 5月6日 1年校外LHR
- 6月13日 合唱コンクール
- 7月13～14日 球技大会
- 9月10日 体育祭
- 9月16～17日 文化祭
- 9月24～28日 2年修学旅行
- 9月26日 1、3年社会見学
- 12月18～19日 球技大会
- 12月22～30日 スキー教室
- 3月1日 14期生卒業式

●世相

サラ金地獄 ディスコブーム ニセブランド商品横行 「不確実性の時代」がベストセラー 「未知との遭遇」「スター・ウォーズ」人気

●流行語

ナンチャッテ 窓際族

●流行歌

「UFO」「勝手にシンドバッド」「青葉城恋歌」「かもめが翔んだ日」

●県内・国内・国際

ホワイトデー登場(3月)、横浜市長に細郷道一氏(4月)、横浜スタジアムオープン(4月)、横浜市が人口で大阪を抜く(5月)、新東京国際空港開港(5月)、宮城県沖地震(6月)、外務省公電漏洩事件で毎日新聞元記者に有罪判決(6月)、三保ダム完成(7月)、巨人が江川投手とドラフト外契約し問題に(11月)

■ 体操部OB会(城操会)

川口 浩 (16期生)

体操部は、昭和39年に同好会から出発し、翌40年には部に昇格しました。昭和41年からは下内義光先生の厳しい指導のもとで次第に力をつけ、県大会では女子団体での2年連続優勝を含め、関東大会やインターハイにも常連校となりました。私の高校時代を振り返ってみれば、特に2年生の時には男子部員が1人しかいませんでしたが、毎日の練習に必ずといっていいほどOBの方々が指導に来てくださいました。また、大会の時にも多くの方に応援していただきました。結果として個人で関東大会に出場することができました。OBの方の存在無くしてこの結果を残すことはできなかったと思っています。卒業生には教員になるものも多く、それぞれの学校の体操部の顧問となり、合同で練習や合宿を行うことで、切磋琢磨することができました。しかしその後、関東大会の出場は平成2年が最後となり、なかなか県大会で結果を出すことができませんでした。現在は、専門に指導できる顧問の先生が不在という中でありますが、何とか部を繋いでくれています。卒業生の立場としては、本当にありがたいことと感謝しております。

体操部のOB会としての城操会は、2期生の岡田誠二会長のもと、年2回の定例会(6月、12月)、夏季校内合宿時の激励会、新年会(1月1日)、スキー旅行(3月)など多くの行事を行ってきました。高校を卒業して、色々な年代の方々とのお付き合いができるいい機会となりました。同じ志を持ち、厳しい練習に耐えてきた仲間たちだからこそ、お互い分かりあえる当時の苦労話を語り合いながら楽しい時を過ごすことができます。しかし、ここ数年は残念ながら年1回の定例会の開催だけになっています。現在(平成25年)卒業生の人数も200名を超え、なかなか一堂に会することはできませんが、近々体操部創部50年の式典を盛大に行うことを企画しています。

城操会としては、今後も新城高校の体操部が発展していくために、ささやかながら支援しつつ、活動を続けていきたいと思っています。



体操部(16期卒業アルバムより)



昭和53年全国高校総体(福島県)

昭和55年全国高校総体県予選

昭和54(1979)年度

4月6日 17期生入学式(405名)
5月 校外LHR
6月12日 合唱コンクール
7月16~17日 球技大会
9月9日 体育祭
9月22~23日 文化祭
10月10~14日 2年修学旅行
(B班11~15日)
12月17~18日 球技大会
12月25~29日 スキー教室
3月1日 15期生卒業式

●世相

インベーダーゲーム大流行 子どもの自殺問題化 ドラえもんブーム ベストセラー「ジャパン・アズ・ナンバーワン」 ハマトラ大流行

●流行語

省エネ ウサギ小屋 関白宣言 口裂け女

●流行歌

「魅せられて」「北国の春」「いとしのエリー」

●県内・国内・国際

国立大学初の共通一次試験(1月)、大阪三菱銀行北畠支店に強盗(1月)、川崎市民プラザ開設(4月)、英首相にサッチャー女史(5月)、東京サミット(7月)、東名高速日本坂トンネルで自動車事故7人死亡(7月)、イランで米大使館人質事件(11月)、YCAT開業(12月)

バレーボール部の思い出

細川義彦 (15期生)

創立50周年、心からお祝い申し上げます。

私が新城高校に通ったのは高校在学中の3年間と卒業後の特別活動講師として8年間、そして非常勤講師としての2年間と長きにわたって大変お世話になりました。

さて、思い出の中の一つに触れていきたいと思います。

私が入部したバレーボール部は、国際審判員であった和田重信先生を顧問として、男女が活動しておりました。女子部は、2年連続3回目の関東大会出場を果たした後で、和田先生を中心に大変活気のある活動をしていたのを覚えています。男子部は、生徒の自主的な運営で活動していました。その後、特別活動講師(体操部・ソフトテニス部・水泳部・ハンドボール部・バスケットボール部)にもいて、先輩が後輩たちの指導に当たっていたのは、新城高校の伝統のようでした。12期生の平田先輩が就任し、活動に勢いが出て、川崎市大会で優勝することができました。

時は流れて、私が女子部の特別活動講師に就任することとなったのは、19期生が3年生になった時期でした。その頃の川崎地区は、生田・多摩・高津・川崎商業が上位を占めている状態でした。目標を川崎地区優勝と関東大会出場に定め、日々の練習に取り組んでいましたが、なかなか目標を達成することができず、生徒と共に悔しい思いをしたことを覚えています。

その後も努力を続け、それぞれの代でそれなりの結果を出していましたが、25期生を迎えた時から変化が現れました。川崎地区大会で優勝するなど着実に力を付けていきました。当時を思い出すと、顧問の先生や体育科の先生にお願いをし、また保護者の皆様のご理解とご協力を得て、県外の招待大会や遠征練習試合に行かせて頂き実力をつけていきました。

関東大会予選は、出場権を獲得しましたが、結果は残念ながらベスト8止まりという結果に終わりました。しかしながら、13年ぶりの関東大会出場に生徒・保護者の皆様と手を取り合って喜んだものでした。

昭和55(1980)年度

4月7日 18期生入学式(411名)
 4月26日 校外LHR
 6月17日 合唱コンクール
 7月14～15日 球技大会
 9月14日 体育祭
 9月20～21日 文化祭
 9月26～30日 2年修学旅行
 (B班27～10月1日)
 12月15～16日 球技大会
 12月25～29日 スキー教室
 3月2日 16期生卒業式





関東大会は、茨城県水戸市で開催され、1回戦は山梨県代表の増穂商業をストレートで破り、2回戦で東京代表の順心学園(春の高校バレー優勝校)と対戦し敗退するという残念な結果に終わりました。

翌年の26期生中心のチームは少ない人数ながら、何とか2年連続関東大会出場を目標に据え練習に励みました。前年度と同様に県外への遠征と合宿を繰り返し、平日でも成徳高校(現、下北沢成徳高校・全国優勝常連校)に練習試合でお世話になるなど相当量の練習をこなしていました。この代のチームは、一人のエース(卒業後、日立ベルフィーユに入団する)が前衛でも後衛でもスパイクを打ち、一人の選手はレシーブで拾いまくり、他の選手は速い攻撃をしかけるという特徴を持っていました。何と言ってもチームワークが抜群でした。

春の高校バレー南関東大会の準々決勝戦では、バレー部の強化を始め、3年目の橘高校(平成24年度インターハイ全国優勝校)に負け悔しい思いを胸にその後の練習に励みました。関東大会予選では、準々決勝戦で再び橘高校と対戦することになり代表権を賭けて凄まじい戦いとなり、フルセットで勝つことができ、その後は勢いに乗り3位になることができました。誰もが、無理だと予想していた、2年連続関東大会出場を彼女たちは、勝ち取ったのです。これには、物凄い感動を覚え今なお心に鮮明に焼き付いています。「努力は裏切らない」を正に証明したのです。

関東大会は、新しくなった東京体育館こけらおの柿落としとして開催され、1回戦は茨城県代表の古河第一高校にストレート勝ちをし、続く2回戦では東京代表の共栄学園(関東大会優勝校)にストレートで敗れましたが、奪った点数は新城高校が1番でした。

それから、約23年が経ちました。今も相変わらず体育館から、高校生らしくはつらつ活発とした元気な声が聞こえていることでしょう。

後輩たちよ、新城高校生らしく良き伝統を引き継いで、さらなる発展と進化を期待しています。

●世相

マンザイ・ブーム ルービック
キューブ人気 ビニール本出回る
竹の子族 王選手・山口百恵引退

●流行語

とらばーゆ カラスの勝手

●流行歌

「恋人よ」「ダンシング・オールナイト」

●県内・国内・国際

早大入試漏洩事件(3月)、銀座で1億円拾得(4月)、神奈川スモン訴訟で初の和解(4月)、自動車の川崎ナンバーが誕生(4月)、JOCがモスクワ五輪不参加決定(5月)、史上初の衆参同日選のさなか、大平正芳首相急死、自民が圧勝(6月)、東京・新宿でバス放火事件(8月)、横須賀線に「新川崎」駅が開業(10月)、横浜ルミネ・ポルタ開業(11月)、川崎で金属バット殺人事件(11月)、ジョン・レノン銃撃され死亡(12月)

■ ハンドボール部で OB・OGと繋がり

石坂洋介 (16期生)



新城高校50周年記念誌の発行にあたり、ハンドボール部からも寄稿させていただきます。

我が新城高校ハンドボール部は、1964年に2期生約10名の1年生が集まり、正式に部として発足しました。

発足当時にはまだゴールが無く、校庭にクイを打ってゴールに見立て、ネットも無いのでシュートを打てば遠くに飛んでいってしまい、グラウンドは凸凹でドリブルの出来ないような大変な環境だったとのこと。

当時の新城高校は周りを田圃に囲まれていたので、ときたま、ボールが田圃に入ってしまう、農家の方からクレームが付いて、当時顧問の富田先生が謝りに行ったこともありました。

チームとしての初勝利は初年度3月の市民大会にて、我がハンドボール部の初勝利にもなりました。

翌年以降も着実に部員が増え、2期生が2年の時に、隣接する新城小学校のグラウンドで夏合宿、そこで初めてゴールが導入されて感動したと、先輩方から伺っています。

新城高校ハンドボール部としては、8期生の時に関東大会出場を果たしましたが、その後は県大会でもベスト4止まりで、自慢できる戦績はありません。

しかしながら、創部の頃よりOB・OGが後輩の面倒を見るのが伝統となっております。

1980年頃からは複数のOB・OGが頻繁に練習指導にあたることで、現役部員達との交流を密にし、ハンドボール部を支えてきました。

昭和56(1981)年度

- 4月6日 19期生入学式 (396名)
- 4月25日 校外LHR
- 6月18日 合唱コンクール
- 7月13～14日 球技大会
- 9月13日 体育祭
- 9月19～20日 文化祭
- 10月2～6日 2年修学旅行
- 10月2日 1,3年社会見学
- 12月15～16日 球技大会
- 3月1日 17期生卒業式



また、それまで一堂にOB・OGが集まる組織は無かったことから、1992年に、ハンドボール部OB会「新城クラブ」を発足させ、広く会費を集めて、指導OB・OGと現役生への援助を始めました。

さらに1996年にはハンドボール部創立30周年記念総会を都内ホテルで開催、日本各地から多くのOB・OGに集まって貰い、交流を深めました。

また、OB・OGでチームを作っての川崎市民大会への参加、さらに、近年はOB有志がクラブチームを結成し、東京都の社会人クラブリーグへの参加など、卒業後もハンドボールを続けてくれる事を古参OBとして大変嬉しく思います。

現在は、ハンドボールを専門とする顧問の先生が着任したこともあり、OB・OG会としての活動はやや縮小していますが、現役チームの試合には、ほぼ全試合、OBが応援に駆けつけ、現役チームの試合の写真撮影などを行っています。

(過去にはOB・OGへメールにて試合報告、ハンドボールのホームページの開設などを行っていましたが現在休止中)

また、川崎市内の高校チームを中心に他校の撮影もさせて頂き、その写真を送ることで他校の保護者様からも好評を頂いております。

現役チームを撮影した写真は、卒業記念として写真データとしてお渡しして、新城高校ハンドボール部としての誇りを持ち帰って頂いています。

このように、新城高校ハンドボール部を通じて、広くハンドボールの普及に努める活動が出来るのも、2期生の先輩方が新城高校ハンドボール部を創設頂いた事にあり、今でも深く感謝すると共に、今後のハンドボール部の繁栄を願ってやみません。



●世相

校内暴力激増 クリスタル族 なめネコ ジャズダンスブーム リクルート・ルック ノーパン喫茶 出現 「窓ぎわのトットちゃん」ベストセラー

●流行語

よろしいんじゃないですか
ウンチャ ハチのひと刺し

●流行歌

「ルビーの指環」「奥飛騨暮情」「横浜ボンキー・トンク・ブルース」

●県内・国内・国際

肉親捜しのため中国残留孤児47人が来日(3月)、ライシャワー元駐日大使が核持ち込み発言(5月)、神奈川県人口700万人を突破(6月)、福井謙一氏にノーベル化学賞(10月)、沖縄でヤンバルクイナ発見(11月)

■ 剣道部とOB会「鬼城会」の50年

宮本健二 (17期生)

新城高校創立50周年、誠におめでとうございます。剣道部OB会代表として心よりお祝い申し上げます。

新城高校剣道部は学校創立時に創部され、上田吉明先生（故人）、牛島一雄先生のご指導・ご尽力により、部員の自主性を重んじる中で着実に力をつけていきました。昭和46年の7期生3年次にインターハイ女子団体神奈川県予選で準優勝し、翌年には8期生の木島（旧姓）俊子先輩がインターハイ女子個人県予選で優勝、部として最初の上部大会進出を成し遂げました。

団体戦での県上位進出と個人戦でのインターハイ出場を契機に部は充実期に入っていきます。好成績により機運盛り上がる中、昭和48年に秀島勇治先生が監督として赴任されました。先生は佐賀龍谷高校から日本体育大学武道学科に進まれた剣道の専門家で、当時まだ20代の新進気鋭の指導者でした。その情熱に感化を受けた部員は見る見るうちに力をつけ、昭和49年、10期生3年次に関東大会女子団体県予選で準優勝し、団体として初の関東大会出場を果たしました。

その後、剣道部は、飛ぶ鳥を落とす勢いで躍進します。昭和50年11期生3年次のインターハイ予選男子団体準優勝、関東大会男女団体アベック出場を皮切りに、秀島先生が転勤されるまでに通算で、関東大会出場は男子団体2回、女子団体6回を数え、インターハイ予選は男子団体準優勝1回、女子団体準優勝1回、3位3回、県新人大会では女子団体優勝1回、準優勝2回、3位1回という実績を残し、県下有数の「名門校」として他県にまで名が知られるようになっていきました。

剣道部がいわば絶頂期にあった平成2年に秀島先生は他校へ異動されます。その後、監督として赴任されたのが、先生の教え子である17期生

昭和57(1982)年度

- 4月6日 20期生入学式 (409名)
- 4月24日 校外LHR
- 6月18日 合唱コンクール
- 7月12～13日 球技大会
- 9月12日 体育祭
- 9月18～19日 文化祭
- 10月2日 創立20周年記念式典
- 10月6～10日 2年修学旅行
- 10月8日 1,3年社会見学
- 12月16～17日 球技大会
- 12月24～29日 スキー教室
- 3月1日 18期生卒業式



平成12年6月の関東大会会場にて



平成元年6月の関東大会会場にて

の外崎学先生（現新城高校教頭）でした。先生は名門新城高校剣道部を恩師から託されたことに少なからず重圧を感じていたでしょうが、自分の生活をすべて剣道にかけけるほどの情熱を持って指導し、異動までの11年間に女子団体で関東大会に4回出場し、県新人大会で3位、インターハイ予選で4位の入賞を果たしています。

このように指導者に恵まれて実績を重ねてきた剣道部ですが、その折々にOB・OGの存在が大きくかかわっています。剣道部のOB会は「鬼城会」という名で秀島先生赴任後すぐに結成されました。7期生の杉田（旧姓）茂夫先輩（故人）が初代会長を務め、卒業後も新城高校剣道部を守り立てていこうという趣旨で活動が始まり、現在では会員数が450名を超えています。年1回機関紙である「つり橋」を発行していますが、鬼城会創設以来40年以上にわたり、卒業生に現在の剣道部の情勢を伝えてきています。その甲斐あって、いつの代でも新城の剣道場には卒業生の姿があり、現役生に稽古をつけたり、差し入れをしたりと継続的なバックアップを行ってきました。

外崎先生が異動された後、10年以上にわたって専門家の指導者が赴任していません。それにもかかわらず新城高校剣道部は、剣道好きな中学生を多く受け入れ、大会ではシード校を相手に善戦しています。また今でも、40年前と同じように、毎日練習の終りには部員全員で「剣は心なり」と部のスローガンを声高らかに唱和しています。これは外崎先生転勤後コーチを務めてくれた29期の大野彰君や、その後を継いだ現コーチの39期生の瀧武蔵君他多くのOB・OGが、卒業後も現役生を守り立てていくという「鬼城会」の趣旨に賛同してくれているおかげに他ありません。剣道部も創部50周年の節目を迎えますが、これからの半世紀においても、剣道部は指導者とともに卒業生によっても育てられていくでしょう。

●世相

映画「E・T」ヒットで関連グッズ
人気 新書判ブーム「気づばりの
すすめ」

●流行語

逆噴射 なぜだ！ ルンルン気分
ネクラ・ネアカ

●流行歌

「恋人も濡れる街角」「北酒場」
「セーラー服と機関銃」

●県内・国内・国際

東京・赤坂ホテルニュージャパ
ン火災33人死亡(2月)、日航機が
「逆噴射」で羽田沖に墜落、24人死
亡(2月)、川崎の公害患者が国相
手取り訴訟(3月)、本牧米軍住宅
返還(3月)、500円硬貨発行(4
月)、フォークランド紛争(4～7
月)、宮前区・麻生区誕生し7区
となる(7月)、中曽根康弘内閣誕生
(7月)、教科書検定が中韓と外
交問題に(7月)、三越不正事件で
前社長逮捕(10月)、ソ連プレジネ
フ書記長死去(11月)、上越新幹線
開通(11月)



17期生剣道部員

■ バスケット部OBの誇り、石川洋先輩を悼む

戸田和吾 (17期生)



母校である新城高校が50周年を迎えられましたことをOBの一人としてお慶び申し上げます。加えて記念式典開催に向けて3年間にわたりご活動いただきました実行委員各位に対しまして敬意を表します。

バスケット部OB会の近況について、寄稿の機会をいただきましたので拙文ではございますが一筆啓上。

2012年11月3日、日航ホテル川崎。150名のOB・OGと2名の名誉顧問を迎えた《新城クラブ50周年式典》が熱気あふれる中、開催された。

開会の言葉を告げる司会席に、参加者の誰もが期待するNHKアナウンサー石川洋氏 (13期生) の姿がない。不肖、私が代役を仰せつかったのはこの前日。石川先輩から電話が入り、「ゴメン、喉の調子が悪くてさ。明日の司会全部任せるよ」と一言。

バスケット部では10年ごとに式典を開催してきたが、50期生の入部を迎えたこの年、“50周年は大々的に”と7月に幹事会の初顔合わせ。久しぶりに対面した石川先輩は体調が思わしくなく、春先に3ヶ月にわたる治療を行って、ようやく症状が安定してきた頃だった。その後も毎月の幹事会には必ず顔を出して、参加者が喜んでくれるようなイベントを次々に提案しながら、笑顔を見せてくれていた。

2012年10月。校内でも50周年を記念したイベントが開かれた。現役生を対象に著名OBの講演会。体調が優れず出席を躊躇していた先輩であったが、もうひとりのゲストであるJ2草津の元監督・植木繁晴氏に声を掛けたのが先輩自身である手前、「自分が欠席するわけにもいかない」と、声もかすれる状態で講演に出席された。責任感の強い先輩でした。

11月、OB総会当日。「皆さん、私の声なんかより、先輩の声を聞きたくて



応援旗とともに
(2013年4月)

昭和58(1983)年度

- 4月6日 21期生入学式 (406名)
- 5月4日 校外LHR
- 6月17日 合唱コンクール
- 7月11～12日 球技大会
- 9月11日 体育祭
- 9月17～18日 文化祭
- 10月1～5日 2年修学旅行
- 10月5日 1, 3年社会見学
- 12月15～16日 球技大会
- 12月24～29日 スキー教室
- 3月1日 19期生卒業式



17期生3年6組の仲間たち

17期生バスケット部
顧問・コーチとともに



集まっていますから、少しでもマイク握ってくださいね」と、今思えば無礼な注文をしたものだ。結局、先輩は一度もマイクを持たず終宴となった。私の司会でも何とか好評を得たが、これは後ろに先輩がしっかりと控えてサポートしてくれていたから。閉会後に握手を求められ激励を受けた。「上出来だ！　たくさん集まってくれて良かったね。二次会は、悪いけど…」。

先輩の疲れた背中に向けて「お疲れ様でした。60周年は必ず先輩が司会やってくださいよ！」と声をかけた。しかし、この日が先輩との永遠の別れとなってしまふ。約束は果たされることなく。

2013年1月6日。バスケット部の勇気であり誇りであった石川先輩が亡くなられた。享年53歳。如何にも早すぎる運命の誤謬。

私たちが高校生現役時代には、大学生でありながらコーチを務めていただき（これがバスケット部の伝統でもあった）、OB会では常に縦串となり先輩後輩の絆を結びつけていた。

スポーツ中継での元気な顔と透き通る声が、私たちにとっての自慢だった。それは春夏の甲子園であり、国立競技場であり、オリンピックの地からも聞こえてきた。合掌。

2013年4月。OB総会で集められたご厚情を記念品に代えて現役たちに贈る。これも永年継続している善き伝統。贈呈式は奇しくも石川先輩の百日忌当日。OB有志が墓前に報告してから現役が集まる体育館に参列した。

品物は石川先輩が生前「あとに残るものが良いですね」というアドバイスを受けて決めた応援旗。旗に描かれた文句は《翔破》“しょうは”と読み、意味は“高く翔んで勝つ、勝利を掴む”ということ。多くの先輩方の息吹が伝わりますように、と現役の選手たちに手渡された。

新城高校バスケット部、長い歴史のほんの1シーンですが、強い絆をあらためて刻み込んだ別れと出会いとなりました。

●世相

東京ディズニーランド開園 荒れる中学 タぐれ族の愛人バンク
ファミリーコンピュータ(ファミコン)発売 ミネラルウォーター登場

●流行語

軽薄短小 勝手連 義理チョコ

●流行歌

「矢切の渡し」「ささんかの宿」
「氷雨」

●県内・国内・国際

中曽根首相が「不沈空母」発言(1月)、小林秀雄さん、尾崎一雄さんら相次ぎ文豪死去(3月)、県情報公開制度スタート(4月)、戸塚ヨットスクール校長逮捕(6月)、免田事件で無罪確定(7月)、大韓航空機がサハリン上空で撃墜(9月)、田中首相に実刑判決(10月)、日本初の体外受精(10月)、三宅島21年ぶり噴火(10月)、MM21計画スタート(11月)

サッカー部の思い出、回想

森島 烈 (17期生)

この原稿を依頼され、あらためて高校時代を振り返ると、思い出として浮かんでくるのは、部活動のこととそれぞれの学年のクラスでの日々です。(中学校の教員としては、誠に恥ずかしいことですが…)

毎日6時過ぎに部活が終わり、その後残って自主練。ラグビー部を照らす照明のおこぼれをもらってボールを7時過ぎまで蹴る毎日でした。

「なんでラグビー部だけが照明が使えるんだ」とイライラしていると、以前関東大会に出たラグビー部のお祝いに付けられたものと聞かされ、悔しく、いつかサッカー部もそうなりたと思ったものでした。

汚い、本当に汚い部室(床がジャージで埋まって見えない)で着替え、「ばっちゃん」にいき、チェリオアップルと5円せんべい、餅太郎、よっちゃんいかなどを食べながら、ベンチに座って仲間と話すひと時が、なんと楽しかったことか。私は家が井田なので、そのまま自転車で帰りました。そういえば、朝も8時15分からの朝のNHK連続テレビ小説をみて、30分になってから家を飛びだし、担任の先生が教室に入る直前に遅刻ギリギリで滑り込んでいました。(本当は遅刻かな?)

3年生がインターハイ予選で引退し、それからは2年生と共に結構本気で頑張っていました。2年生のインターハイ予選は勝ち続け、県のベスト4決めて法政二高とあたり3対2で惜敗したことは覚えています。法政には中学時代の仲間や選抜チームの仲間がたくさんいたので、本当に悔しかったことを覚えています。

学校での夏合宿はとんでもなく、苦しかったですね。夜はOBが酔っぱらって襲撃に来て、ビールで頭を洗われたり、夜食のおにぎりを股間に突っ込まれたり、それでいて起きると「俺はOBだ、明日つらいぞ、寝てろ!」という始末。しばらく僕らの間で「俺はOBだ」は、やはり言葉になりました。

自分たちの代では、たいした結果も残せず、5月にみんな引退しましたが、全国予選と国体のセレクションが残っていたので、自分だけ8月まで残りました。結局国体も最終選考で落とされ、後輩たちには一人邪魔者がいて可哀そうなことをしたなど、今では反省しています。

教室では、冬場の休み時間、ストーブでお湯を沸かして、インスタントコーヒーを飲みながらトランプ。月に1回は珈琲館で記念品をもらう。体育祭は走る競技は学年に関係なくほとんど出ていたような記憶が

昭和59(1984)年度

4月6日 22期生入学式 (421名)
5月4日 校外LHR
6月 合唱コンクール
7月11~12日 球技大会
9月9日 体育祭
9月15日~16日 文化祭
10月6~10日 2年修学旅行
1.3年社会見学
12月13日~14日 球技大会
12月 スキー教室
3月1日 20期生卒業式



修学旅行で仲間達と



サッカー部員と顧問・コーチ

あります。史上最大のショーのダンスの練習では、本当に楽しくてずっと踊っていました。文化祭の後夜祭のフォークダンスも個人的には素晴らしい思い出になっています。ここでは話ができない市民プラザ事件や修学旅行などもありましたが…。

最近職場に出勤するときに自転車で新城高校の前を通ります。プレハブが立ち、懐かしい校舎が削られていくのは、少しさみしい気もしますが、こうやってあらためて昔を思い出すと、本当に楽しかった高校時代がよみがえってきます。

高校時代の仲間とは今でもつながっているし、支えてくれています。数年前にも仕事上のことで行き詰っていると「あいつ悩んでいるらしいぞ」から始まり「じゃあみんなで飲もう」と私のために集まってくれました。

川崎市内で、新城高校出身で教員をやっている人間も多くなってきました。じっくり話をしていくと「えっ、新城なの？ 何期？」などと新城つながりの後輩もたくさん増えています。そして、実はそんな「新城つながり」で仕事がうまくいったり、助けられたり、助けたり…。

つまり、私にとっては、この「新城高校出身」は今の財産となっています。これからもこのつながりを大切に過ごしていきたいと思っています。

とりとめもなく、語ってしまいましたが、昔のことを思い出せたり、仲間と連絡したりと、今回このような機会をいただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

●世相

エリマキトカゲなど珍獣ブーム
禁煙グッズ発売 ロス疑惑騒動
イッキ飲み流行で死者も

●流行語

おしんどROOM マル金・マルビ
キャピキャピギャル

●流行歌

「ワインレッドの心」「涙のリクエスト」

●県内・国内・国際

グリコ森永事件(3月)、財田川再審に無罪(3月)、非核兵器県宣言可決(7月)、福沢諭吉の一万円札発行(11月)、川崎市民の歌を発表(11月)、原子力空母カールビンソン横須賀初寄港(12月)



修学旅行で仲間達と

■ 大人になり、自閉症の息子を持つ私を支えてくれた同期生たち

新保 浩 (18期生)



『はいは〜い、ひとみさん! 地元川崎、新城高校サッカー部出身。フロンターレが大好きなポッドキャスター。そよちゃんこと、一般社団法人そよ風の手紙代表の新保浩です♪』

こんなキャッチフレーズで、かわさきエフエムの番組「堀川ひとみのうたの国から」の「自閉症ニュース」のコーナーに月1回登場している私は、新城高校18

期生です。卒業後の今でも、地元川崎のFM波に乗せた自己紹介で、私の中の“新城高校”はしっかりと生き続けております。

卒業してから31年。今、あらためて思い返す自身の高校時代は、サッカー部で毎日グラウンドを駆け回った部活動や、城高祭や軽音のコンサートでバンドを組み演奏したりと、勉学もそこそこに高校生活を思い切り楽しんでいた記憶で散りばめられています。期間にすれば、長い人生の中のたった3年間です。

たかが3年、されど3年。私にとっては、このわずかな期間が、その先の人生において今でも大きな影響を残すこととなるのです。と言いましても、高校卒業後は10年近く同期生の皆さんとは疎遠になっていた時期がありました。

そんな中、再び同期生とお会いする機会が巡って来るのです。それは、18歳で高校を卒業し、その卒業時の年齢と同じ18年経った“36歳”で、あらためて運動部を中心とした同期生で集まるといふ、何とも粋な同窓会企画がきっかけでした。その時期に巡り逢ったのが、現在も繋がりを持つ同期生のメンバーです。その中には高校時代にはお話したこともない人もたくさんおりました。

大人になってから同期生と再び出会い感じたのは、高校時代には話すことがなかった人の中に、人としての年輪を重ねた魅力のある方々がたくさんいたことです。自分自身も大人になり、様々な人生経験の中から変化していったのかもしれませんが。

そんな出会いのあった同期生の中には、今ではお会いすることができない人がいます。遠く旅立ってしまった人もいます。私は彼らのことを

昭和60(1985)年度

4月6日 23期生入学式(441名)
5月2日 校外LHR
6月14日 合唱コンクール
7月10~11日 球技大会
9月8日 体育祭
9月15~16日 文化祭
10月5~9日 2年修学旅行
10月 1, 3年社会見学
12月12~13日 球技大会
3月1日 21期生卒業式



18期生運動部のメンバーと(昭和57年)

胸の中に刻み、この先もきっと忘れません。

私の一人息子は知的障がいと自閉症という障がいを併せ持っています。自閉症とは先天的な脳機能の障がいの一つで、コミュニケーションや社会性等においてハンディキャップを持つ障がいです。ちょうど、同期の仲間と再会したあの頃、息子は5歳。私自身も人生の岐路に立たされている時期でした。そんな時に心の支えとなってくれたのが、大人になって巡り会った彼らだったのです。私は、今でもその時に支えてくれた友人たちに心から感謝しています。そしてその方々とは、現在もつながりを持たせていただいております。

私は、高校時代は理系クラスに進みました。進学した大学では建築学を専攻したのですが、様々な道を紆余曲折しながら、現在では全く畑違いの、障がい者福祉の道を進んでおります。昨年には、著書「そよ風の手紙 自閉症児りょうまとシングルファーザーの18年」(マキノ出版)が出版となりました。

今まさに道が決まっていない後輩の皆様へ二つほどお伝えできるとすれば、一つは、「高校時代のたった3年間で将来の道が全て決まるわけではない」ということです。高校時代には、現在の自分自身の姿を欠片^{かけら}も想像できませんでした。おそらく私の同年代の先輩方も、大なり小なり同じことをお感じになられている方が多いことでしょう。

そしてもう一つは、「高校時代の3年間で巡り逢った仲間を大切にしたい」ということです。これが私から後輩の皆さまへ真にお伝えしたいことです。新城高校での3年間は、私にとって“未来にわたる友人たちとの出会い”という、決してお金では買えない、掛け替えのない時間であったことは間違いありません。



サッカー部の練習風景

●世相

阪神優勝フィーバー NTT発足
日本人初のエイズ患者認定 テレ
クラ・キャバクラ流行 家庭内離
婚

●流行語

トラキチ ペーパー商法
おニャン子

●流行歌

「ミ・アモーレ」「恋におちて」
「なんてたってアイドル」

●県内・国内・国際

ソ連書記長にゴルバチョフ氏(3月)、新横浜に「ひかり」増停車、地下鉄も延伸(3月)、宗教上の理由で両親が輸血を拒否した輪禍の小学生失血死(6月)、豊田商事会長刺殺(6月)、日航ジャンボ機、御巣鷹山に墜落520人死亡(8月)、中曽根首相が戦後初の靖国公式参拝(8月)

■ 新城高校在校時の思い出、回想

佐久間健三 (18期生)

当時の学校生活を思い出すと、新城高校は生徒による自治が完成されており、行事や毎日の学校生活、部活動など、極力自分たちの力で行っていたことが思い出されます。部活に打ち込み、行事に燃え、勉強そっちのけで毎日を楽しみ過ごしました。

教育関係に進んだ卒業生も多数いらっしゃいますが私もその一人です。当時の我々と比べると、生徒に物足りなさを感じます。新城のような学校にしよう、新城の生徒のような子どもを育てようと思いましたが、思惑通りにはいきませんでした。力量不足もあるのですが、新城は特別な学校だと分かりました。

自由と自律が絶妙のバランスで成り立っていたのは、先輩方と先生方が長い年月をかけて築き上げた伝統・校風だったのでしょう。ともすれば自分勝手になるところを、先生方がうまく舵をとり、我々に楽しい毎日を提供してくれていたことを、今になって分かる気がします。我々は先生方の手のひらの上で、楽しく転がされていたのでしょう。

卒業して30年経ちますが、最近になって部の同期と会う機会が増えました。それぞれ家庭を持ち、子どもも大きくなった今も、みんな新城のことが大好きで、長いブランクも感じられませんでした。

校舎の建て替えが進み、懐かしい佇まいももう見られなくなっていますが、新城でしか作れないあの校風だけは、今の生徒さん達にも受け継いでいただきたいと願っています。



18期生1年次校外LHR



昭和57年度文化祭



18期生3年1組男子

昭和61 (1986) 年度

4月7日 24期生入学式(410名)
5月2日 校外LHR
6月17日 合唱コンクール
7月9～10日 球技大会
9月7日 体育祭
9月13～14日 文化祭
10月3～8日 2年修学旅行
10月9日 1,3年社会見学
12月15日～16日 球技大会
3月4日 22期生卒業式

●世相

土井たか子ブーム 株高騰・円高
加速 DCブランド流行 使い捨てハーフサイズカメラ人気に

●流行語

新人類 亭主元気で留守がいい
やるっきゃない

●流行歌

「仮面舞踏会」「時の流れに身をまかせ」「CHA CHA CHA」

●県内・国内・国際

チャレンジャー空中爆発(1月)、
春吹雪大荒れ、停電や断水被害(3月)、
チェルノブイリ原発事故(4月)男女雇用機会均等法施行(4月)、
東京サミット開催(5月)、同日選で自民大勝、新自由クラブ
県連解党(8月)、川崎地下街アゼリア開業(10月)、タイ航空機爆発事件(10月)、三原山が209年ぶりに大噴火(11月)、新百合ヶ丘駅前に日本映画学校が開設(11月)

■ラグビー部、学校がいつでも帰れる場に

澤田貴樹 (26期生)

私は26期生として入学しましたが、今の自分があるのも、新城高校に在籍し、多くのことを学んだからこそだと思っています。

入学して自分はラグビー部に所属しました。

部は1期生から創部されており、過去4回の関東大会出場を記録し、自分達も関東大会出場を目標に日々練習に取り組んできました。

OBの方々がコーチ、練習相手として、ご指導していただいたおかげでチームとして徐々に強くなっていくのを感じていましたが、その分、日々の練習は厳しく、何度も部を辞めたいと思ったこともありました。

しかし、その様な時に仲間が励ましてくれました。厳しい練習。楽しかった、嬉しかった時、苦しい合宿と、一緒にいる時間を共有できた仲間がいたからこそ続けられ、2年生の合宿の時に初めてトライできた時には、感動と、仲間への感謝の気持ちで一杯でした。

その後、3年生の関東大会県予選では、県で5校が進める中、我々はベスト8をかけた試合で同点トライ数負けという結果になってしまいました。その時の記憶は未だに残っています。でもその時があるからこそ、人生に向かえる自分がいるのだと思っています。

同期が集まれば、その試合の話は必ず出てきますけどね(笑)。かけがえのない同期の絆ができました。

新城高校は部活動をのびのび活動させてくれます。しかし自由だからといって、何でもしていいのではありません。

自分は卒業生として、ラグビー部OBとして、高校生には社会のルール、先輩、同期、後輩の繋がりの大切さを。またOBになった時、集まって試合をしたり、楽しんだり。何かあればいつでも話せる、相談できる。人生の喜怒哀楽を共感できる。自分達が何かあればこの新城高校が帰れる場所として、これからもこの学校を、このラグビー部を大切にしていきたいと思っています。

昭和62(1987)年度

4月7日 25期生入学式(465名)
4月30日 校外LHR
6月17日 合唱コンクール
7月8～9日 球技大会
9月13日 体育祭
9月19～20日 文化祭
10月6～10日 2年修学旅行
10月9日 1,3年社会見学
12月14～15日 球技大会
3月3日 23期生卒業式



昭和63年川崎市民ラグビー大会
(左から24期生島村、26期生折橋、澤田)

●世相

地価狂乱・地上げ 億万智の「サラダ記念日」ベストセラー 映画「マルサの女」人気 エアロビ流行

●流行語

朝シャン 靈感商法 グルメ

●流行歌

「愚か者」「命くない」「雪国」

●県内・国内・国際

鉄冷えて日本鋼管が合理化計画(5月)、朝日新聞阪神支局襲撃事件(5月)、石原裕次郎没(7月)、チネチッタが開業(7月)、大韓航空機爆破事件(12月)



26期生卒業アルバムより



平成2年度体育祭

■「桜」の下で過ごした野球部の3年間

中條敬史 (30期生)

「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」

在学中に授業で耳にした唐詩の一節です。当時は全く心に響きませんでしたが、卒業して18年経った昨春、久しぶりに訪れた母校のグラウンド隅の満開の桜をみたら思い出しました。私が在校した20年前とは先生方の顔触れも、ましてや生徒達の顔触れは全て変わってしまいましたが、最初に野球部員としてグラウンドに立ったときと同じ満開の桜が様々な思い出を甦らせたのだと思います。

さて順番が前後しましたが、神奈川県立新城高等学校が50周年という記念の年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

実は、昨春私が新城高校に足を踏み入れたのは、昨夏に開催した野球部50周年式典の打合せのためでした。私が訪れたとき旧校舎の解体作業は始まっており、慣れ親しんだ校舎は崩されプレハブの仮設校舎がグラウンド隅に申し訳なさそうに建てられた状態でした。

往時とあまりに異なるイメージだからこそ、逆に強く郷愁を誘われたのかも知れません。式典の準備を1年掛かりで行うなか、ここ数年、人によっては10年以上連絡をとっていない方々にもお会いしたい一心で、式典幹事会の方々と一緒に手段を尽くして式典参加を呼び掛けました。結果、80名を超える諸先輩、後輩達と一緒にとても楽しく温かなパーティを開催することができ、OB会として近年にない大成功を収めました。

けれども、パーティの最中に不思議な感覚にとらわれました。なぜ下は19歳から上は67歳までの半世紀近い年齢差があるのに何かを共感できるのでしょうか？ また、なぜほとんどの方は初対面に近いのに親しく話が出来るのでしょうか？ また何故、学生時代の仲間達とは当時のままの接し方が出来るのでしょうか？



昭和63(1988)年度

4月6日 26期生入学式(425名)
4月28日 校外LHR
6月17日 合唱コンクール
7月 球技大会
9月11日 体育祭
9月17~18日 文化祭
10月4~8日 2年修学旅行
10月7日 1,3年社会見学
12月 球技大会
3月1日 24期生卒業式



2013年8月4日 野球部OB会
(武蔵小杉・精養軒にて)



それぞれが現在生きている場所では、年齢差や初対面であるという要素は往々にして見えない壁を作り出し、共感を得ることは困難ですらあるのに、あのパーティではそのような場面はついで見受けられませんでした。

それはいったい、何故なのか？

その根底には、やはりあの「桜」があると今は確信しています。我々野球部は、あの桜の下で過ごした3年間を心のどこかで共通の思い出として記憶しているのだと思います。

歳歳年人同じからず、あの桜の下で顔触れは毎年変わります。しかし、グラウンドが繋いだ縁はどこか同じ匂いのする人間を輩出し続けているのだと思います。それが年齢差や初対面というものを凌駕^{りょうが}しているからこそ、あのような不思議な空間が成立したのだと思います。

これは、野球部に限らず全ての新城高校卒業生及び未来の卒業生達、あるいは先生方にとっても同じことではないでしょうか。それぞれにとっての「桜」がこの学校のどこかにあるはずであり、ふたたび新城高校を訪れることがない方だとしても、心の拠り所として「桜」の記憶が消えないことを祈ってやみません。

この寄稿文が記念誌に掲載される頃には、新たな校舎も完成すると伺っております。神奈川県立新城高等学校の益々のご発展を祈りながら、この文書を閉じさせていただきます。

●世相

商業捕鯨終了 青函トンネル・瀬戸大橋開通 ワンレン・ボディコン流行

●流行語

ベレストロイカ ハナモク 5時から男 しょうゆ顔・ソース顔

●流行歌

「パラダイス銀河」「乾杯」「人生いろいろ」

●県内・国内・国際

東京ドームオープン（3月）、リクルート疑惑発覚（6月）、東京湾で潜水艦なだしおと遊漁船が衝突、30人死亡（7月）、県が交通事故多発で非常事態宣言（9月）、ソウルオリンピック開催（9月）、核トマホーク搭載疑惑艦が母港化（9月）、川崎・市民ミュージアム開館（11月）



懇親会前に行われた親睦試合の風景（新城高校グラウンドにて）



OB会終了後の幹事だけの二次会



■ 創立50周年に寄せて

柴田大司 (11代校長)

神奈川県立新城高等学校創立50周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。創立50周年と伺い、その歳月の流れる速さに、感慨もひとしおです。

私は平成2年に、本校第11代校長として着任いたしました。当時は、中教審答申に基づく高校教育の課題をはじめ、生徒の急減期がもたらす諸問題、文部省帰国子女教育研究協力校の指定、本県における「ふれあい教育」の実践など、新しい時代に即応した様々な教育改革の動きに、適切な対応が求められている時代でした。私もこの2年間に亘る在職中、はなはだ微力ではありましたが、一意専心学校づくりのためにその職務を遂行して参りました。

創立50周年の歴史は、一朝一夕に得られたものでは有りません。「風雪に遇わざれば春を見ず」とある先哲の詩に謳われている様に、歴代校長をはじめ、教職員各位のご尽力は申すに及ばず、PTA各位のご支援、同窓生各位のご活躍、地域社会のご協力など、多くの先輩諸賢のおかげで今日の創立50周年の春を迎える事が出来たのであります。これまでのご尽力に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、私が今でも鮮明に心に残っている出来事があります。それは前庭の「歌碑」についての思い出です。当時27期生の卒業記念品として、この「歌碑」が贈られる事になりました。そしてそこに刻まれる文字が、当時校長の私に任されることになったのです。

新城高校と共に永く心に残る言葉であってほしいと願い、古今東西の名言に目を通したり、様々な文章を読んだり致しました。その中で、「本校の歌碑の言葉はこれだ」と強く心に響く言葉に出会ったのです。

「清楚質実」その言葉は、ほかでもない本校の校歌の中にありました。現在も、生徒の皆さんによって折に触れ歌われているでありましょう新城高校の校歌は、力強く青年の理想像を歌い上げております。創立から50年の時を経てなお、地域に信頼され、名門校としての発展をつづける本校には、誠にふさわしい言葉であったと、今でも自負しております。

結びになりましたが、50周年を迎えました事は、更なる発展への出発点でもあります。ここに心新たに、本校教育の充実発展と、より格調高い校風の樹立を目指して邁進する事を心より祈念し、お祝いの言葉と致します。



清楚質実の石碑

平成元(1989)年度

大学入試センター試験開始
新城小学校付属幼稚園保育実習協力

4月6日 27期生入学式(468名)
5月2日 校外LHR
6月14日 合唱コンクール
7月10～11日 球技大会
9月10日 体育祭
9月16～17日 文化祭
10月3～7日 2年修学旅行
10月 1, 3年社会見学
12月13～14日 球技大会
12月22～26日 スキー教室
3月1日 25期生卒業式

●世相

消費税導入 参院選にマドンナ旋風 平均株価最高値3万8915円 社会参加ができない「おたく」増加

●流行語

オバタリアン セクシャル・ハラスメント 山が動いた

●流行歌

「寂しい熱帯魚」「とんぼ」「川の流れるように」

●県内・国内・国際

裕仁天皇崩御、年号平成に(1月)、横浜博覧会YES'89開幕(3月)、横浜アリーナ開業(3月)、川崎の竹やぶから札束2億円余、古金庫からは1億7千万余(4月、6月)、美空ひばり死去(6月)、天安門事件(6月)、神奈川サイエンスパーク(KSP)が高津区に設置(7月)、横浜ベイブリッジ開通(9月)、サンフランシスコ大地震(10月)、坂本弁護士一家失踪事件(11月)、ベルリンの壁崩壊(11月)



■ 母校へ感謝

栄居 学 (31期生)

新城高校が創立50周年を迎えられました事、心よりお慶び申し上げます。

私は平成5年(1993年)に新城高校に入学しました。当時、クラスや生徒の雰囲気が非常に良かった事に衝撃を覚え、その後、多くの仲間ができて今も付き合いが続いております。そういった良い縁をつくれた事もあり、新城高校には本当に感謝しております。

高校時代、私はラグビー部に所属しておりました。学校生活の大半は部活動が占める生活で、ラグビー部の仲間はもちろん、他の部活動などとも連携をして、活発な高校生活を過ごしました。部活の練習は厳しいものでしたが、すぐにラグビーが好きになり、夢中になりました。さらに練習が終わると一層元気になり、夏はそのままプールに飛び込んだり、学校周辺に友人とよく遊びに行きました。

また、修学旅行では、飛行機の使用が初めて認められた学年であり、沖縄に行ったのをよく覚えております。

いい仲間にも恵まれてのびのびと、学校での生活を謳歌しました。勉強の方は大変に苦労しましたが、それを含めても大変よい経験をさせてもらった新城高校に感謝です! 母校のますますの発展のために、これからも一緒に頑張る決意です!



平成2(1990)年度

4月6日 28期生入学式(390名)
5月2日 校外LHR
6月20日 合唱コンクール
7月9~10日 球技大会
9月9日 体育祭
9月15~16日 文化祭
10月4~8日 2年修学旅行
10月5日 1,3年社会見学
12月12~13日 球技大会
12月 スキー教室
3月1日 26期生卒業式
3月22日 管理棟・北棟施設整備工事完了

●世相

ちびまる子ちゃん人気 大相撲・若貴フィーバー ルーズソックス流行

●流行語

ファジー オヤジギャル 3K 成田離婚 アッシー君・ミツグ君

●流行歌

「おどるポンポコリン」
「真夏の果実」

●県内・国内・国際

ヘルー大統領に日系二世のフジモリ氏(6月)、礼宮さま、川嶋紀子さんと結婚、秋篠宮家創立(6月)、湾岸危機で邦人人質も(8月~12月)、県個人情報保護条例施行(10月)、川崎市が全国初オリンピックズマン制度(11月)、天皇即位の礼(11月)

■ 新城高校ありがとう

布川勝也 (職員)

83年に教員になって以来今日まで、最も長く勤務したのが新城高校です。90年から11年間心血を注いだ学校ですので、一方ならぬ愛着があります。(12年間在籍し、最後の1年間は高島屋勤務でした)

【29期生】92年1月19日、1年3組は、大挙して、私の結婚式に駆けつけてくれました。92年10月7日、2年8組担任として行った修学旅行中に双子が生まれました。岩手県東和町農家民泊旅行という画期的な旅行でした。私は修学旅行係ではなかったけれども、風当たりの強い場所にはいつも私が立つ、そういう役回りでした。3年3組、「本当に行きたい学校でない限り指定校を使うな」と言ったら、みんな素直に従ってくれて、実は私は焦りました。みんななんとか合格してくれて、ほっとしたものです。(2回目の担任がなかなか回って来ず、33期生の副担任を3年間務めました)

【36期生】1年8組、事件の多い、しかし愉快的なクラス。私が参ってしまうのではないのかと生徒から心配されました。ありがとう。楽しかったよ。2年5組、1年のときに担当しなかったクラスの生徒が多く、新鮮な出会いでした。3年6組、当時、服装の色使いが派手だった私にシックで素敵なネクタイをありがとう。大切にしています。

そして、ソフトテニス部。私は、ソフトテニス経験はありません。最初は、部員と一緒に球を打っていました。しかし、途中から、部員の「勝ちたい」という気持ちに応えるために、私は、打つ(=下手なところを見せる)のをやめ、自分ではできないことを、一生懸命、口で教えました。でも、みんな「口先先生」を大切にしてくれました。ありがとう。最後の年、女子団体が県ベスト8となりました。もっと勝てるはずの選手でしたが、私の力が足りませんでした。

私の教員魂は新城高校に支えられています。そして、その魂は、若い教員に受け継がれていきます。新城高校、ありがとう。



平成3 (1991) 年度

築山の「橋の池」石碑完成
4月6日 29期生入学式(377名)
5月2日 校外LHR
6月20 合唱コンクール
7月8～9日 球技大会
8月22日 体育館改修工事完了
9月8日 体育祭
9月14日～15日 文化祭
10月1日～5日 2年修学旅行
10月3日 1, 3年社会見学
12月12日～13日 球技大会
12月 スキー教室
3月1日 27期生卒業式

●世相

湾岸戦争で国際貢献論議 紺ブレ(紺のブレザー)が流行 バブル崩壊で地価下落

●流行語

バブル崩壊 …じゃ、あ～りませんか 損失補填 過労死 パツイチ

●流行歌

「北の大地」「愛は勝つ」「ラブストーリーは突然に」

●県内・国内・国際

湾岸戦争突入、自衛隊も掃海艇派遣(1～5月)、長崎雲仙普賢岳で大火砕流(6月)、ソ連邦崩壊(8月)、ロッテオリオンズが千葉移転発表(9月)

■ 地域と共に発展する新城高校

甲谷武士 (12代校長)



このたび、新城高等学校が創立50周年を迎えられましたことを、皆様と共に心からお祝い申し上げます。丁度私が赴任した年は創立30周年の節目の年でした。

早速、記念式典の準備が初仕事となり、多忙な毎日でしたが、PTA・教職員の皆様のご助力をいただき盛大に式典の日を迎えることが出来ました。創設期の頃の新城高校は南武線の中原駅から続く田園風景の中

に建つ、のどかな学校というイメージでしたが、30年後には都市化が進み静かで落ち着いた環境の中で地域に溶け込んだ学校になっていた様に記憶しております。

当時、学校の校章の橘に目がとまり周囲の歴史環境に関心を持ち調べたところ、地域の古い地名である橘樹郡にちなんでデザイン化されていることを知りました。しかし校庭にはどこにもその姿が無く、私も橘はミカンの総称だとばかり思っておりました。はずかしいしだいです。辞典で調べると日本列島におけるミカンの仲間の唯一の野生種で、その改良種がヤマトタチバナとして珍重されミカンへとさらなる改良が進んだのではないのでしょうか。橘のように新城高校の改善と発展がさらに進むことを「記念」にと思い、野生のタチバナを求めました。入手困難なこともあり、高価でしたが、やっと苗(1m)を求め学校正門のロータリーの植込みに30周年記念の植樹をいたしました。生長して、はたして原生(野生)の橘か?どうかいまだに心配で懷疑をもっております。

この新城高校のシンボル「タチバナ」の生長と学校の末長い発展を願い、見守っていききたいと思います。



校章が制定されるまでに出されたデザイン画



30周年記念で植樹されたタチバナ

平成4(1992)年度

- 4月7日 30期生入学式(337名)
- 4月28日 校外LHR
- 6月25日 合唱コンクール
- 7月8日~9日 球技大会
- 9月13日 体育祭
- 9月19日~20日 文化祭
- 10月6日~10日 2年修学旅行
- 10月9日 1,3年社会見学
- 10月31日 30周年記念式典挙行
- 12月10日~11日 球技大会
- 12月24日~28日 スキー教室
- 3月1日 28期生卒業式

●世相

佐川事件で政界激震・新党ブーム
金融機関の不良債権問題化 きん
さんきんさん もつ鍋ブーム

●流行語

ほめ殺し 複合不況 今まで生きてきた中で一番幸せ

●流行歌

「涙のキッス」「君がいるだけで」

●県内・国内・国際

暴力団対策法施行(6月)、リオデジャネイロで地球サミット(6月)、米ソ首脳が核削減合意(6月)、五輪200m平泳ぎで14歳の岩崎恭子金メダル(7月)、大洋ホエールズが横浜ベイスターズに改称(9月)、PKO協力法成立、自衛隊カンボジアへ(10月)、逗子市長選で東日本初の女性市長・沢光代氏(11月)、新百合ヶ丘にエルミロードがオープン





祝!! 創立50周年

大坂晋一 (32期生)

新城高校創立50周年、誠におめでとうございます。卒業生として、大変喜ばしく思っております。

さて、私は第32期の生徒として、3年間の学校生活を過ごしましたが、特段勉学に励んだ記憶はなく、ハンドボールの部活動や友人達との楽しい思い出しかありません。また、高校卒業後も、ハンドボール部のコーチとして、大学生生活の4年間をほぼ毎週のように通っていました。

その後、私は地元の川崎市消防局に入庁しましたが、入庁して驚いた事に、新城高校のOBが多い事 (もちろん 社歴、年齢、階級はそれぞれ違いますが……)、そして出身高校を聞かれて新城高校と答えると、一目置かれる事が多い (笑) など、卒業後も様々な面で新城高校と接する機会が多い事に喜びを感じ、新城高校のOBで良かったと心から思いました。ひとえに新城高校の良き伝統を築き上げてくれたOBや関係者の皆様のお陰だと思っております。

私はこれからも新城高校のOBとして、先輩が築き上げた伝統を引き継ぎ、後輩達にも新城高校のOBで良かったと誇れる様に、微力ではありますが貢献させていただきます。

新城高校万歳!



平成5 (1993) 年度

- 4月6日 31期生入学式(315名)
- 4月27日 校外LHR
- 6月24日 合唱コンクール
- 7月8日～9日 球技大会
- 9月11日 体育祭
- 9月18日～19日 文化祭
- 10月4日～8日 2年修学旅行
- 10月8日 1, 3年社会見学
- 12月10日～13日 球技大会
- 12月24日～28日 スキー教室
- 3月1日 29期生卒業式

●世相

Jリーグスタート 皇太子・雅子さまご成婚「清貧の思想」(中野孝次) ベストセラーに 冷夏で40年ぶりの米不作

●流行語

規制緩和 聞いてないよオ サポーター

●流行歌

「島唄」「負けないで」

●県内・国内・国際

日産自動車が生産工場の車両生産中止発表(2月)、川崎市教委が指導要録開示(2月)、海洋レジャーランド八景島シーパラダイスがオープン(5月)、地上296mのランドマークタワー開業(7月)、金丸信前副総裁を逮捕・ゼネコン汚職拡大(7月)、細川護国政誕生(8月)、カンボジアPKOで日本人死傷(9月)、ベルマーレがJリーグ昇格、ヴェルディ移転騒動(11月、12月)

■ 新城高校の思い出

芳賀秀高（職員）

平成5年から10年間いた新城高校での生活で一番印象に残っているのは体育祭の準備である。夏休み前に結団式を行い、夏休みに入ってから本格的に準備が始まった。

部活で夏休みに学校に行き、準備室で着替え、3年の教室を通して体育館に行っていたのだが、教室や中庭で3年生が毎日のように体育祭の準備をしているのを目にした。行ったばかりの頃は、土曜日日曜もなく、毎日のように練習していたのが思い出される。何年かすると、休日は練習しないという約束事ができたが、朝から学校に来て、マスコットを作ったり、応援やエンディングの練習や打合せをしていた。応援は男子生徒が中心となり、エンディングは女子生徒が中心となって、ああでもない、こうでもない、と時間をかけてやっていた。毎日来ているので、受験勉強はちゃんとやっているのかと心配になったものである。

新学期が始まると、1、2年生も参加するようになり、放課後はいたる所で練習をしていて、早く帰るのに車で出るとき苦労したのを思い出す。

当日、応援やエンディングを見ると、ほとんど用具係だったので一番前で見ていたが、夏休みから苦労した甲斐があったなとつい思ってしまった。

今思うと懐かしい思い出である。

平成6（1994）年度

第2土曜日休業

修学旅行航空機利用開始

4月6日 32期生入学式(306名)

5月2日 校外LHR

6月14日 合唱コンクール

7月11日～12日 球技大会

9月10日 体育祭

9月17日～18日 文化祭

10月4日～7日 2年修学旅行

10月7日 1、3年社会見学

12月12日～13日 球技大会

12月24日～29日 スキー教室

3月2日 30期生卒業式



1組 明日に渡れ 指揮 山本亜希子 伴奏 胡 耕一郎

●世相

自社さ政権誕生 関西空港が開港
円レートが100円突破 猛暑で列
島渇水状態

●流行語

価格破壊 同情するなら金をくれ
すったもんだがありました

●流行歌

「愛が生まれた日」「イノセント・
ワールド」「ロマンスの神様」

●県内・国内・国際

相模台工が全国高校ラグビーで初
優勝(1月)、新横浜ラーメン博物
館オープン(3月)、国立横浜国際
会議場オープン(4月)、名古屋で
中華航空機墜落(4月)、村山新
内閣発足(6月)、松本サリン事件
(6月)、日本人初の女性宇宙飛行
士向井千秋さん宇宙へ(7月)、北
朝鮮の金日成主席死去(7月)、
湘南ナンバー誕生(10月)、川崎市
のシンボルマーク決まる(12月)

バドミントン部との10年間

塚原秀昭 (38期生)

新城高校を卒業しておよそ10年、指導者という形でバドミントン部に携わってきました。普段の練習や大会を選手と共有することでたくさんの感動をいただき、たくさんのOB・OG、顧問の先生との関わり合いの中で、一生ものの大切な関係を築くことができました。バドミントン部、新城高校には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

バドミントン部には翼成会というOB会の組織が存在します。活動内容としては、月に約2回、金曜日の夜に行われる練習会と、年2回のOB会総会です。OB会総会は、現役生と練習試合を行い、夜はOB・OGで集まり飲み会も行います。この総会で初めて知りあう方も多く、バドミントン部の縦の繋がりをより強くする大切な行事となっています。

私は現在、仕事の休みを利用して週に1回から2回のペースで部活に参加し、指導に当たっています。指導内容は、練習メニューの作成や技術・トレーニングの指導、時には選手の相談に乗ることもあります。たくさんの後輩たちに指導してきた中で、技術・知識共にまだまだ未熟だと思うことが多々あり、自分なりに勉強をし、時には社会人クラブに参加して指導して頂くこともありました。きっと、私の指導で成長した選手もいるんでしょうが、後輩たちを指導していく中で自分自身が成長させられていることのほうが多かったように思えます。このような機会を与えてくれた新城高校に本当に感謝しています。

約10年の指導の中で、2年間だけコーチとしてやらせてもらったこともあります。いまは完全にボランティアで指導をしています。これは、私の中では部活に対する恩返しの気持ちであり、私達の代で果たすことのできなかった関東大会出場という夢を後輩たちに託しているものなんだと思います。

今年も選手達は関東大会出場という大きな目標を掲げて、日々全力で練習に取り組んでいます。私も選手達の為に何か少しでも役に立てるように頑張っていきたいと思っています。これからもずっと、新城高校に何ら

かの形で恩返しできればと思います。また、今後更に新城高校の全部活動が繁栄していくことを願っております。



平成7 (1995) 年度

第2・第4土曜日休業
4月6日 33期生入学式(270名)
5月9日 校外LHR
6月20日 合唱コンクール
7月14日～15日 球技大会
9月9日 体育祭
9月16日～17日 文化祭
10月4日～9日 2年修学旅行
10月 1, 3年遠足
12月18日～19日 球技大会
3月1日 31期生卒業式



●世相

オウム真理教事件 安全神話揺らぐ ボランティア元年

●流行語

がんばろうKOBE マインドコントロール 超氷河期 インターネット

●流行歌

「ズルい女」 「奇跡の地球」 「ラブ・ラブ・ラブ」

●県内・国内・国際

衆院小選挙区比例代表並立制の関連法案が成立(1月)、阪神淡路大震災(1月)、地下鉄サリン事件(3月)、統一地方選、岡崎洋知事が誕生(4月)、横浜駅などで異臭事件続発(4月)、無党派の風で青島都知事誕生(4月)、とどろきアリーナ開館(8月)、宮ヶ瀬ダム貯水開始(10月)、野茂英雄投手大リーグで活躍、新人王(11月)、イスラエルのラビン首相暗殺(11月)、横浜マリノスがJリーグチャンピオンシップ初制覇(12月)

■ 新城高校での生活を振り返って

新沢陽介（33期生）



創立50周年を謹んでお祝い申し上げます。
また、新校舎竣工と今後も続いていく母校を
卒業生として嬉しく思っています。

私は1998年卒業の33期生で現在34歳です。
から、これまでの人生のちょうど中間の時期を
新城高校で過ごしました。

振り返ると、高校時代というのは周りから
大人として認められる最初のステップだった
と思います。高校に入学した当初、中学まで

の生活に比べ、圧倒的に自由を感じました。校則など何かと行動を規制
される中学生とは違い、特に新城生は自身の行動に対してある程度の裁
量が認められていたように思います。

次に、高校の先生は先生ではあるけれども、人間でした。と言うの
は、中学までの完全なる大人で絶対的存在であった先生像とは違い、高
校の先生方は、どこか隙を見せてくれていました。生徒を一人の人間と
して、勿論、対等ではありませんが、尊重して接してくれていた側面が
あったように思います。

大学受験の際、ある先生に言われた言葉を強烈に覚えています。「大
学生というのは大人には成りきれていないけど、周りは大人として接し
てくれる、とても楽しい時期だ。僕もあの頃に戻りたい！」こう嬉しそ
うに話してくれた先生の表情に、自分も受験をがんばろうと思うと同時
に、何だか先生の人間臭さを感じ、楽しく思ったものでした。

このように、自由を感じた高校生活ですが、そこには、新城高校は学
区ではアタマの良い学校であったし、変な問題を起こす生徒はいない
という信用の上に自由な校風があったのだと思います。今後も、この自由
な校風のもと、新城高校の更なる発展を願っております。

最後に高校生活の一番の思い出で終わりたいと思います。当時、ポケ
ベルでのメールのやり取
りからガールフレンドに
なった18歳の同級生がい
ました。その女性も今や
34歳になり、私の妻とし
て、2歳の娘と私の為
に、今日もおいしいご飯
を作ってくれています。



1997年9月遠足



33期生修学旅行

平成8（1996）年度

4月6日 34期生入学式（303名）
5月14日 校外LHR
6月26日 合唱コンクール
7月12～16日 球技大会
9月8日 体育祭
9月14日～15日 文化祭
10月9日～12日 2年修学旅行
10月 1, 3年遠足
12月16日～18日 球技大会
3月1日 32期生卒業式
3月17日～19日 球技大会

●世相

O-157や狂牛病が社会問題に
ルーズソックスが流行 プリクラ
（プリント倶楽部）大ヒット 冬
夏2度の水飢きん

●流行語

自分で自分をほめてあげたい
メークドラマ チョベリバ・チョ
ベリグ

●流行歌

「バンザイ好きで良かった」「アジ
アの純真」

●県内・国内・国際

村山内閣総辞職、後任首相に橋本
龍太郎氏（1月）、川崎市が職員
採用試験で消防職を除き国籍条項
を撤廃（5月）、O-157被害広がる（7月）、有森裕子が女子マラ
ソンで銅メダル（7月）、薬害エ
イズ官業トップら逮捕（8月）、
“寅さん”瀧美津子死去（8月）、新
制度で初の総選挙、自民復調（10
月）、川崎公害訴訟で17年ぶり和
解（12月）、ペルー日本大使公邸
人質事件（12月）

■ 新城高校の思い出

山田 勉 (13代校長)



創立50周年おめでとうございます。

新城高校が半世紀にわたり地域に定着し地域の発展に寄与してきた事に、心からお礼申し上げます。川崎南部地区のトップ校として、その存在を高め、維持された事に対して多くの関係者の方々のご努力に感謝申し上げます。

新城高校に最初に行った時の印象は忘れません。私の川崎のイメージは、工場街、革新都市でした。しかし、歩いた街はのどかで、畑のパンジー栽培が盛んで苗がいっぱいでした。

校長として過ごした2年間は、学校行事、部活動も盛んで大学進学を目指し勉強している生徒に囲まれていました。男女比が全校で約100余人、女生徒が多く活発で、男子生徒はおとなしく感じられました。

最初の城高祭のパンフレットに、多くの先輩の築いた伝統に『！新城 Challenge！』の精神で、新たな伝統を目指して頑張ってほしいと声を掛けました。生徒は活躍し頑張りました。

今振り返ってみると色々な思い出が、頭に浮かんできます。まず、新城の商店街の入口に入るとアーケードが完成した時、石井先生の指揮で吹奏楽部が、入口で演奏した事が思い出されます。7月の終業式で全国大会に出場を決めた水泳部の生徒にエールを送った事でした。校長がエールを送るなんて生徒もびっくりしたことでしょう。

1月に開催された「アリラン祭」で創作劇「ひろこと寛子（かんじゃ）」の脚本を書いた李理紗さんです。民族差別の実態について勉強させられました。隣の新城小学校付属幼稚園の園児と「保育実習」の一環として園に行き一緒に遊んだり、勉強したり城高祭に招待した交流、小川先生の先見の授業も大変印象に残っています。帰国子女に独自の教科書を作ってくれた先生方、ボクシング大会に出たい生徒のため、引率者として体育センターに行った事等、思い出は尽きません。

その他、PTA、そのOB会「城親会」の皆様の温かい学校に対する援助も忘れられません。

これから、100周年を目指し、新城高校の更なる発展を祈念します。

平成9 (1997) 年度

4月7日 35期生入学式(288名)
5月13日 校外LHR
6月19日 合唱コンクール
7月14～16日 球技大会
9月13日 体育祭
9月20～21日 文化祭
9月29日～10月4日
2年修学旅行
9月 1, 3年遠足
12月17～19日 球技大会
3月2日 33期生卒業式
3月18～20日 球技大会

●世相

たまごっちブーム 金融機関の破たん相次ぐ 消費税5%にアップ

●流行語

マイブーム ババラッチ

●流行歌

「Can You Celebrate ?」
「珍島物語」

●県内・国内・国際

県など国籍条項撤廃(4月)、神戸連続児童殺傷事件(5月)、「脳死は人の死」臓器移植法が成立(6月)、東京湾で「ダイヤモンド・グレース」が座礁(7月)、ダイアナ元英皇太子妃パリで事故死(8月)、「貧民街の聖女」マザー・テレサ死去(9月)、北朝鮮、金正日氏が権力継承(10月)、山一証券破たん(11月)、韓国大統領に金大中氏(12月)、東京湾アクアライン開通(12月)、川崎フロンターレ誕生





平成25年、家族でこどもの国へ



平成9年度体育祭

■宝物をありがとう

中園(君島)加奈子(33期生)

創立50周年おめでとうございます。

合格発表を見に行ったら涙がにじんだあの日のことを、鮮明に思い出します。校舎の、温かみのある木の床が好きでした。学食や自販機は、何だか大人になったみたいで嬉しかったです。学年カラーの貴重品袋はまだありますか？ 中庭や渡り廊下では、よく友達と話したりふざけたり。勉強はそこそこに、文化祭や体育祭にはしゃいでいました。毎日が楽しかったです！

当時の先生方に感謝するのは、生徒の自主性をとても大切に下さったこと。小さなことにはあまり口を出さず、私たちの活動をじっと見守ってくれていたのだと、大人になった今はよく分かります。青春のあの頃、否定ではなく肯定・応援してもらったことで、のびのびとした高校生活を送ることができたと思います。ありがとうございます。

そしてその高校生活の中で、私には大切な友達と思い出ができました。16歳から18歳を共に過ごした仲間と、34歳になった今も折に触れ、交流をしています。年に数回、顔を合わせれば笑顔があふれ、おしゃべりが弾みます。久しぶりでも変わらない関係、皆も頑張っていると思うと、不思議と力が湧いてきます。友達は人生の宝物だと、年を重ねるごとに実感しています。

そんな宝物に出会えた新城高校、ありがとう。沢山の思い出もありがとう。これからも皆の青春の舞台であり続けてほしいと思います。100周年へ向けて、益々のご発展をお祈りしています。



33期生3年6組クラス写真

平成10(1998)年度

- 4月7日 36期生入学式(310名)
- 5月12日 校外LHR
- 6月18日 合唱コンクール
- 7月13～15日 球技大会
- 9月12日 体育祭
- 9月19～20日 文化祭
- 9月29日～10月2日
2年修学旅行
- 10月 1, 3年遠足
- 12月17～19日 球技大会
- 3月2日 34期生卒業式
- 3月18～20日 球技大会

●世相

サッカーワールドカップ予選
フィーバー 松坂旋風 映画「タイタニック」

●流行語

ハマの大魔神 だっちゅーの
キレる 凡人・軍人・変人

●流行歌

「夜空ノムコウ」「誘惑」

●県内・国内・国際

長野冬季五輪金メダルラッシュ(2月)、大蔵、日銀で接待汚職、総裁ら辞任(3月)、初の兄弟横綱(若・貴)誕生(5月)、和歌山毒入りカレー事件で容疑者逮捕(8月)、空母キティホーク横須賀配備(8月)、横浜高が春夏甲子園連覇(8月)、国民体育大会「かながわ・ゆめ国体」開催(9月)、世界のクロサワ(黒沢明監督)死去(9月)、長銀、日債銀破たん、金融健全化に60兆円(10月)、ベ이스ターズ日本一(10月)

■ 人生を支える2つのこと

樋原 恵 (33期生)

私の高校時代は、人生を支える2つのものに出会えた3年間でした。ひとつは野球部のマネージャーとしての活動です。伝統ある野球部では、先輩、後輩、OBの方々との上下関係、合宿等の運営など、社会に出るための基本を学ばせて頂きました。私の同期は部員2名、マネージャー3名と、他の代に比べて圧倒的に少ない人数だったのですが、3学年あわせても部員が8名しかいないという時期もありました。

そんな苦境の中、私が2年生の時（当時在籍部員14名ほど）の夏の予選大会で、部員数3倍以上の私立高校を相手に、予想を裏切る勝利を収めたことがありました。

私の人生の中で「一番嬉しかった事」を聞かれたら、迷わずこの時と言えるような瞬間でした。「仲間とともに本当に頑張ったと言える3年間」があることが、社会に出たあとの自分を支えているような気がします。

もうひとつ、いまだによく会う友人たちも高校時代に得たかけがえのない宝物です。女性は結婚や出産などライフスタイルの変化で疎遠になることもあります。海外へお嫁にいった友人でさえもその関係は途切れることなく続いています。会えば、お互い変わらず、高校生に戻ったかのような気がします。節目ごとに集まり、たわいのない会話のできる友人がいることが、どれほど人生の支えになっているかわかりません。

私は今、武蔵新城で仕事をしています。現在建替え中の新城高校の側を通りかかると自分の知っている校舎が変わりゆく姿に少し寂しい思いもします。

一方で当時と変わらない制服を着た現役高校生たちやグラウンドを見ると、あの頃の思い出がつい最近のように思えることもあります。当時の倍の年齢になり、変わりゆく校舎を眺めつつ、自分自身も変化していかなければと思う今日この頃です。



33期生京町中学校出身者7名



平成9年度野球部メンバー

平成11(1999)年度

4月6 37期生入学式(279名)
5月7日 校外LHR
6月18日 合唱コンクール
7月13～15日 球技大会
9月11日 体育祭
9月18～19日 文化祭
10月4～8日 2年修学旅行
10月 1, 3年遠足
12月17～20日 球技大会
3月2日 35期生卒業式
3月17～21日 球技大会

●世相

神奈川県警で不祥事相次ぐ だんご3兄弟ブーム EUが「ユーロ」導入 原宿などにカリスマ美容

●流行語

ブッチホン リベンジ カリスマ美容師 学級崩壊

●流行歌

「だんご3兄弟」「LOVEマシーン」

●県内・国内・国際

初の脳死移植(2月)、コソボ紛争でユーゴ空爆(3月)、東京都知事に石原慎太郎氏(4月)、川崎公害訴訟17年で和解(5月)、国旗国歌法成立(8月)、川崎市岡本太郎美術館がオープン(10月)



平成8年の夏の県大会で延長11回の接戦の末、5-4で三浦を下して喜ぶバッテリー

■ 回想—わが思い

八戸敏夫 (14代校長)



平成9年4月から2年間、新城高校に勤務しました。様々なことが思い出されます。

生徒を取りまく環境、自然も優しく人とかかわりも心温まる時の流れの中で学校経営や教育実践ができたことと思います。

当時は高校教育の改革が盛んに推進され特色ある学校づくりに県下全校で取り組んでいました。学校の特色づくりには職員の高校改革に取り組む姿勢・意識の高いことが

重要なことでした。新城高校の職員の皆さんは、よく校長室に見えたのです。その際、意見交換を活発にしながら職員の皆さんと人間関係を構築し、特色づくりに対する理解を深めたのです。校長と職員との問題意識や課題認識が異なった場合でも互いに合意点を見出すために時間をかけて協議したものです。何事にも丁寧に何度も説明すれば必ず理解してもらえるという考え方を基にして学校経営をしたことを思い出します。

地域の熱心な誘致運動が実って創立された新城高校は地域のニーズに十分対応するという考え方を根幹とし教育を展開したのです。多彩な教育を実践していた新城高校ですが、その内容が地域の教育関係機関や地域の方々に十分伝わっていなかった状況が見られたのです。そこで、毎年数度、地域の全公立中学校や行政官公署等を訪問し学校理解を深めたのです。このことは山積していた学校課題の解決に当たり大きな力となったことを覚えています。

生徒諸君は学業・部活動・学校行事等に果敢に積極的に取り組んでいました。城高祭での生徒の創造的な演出・演技による地上最大のショーで来訪者の高い評価を得たこと、修学旅行では沖縄の美しい自然の中で生徒一人ひとりが体験し感動したこと等を通して大きく成長する生徒の姿に教育の本質を見出したことが思い出されます。

教育者としての信念を持ち続け学校経営に携わり責務を果たせたことに多くの関係者の方々に感謝する次第です。

創立50周年おめでとうございます。新城高校の益々の発展を祈念します。



来訪者から高い評価を得ていた城高祭のワン・シーン

平成12(2000)年度

文科省保育介護体験事業実践研究校指定

4月6日 38期生入学式(230名)

5月10日 校外LHR

6月16日 合唱コンクール

7月13~15日 球技大会

9月9日 体育祭

9月16~17日 文化祭

10月3~6日 2年修学旅行

10月6日 1,3年社会見学

12月16~19日 球技大会

3月3日 36期生卒業式

3月16~19日 球技大会

●世相

iモード人気 2000年問題 BSデジタル放送開始 三宅島噴火で全島民避難

●流行語

おっはー Qちゃん ジコチュー IT革命

●流行歌

「TSUNAMI」「らいおんハート」「箱根八里の半次郎」

●県内・国内・国際

新潟で9年間監禁の少女保護(2月)、介護保険制度スタート(4月)、17歳少年が西武バスジャック(5月)、松竹の大船撮影所閉鎖(6月)、朝鮮半島初の南北会談(6月)、そごう倒産(7月)、沖縄守礼門の2千円札発行(7月)、オリンピック女子マラソンで高橋尚子選手V(9月)、白川英樹氏にノーベル化学賞(10月)、シドニー・パラリンピックで成田真由美さんが金メダル6個(10月)、遺跡発掘ねつ造(11月)

卒業後も繋がる新城高校

田辺(勝田) 頌子 (36期生)

私の新城高校で過ごした3年間は、周りの人達と少し違っていたかもしれません。

音楽大学の作曲科受験を目指していた為、学校生活が始まると同時に放課後は、作曲、ピアノ、ソルフェージュなど、多い時で週4日のレッスンへ千葉まで通っていました。作曲の課題やピアノの練習に追われる毎日だったので部活動はできず、城高祭にも関わりが薄かったです。そんな中でも気の置けない友人に恵まれ、学校生活では楽しい思い出をたくさん作って卒業しました。

ところが、これで新城高校との繋がりは終わらなかったのです。無事に音大へ進学した私は、教育実習で再びお世話になりました。女子だけのクラス、通称「女クラ」を受け持ち、一緒に合唱コンクールにも出ました。実習終盤には、彼女達からのサプライズで歌や色紙のプレゼントがあり、感動して泣いてしまったのを覚えています。

それから現在まで、今度は合唱コンクールの審査員や伴奏者として、多々呼んで頂きました。ステージや舞台袖で新城生のハツラツとした一生懸命な姿を見て、元気をもらっています。

新城高校の友人とは、卒業してからも男女隔てなくずっと交流があります。みんなでご飯に行ったり、旅行をしたり。ひとたび集まると、何年経っていても高校時代に戻ったかの様な雰囲気になります。

そして親友の紹介で、再会したクラスメイトと結婚しました。それにより、互いに共通の新城生の友人が年代を問わず増え、輪の広がりを嬉しく思っています。

私の様に、卒業後から新城高校との繋がりをジワジワと感じる方も、中にはいらっしゃるのではないのでしょうか。

新城高校に通って良かったと、今、心から感謝しています。



コンサート終了後に生徒たちと記念撮影

平成13(2001)年度

高等学校文化連盟加盟

- 4月6日 39期生入学式(275名)
- 5月11日 校外LHR
- 6月19日 合唱コンクール
- 9月8日 体育祭
- 9月15～16日 文化祭
- 10月3～6日 2年修学旅行
- 10月5日 1,3年社会見学
- 12月15～18日 球技大会
- 3月2日 37期生卒業式
- 3月16～19日 球技大会

●世相

小泉政権誕生 歌舞伎町ビル火災で44人死亡の大惨事 「千と千尋の神隠し」空前のヒット

●流行語

米百俵 聖域なき改革

●流行歌

「波乗りジョニー」

●県内・国内・国際

えひめ丸が米原潜と衝突沈没(2月)、池田小児童殺傷事件(6月)、アメリカ同時多発テロ(9月)



合唱コンクールで3年生の時に大賞、指揮者、ピアニスト賞の3冠に



修学旅行は北海道へ



■元氣いただきました!

高嶋 章 (15代校長)

神奈川県立新城高等学校創立50周年、おめでとうございます。

私は、赴任早々の始業式で、いきなり「今、私はベンチプレスで、バーベルを100kg挙げることが出来ます」と話し始めましたが、運動部の男子以外の生徒の皆さんは???

多分、その後の話の内容は聞いていただけなかったのではと、今でも反省しています。

「40歳を過ぎてから、体力の低下を自覚するようになり、身体を鍛える意味で、勤務していた学校の柔道部の生徒達と始めたのがベンチプレスでした。はじめ60kgを1回しか挙げられなかったものが、毎日練習を続けるうちに、3ヶ月位から記録は着実に伸びました。これが励みになり、学校を異動した後も、フィットネスクラブに通い、練習を今でも続けています。継続は力なり! 生徒の皆さんも、毎日・毎時間の授業を真剣に取り組む事を心がければ、実力はつき、自分の目標とする進路に進む事が出来ます」と結んだのですが……。

こんな体力自慢の私が、定期健康診断の結果が病院から連絡があり、「大至急、精密検査を受けて下さい」。その結果は「胃に悪性の腫瘍が見つかりました」。癌の宣告を受け、胃を5分の4摘出する手術を8月に受けました。「心身一如」と言いますが、身体の調子が悪いと心まで折れてしまい、9月に退院出来た後は直ぐにでも退職、と考える毎日でした。

そんな時、その年の城高祭のテーマは「城熱」に決まり、実行委員の皆さんが、私のラグビー姿に「城熱校長」とタスキをした姿を城高祭

のポスターにして、これを横山教頭が病室まで届けて下さいました。皆さんの温かい心を感じ、生きる勇気とエネルギーが湧いて来ました。この気持ちが回復を早め、10月の職場復帰以後、定年退職まで無事勤める事が出来、3年前には古希も無事越える事が出来ました。新城高校の皆さんには元氣をいただきました。本当にお世話になりました。

先輩達が築き上げた良き伝統を継承される事を心から祈っています。

第34回 城高祭 テーマ「城熱」

体育祭 9月9日(土) 9:20~
文化祭 9月16日(土) 10:00~15:00
17日(日) 9:30~15:00
(17日休校は14、15日まで)
本誌別冊に掲載の祭は、3冊分まで掲載予定です。本誌の掲載はご連絡下さい。

神奈川県立新城高等学校

平成14(2002)年度

週5日制実施

特色づくり推進事業支援対象校

4月6日 40期生入学式(272名)

5月10日 校外LHR

6月18日 合唱コンクール

7月12~16日 球技大会

9月14日 体育祭

9月21~22日 文化祭

9月30日~10月4日

2年修学旅行

10月 1, 3年遠足

11月7日 40周年記念事業

12月17~19日 球技大会

3月4日 38期生卒業式

3月18~20日 球技大会

●世相

多摩川のアザラシ「タマちゃん」
フィーバー、拉致被害者が帰国

●流行語

タマちゃん W杯 貸しはがし

●流行歌

「VOYAGE」「涙そうそう」「さとうきび畑」

●県内・国内・国際

横浜ドリームランド閉園(2月)、
牛肉偽装事件(2月)、向ヶ丘遊園
が閉園(3月)、鷺沼プール閉鎖
(8月)、小泉首相が初訪朝、拉致被害
者5人帰国(9月、10月)、世界
同時株安(10月)、小柴昌俊、田中
耕一両氏にノーベル賞(12月)

■ 新城高校剣道部と私

淵 武蔵 (39期生)



新城高校創立50周年おめでとうございます。50周年という大きな節目の年に、このような記念誌に関わることが出来、卒業生として大変嬉しく思います。

私の新城高校での思い出は、剣道と切っても切ることは出来ません。

中学時代、顧問の先生が剣道部の卒業生だったということもあり、かなりの頻度で稽古に参加していて、その回数を重ねるごとに

新城で剣道がしたいと思うようになりました。

入学してからは、関東大会出場を目標にほぼ毎日のように稽古をしていました。残念ながら目標を達成することは出来ませんでしたが、同じ目標を持った同期や先輩・後輩と稽古で切磋琢磨していたことは、辛いこともありましたが、今となってはとてもよい思い出です。

卒業してからは、平成17年4月から1年間補助コーチとして、翌年4月から平成22年9月まで嘱託コーチ（部活動インストラクター）として剣道部に関わっていました。自分でするのと指導するのでは大分勝手が違って大変でしたが、この時の経験が今の自分の剣道にも活かしていると思いますし、平成25年4月から再びコーチになりましたので、このときの経験を活かしてこれからも指導に当たりたいと思います。

最後になりますが、50周年を迎えた新城高校そして剣道部が60周年、70周年、そして100周年を迎えても伝統が受け継がれていく事を願うとともに、そこに少しでも貢献していけるように頑張っていきたいと思います。



平成15(2003)年度

大学入試センター試験開始
新城小学校付属幼稚園保育実習協力

4月6日 41期生入学式(229名)
5月2日 校外LHR
6月14日 合唱コンクール
7月10～11日 球技大会
9月10日 体育祭
9月16～17日 文化祭
10月3～7日 2年修学旅行
10月 1, 3年社会見学
12月13～14日 球技大会
12月22～26日 スキー教室
3月1日 39期生卒業式

●世相

新型肺炎 (SARS) が猛威 米英がイラク戦争、日本も自衛隊を派遣 ネット自殺が社会問題化

●流行語

マニフェスト なんでだろ～ 毒まんじゅう

●流行歌

「世界に一つだけの花」「さくら」 「COLORS」

●県内・国内・国際

米英がイラク戦争、フセイン元大統領拘束 (3～12月)、住基ネット本格稼働 (5月)、有事関連法成立 (6月)、高津区に「川崎子ども夢パーク」がオープン (7月)、イラク特措法成立 (7月)、首都圏でディーゼル規制 (10月)、衆院選で民主党躍進 (11月)、横浜マリノスがJリーグ年間優勝 (12月)

■あの時

横山武久（16代校長）



神奈川県立新城高等学校50周年、おめでとうございます。創立以来半世紀、地域の期待に応え有為な人材を育み信頼を集めてきた新城高校が今後とも益々発展することを祈ります。

平成12年4月教頭としての着任時、良く挨拶できる爽やかな生徒達、その生徒を育む愛情溢れる保護者の方々、熱心な職員の方々と共にリーダーとしての高嶋校長の見

事な学校運営手腕が心に焼き付きました。

当時はあたかも完全週休2日制の実施（平成14年度）、同15年度からは新学習指導要領（卒業に必要な単位数の減少：80単位以上→74単位以上等）の施行時期でもありました。

こうした全国的な授業時間数減少傾向の中で、校長は川崎南部学区の雄である本校生徒の為にはあくまでも授業時数の確保こそが大切であり、それが生徒個々の学力向上や希望進路の実現につながる、との信念の基に授業時間の増加が見込める2学期制検討を指示。職員一同で検討の結果、実施可能と思われましたが、一部職員には躊躇する気配もありました。校長は「先生方に納得しない者があれば定着しない。（ひいては生徒に非が及ぶ）」と、実施を次の校長（私）に委ねました。この事もあり私の代に2学期制と1校時50分授業から65分授業への展開が図れたのです。また「城高祭」後夜祭でのエールの交換等、常に生徒と共にある高嶋校長の姿には大いに感じるモノがありました。

地域の方々の有り様も心に残ります。町内の自治会の会合に出席させて頂いた際も、グラウンド際のお宅に野球部のボールが一斗缶に数杯も「家の屋根に落ちてきたものです」と見せられた時も背景に感じた空気は「城高生」への温かい眼差しでした。

様々な思いを通して私が新城高校の歴史の一コマに責任を持った事に感謝！ この学舎を介して新城高校を創ってこられた幾多の方々、出会った生徒や先生方、PTAや地域の方々はじめ総ての関係者に改めて感謝。



桜咲く学び舎

平成16(2004)年度

特色ある教育活動支援対象校
4月6日 42期生入学式(230名)
5月14日 1,3年校外LHR
2年学校見学
6月22日 合唱コンクール
9月18日 体育祭
9月25～26日 文化祭
12月1～3日 球技大会
12月15～16日 2年修学旅行
3月2日 40期生卒業式
3月18～23日 球技大会

●世相

「振り込め詐欺」被害後絶たず
「世界の中心で、愛を叫ぶ」ヒットで純愛ブーム プロ野球史上初のストライキ

●流行語

サプライズ チョー気持ちいい
おれ流 セレブ

●流行歌

「番場の忠太郎」「瞳をとじて」

●県内・国内・国際

みなとみらい線開通（2月）、三菱欠陥車事件を摘発（5月）、イラクで日本人フリージャーナリスト殺害（5月）、拉致被害者家族の5人帰国（5月）、日産本社のMM21移転を発表（6月）、ミューザ川崎シンフォニーホール開館（7月）、アテネ五輪金メダルラッシュ（8月）、新潟県中越地震（10月）、樋口一葉の5千円札・野口英世の千円札が発行（11月）、小田急多摩線に「はるひ野」駅が開設（12月）、スマトラ島沖地震で大津波発生、30万人が犠牲に（12月）、J1横浜マリノスが連続年間王者（12月）

かけがえのない思い出

角 信之 (39期生)



入学式後、最初のホームルームが終わってすぐに、私は音楽準備室の前に立っていました。扉をノックして、出てこられた音楽科の先生に「どうやったらプロの音楽家になれますか?」と尋ねたことを今でも覚えています。夢と希望に溢れて、新城高校に入学しました。

中学時代、新城高校吹奏楽部の定期演奏会を聴きに行き、この高校に入ろうと決意しました。今思えば、高校3年間は、寝ても覚めても吹奏楽一色だった気がします。当時、吹奏楽部は総勢60名ほどでしたが、先輩、後輩、同級生の仲間、顧問や講師の先生方に恵まれ、非常に充実した3年間を過ごしました。

特に印象深いのは、1年生の時にアンサンブルコンテストで東関東大会に出場し、千葉県へ遠征に行った時のことです。本番直前に大きなハプニングに見舞われ、右も左もわからない千葉県の山奥で、どうしたら良いか、あわてふためきました。その時のことは今でも笑い種になっています。

定期演奏会も大きな思い出です。外部交渉、練習計画、運営面などすべてのことを生徒で行っていました。演奏会を開催するホールスタッフの方が職人肌のおっかない人で、この人と交渉しに行くときは、何度も何度もシミュレーションしてからスタッフルームへ向かいました。それでも怒鳴られていたのですが…今では良い経験を積むことができたと感じています。

ほかにも合宿、コンクール、遠足、お茶会など、部活動内での忘れられない思い出がたくさんあります。どれも大切な宝物です。

人とのつながりや出会いはいつでも大きな宝です。結局私はプレーヤーでなく、教師になる道を選びましたが、この職業に就くことができたのは、あの時準備室の扉を開けてくださった恩師のおかげです。部活動の仲間とは、今でもつながっています。そんな恩師やたくさんの仲間と出会い、これから進んでいく道を決定づけた、新城高校での3年間でした。



平成17(2005)年度

65分授業実施
全県学区へ移行
国語教育推進事業拠点校(2年)
特色ある教育活動支援対象校
4月6日 43期生入学式(230名)
5月13日 1, 3年校外LHR
2年学校見学
6月21日 合唱コンクール
9月10日 体育祭
9月17~18日 文化祭
10月8~13日 2年修学旅行
11月30日~12月1日 球技大会
3月2日 41期生卒業式
3月17~22日 球技大会

●世相

愛・地球博が開催 耐震偽装問題
などで社会的な不安広がる
ブログ クールビズ

●流行語

小泉劇場 刺客 想定内

●流行歌

「桜」「Butterfly」

●県内・国内・国際

尼崎JR宝塚線脱線事故(4月)、
個人情報保護法施行(4月)、相
模原と津久井、相模湖両町の合併
決定(7月)、県内出身の野口さ
んスペースシャトルで宇宙へ(7
月)、衆院選で自民党歴史的大勝
(9月)、米軍再編へ中間報告(9
月)、郵政民営化法成立(9月)、
原子力空母横須賀配備で政府合意
(10月)、耐震偽装相次ぐ(11月)、
日本の人口、初めて減少(12月)、
平成の大合併ピーク

大切な仲間と共に…

荒井美慧（45期生）



新城高校創立50周年、おめでとうございます。

私にとって新城高校で過ごした3年間は「笑いあり！ 涙あり！」の思い出のたくさん詰まった学園生活でした。友達と過ごした時間、先生方との関わり、部活動、行事など、どれをとっても大切な思い出でした。ここに書ききれないほどのエピソードがある中で、特に印象的であった合唱コンクールと体育祭の思い出を書かせていただきます。

合唱コンクールでは、歌が苦手な人や得意な人、十人十色の中でクラス全員が団結をして精一杯練習に励みました。なかなかうまくまとまらず、よく喧嘩にもなりました。そんな中、本番が近付くにつれて次第にクラス全体の意識も変わり始め、本番では心をひとつにして歌いあげたことが感動的でした。クラスの団結力って素晴らしい！と心の底から思える行事でした。

体育祭の応援合戦では、炎天下の中、裸足になり、足の裏がやけどするほど必死に練習したことを覚えています。春夏秋冬のチームに分かれて行う「応援の型」は、代々先輩から受け継ぎ、翌年は自分たちが後輩に伝えていくという新城高校ならではの伝統でありました。その時は覚えることと伝えることとで必死になり、考えている余裕などありませんでしたが、こうして卒業して改めて振り返ってみると本当に素晴らしい伝統であり、今後も後輩たちにはぜひ受け継いでほしいと願う気持ちでいっぱいです。

新城高校生の素晴らしいところは何事に対しても「自主的であること」だと思います。何をするにも「やる気いっぱい！」そして「全力投球！」。これらが新城高校の特色だと思います。楽しい時、嬉しい時、そしてどんなにくじけそうになった時にも振り返れば、そこには必ず「仲間」がいました。一緒に壁を乗り越えてきたからこそ味わえる感動、達成感、団結力…新城高校で過ごした日々、そしてそこで育んだ友情は私にとって一生の宝物です。



平成18(2006)年度

4月6日 44期生入学式(229名)
5月12日 1, 3年校外LHR
2年学校見学
6月21日 合唱コンクール
9月9日 体育祭
9月16~17日 文化祭
10月11~14日 2年修学旅行
11月30日~12月1日 球技大会
3月2日 42期生卒業式
3月19~22日 球技大会

●世相

シネマコンプレックス隆盛 富士
宮焼きそばなどご当地グルメブーム 「国家の品格」ベストセラー

●流行語

イナバウアー メタボリックシンドローム ハンカチ王子

●流行歌

「一剣」「夢のうた」

●県内・国内・国際

ITで急成長のライブドアグループ
代表逮捕(1月)、荒川静香選手が冬季五輪金メダル(2月)、市立多摩病院が開院(2月)、ラゾーナ川崎プラザが開業(9月)、皇室に男子誕生(9月)、北朝鮮が地下核実験(10月)、官製談合事件が多発(10~12月)、改正教育基本法が成立(12月)

上履きの忘れもの

折目征己 (17代校長)



新城高校長としては、前任の第16代横山校長の改革を引継ぎ、新城高校が旧学区のトップ校だったという地域の期待に応える学校運営の推進に努め、2学期制と65分授業の定着、新たな校務運営組織の改革等を行った。そして4年後、後任の第18代前田校長への引継ぎは、校舎改築と50周年記念事業の準備だった。何より良かったのは、在職中の4回の入学者選抜で欠員が出な

かったことである。

なお、川崎では名門とされる新城高校の校長なので、県校長会会長となった第19代小泉校長ほど超多忙ではないが、歴代の新城高校長と同様さまざまな役職を担当する。川崎地区校長会会長、川崎市公立高等学校長会会長、県校長会理事、県高P連理事、関連する各種の会議や大会、委員会・研究会等への参加。そのためによく出張したが、校内は静謐で不安はなかった。ただし生徒昇降口の乱雑さは目に余り、時折、率先清掃した。他校と比較すると、生徒・教職員が協力的であり、突発的事件の類は起きず、会議等を欠席することは一度もなかったことに感謝したい。特に平成19年2月、平成20年4月と2度の道路陥没事故の際にも、生徒・教職員・関係機関の適切な対応があり、学校運営に大きな支障が出なかったのは有難いことだった。

定年退職の最後の日、引継ぎ等のもろもろの事務処理を済ませ、遺漏なく万全の準備を整え、下校しようとした時、それを察知した事務室の職員が玄関まで見送ってくれた。職員室からもバタバタと階段を駆け下りてくる教員もいる。ちょっと動揺して感傷的になったのか、不覚にも下駄箱に上履きを忘れて帰宅したことを鮮明に覚えている。

退職後は、県校長会事務局長として第19代小泉校長とともに仕事をし、現在の桜美林大学では川田先生、第16代横山校長とお会いするなど、新城高校とは今も何かと縁があると実感している。今後も清楚質実なる新城高校のますますの発展を祈念している。

平成19(2007)年度

「総合的な学習の時間」充実の拠点校

4月6日 45期生入学式(229名)
5月11日 1. 3年校外LHR
2年学校見学
6月20日 合唱コンクール
9月8日 体育祭
9月16～17日 文化祭
10月16～19日 2年修学旅行
12月4～5日 球技大会
3月2日 43期生卒業式
3月18～21日 球技大会

●世相

横浜で創業した「不二家」の期限切れ牛乳使用ほか、全国で原材料偽装など相次ぐ 団塊世代の大量定年始まる ゴルフ界にハニカミ王子 ネットカフェ難民

●流行語

どげんかせんといかん そんなの関係ねえ

●流行歌

「蕾(つぼみ)」 「きよしのソーラン節」

●県内・国内・国際

消えた年金5000万件、社会保険庁に怒り(2月)、城山、藤野町が合併し新相模原市(3月)、麻生区に昭和音楽大学が厚木市より移転(4月)、参院選で自民党が歴史的惨敗、「ねじれ国会」に(7月)、新潟中越沖地震(7月)、安倍首相が突然辞任、後任に福田氏(9月)、台風猛威、西湘バイパス崩壊(9月)、川崎アートセンターがオープン(10月)、熊本市で赤ちゃんポスト設置(12月)



新城高校のフェンス(右) もたわんだ平成20年4月の道路陥没

50年目の初心

前田清隆（18代校長）



50周年おめでとうございます。

新城高校が創立から半世紀経って、何を受け継ぎ、何を伝えるのだろう、新城らしさとは何かを考えてみました。新城高生は、学力があり、他人を押しつけてまで何かをやらうとしない生徒が多いように思います。バランスがとれているとも言えるのかもしれませんが。50年だろうが60年だろうが、淡々と昨日と同じようにやっていくだけだとい

う考えもあるでしょうし、この機会に新しい新城をつくるぐらいの気持ちで取り組もうという考えもあるでしょう。ただ言えることは、無理やり他との差異をつけようとするのではなく、今まで培ってきたものを踏まえて、これからの新城をみんなでつくっていくことが大事だということだと思います。

平成21年に校長に就任したとき私は、かつて6年間教員として勤めていたこともあって、懐かしくもあり、多少気合いも入ったことを憶えています。当時私が考えていたことは、「エリート」意識をもたないリーダーを育てるということでした。自分は優秀で他人とは違うという意識をもたず、みんなのために力を尽くすリーダーになってほしいと思いました。単なる進学校ではなく、本格的な学力を育てる高校をめざすという思いでした。いや、すでに多くの卒業生が、さまざまな分野でリーダーとして活躍しています。新たなことを行うというより、これまでの蓄積を踏まえ、さらに自覚的にやっていこうというほどの思いでした。

創立当初は、どこどこに負けるな、追いつけ追い越せということだったかもしれません。今、単に50年前の「初心」にかえるのではなく、伝統を踏まえつつ、どこに向かっていくのかを考えるときだと思います。

平成20(2008)年度

4月8日 46期生入学式(269名)
5月9日 1,3年校外LHR
2年学校見学
6月17日 合唱コンクール
9月13日 体育祭
9月20~21日 文化祭
10月15~18日 2年修学旅行
12月8~10日 球技大会
3月2日 44期生卒業式
3月18~23日 球技大会

●世相

派遣(社員)切りなど急速な雇用調整 米国発金融危機「誰でもよかった」的犯罪相次ぐ ゆるキャラブーム おバカキャラ旋風

●流行語

あなたとは違うんです アラフォー グー! 名ばかり管理職

●流行歌

「羞恥心」「恋のヘキサゴン」「崖の上のポニョ」

●県内・国内・国際

中国製冷凍ギョーザの食中毒(1月)、千葉県・野島崎沖で海自イージス艦「あたご」と漁船「清徳丸」が衝突、漁船の2人が死亡(2月)、中国四川省大地震、死者・不明8万人(5月)、秋葉原で20代男がナイフで17人を殺傷(6月)、北京五輪金メダルの女子ソフトボールに脚光(8月)、河野洋平衆院議長、小泉純一郎元首相が相次いで政界引退を表明(9月)、米原子力空母ジョージ・ワシントン、横須賀基地へ入港(9月)、福田首相が電撃辞任、後任に麻生太郎氏(9月)、米大統領選で黒人初のオバマ氏大勝(11月)、日本人学者4人にノーベル賞(11月)



「総合的な学習の時間」学習発表会

■ソフトボール部、受け継がれる思い

大西真央 (47期生)



新城高校様、創立50周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私は47期のソフトボール部部長を務めました、大西と申します。私が在籍していましたのは平成21年から23年です。23年の引退試合では、目標の県ベスト16入りを果たすことができました。

現在は11名で活動しており、熱心な顧問の先生とともに目標を高く掲げて日々練習に励

んでいます。

我が部では、年に1度親睦試合、慰労会を催し現役生へのエールとしています。

OGの方には年に1度の会費を口座に振り込んでいただき、現役生への用具の支援をさせていただいています。

会の運営のために過去から現在までの名簿が代々受け継がれ、現在まで至っております。現役生からはOG宛に毎年試合の日時、会場のお知らせ、試合の結果報告をしてくれています。

私が現役生の時は、新入生の歓迎会や3年生を送る会、部員の誕生日を祝うなど、学年を超えて親睦を深めていました。

—OGの考えとしては、時代とともに新しいルールも出来ることでしょうが、良き物は受け継いでいていただきたいと望みます。

このたびは、沢山の先輩方に代わり卒業間もない私が代筆いたしました。我々OGはいつでも現役生を応援し、協力を惜しまない気持ちは一緒です。

今回、式典に関わられた同窓会、実行委員の方々、先生方には深く感謝申し上げます。

そして今後も新城高校への変わりないご協力をご指導を賜りますようお願い申し上げます。



平成21 (2009) 年度

シチズンシップ教育実践校

4月7日 47期生入学式(270名)

5月8日 1, 3年校外LHR
2年学校見学

6月18日 合唱コンクール

9月12日 体育祭

9月19~20日 文化祭

10月13~16日 2年修学旅行

12月7~8日 球技大会

3月1日 45期生卒業式

3月18~23日 球技大会

●世相

新型インフルエンザ世界的大流行
定額給付金支給 裁判員裁判スタート
米アカデミー賞で「おくりびと」「つみきのいえ」ダブル受賞
侍ジャパン、WBC連覇

●流行語

事業仕分け 脱官僚 草食男子
こども店長

●県内・国内・国際

日産自動車、リストラ策を発表。
野球部も休部へ(2月)、「ねんきん定期便」発送開始(4月)、マイケル・ジャクソン急死(6月)、県人口900万人を突破(7月)、衆院選で民主党圧勝、308議席(8月)

■白亜の殿堂にて

安河内哲朗（48期生）



皆様こんにちは、48期卒業生の安河内です。
在学中は生徒会の書記を務めておりました。
当時の記憶の中でもひと際印象の強かった動画制作の話をしたと思います。

それは夏の暑さもひと段落した秋口の事、
生徒会にある仕事に舞い込みました。

当時の私がクラスや有志で映像制作の仕事
に関わっていた事がきっかけで、同期の方と
共作で学校紹介の映像作品を作る事となった

のです。納期は中学生向けの学校説明会まででした。

柔らかくて微かに湿った草の上に寝そべって、枝葉の間から洩れる木漏れ陽と共に校舎を撮ってみたり、当時まだ取り壊し前だった旧校舎の最後の雄姿を映してみたりと、学校や校舎の魅力を私の感性でふんだんに取り入れ、約2分の学校紹介字幕付きオープニング動画を仕上げました。

それに共作部分でありこの動画のメインでもある部活動紹介と、同期の方が作ったエンディングを付けて、見応えある十数分の動画が完成。説明会開始の十分前の事でした。

慌ただしくも説明会は終了。生徒会室に戻り、後輩に感想を訊いてみると、「あれでは学校紹介ではなく校舎紹介です。それもよりによって古い所ばかりを……」と年相応な意見が返って来ました。返す言葉もありませんでした。

この話の教訓は、古いモノに愛着を感じる人もいれば新しいモノを求める人もいるという事。まあ当たり前の事です。

我々が踏むこの土地にも、幾重にも積み重ねられた歴史や伝統や残留思念や魑魅魍魎ちみもうりょうやその他諸々があります。一方で、窓を閉ざした部屋は空気が淀んでしまうのも事実です。

昔から受け継がれて来た伝統を守るか、清々すがすがしい新時代的な風を取り入れるか。それはあなた方次第なのです。これを機に是非考えてみて下さい。

50周年、おめでとうございます。

平成22(2010)年度

4月6日 48期生入学式(277名)
5月7日 1, 3年校外LHR
2年学校見学
6月17日 合唱コンクール
9月11日 体育祭
9月18~19日 文化祭
10月13~16日 2年修学旅行
12月8~9日 球技大会
3月1日 46期生卒業式
3月18~23日 球技大会

●世相

羽田新国際線ターミナルが供用開始、同ターミナル駅開業
各地で猛暑、熱中症患者相次ぐ
酷暑 山ガール・ブーム 3D映画人気 iPad発売 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」「体脂肪計タニタの社員食堂」

●流行語

ゲゲゲの いい質問ですねえ イクメン AKB48 女子会 食べるラー油 へなう 無縁社会

●流行歌

「Beginner」「ヘビーローテーション」「Troublemaker」「Monster」

●県内・国内・国際

モスクワ地下鉄爆破テロ(3月)、相模原市が政令市に(4月)、殺人罪などの公訴時効廃止(4月)、小惑星探査機はやぶさ地球帰還(6月)、横浜市でAPEC首脳会議(11月)



校舎をバックに

ひとひらの四季をつくる

佐川 裕 (48期生)



生徒会の役員だった私は、行事の準備に一年中追われていました。学校説明会の資料を、部活の生徒に負けないくらい遅くまで用意しましたし、文化祭ではクラスにも帰らず、本部で朦朧^{もうろう}としながら金券とお金だけを数えたこともありました。

やりがいに満ちた生徒会の任期も終わりに近付いた、2年生の冬。PTAの方が学校にくださったたくさんの花の世話が、生徒会に任されました。プランターは徐々に増え、その年の卒業式には、玄関や体育館の周りを春の色でいっぱいになりました。

3年生になっても、私は花の世話を続けました。花の世話は、生徒会を離れ、受験も迫り、どこか落ち着かない気持ちだった私が、静かにものを考える時間になりました。

一方で、友達と水をやりながら話す時間もとても楽しいものでした。併せて植えていたゴーヤや唐辛子を友達と収穫した時の高揚感は、今でも思い出してはわくわくします。

普段は話さないような子に声をかけられることも増えました。ある女の子は、私にたまごボーロを一粒だけ分けてくれました。確かにおいしかったのですが、一体どういう判断だったのかは、謎のままです。

たまたま育て始めた花は、私のたくさんの出会いや思い出を作る種になりました。このたびの新校舎の完成も、みなさんのもとに新しい喜びが生まれるきっかけとなることを願っています。



平成23(2011)年度

4月6日 49期生入学式(271名)
5月6日 校外LHR
6月16日 合唱コンクール
9月10日 体育祭
9月17~18日 文化祭
11月8~11日 2年修学旅行
3月1日 47期生卒業式
3月19~21日 球技大会

●世相

タイガーマスク運動 ニンテンドー3DS 東北新幹線「はやぶさ」運行 小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産 地上デジタル放送完全移行 Facebook人気 “節電” 扇風機 「謎解きはディナーのあとで」

●流行語

なでしこジャパン 絆 スマホ どや顔 帰宅難民 こだまでしょうか 風評被害 ラブ注入

●流行歌

「フライングゲット」「風は吹いている」「マル・マル・モリ・モリ!」「Rising Sun」

●県内・国内・国際

東日本大震災(3月11日)、九州新幹線鹿児島ルート全線開業(3月)、英ウィリアム王子結婚式(4月)、なでしこジャパン女子W杯初優勝(7月)、川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム開館(9月)、北朝鮮の金正日総書記が死去(12月)、新生ベ이스ターズ誕生(12月)

■ 実行委員会を立ち上げるまで

小泉力也（19代校長）



私が新城高校に赴任したのは、平成21年11月1日でした。急な異動で学校には知り合いも予備知識ありませんでしたが、教育委員会から指示されていた新校舎建設の準備をはじめとして、人事関係の仕事など、すぐに取り組まなければならないことが多くありました。少し落ち着いて学校に関する課題を検討する中で、平成24年度に創立50年目を迎えるのに記念事業の準備が進ん

でいないことを知りました。

そこで、同窓会（城友会）の会長の宮川さんに連絡して、創立50周年記念事業実行委員会の設立準備に協力していただけるようお願いしたところ、宮川さんから快諾を得ることができました。50周年の記念事業は、100周年と同様、学校にとって節目となる大切な事業です。私としては、簡単に済ませるのではなく、城友会とPTAと学校がしっかりスクラムを組んで準備をしたいと考えました。平成22年度から、城友会やPTAの方たちとともに実行委員会の立ち上げの準備に入り、組織体制や全体のスケジュール、そして予算などの記念事業の大枠について検討しました。

私は、この事業に関して、地域の期待を担う新城高校らしい立派な記念事業にすること、そして新校舎に関する情報の発信などにより新しい学校のイメージを提示することで更なる飛躍につなげること、この二つのことを考えていました。そこで、城友会やPTAの方々と協議して、平成26年度に新校舎が完成することも踏まえて、平成26年11月に記念式典を開催する方向で準備を進めることを決めました。そして、平成23年7月に念願の実行委員会を立ち上げることができました。

生徒数の減少をはじめ様々な事情により学校の統合はありますので、学校は永久に存続するとは限りません。だからこそ、こういう節目の記念事業を大切にして、きちんと記録に残すことが必要だと思います。そしてまた、記念事業を学校の新たな発展の好機として活用していかなければならないと思います。今後の新城高校の更なる飛躍を祈念しています。



平成24(2012)年度

- 4月6日 50期生入学式(271名)
- 5月2日 校外LHR
- 6月21日 合唱コンクール
- 9月8日 体育祭
- 9月15～16日 文化祭
- 10月16～19日 2年修学旅行
- 10月29日 50周年記念事業
- 3月1日 48期生卒業式
- 3月19～21日 球技大会

●世相

東京スカイツリー LINE 国内線LCC 「聞く力 心をひらく35のヒント」

「置かれた場所で咲きなさい」

●流行語

ワイルドだろお iPS細胞

維新 終活 第3極 爆弾低気圧

●流行歌

「真夏のSounds good!」「GIVE ME FIVE!」「ギンガムチェック」「ワイルドアットハート」

●県内・国内・国際

金正恩第一書記就任（4月）、東京スカイツリー開業（5月）、ロンドン五輪（7・8月）、山中伸弥博士にノーベル賞（10月）、中央高速笹子トンネル天井板落下事故（12月）



■ 定年を迎えた新城高校で

伊達敏久 (職員)

南武線の武蔵新城駅を通るたびに、新城高校に勤めたいとの思いが最後までかない、それから11年間勤めていました。

新城高校の生徒は明るく活気があり、高校生活が楽しいという雰囲気が学校全体で感じられる生徒達で、学ぶことに意欲的であり、よく私の授業についてきてくれて、生徒との対話も教えることも楽しく、気持ちよい11年間でした。また、職員室も明るい雰囲気で、職場としても良かったです。

定年退職した時は1年の担任で、そのまま再任用で3年まで担任をさせていただき卒業させられたのが何ともいえない喜びでした。再任用での2年間、新城に残れるのか、担任はできるのか、冷や冷やししながらでした。

着任して、ラグビー部やソフトテニス部の顧問で合宿に行くと、多くのOB達が泊まって伝統の重みを感じました。41期の3年の私のクラスは理系の男子のみで、これ以降男子のみ、女子のみのクラスはないようです。男子だけのクラスは和気藹々として、さわやかなクラスでした。

教師生活の終わりを迎えた新城高校で、若い教師のために退職前に書いた文章があります。その中に私の教師経験が入っています。それは、



体育祭応援団

生徒をはじめとして人との間で大切にしているのは、「自分が」という我をとってこそ和合ができ、自分の「我」をとるようには私を取り組んできました。

11年間、新城高校で教えられたことがいい思い出になっています。

平成25(2013)年度

- 4月8日 51期生入学式(273名)
- 5月2日 校外LHR
- 6月20日 合唱コンクール
- 9月7日 体育祭
- 9月14～15日 文化祭
- 10月15～18日 2年修学旅行
- 3月3日 49期生卒業式
- 3月19～20日 球技大会

●世相

歌舞伎座新開場 富士山が世界文化遺産 豪華寝台列車『ななつ星in九州』運行 出雲大社と伊勢神宮が遷宮 コンビニコーヒー バスル&ドラゴンズ アベノミクス消費 半沢直樹 あまちゃん「色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年」「医者に殺されない47の心得 医療と薬を遠ざけて、元気に、長生きする方法」

●流行語

今でしょ! お・も・て・な・し
じえじえじえ 倍返し アベノミクス
ご当地キャラ PM2.5
ブラック企業 ヘイトスピーチ

●流行歌

「さよならクロール」「恋するフォーチュンクッキー」「EXILE PRIDE ～こんな世界を愛するため～」

●県内・国内・国際

ルクソール熱気球墜落事故(2月)、東横線と副都心線が相互運転を開始(3月)、三浦雄一郎氏がエベレストに史上最高齢の80歳7ヶ月で登頂(5月)、日本の富士山を含む世界文化遺産登録(6月)、2020年夏季オリンピックの東京開催決定(9月)、川崎市長に福田紀彦氏(10月)

新城

CHAPTER 2



新城高校のいま

シチズンシップ教育

新城高校 シチズンシップ教育の取組み

本校は、神奈川県「学力向上推進及び特色ある県立高校づくり推進事業（平成21～23年度）」の一環として「これからの社会に対応する特色ある教育の推進」の一つである「シチズンシップ教育」への取組みを希望し、実践研究校の指定を受けた。さらに引き続き、県立高校「学力向上推進事業（平成22～24年度）」の「先進的な課題の研究を通じた県立高校づくりをめざしたパイロット校」として、「シチズンシップ教育」の実践研究校の指定を受けた。さらに、県立高校として担う役割を見据えた事業の再編としての「県立高校教育力向上推進事業Ver.Ⅱ〈さらなる教育力の向上〉（平成25～27年度）」では、全ての県立高校に求められる共通テーマの先導的な役割を果たし、先進的な取組の開発・実践・普及を行うための研究推進校の指定を受けた。

急速に変化する社会の中で、個人が自立・自律し、主体的に社会参加する力を身につけるために、今注目されているのが「シチズンシップ教育」である。経済産業省では、すでに平成18年3月に『シティズンシップ教育と経済社会での人々の活躍についての研究会報告書』（以下『報告書』という）をまとめ、学校や地域社会、企業等において、その普及に向けた提言を行っている。『報告書』では、シチズンシップを「多様な価値観や文化で構成される社会において、個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意志決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に（アクティブに）関わろうとする資質」と定義している。

神奈川県教育委員会では、シチズンシップ教育の推進について、「よりよい社会の実現に向けて、規範意識をもち、社会や経済のしくみを理解するために必要な知識や技術を身に付け、社会人として望ましい社会を維持、運営していく力を養うため、積極的に社会参加するための能力と態度を育成する」と述べている。これをうけて、本校ではテーマを「政治・司法参加意識を高めるための教育活動について先進的な研究を行うとともに、消費者教育・道徳教育も充実させることにより、積極的に社会参加する能力と態度を育成し、社会人として有為な人物の育成をめざす。」と設定している。

本校では「県立高校教育力向上推進事業Ver.Ⅱ」研究推進校として、三年間の研究テーマを「シチズンシップ教育のスタンダードシステム構築について」と策定し、その目標と研究概要を以下の二点とした。①それまでの取組みを継続しつつ、シチズンシップ教育について、様々な実践を通して中核的な研究を行うとともに、どのような力がついたかを検証し、より効果的なシステムを構築すること。②政治参加教育・司法参加教育・消費者教育・道徳教育を各種教育活動で展開し、実践事例をバンクし、その教育的効果を分析する。その上で有意な活動についてそれぞれPDC Aサイクルを示したうえで、シチズンシップ教育のスタンダードシステムとして紹介できる資料を作成すること。」である。

本編では主に平成25年度の取組みを中心に紹介していく。

平成25年度の取組み

- 公民科及び総合的な学習の授業時間での政治・司法参加教育の実施。
- 参議院選挙にあわせた「模擬投票」の実施。
- 模擬投票事前学習としての【政治教育講演会】の実施。
- かながわハイスクール議会へ参加。(希望者)
- 裁判所の見学及び裁判傍聴。(希望者)
- 裁判員制度に関する、司法関係者による【司法教育講演会】の実施。
- 模擬裁判の実施。
- 芸術鑑賞教室における演劇「12人の怒れる男たち」鑑賞。
- 家庭科、情報科の授業での消費者教育の実施。
- 【消費者教育講演会】実施。
- 【道德教育講演会】実施。
- 各教科における参加型・ワークショップ型・プレゼン型学習の実施。

政治教育講演会 平成25(2013)年6月24日

目的 社会的な関係の中におかれている自分を認識するとともに、身近なことや社会の問題を自分の問題として考え、能動的に責任ある行動をとることができる市民としての態度や能力を育成する。

内容 参議院選挙模擬投票にむけて、模擬投票の意義についての説明



模擬投票 平成25(2013)年7月18日

実施のねらい 若年層を中心に投票率の低下傾向がうかがえる中、今日の民主政治の諸問題について、生徒自らが考え、公正に判断できるよう、良識ある公民として必要な能力と態度を育成する。



事後アンケートより

今回の模擬投票に係る学習を通して、感じたことや考えたことを書いてください。

- 選挙権という日本国民すべてに等しく与えられている権利を捨てる理由はどこにもないと思った。
- 自分たちも将来、日本の未来を決めるために投票をするひとりなので模擬投票をやることはいいことだ。
- 選挙というものが身近に感じた。
- 実際の選挙のような緊張感を味わえた。
- 日頃生活する中で政治を意識しなくても生活

できる状況にいるのに、いきなり新聞を渡されてどう思いますかと聞かれても意見は出せなかった。政治への関心度は今までと変わらない。

- 今まで、選挙とか全く興味がなくテレビや新聞を見ることはなかったけど今回の模擬投票でテレビや新聞をみたり、調べたりすることができたのでいい機会だった。

かながわハイスクール議会

今回、初めてハイスクール議会に参加した私は、「高校生だからたいした議論は交わされないだろう」と考え、軽い気持ちで臨んでいました。しかし、実際の議会では全員が高校生とは思えないような意見を出し、あまり私はついていけませんでした。今回のこの経験で、「高校生だから仕方がない」ではなく「高校生としてなにができるのか」という考えに変わりました。

自分の立場に制限されるのではなく、その立場でしか出来ないことを考えていく重要性を今回のハイスクール議会で学びました。



司法教育講演会 平成25(2013)年9月26日

目的 講演をとおして、市民社会で求められている司法に対する知識と態度、リーガルマインドを身につけ、より積極的に社会に関わろうとする姿勢を育む。

内容 裁判員制度について
(裁判員制度と刑事裁判の手続き)

模擬裁判 平成25(2013)年10月18日

(シチズンシップ教育に係る公開授業)

公開授業のねらい

裁判員制度が定着してきている現在、市民社会で求められている司法に対する知識と態度、リーガルマインドを身につけ、より積極的に社会に関わろうとする姿勢を育む。

また、「意見を述べること、意見を聴くこと、意見をまとめること」を通して自らの考えを深め、さらに自己の考えを述べるプレゼンテーション能力を育む。

■ 事前・事後アンケート比較（抜粋）

問1 「司法（裁判）」を身近に感じていますか？【意識】

1 感じる	事前	26	事後	55
2 どちらかというと感じる	事前	42	事後	124
3 どちらかというと感じない	事前	79	事後	33
4 感じない	事前	76	事後	20

問2 「司法（裁判）」に対して興味や関心を持っていますか？【意識】

1 持っている	事前	38	事後	55
2 どちらかというを持っている	事前	78	事後	126
3 どちらかというを持っていない	事前	70	事後	28
4 持っていない	事前	37	事後	23

問3 将来、裁判員として司法参加してみたいと思いますか？【意識】

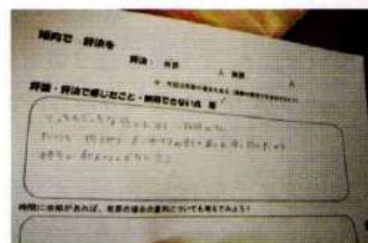
1 そう思う	事前	37	事後	31
2 どちらかというと思う	事前	37	事後	65
3 どちらかというと思わない	事前	59	事後	65
4 思わない	事前	90	事後	71

■ 事後アンケート比較（抜粋）

問8 今回の模擬裁判に係る学習は、以下に示す能力の向上につながりましたか。以下のア～オそれぞれについて、1～4で答えてください。

- 1 高まった
- 2 どちらかというが高まった
- 3 どちらかというが高まらなかった
- 4 高まらなかった

- ア 情報を収集したり、その情報を活用したりする能力
 イ 自分にとって重要な情報、正確な情報を取捨選択する能力
 ウ 問題点を明らかにし、それを解決する能力
 エ 自分自身の、社会における役割をしっかりと認識する能力
 オ 他者とコミュニケーションをはかる能力



問8					
	ア	イ	ウ	エ	オ
1	58	55	50	40	53
2	107	113	110	95	102
3	31	28	34	46	33
4	19	21	20	25	22

■ 生徒の声

- ・考えさせられました。一見簡単な問題かと思いましたが難しかったです。人に判決を下すというのはとても大変なことだと感じました。
- ・一つでも疑いがあれば有罪にはしてはいけないとよくわかりました。裁判ではこの疑いを一つでも持ち込まないように十分に調べること、根拠が必要なのだと改めて感じました。

- ・裁判官をやったのですが、人の人生に関わる決断をするのはとても精神的に辛いものがありました。
- ・話し合いで、あれかもしれない、こうかもしれないと話し合いで導き出したりして、裁判員制度の裁判員に選ばれた気分だった。真実を導くのが難しい。

芸術鑑賞教室

平成25（2013）年11月11日

観劇前の解説

- ・アメリカは元来、イギリスの植民地
- ・権力に頼らない、すなわち自らの安全はもとより、自分たちのことは自分たちで…という自治意識
- ・地域コミュニティが成立し、そこでなんでも話し合う慣習確立
…アメリカンデモクラシーの原点
- ・司法もその流れの中にある
…陪審制度

平成25年度芸術鑑賞会

12人の怒れる男たち

上演 東京芸術座

日時 平成25年11月11日（月）
開場 13時（点呼13時15分）
開演 13時30分
会場 エポックなかり大ホール

今年の芸術鑑賞会は、東京芸術座による演劇「12人の怒れる男たち」です。
話し合うことの重要さを実感すると同時に本当の民主主義とは何かを考えさせられます。

●スラム街で起きた父親殺し

●惨状の状況証拠、決定的な目撃者の証言

●戸惑いの中、感情的な対立でゆがむ真実

●完璧とされていた事実が揺らぎ始める

●差別と偏見が渦巻く罵詈雑言が飛び交う

●激論を通して現れる各々の人生の痛みと方

12人の男たちの評決は…



観劇後、劇団員との意見交換

アンケートより

すごくおもしろかったです。私自身、法律や裁判などにとっても興味があったので、今回の劇も観る前から楽しみでした。観ていると12人の演技に圧倒され、引き込まれるような感覚でした。（1年生）

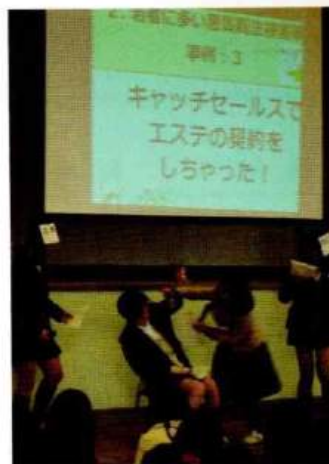
消費者教育講演会 平成25（2013）年11月21日

目的 講演・ロールプレイングをとおして、身近にひそむ各種悪徳商法に騙されない術を学び、自ら選択し自ら決定する賢い社会人としての行動力を育む。

内容 悪徳商法事例研究

生徒アンケートより

- ・ロールプレイを実際にやってみて、ほんとうにそんなことあるのかなあと思ったけど、話を聴いて大人も子供も気をつけなくちゃいけないと思った。(2年生)
- ・自分に必要なものかどうかを冷静に判断し、要らないと思ったらあいまいに答えず、きっぱり「要らない」と言うようにしたい。(3年生)



★事例3

キャッチセールスで
エステの契約を
しちゃった!

★事例4

大学生のマルチ
～就職活動に役立つ
と言われて～

道徳教育講演会 平成25(2013)年12月2日

目的 講演・ロールプレイングをとおして、一般社会における対人コミュニケーションの基本的なマナーを学び、清楚質実な社会人としての行動姿勢を育む。

内容 社会人としてのマナー研究

生徒アンケートより

- ・マナーは知ること大切だが、出来ることが一番大事なんだ。(3年生)
- ・人間関係を円滑に進めるためにもマナーは必要不可欠なんだと思った。(3年生)
- ・丁寧語は「です。ます。ございます。」なのですね。(3年生)



参加型・ワークショップ型・プレゼン型学習

政治・経済



世界史B



発達と保育



合唱コンクール

■ 大賞クラス代表の言葉

中野愛瑠 (49期生)

私達3年3組は、最初伴奏者が決まらなかったり、朝の練習に人が集まらなかったりとまとまりがなく、良い雰囲気での練習ができませんでした。しかし、集まるのが数人でも、曲を流し、練習を続けていくうちに、だんだんとクラスの空気も変わり、合唱部や先生からのアドバイスを元に当日まで声をかけ合い練習しました。

大賞という結果が出たことは、ますますクラスの中が深まるきっかけになり、とても良い思い出になりました。

■ 指揮者賞受賞者の言葉

大庭匡智 (49期生)

私がこのクラスで指揮をし、感じたこと、それは団結の大切さです。

最初は、私が頼りなく、練習が思うように進みませんでしたが、最後には一致団結し、クラスの力を引き出した合唱をすることができました。

■ ピアニスト賞受賞者の言葉

青木咲樹 (51期生)

むずかしい…。初めて楽譜を見た感想です。いきなり合わせた伴奏はボロボロで頑張らねばと思いました。男子が盛り上げ女子のきれいな歌声で金賞を取ることができ、ピアニスト賞も取れたことは良い思い出になりました。



合唱コンクールの曲目（2011年度）

	曲 目	作 詞	作 曲	編 曲
1年1組（音）	島 唄	宮沢和史	宮沢和史	富澤 裕
2組（美）	雲 の 指 標	吉井奈緒子	鹿谷美緒子	
3組（音）	青 葉 の 歌	小森香子	熊谷賢一	
4組（美）	心 の 瞳	荒木とよひさ	三木たかし	横山潤子
5組（音）	あなたへ～旅たちに寄せるメッセージ～	筒井雅子	筒井雅子	
6組（美）	吹 雪	尾崎左永子	佐藤 眞	
7組（音）	海 の 匂 い	岩間芳樹	廣瀬量平	
2年1組	決 意	片岡 輝	鈴木憲夫	
2組	君とみた海	若松 欽	若松 欽	
3組	青い鳥—Movie Edit Version—	安岡 優	北山陽一	横山潤子
4組	予 感	片岡 輝	大熊崇子	
5組	河 口	丸山 豊	團 伊玖磨	
6組	明 日 へ	富岡博志	富岡博志	
7組	Y E L L	水野良樹	水野良樹	水野良樹
3年1組	COSMOS	ミマス	ミマス	富澤 裕
2組	流れゆく川	和田 治	和田 治	石渡満雄
3組	走 る 川	金沢智恵子	黒沢吉徳	
4組	虹	森山直太郎	御徒町 颯	信長貴富
5組	さ く ら	大熊崇子	御木白日	
6組	IN TERRA PAX	鶴見正夫	萩久保和明	
7組	蒼 鷺	更科源蔵	長谷部 匡俊	



体育祭

■ 団長(49期)の言葉

春組団長 芳賀 勲

三冠達成 みんなに感謝

体育祭を振り返ってみると、なによりも三冠を達成することができ、最高の仲間と最高の思い出を作ることができたことが一番うれしかったです。

体育祭ができたのは新城高校の先生方や生徒皆の協力があったからです。ありがとうございます。春組のみなさん大好きです。

夏組団長 飯塚達也

体育祭お疲れさまでした。本当に自分が団員みんなを引っ張っていていたかは分かりませんが今、体育祭が終わり団員みんなへの感謝の気持ちでいっぱいです。

新城高校の体育祭に携わっていただいた方すべての人に「ありがとうございました」。

秋組団長 黒柳和大

体育祭お疲れさまでした。5月ごろから体育祭に向けて練習を始め、長いようであつという間だった約四ヶ月間でしたが、先生方や四幹部、十六幹部、秋組団員、本当にいろいろな方にお世話になりました。

最後まで秋組総団長としてやってこられたのもこの皆の支えがあつてこそだと思います。ありがとうございます。

冬組団長 手島佑太

体育祭を終えて思い返すと大変なことも沢山あったけど、それ以上に仲間に支えられた体育祭でした。夏休みなど四幹以上に頑張ってくれた3年生や、四幹を頼りについてきてくれた後輩達に感謝の気持ちでいっぱいです。賞は取れなかったけど仲の良さは負けません！ 冬組最高！



■ 過去三年の入賞記録

【第51回（2013年度）】

	総合	応援	マスコット	1600m混合リレー
優勝	春	春	夏	春
2位	夏	秋	秋	冬
3位	秋	夏	春	秋

【第50回（2012年度）】

	総合	応援	マスコット	1600m混合リレー
優勝	春	夏・秋	夏	冬
2位	夏		春	春
3位	秋	春	冬	夏

【第49回（2011年度）】

	総合	応援	マスコット	1600m混合リレー
優勝	夏	春	秋	春
2位	春	冬・夏	冬	冬
3位	冬		夏	秋



球技大会

■ 平成23年度

男子 サッカー、バスケットボール

女子 フットサル、バレーボール

■ 平成24年度

男子 サッカー、バスケットボール

女子 フットサル、バレーボール

混合 バレーボール

■ 平成25年度

男子 サッカー、バスケットボール

女子 フットサル、バレーボール

混合 バレーボール



校外LHR

平成25年5月2日（木）

■ 第1学年（51期生）

- ・場所 丹沢湖ロッジ
- ・内容 カレーライス作りと
レクリエーション（大縄
跳び）

■ 第2学年（50期生）

- ・場所 羽田空港第1ターミナル
と上野公園
- ・内容 修学旅行時の
班別自主 行動の練習

■ 第3学年（49期生）

- ・場所 よみうりランド
- ・内容 バーベキューづくり
体験とレクリエーション

■ 1年生



■ 2年生



■ 3年生



文化祭

文化祭実行委員長の言葉

植山雄太 (49期)

みなさんこんにちは。文化祭お疲れさまでした。今年は校舎建て替え工事のため、毎年食品販売や新城イチや女装コンテストが行われていた中庭が使用できませんでした。しかし、先生方や文化祭関係者の働きで、食品販売はプレハブ校舎脇、中庭イベントは体育館で実施するに至りました。そして例年以上にイベントが盛り上がったと思います。

準備では、テントを設置の時アクシデントが起きたりしましたが、狭い場所で協力してできました。

そして初日、天気がよく文化祭日和でした。全学年が自分のクラス宣伝を大きな声でしていても元気をもらえたと思います。僕のクラスではたこ焼きを販売していたのですが、最初はたこ焼きの生地に入水を入れすぎてしまってたたく焼けなくて苦戦しましたが、先生や生徒の協力で無事販売できてよかったです。

二日目は台風が近づき大雨で中止の恐れもありましたが、みんなの熱い思いが通じたのか雨も上がり、二日目も変わらず活気のあふれた文化祭が実施できたと思います。校舎建て替えや悪天候のような逆境の中でもあきらめず頑張り、協力したことで最高の思い出を作れたと僕は思っています。



■ 文化祭参加企画一覧（平成25年）

部門	企画名称・内容	参加団体名	発表場所
展示・研究発表	美術部作品展示 (作品展・部誌配布)	美術部	3-7教室
	茶道部お茶会 (お茶会) ￥	茶道部	作法室(新館)
	Chorus club stage 2013 (合唱披露)	合唱部	多目的A教室
	眼の健康について知ろう (眼についての展示)	保健委員会	2F西踊り場
	文芸同好会冊子配布 (文芸誌の発行・配布)	文芸同好会	2F東踊り場
	ドッキリどーが (映画+スゴ技体験)	1年1組	1-1教室(新館)
	おいでよ 2組の林 (ウォーリーを探せ・スライム作り・ゲーム等)	1年2組	1-2教室(新館)
	パニック ホスピタル (お化け屋敷)	1年3組	3-5教室
	おいでよ 芸術の森 (美術館)	1年4組	3-2教室
	ジャングルポケット (迷路(ゲーム・クイズ))	1年5組	2-4教室
	神社えーる (神社(おみくじ・お参り))	1年6組	3-4教室
	踊る休憩室1-7 (フラッシュモブ(踊り))	1年7組	2-1教室・外
	出逢い中 (運命の人+映画)	2年1組	3-3教室
	絶叫2の6学級 (お化け屋敷)	2年6組	2-6教室
	ひよこ園 (園児を招待)	有志 ひよこ園	被服室(仮設校舎)
ゲーム	マタックチャンス! (クイズ)	2年2組	2-2教室
	冷やし教室はじめました (緑日)	2年3組	2-3教室
	将棋道場 (将棋道場)	将棋部	3-1教室
販売	しおり&古本市 (古本市・しおり製作体験) ￥	図書委員会	多目的B教室
	P T Aの部屋 (手作り品販売・喫茶室と制服展示) ￥	P T Aの部屋	会議室(仮設校舎)
食品調理・販売	ちえたこ (たこ焼き) ￥	3年1組	外テント②
	揚げ揚げ Every night (からあげ・ポテト) ￥	3年2組	外テント⑤
	豚汗 (豚汁) ￥	3年3組	外テント④
	ああ、チュロス (チュロス) ￥	3年4組	外テント⑦
	rock'n roll 〜石巻〜 やきそBar 弥 (焼きそば) ￥	3年5組	外テント⑥
	廣木製麺 (冷たいうどん) ￥	3年6組	外テント③
	お好み焼き・チヂミ どんなもんや (お好み焼きとチヂミ) ￥	3年7組	外テント①
	2・4 (twenty-four) (アイス) ￥	2年4組	3-6教室
	2525カフェ♡♡ (菓子・デザート・飲み物) ￥	2年5組	2-5教室
	ミスターゴトーナッツ (ドーナッツ) ￥	2年7組	2-7教室
	Sweet Paradise (外国のお菓子の販売) ￥	I C C	1-3教室(新館)
	だんご10兄弟 (団子と手作り小物販売) ￥	剣道部	1-3教室(新館)
	新城どら焼き (新城印入りどら焼き) ￥	P T Aどら焼き売店	正門横外テント
	軽音楽ライブ! (ライブ)	軽音楽部	体育館
	Dance with somebody !! (ダンス)	ダンス部	体育館
体育館	Brass Band (吹奏楽演奏)	吹奏楽部	体育館
	ダンス (ダンス)	有志 TAKE 3	体育館
	コンテスト&ショー (コンテスト・ショーなどの催し)	有志 No shinjo, No life 9th	体育館

(注) ￥は有料団体のものです

芸術鑑賞会

■ 平成23年度

日時 平成23年12月19日（月）
場所 エポックなかはら大ホール
演目 音楽鑑賞
アカベラコーラスグループ
「トライトーン」による演奏

■ 平成24年度

日時 平成24年11月5日（月）
場所 エポックなかはら大ホール
演目 寄席・講談
「一龍斎貞水 立体怪談」

■ 平成25年度

日時 平成25年11月11日（月）
場所 エポックなかはら大ホール
演目 演劇『12人の怒れる男
たち』東京芸術座

修学旅行（2年）

修学旅行は平成6年度から航空機の利用が解禁となっていて、49期は北海道（平成24年10月16～19日）、50期（平成25年10月15～18日）は沖縄を訪れた。

49期生北海道修学旅行

49期修学旅行委員長
2年2組 菅野裕也

僕は旅行委員長としてこの修学旅行に臨みました。しかし、この旅行が始まった当初は委員長としての自覚もなく、友達と過ごす時間をただただ楽しんでいました。そんな中、最終日前夜の自由行動でホテルに戻る時間に間に合わず先生方に長い時間怒られました。その事によって僕は委員長としての認識を確認することができ、そこで責任感というものを感じました。これから社会に出ていく上で責任感はとても大切な事だと思うので、そういう意味では意義のある旅行だったと思います。

正直、僕は委員長というような役柄には向いてないし、委員長としてしっかりとした仕事はやりきれなかったけど他の旅行委員のみんなや先生がとても頑張ってくれてアンケートを見る限り、この修学旅行がみんなにとってとても大事な時間になったみたいで本当によかったです。



函館山夜景



大沼国定公園



アイスクリューム
& ジャム作り



シルバーアクセサリ作り



白老ボロコタン

50期生 沖縄修学旅行

50期修学旅行委員長
2年6組 塩原春佳

10月15日から4日間私達50期生は沖縄修学旅行へ行ってきました。

台風による影響が心配される中での修学旅行でしたが、1日目はガマや平和の礎などの見学、2日目は美ら海水族館、3日目はマリンスポーツや体験学習、そして4日目は首里城見学と、この4日間のうちに全身で沖縄を感じてくることができました。

このスペースには収まらないくらいの270人一人ひとりにたくさんの思い出ができた最高の沖縄修学旅行だったと思います。



平和祈念公園



みゆきビーチ



平和ガイドさんによるガマの説明



マリンスポーツ体験

生徒会

「新城高校の生徒会」

平木美羽

新城高校生徒会は、個性的な11人の役員で活動をしています。学校行事の指揮、校内や外部での学校説明会の準備、学校の整備など一年を通して様々な仕事があります。説明会のような、表に出て高校の顔となる仕事もあれば、行事の裏方など、見えない部分の仕事も沢山あります。ですが、見えなくても、骨組みとなる大事な仕事ばかりです。骨組みが甘ければすべてが崩れてしまいます。だからこそ、しっかりとした骨組みになれるように、どの仕事も一つ一つ大切にしています。

創立50周年の伝統校であるからこそ感じるプレッシャーもありましたが、それぞれの役員が持ち味を生かした仕事で支えてくれたので、伝統行事を最高の形で受け継ぐことができたと思います。個性的と言いましたが、このメンバーでなければできていなかったと思います。この先ずっと受け継がれていく新城高校の歴史のバトンリレーに参加できたことを嬉しく思います。

■ 生徒会役員一覧

2013年度

会 長	平木美羽
副 会 長	増井美月
	鈴木芹佳
書 記	池田実代
	半澤梨咲
会 計	山田芽衣
	森 佑真
議 長	長利紗瑛
副 議 長	丸山鞠耶
会計監査	辻 和弘
	高橋 栞

2012年度

会 長	幸田準也
副 会 長	福原弘志
	徳植菜美
書 記	増井美月
	長利紗瑛
会 計	平木美羽
	福岡希理
議 長	菅藤 悠
副 議 長	井谷俊哉
会計監査	辻 和弘
	石山あんず

2011年度

会 長	土井貫嗣
副 会 長	幸田準也
	徳植菜美
書 記	菅藤 悠
	安河内哲朗
会 計	福岡希理
	佐川 裕
議 長	吉村実夢
副 議 長	井谷俊哉
会計監査	石山あんず
	中野颯斗

地域貢献活動

平成25年6月15日（土）

平成25年12月7日（土）

生徒会の役員が中心となり、ボランティアの生徒とPTAの方々とともに学校周辺の清掃活動をしました。

ポイ捨てされている煙草の吸殻や空き缶、空きビンなどを拾い集めました。



参加生徒の言葉

私達の学校生活に深く関わっているものが、学校周辺の地域です。

誰もお世話になっている地域への感謝の気持ちが地域貢献活動として形になっています。清掃を通して地域との触れ合いの場を設けることで、大切さやありがたさを改めて感じることもできる良い活動だと思います。これからもより深く、良い関係が築けるように続けていきたいと思っています。

部・同好会活動

■ 硬式野球部

硬式野球部は選手が25名、マネージャー3名で現在活動しています。

大会で良い結果を残すことを目標にし、日々の練習に一生懸命取り組んでいます。

平日の練習は約3時間とそれほど多くなく、そ

の分を週3日の朝練習で補ったり、選手たちが自らバットイングや守備を中心としたメニューを考え、工夫して行っています。

実績としては、昭和51年度春季県大会準優勝、関東大会出場、昭和61年度秋季県大会準優勝、関東大会出場があります。



■ ソフトボール部

私達ソフトボール部は、3年生が引退し現在2年生8人、1年生3人の11人で活動しています。人数が少なく、練習メニューが限られていますが、1人1人課題を持って県でベスト8という目標に向かって毎日の練習に励んでいます。テスト期間と重なる大会がいくつかあり、勉強との両立が大変でしたが、テスト期間中に行われた昨年の川崎地区春季大会で3位になり、県大会に出場することができました。代が替わりTシャツを作り、団結力も高まったと思います。経験者が少なく、まだまだ大変なことが多いですが、常に全力で自分たちらしいソフトボールが出来ればいいなと思っています。

50周年を迎えた新城高校を思っ
てプレーしています。本当に50周年おめでとうございます。



■ 硬式テニス部

男女合わせて30名の部員は、2面のコートを男女で、また軟式テニス部とも分割して練習しています。それは決して良い環境とは言えません。ですが、部員同士が支え合い楽しく活動しています。

しかし、今のままでは「楽しむことだけを目的としたテニス」でしかないと思っています。それは勝利にはつながらないとも思います。これからは「勝つためのテニス」へ部内全体の意識を変え、さらにランクアップさせていく必要があると思います。

勝つために今の新城に必要なことは、まず第一



に実戦経験を増やすことが挙げられると思います。練習では抜群に上手でも、試合でそれを発揮できない選手が多く、実力的には格下ともいえる相手に負けることもありました。

本番で力を出すには、より本番に近い練習が必要だと思います。なので、これからは練習試合や実戦的な練習を増やしていき、団体戦で1つでも多く勝てるよう頑張ります。

■ ソフトテニス部

ソフトテニス部は現在女子15名、男子19人で月曜日を定休日としてテニスコートで活動しています。

平日はサーブやレシーブ練習などの基礎練習、休日や大会前にはゲーム等を中心に練習しています。

部の目標は個人では県大会出場、ベスト32、団体では県ベスト16で、1つでも多く勝てるように志を高く頑張っています。

昨年度は、個人戦は男女ともに1ペアずつ県大会出場、団体戦は女子県ベスト32という結果を残

しました。

今年度は、この結果を上回り、より良い結果を残せるように部員全員で力を合わせ頑張って活動しています。



■ バドミントン部

バドミントン部は現在、女子15人、男子9人、マネージャー3人で活動しています。「克己」という信念をかがけ、一人一人が日々全力で練習に取り組んでいます。今年度の大会実績では団体戦市大会5位や県大会ベスト8、個人戦シングルで



は市大会3位県大会出場などの成績を残しています。みんな仲が良く、休日の少ないオフの日なども部員どうして遊んだり、部活以外でも会うことが多いです。

部活動を通して自分で目標をたてて、それを達成するためにはどのようにしたら良いかを考えたり、辛い練習をみんなで乗り越え、喜びや楽しさを分かち合ったり、とてもたくさんの事を学び、そして体験しています。先輩方からの教えや伝統を守り、礼儀や挨拶、マナーは特に心掛けています。これからも部員全員が向上できるように頑張りますので応援よろしくお願いします。



■ サッカー部

私達サッカー部は、神奈川県ベスト16という目標を掲げ、日々練習に励んでいます。

休日は主に試合を行い、実戦経験を積んでいます。長期休みでは県外の大会に参加させてもらい、県内では味わうことのできない経験をし、刺

激を受け多くのことを学ぶことができました。

また、サッカーだけではなく、日頃の生活から見直すべきだと思い、挨拶や服装をきちんとするなど人間としても成長できるよう活動しています。

環境も学校からの支援や応援もあり、変わりつつあります。人数が少ない部活ですが、少ないからこそ一人一人の仲を深め何でも言い合える関係を築けるようにしています。感謝の気持ちを忘れず、サッカーで恩返しができるようチーム一丸となって、全員サッカー目指して、目標に一步一步近づいていけるように努力していきたいと思ひます。

■ バスケットボール部

男子は7人、部員全員1年生だからこそ困った時は全員で協力しながら楽しく活動しています。女子は2年生6人、1年生5人、先輩後輩関係なく意思をはっきり伝え合うことでチームワークを深めながら目標に向け活動しています。マネージャーは2人と少ないながらもプレーヤーに負けないくらい、部員のため、部活をより良くするために一生懸命活動しています。部員数は多いとは言えませんが、どこの部活よりも元気いっぱいでもっとも仲が良く、にぎやかに活動しています。その元気の良さを練習や試合に活かして、更に上の順位を目指したいと思ひます。まだまだ勝つた



めには足りないことがたくさんありますが、素敵な顧問の先生たち、それから素敵な仲間に出会えたからこそ最後には自分たちが満足できる素敵な結果を残したいです。みんなで成長して強くなります。応援よろしくお願いします。

■ 女子バレーボール部

部員は、プレーヤー6人、マネージャー2人で活動しています。月曜日は定休日、活動日は、



火曜日は体育館練習と筋トレ、水曜日は隣の新城小学校の体育館、木曜日は筋トレと体育館練習、金曜日は筋トレ、休日は半日練習や他校との練習試合です。

主な練習メニューは、アップのための走り込み、ボールを使ってのパスや対人練習や、6人コートに入っているチーム練習など、その時のチームの課題に合った練習をしています。

このチームは、人数も少なく全員経験者というわけではありませんが、毎日切磋琢磨しながら楽しく活動しています。

男子バレーボール部

男子バレーボール部は2年生が2人、1年生が8人のプレーヤー10人とマネージャー1人で活動しています。

活動の内容は、平日は練習が筋トレ、休日はコーチを交えての練習や練習試合などです。

練習内容はパスやサーブカット、サーブ、ブロック、スパイクなどの基本的な練習を中心として、試合の前日などには攻撃や守備の連携の確認



などを行っています。

部の目標は、個人の技能を高め、部員同士で切磋琢磨し、1試合1セットでも多く勝てるチームになり大会で勝ち進むことです。

ハンドボール部

私たちハンドボール部は、女子6人、男子3人、マネージャー5人で活動しています。

今は人数が足りないので男女ともに合同チームを組んで試合に出ています。平日の練習は基本的に別々でそれぞれの学校で行います。休日には合同チームが集まって、ひとつになって練習に励んでいます。主な平日の練習は、人数が少ないので出来ることは限られていますが、だからこそ声を出してひとつの練習を丁寧にやるように心掛けています。また、平日はハンドボールの指導者がいないので自分たちで指摘し合い、教え合って練習しています。土日の練習では教えて下さる先生がいるので、平日の練習で個々の欠点を少しでも直



し、土日に合同で練習する時には教えていただいている先生に技術が向上したと思われるように頑張っています。大会では、合同を組んでくれた仲間、先生、マネージャー、支えてくれている人に感謝を表せるように1試合でも多く、勝ち進みたいです。

ラグビー部

新城高校創立後すぐに、新城高校ラグビー部が結成され、昨年度（2012年度）11月に創部50周年の祝賀会が行われました。OBの方々やインストラクターの今村さんの話によれば、50周年の歴史の中には、相当強い時期もあったようです。この50



年、ラグビーを専門的に指導できる顧問に恵まれず、OBが全面的に協力しながら、部を存続・発展させてきたということです。

現在、部員17名、マネージャー5名で活動しています。月曜日以外はほぼ毎日練習し、夏休み中には、毎年山中湖4泊5日の合宿を行っています。OBの方によく協力していただき、合宿中の他校との練習試合など、非常に充実したものになっています。49期中心のメンバーの時は、花園予選で県ベスト16に進出し、50期・51期中心の現在のメンバーでも、7人制川崎大会で3位入賞を果たしました。

■ 陸上競技部

こんにちは陸上競技部です。僕たち陸上競技部は男子13人、女子5人の計18人で活動しています。部の目標として個人種目で県大会出場者を3人出すこと、最低でも市大会で決勝に行くことを目標にしているので練習は短距離、長距離に分かれてやり、毎日目的に合ったさまざまなメニューを自分たちで考えたり、顧問の先生に出してもらい工夫しながらやっています。

僕たちは本当に先輩・後輩関係なく仲が良く、他の部活よりフレンドリーなところが自慢です。



また、いくら気を抜いたとしても練習が始まれば、しっかりと切り替え、メリハリをつけて練習ができる最高の部活です。

■ 水泳部

こんにちは、水泳部です。水泳部は現在スイマー 27名、マネージャー 5名の計32名で活動し



ています。僕たちは“市大会で一人でも多く入賞する”という活動目標のもと、夏は学校のプールで水中トレーニングを、冬は外周や筋力トレーニングをし、練習に励んでいます。また、練習メニューも自分たちで練り上げ、日々勉強しながら取り組んでいます。

僕たちの部は初心者や、泳げなかった部員もいましたが、いまでは全員タイムを気にするほど上達しており、また市大会で多くの入賞を果たし、県大会に出場するなど確実に力をつけています。

先輩・後輩の仲もよく、和気あいあいとした雰囲気の中の活動は面白く、楽しいです。

■ 剣道部

剣道部はプレイヤー7人、マネージャー1人と少ない人数ながら日々互いに切磋琢磨しています。

練習内容は準備体操から始まり、素振りをします。その後、基本技、応用技をやり、また、打ち込みなどをします。最後に地稽古をやるというのが稽古の流れです。

部の雰囲気はとても明るくチームワークもととても良いです。ですが、和気あいあいとやるのではなく、やる時はやるということを心掛け、けじめを持って取り組んでいます。

また、悪い点があればお互いにアドバイスしあ

える部でもあります。

部の目標は県ベスト16を目指しています。簡単な目標ではないですが、そのために日々努力しています。また、個人の目標では昇段審査があります。これも簡単ではないですが、努力しています。

新城高校剣道部一丸となり、目標に向かって一生懸命努力していくので、これからも応援よろしくお願いします。





■ ダンス部

私たちダンス部は、現在31人で活動していて、週に5日、保体室を借りて練習に取り組んでいます。練習では、年に2回行われる大会に向けて、また、文化祭でのステージ演舞に向けて、作品づくりを行っています。

私たちのモットーは「感謝の気持ちを忘れないこと」です。活動の場を貸して下さる先生方、練習を見守って下さる顧問の先生方、ダンス部の伝

統を受け継いで来られた先輩方、周りで支えてくださる全ての方々、そして環境に、日々感謝することを忘れず活動してきました。

そして、平成25年に行われた新人大会では8位という結果をいただきました。私たちだけでは獲ることができなかった順位だと感じ、改めて周囲の方々に感謝する次第です。

これからも、その気持ちを忘れず、ダンス部の伝統を守っていききたいと思います。

■ 体操部

体操部は、現在4人で活動しています。1つ上、1つ下の学年には部員がおらず、今は3年生4人だけです。それでも、練習を見に来て下さる先輩達、練習に参加させて下さる他校の方々いろいろな教えていただきながら、今まで練習してすることができました。

体操には6つの種目があり、全員それぞれに得意な種目、不得手な種目があります。それでも諦めることはせず、互いにアドバイスをし合い、時には励まし合ったりしながら、自分を高めています。辛い練習をする時もありますが、仲間の応援を聞きながら乗り越えました。

現在部員たちは、各種目において新しい技の習得、すでに習得した技の上達を目標として、大会で少しでも良い成績を残せるように日々練習に励

んでいます。挫けてしまいそうな時もありますが、周りを頼りにしながら少しでも前に進めるように練習しています。



■ 吹奏楽部

私達吹奏楽部は、2年生1人、1年生7人の計8人で活動しています。

部員数が少ないので、先輩と後輩の仲が良く、とても和気藹藹とした部活になっています。活動日は週5日で、いつも遅くまで残って練習をしています。

個人で1日の時間配分を決め、基礎と曲を練習したり、部員全員で合奏するなどが練習メニューになっています。ミーティングでは、皆で意見を



出し合って今後の活動内容や次回演奏する曲について相談します。

4月の新入生オリエンテーションや7月の野球応援、9月の城高祭に向け日々練習をしているので応援よろしくお願いします。

■ 軽音楽部

こんにちは。軽音楽部の城田です。

軽音楽部では、夏休み前、冬休み前、春休み前に視聴覚室にて、文化祭では体育館ステージにて行われるライブを目標として、それぞれのバンドが日々練習を重ねています。学校での週1回の練習だけではとても足りないので、バンドでスタジオを借りて練習したりすることで、不足している分を補い、楽曲を形にしていきます。

バンドを組んで間もない頃はみんな自分の事で必死でしたが、バンドが成長してくるにつれて「もっとこうした方がいい」という言葉や個々の



主張を交わすようになったり、自分自身も「どうしたらもっと良くなるか」を考えて行動できるようになりました。さらなる成長を目指してこれからも頑張っていきたいです。

■ 合唱部

私たち合唱部は3年生が6月の校内合唱コンクールにおけるステージ演奏を最後に引退し、2年生8人で活動しています。人数は少ないですがその分、一人一人の声量アップや技術向上を目指して練習しています。毎年様々なコンクールや合唱祭に参加し多くのことを学んでいます。

残念ながら、コンクールではなかなか良い結果



を残すことができていないので、より一層練習に力を入れていきたいです。

また、合唱部は50周年記念合唱団の一員としても活動しています。合唱団では私たちが普段体験出来ない混声、そして何よりも大勢で合唱ができるので深い音の響きを聴き合い楽しみながら歌っています。合唱部の先輩としてだけでなく人生の先輩としても色々学ぶことができとても良い経験になっています。

これからも多種多様な合唱曲に取り組み、活発に活動していきたいと思っています。合唱部の歌を機会あるごとに聴いていただき、私たちも精一杯頑張りますので応援よろしくお願いします。



■ 美術部

私たち美術部は、基本、「自由に創作する」よう活動しています。例えば、普段の活動は、毎週月曜日から金曜日の放課後と決めています。自分のペースに合わせて部員たちは来ています。また、内容もデッサンをする人がいれば、立体物を作ったりと自分でやりたいことをしています。中学校では先生から言われたことをコツコツとやっていたのかもしれませんが、しかし、新城高校の美術部は、自分で考え計画し、顧問の先生と協力して制作しています。その自由な点がこの部活の良いところです。

幅広く、自由に活動していますが、一番部員が気合いを入れているのは、年1回ある「総合文化祭」の芸術部門です。この行事では、神奈川県全体の美術部がそれぞれ作品を作り展示します。わが部は毎年受賞しています。製作期間中は、皆緊迫した様子で一生懸命頑張っています。自由だけではなく、1つ1つ努力して活動する私たちにとって素晴らしい部です。



■ 茶道部

茶道部は、週に一度作法室で活動しています。季節によってお点前が変わるので様々な種類の道具を使うことができたり、毎回違う和菓子が食べられることが部員の楽しみになっています。

夏には着付けを教わり、自分で浴衣を着ることができるようになります。また、学生茶会といって、他校の人たちのお茶をいただける機会もあり、とても貴重な行事です。

文化祭ではお客様にお茶をお出ししますが、毎年たくさんのお客様が来て下さいます。

学年ごとにお点前は別々で行いますが、週に一度昼食を一緒に食べたり、準備・片付けを皆でするなど交流を深めています。

お点前は、茶道の先生が毎週来て下さり、一人一人に細かい部分まで丁寧に教えていただくことができるのも茶道部の魅力です。そのため、初心者で入部した生徒も多いのですが、練習を重ねるうちに正座にも慣れ、作法も身につけてきます。

■ ICC

ICCは現在3年生5人で月曜日の週1回活動しています。これまでは、英語を使ったプレゼンテーションやドイツ語の学習などをしました。



活動内容もかなり自由で、部員と顧問の先生で取り組む課題や活動方針相談して決めることができます。

自由で楽しい部活になっています。毎年、文化祭は出し物で参加していますが部員が5人ということもあり、なかなか厳しいです。所属している部員も全員が外国語を話すことができるわけではないので安心して下さい。興味がある方は是非のぞいてみてください。

■ 将棋部

将棋部は現在、2年生2人、1年生5人で活動しています。

活動内容は、部員どうしの対局、対局後の感想戦「この手が良かった、あの手が悪かった、こうすれば良かった」などを振り返り、定跡書を読み、様々な戦法の研究をしています。

部の目標は、棋力向上、活動実績を残す、一局の将棋に集中して、自分の力で最後まで指しきる



力を身につけることです。

県大会決勝リーグ、級位取得、県大会ベスト16を目指しています。



■ 放送委員会

放送委員会は、昼の放送や、合唱コンクールでのクラス紹介を行っています。また、城高祭でのナレーションや伝達放送など、行事の裏方として活動しています。

しかし、放送委員会は他の委員会と異なり、部活動と同様に大会があります。全国大会につながる大会は、校内の話題を紹介する「NHK大会」と、地域の話題を紹介する「総合文化祭」です。

また、神奈川県独自の大会である「放送アンデパンダン大会」は、生徒達だけで審査員を行う全国で唯一の大会です。その中の「NHK大会」では、県内での総合優勝や、昭和四十年代には全国優勝をとげたこともあります。県内では「新城」といえば、「放送の強豪校」でした。

先輩たちが築いた「広く情報を発信する」という思いは、今も生徒手帳に残されています。当時ほど盛んではありませんが、その伝統を継承し、活動を続けています。

■ 文芸同好会

私たち文芸同好会は現在、1年生3人、2年生4人の計7人で活動しています。

活動内容は主に小説や詩を書くといったことをしています。特に文化祭では部員たちがそれぞれ作品を書いてオムニバス形式で文芸誌を作っています。

運動部、他の文化部と違って、3、4年前に新しくできた同好会で書くことが予想以上に少なかったですね…。つまらないかもしれませんが少しだけ思い出話でも。

私が文芸同好会に入部したときは、3年の先輩が5人と同時に入部した1年が2人合計で8人の

部活でした。先輩達は次々と作品を書き上げていて、私は素直に「すごいな」と尊敬の念を抱いたのは決して忘れません。現在は7人で考え、部として活動しています。私たちは、あの先輩方のようになれるよう、これからも頑張っていきたいと思います。



50周年記念座談会 「言葉のタイムカプセル」

次の半世紀に向けて



次の50年、創立100周年に向けてのメッセージを残してもらうため、羽中田圭子校長と生徒代表に座談会を行ってもらった。いわば未来へ向けての「言葉のタイムカプセル」で、学校が考える未来の新城高校のグランドデザインを中心に「どういう学校になってほしいか」「何を残したいか」を語ってもらった。この記念誌が過去を振り返るだけでのものではなく、未来志向のものにしたいという50周年記念事業実行委員会の願いがこもっている。創立50周年のキャッチコピーは「未来へ繋ぐ^{つな}伝統と魂」。50年の歴史の中で培われた校風や良き伝統を引き継ぎ、育てていく道しるべの一助として語り合ってもらった。

〔出席者〕

羽中田圭子	校長
鈴木 芹佳	2年・生徒会会長
池田 実代	2年・生徒会副会長
善村 優貴	1年・生徒会副会長
山田 芽衣	2年・生徒会会計監査
佐藤 勇太	1年・生徒会会計
外崎 学	教頭(司会)

自律心と高め合う気風

〈魅力〉

外崎 最初に新城高校の魅力や自慢できる点、良いところを聞かせてください。

鈴木 新城高校で過ごしてみて、勉強に対する生徒の意識がとても高いと思いました。中学校から高校に上がるまでの間は、受験が終わって勉強しなくてもいい、「やったー」と思っていました。が、入学してみると周りの人の意識が高く、2年生の最初のころからは「大学はここに行きたい」という話がいつも飛び交っていて、私も意識を高

くして過ごしていかなければいけないと思いました。周りの人が互いに意識を高め合っている学校なので、遊びの誘惑に負けず、勉強に励むことができます。そこが新城高校の良いところだと思います。

池田 受験前に2回ほど学校見学に来ました。そのときに自由な校風でありながら、髪を染めているとか、カーディガンの色が派手ということがなく、すごくまじめな雰囲気の高校だと思いました。それにあこがれて入学しましたが、入学してからは、みんな活発で、自分から計画を立てて行動する生徒がとても多いなと思いました。

善村 新城高校に隣接する大戸小学校の前で地域の方々が、小学生が事故に遭わないように交通整理をしてくださっています。そのときに、入学したばかりの私を新城高校の生徒だと理解してくださり、あいさつをしていただきました。そんな経験から、この学校は地域との結びつきがすごく強いと感じました。また、生徒一人一人の学業や部活動に対する意欲がとても高く、文化祭や体育祭、合唱コンクールなど、生徒が協力し合っている行事は互いが認め合い、一つの集団として自立していく統一性があって、そういうところがとても良いと思います。

先輩や先生にも恵まれ

佐藤 私はバドミントン部に所属して頑張っていますが、バドミントン部にしっかりとした技術を持った顧問の先生がいません。でも、3年生の先輩方が自分たちで練習メニューをイチから考えてくれて、それを自分たちに教えてくれます。そこがすごいなと思います。また、先輩たちは練習の合間にも、屈伸や腕立て伏せをしたり、声を掛けてくれたりして、私たちの意欲を高めてくれます。女子は関東大会に出場しています。そんな積極性や自主性のあるメンバーや仲間たちに恵まれていることが良いところだと思います。

山田 生徒と先生の仲がとても良いと思います。



勉強に対する
生徒の意欲が高い

鈴木

す。私自身、友人関係で悩んだりしていたのですが、それを先生に話すことによって、先生からいろいろなアドバイスをいただきました。それによって自分で解決策を見いだせましたし、とても安心することができました。先生と話しているととても楽しく、親身になって話してくださるので、そういうところが新城高校のとてもいいところだと思います。

外崎 新城高校は進学校ですので、3年生になると部活動を引退しますが、先輩が後輩の面倒をみる、あるいは顧問がいなくてもOBがその役割を担うという伝統は受け継がれているのかなと思います。

それでは現在、新城高校が将来に向けて取り組んでいるグランドデザインについて、羽中田校長から説明をしていただきます。

困難に負けない人育て

〈グランドデザイン〉

羽中田 グランドデザイン（別表参照）をつくるに当たって、保護者と生徒、地域の方々からアンケートを取りました。

アンケート結果

アンケートでは保護者の願いとして、本校にかける期待の一番は「自分の子どもに困難を乗り越える力をつけてほしい」。次に「自ら学ぼうとする意欲を持ってほしい」が続きました。

生徒のニーズで圧倒的に多かったのは「学校行事・部活動の充実」。2番目は「基礎学力・受験に役立つ学力をつけてほしい」でした。

社会が求めていることでは「グローバルな人材」。今や、人・モノ・お金・情報が世界中で共有化されていますが、これからの若い皆さんは国際化した社会の中でしっかりと生きていける力が求められているのだと思います。もう一つは「社会参画」です。少子高齢社会という言葉をよく耳にしますが、そうした問題に対して、自分が助け

る「自助」、社会が助ける「公助」に加えて、社会のみんなで助け合う「共助」が大事になってきます。そういう面で、みんなで社会の在り方を考えていこうとする人材が求められているわけです。

新しい学習指導要綱が実施されて2年目になりますが、そこで重視されているのは「知徳体のバランス」。2つ目は「言語活動の充実」。自分の気持ちをしっかりと説明できることが大事ということです。

地域の期待では「ルール・マナーの順守」と「地域貢献」が挙げられました。

目指す人間像・学校像

こうしたアンケート結果を踏まえて、新城高校が目指す人間像を考えました。「生涯を通して学び続ける力を持ち、グローバル社会で活躍する人間になってほしい」などの三つです。

学 ぶ 力 を 育 む 学 校 で あ り た い

羽中田



では、学校はどうかと考えたとき、まずは日々の授業を大切に、学ぶ力を育む学校でありたい。次に「可能性と個性を伸ばし、自己実現できる学校でありたい」などの三つを目指す学校像としています。

さらに、本校で学ぶ皆さんに身につけてほしい力として、「基礎学力・大学や社会につながる発

新城高等学校グランドデザイン

校訓 清楚質実（清らかで飾らずまじめ）

目指す人間像

- ◎学び続け、グローバル社会で活躍する人間
- ◎夢や目標を持ち困難を乗り越えていく人間
- ◎多様性を認め、他者を思いやる人間

目指す学校像

- ◎日々の授業を大切に、学ぶ力を育む学校
- ◎可能性と個性を伸ばし、自己実現できる学校
- ◎他者を尊重し、規律ある自主性を育む学校

本校で身につける7つの力

- ①基礎学力・大学や社会につながる発展的学力
- ②知的探究心・主体的に学ぶ力
- ③自ら考え、判断し、表現し行動する力
- ④人間関係を形成するコミュニケーション力
- ⑤多様な価値観を理解し、他者と協働する力
- ⑥ルールやマナーを守り社会や集団に参画する力
- ⑦自己を律する力と、自己を確立し自立する力

具体的な取り組み

- カリキュラム開発グループ
教科指導力の強化／教育課程の充実／補習・講習の充実
- 生徒指導グループ
自己管理能力を強化する指導の充実／ルール・マナー指導の充実
- PTA広報グループ
適切かつ効果的な情報発信方法の実施
- キャリア開発グループ
進路指導力の強化／社会参画意識を育む指導の計画的実施
- 生徒会グループ
定期的な地域貢献活動の推進／部活動等を活性化しマナーや連帯意識や自主性を育成／学校行事で生徒の企画力や運営力を育む指導・支援を実施
- 学校管理グループ
安全・安心な学校の推進／3S（整理整頓清掃）意識を育む指導の充実



夢をもつて 卒業できる高校に

池田

展的学力」「知的探究心・主体的に学ぶ力」など七つを挙げました。この七つの力を実現するための具体的な取り組みとして、学校の中に六つのグループを設けています。それぞれのグループの中で、取り組みの方向性を明確にしていますが、それぞれが別々に取り組むのではなく、みんなが同じ気持ちで取り組まなければ意味がないと思っています。

グローバルな人間教育

外崎 グランドデザインについて、生徒代表の皆さんが疑問に思ったこと、ここはこうしたらよかったのではと思ったことを話してください。

山田 「グローバル社会で活躍する人間」のところで、交換留学制度を利用して、留学生を新城



先生と生徒との 関係がとても良い

山田

高校に呼ぶことはできますか。

羽中田 交換留学制度は、残念ながら本校の英語教育のカリキュラムには入っていません。ただ、留学については、いろいろな形で展開をされていると思いますので、それを活用して、自分で応募することがとても大事だと思います。

善村 具体的な取り組み中で、カリキュラム開発グループが示している「補習・講習の充実」についての考えです。先ごろ、大学の先生や卒業生、リクルートの方々から進学についていろいろ学びましたが、講習の中でも夏期講習や大学進学に向けての講習など、さまざまな種類の講習があると思いますので、そうした点をもっと明確にしたいです。

もう一つ、身につける七つの力の中の4番目の「人間関係を形成するコミュニケーション力」についてですが、私が先日、新聞で読んだ中に「さまざまな場面・場所に対応して、その場面・場所ごとに自分の考えを言うことができることが本当のコミュニケーション能力ではないか」とありました。なので、場面・場所ごとに対応できるコミュニケーション能力も必要なのではないかと思いました。

羽中田 人間関係という言葉の中には先生や友人をはじめ、いろいろな人・場面・場所という意味も含まれていますが、コミュニケーション力についてのそうして考え方はすごくいいなと思いました。講習については、例えば夏休みの講習は間もなくプリントを配りますが、さまざまな選択肢を用意しています。

「伝統と魂」未来へ繋ぐ

鈴木 「ルール・マナーを守り」とありますが、やっぱりルールを守らない人もいますよね。そういう人たちに対して、先生たちが具体的にどのような指導をしてくれるのかなと思いました。

外崎 どこの学校でもルール・マナーを守る人

が100%ではありませんね。でも、守っていない人が「これじゃいけないんだ」と自分で心から思ってくれるまで、繰り返し指導していきたいと思います。何事も一度に変えるのは難しく、そうした人が徐々に少なくなっていくことで、全体のレベルアップにつながると考えています。

羽中田 自分が属している集団・社会との関係を考えてほしいと思います。今だけのことなく、社会に出てからもいろいろな場面に出合うと思いますが、他人から言われなくても自分から主体的に取り組んでいくことが大事だと考えています。

佐藤 新城高校50周年キャッチコピーの「未来へ繋ぐ伝統と魂」がちょっと気になりました。「伝統と魂」という2文字と1文字で終わらせていますが、校長先生が考える「伝統と魂」とは具体的にどのようなものですか。

羽中田 このキャッチフレーズは本校が創立50周年を迎えた昨年(2013年)、皆さんの先輩が作ってくださったんです。幾つかの候補を挙げて、投票でこれが選ばれました。今、皆さんは新城高校で生活をしていますよね。そこで一番いいと思うものが伝統だと思います。その伝統がどういうことで出てきたかを考えると、そこにある魂がみえると思うんですね。新城高校の3年間で自主的に学ぶ中で一つ一つの伝統が育まれると思います。

夢への一歩踏み出す場に

池田 具体的な取り組みのキャリア開発グループの「進路指導力の強化」がありますが、新聞部の活動の中で、自分の夢を見つけるために新城高校に入学した生徒もいることが分かりました。夢を見つけに来ている生徒に対してはどのように指導していくのでしょうか。私自身、中学を卒業してすぐのころは漠然と看護師になりたいという夢を持っていたのですが、高校で聞いてもらった説

地域との結びつきが とても強い学校

——
善村



明会(約40の業種の人が職業について語る)で初めて、ある大学の健康医療学部の中に看護学科があることや、作業療法士学科や運動療法士学科もあることを知りました。私たちの知らない「こういう仕事もある」という一つの目安を提示していただければいいかなと思います。

羽中田 グランドデザインでは、1年生の目標の一つに「自他理解を通し、進路意識を高める」とあります。自分自身との対話を通して、自分がどういう仕事に向いているのかを考えたり、発表ができたりするとすごくいいなと思っています。実は「他」の中には職業理解も入っているんですね。本校では、希望者はインターンシップに行ける制度がありますので、自分で夢を持っている人はぜひ一歩を踏み出してほしいと思います。

外崎 ほかの皆さんの夢を聞かせてください。

山田 勉強がしたくてもできない子どもたちが世界中にいっぱいいます。そうした恵まれない子どもたちに勉強を教える教師になりたいです。

鈴木 かないそうにありませんが、いろいろなことができる人になりたいというのが第一です。次にそれを生かして、国会議員になって日本を変えられたらいいかなと思っています。

佐藤 自分でかなうと思っていますが、英語の教師になりたいです。高校に入って、英語の授業だけは自分の中で伸び伸びとできました。ほかの人とのコミュニケーションを英語で深められるこ

との楽しさを覚えましたので、その楽しさを将来、授業を通じて教えたいと思っています。

善村 私は他人と話す力がある方だと思っていますので、その力を生かして外交関係のさまざまな問題を解決していきたいですし、社会を動かす立場にいたいと思っています。

絆を深め高度な知識も

〈期待〉

外崎 最後に未来の新城高校のイメージを語ってください。

善村 まず、生徒同士の交流がより活発化していくだろうと思います。そして、高校生の時点でもより高度な知識を社会から求められているのではないかと思いますので、1年生の段階で自分の5～6年後の進路を見据えた学習ができるようになっていかなければならないかと思っています。さらに校内と地域の情報の受信と発信が行き交う、一つの集団として出来上がっていると考えます。

山田 生徒と先生のコミュニケーションがより深まっていると思います。それと部活動については、1度入ってしまうと先輩が怖かったりしてやめられないこともあると思いますので、自分に合った部活動をいい意味で自由に選択できる環境ができればいいなと思います。

佐藤 1年生の時点から、これからの自分につ

先輩から伝統
受け継いでいく

外崎



いて一人一人が考えるようになってほしいです。そこで、一つの結論にたどり着いたとしたならば、そこから自分がその結論に向かって、何をしなければならないかを考え、3年間でいろいろな知識・技術を蓄えられる学校になってほしいです。そのためにいろいろな人が積極的に新城高校に入学できる学校になっていたらうれしいです。それから、「伝統と魂」を20年、30年後の世代につなげていってほしいですね。

池田 今の社会は就職が難しい社会になっていると思います。そんな中でも、夢を持って卒業できる高校になってほしいと思います。夢をあきらめないで、社会性もあり、学力もある、そして楽しいけれど厳しさがある学校、社会に出ても恥ずかしくない生徒を育てる学校になってほしいと思います。

鈴木 自分をどのようにして創っていけるか、今後の社会で生きていく上でどのようにすればいいのかを考えられる学校になっていけたらいいと思います。自分をより磨いていくために、いろいろな人に会い、それまで培ってきた土台を生かし、目標に向かって前向きに取り組んでいける学校になってほしいと思います。

羽中田 「新城高校が好き」という思いがとてもよく伝わってきました。ありがとうございました。

先輩や仲間
恵まれている

佐藤



新城

CHAPTER 3



PTA活動



歴代PTA会長

▶▶ 昭和39年～平成6年



初代会長 重田 清重
(昭和39～40年度)



2代会長 目代 正男
(昭和41～42年度)



3代会長 河田 常治
(昭和43年度)



4代会長 斉藤 一郎
(昭和44年度)



5代会長 今宮 祥介
(昭和45年度)



6代会長 田辺 美光
(昭和46～48年度)



7代会長 伊藤 文治
(昭和49年度)



8代会長 田辺 美光
(昭和50～53年度)



9代会長 伊藤 達男
(昭和53～54年度)



10代会長 吉富 浩三
(昭和55～56年度)



11代会長 伊藤 達男
(昭和57～58年度)



12代会長 和田 龍宏
(昭和59～61年度)



13代会長 河田 進
(昭和62～63年度)



14代会長 松原 賢
(平成元年度)



15代会長 鍋木 茂哉
(平成2～4年度)



16代会長 金子 勇
(平成5～6年度)



17代会長 栄居 義則
(平成7年度)



18代会長 芝池 甫
(平成8年度)



19代会長 新沢 隆夫
(平成9年度)



20代会長 小池 隆一
(平成10～平成11年度)



21代会長 了戒 浩二
(平成12年度)



22代会長 新井 幹生
(平成13年度)



23代会長 松原 和仁
(平成14～15年度)



24代会長 岩田 芳博
(平成16年度)



25代会長 高木 嗣朗
(平成17～18年度)



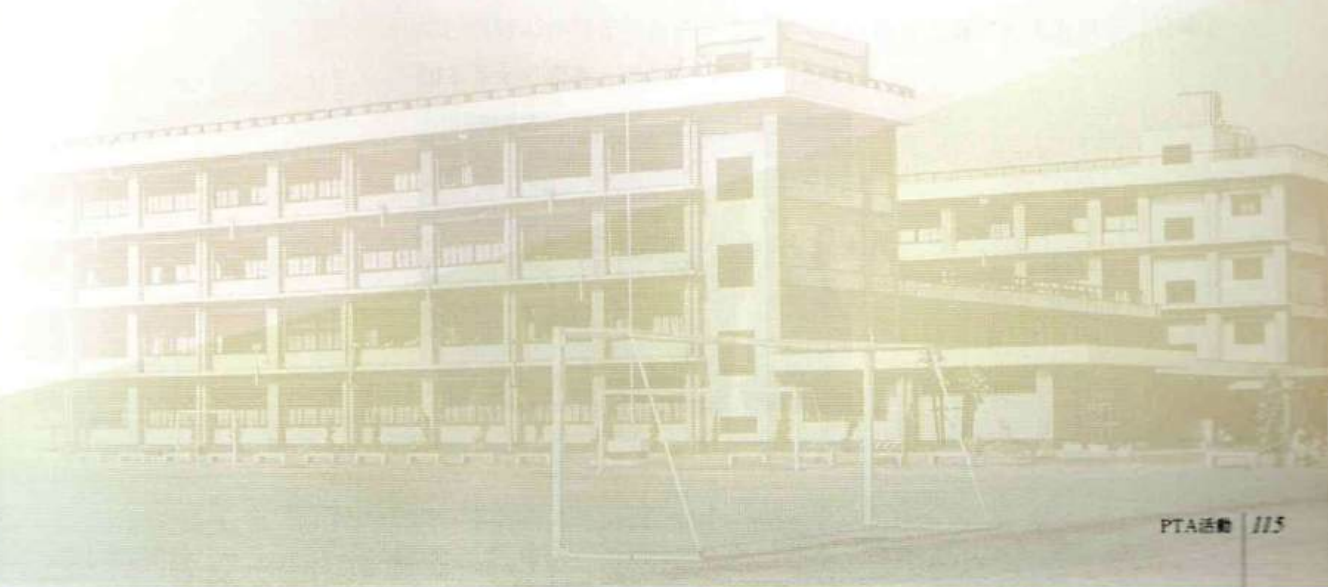
26代会長 松本 伸
(平成19～21年度)



27代会長 小口 早苗
(平成22年度)



28代会長 岩田 和人
(平成23～25年度)





鍋木茂哉
15代 PTA会長

変容と変遷

新城高校のPTAを終えて二十年以上の歳月が流れた。この二十年の様々な変容は自分を含めて『今は昔』という言葉があるが正に隔世の感がある。

中学のPTAの後、新城の会長を、と1週間毎日のように来られて、つい承諾してしまった。長女が二年間通っていたにもかかわらず一度も新城に行ったことのない私だった。おかげで妻は一週間ほど、口を聞かなかった。当時すでに自治会長、保護司をしている私にとっては自分の時間を更に無くすことでもあった。学校に初めて行ったときに印象的な事があった。廊下ですれ違った人に会釈をしようとしたら目を外らされたが、その時はその人が誰なのかはもちろん知らなかった。

新城のPTA活動に少し馴染んできた頃、先生方がPTA会費を納めていない組織だったことが分かった。教職員（組合）の代表と話し合いをもって会費を納めていただくことになった。そして、すでにその時、目を外らした人は教員なのは分っていたが「多分その先生は管理者（校長）側の人と思ったのではないだろうか」とのことだった。果たしてこのことは先輩から聞いていた、担当の先生方とのほのぼのとした交流を含めた一体感のあるPTAとは一線を画した新しい教職員の台頭によるものであり、私たちのスタートしたPTAはそうした端境期に位置していた。

保護者の多くは新城を南部地域における進学校の雄と思っていた。受験に向けたカリキュラムを組んで受験校としての向上を願っていたが、現実とは違っていた。そうしたなか中学校の進学担当の先生は新城に行かせるより住吉高校にというような時期でもあった。当時の校長先生の心労は如何ばかりか、大変であったと思われる。

『今は昔』の話に駄弁を労したが結局二人の娘がお世話になった新城には特別の思いがあるのは言うまでもない。どうか在校生諸君は新城高でしっかり学び且つ遊び、誇りをもって次の舞台に立ち向かって欲しい！



栄居義則
17代 PTA会長

高P連を経験して

祝 創立50周年

記憶がだいぶ薄れていますが、20年程前の或る日、新城高校のPTA活動に協力して欲しいとの電話が家内にありました。家内は長男の小学校入学時から3歳下の次男が中学生生活終了時までP活動にかかわっていました。従ってこれまで自分の時間も充分に取ることも出来なかった事等その胸中を伝えたところ、では御主人ではということになったそうです。

指定された日時に学校に伺うと当時の鍋木会長、小峰副会長それに2～3人の女性役員との面談になりました。

P活動未経験の私でしたが、副会長でスタートすることになりました。卒業式の朝いつものように校長室に入ると先生方数人が床に座り込んでいました。私にとっては異常な光景でした。事は国旗の上げ下げをめぐっての先生方の抗議行動でした。来賓の方々も校長室に集い始めどう

なることかと心配しました。続いてこんな場面にも出会いました。卒業式の後で先生方への感謝を表すパーティーの時に担任だった先生への花束をA先生はPの会員ではないから渡す必要はないと言われ私はビックリしました。先生も何の素振りも見せず退席されたのには複雑な思いをさせられました。

様々な貴重な体験を重ねながら3年目に会長を務めることになりました。2年間何かと親切に御指導頂いた甲谷校長は定年を迎えられ、山田校長が就任されました。この年は新城高校が全県下のPの会長を担当する年でした。甲谷校長からはそんな事も仄聞しておりましたが現実になると落ち着かない心境でした。

会議はほとんど箱根の「吉野」で行われ幾つかの部会に分かれ議論が進められました。本校のようにほとんどの生徒が進学希望であり校風や風紀も守る自立したケースは少なく、就職や進学に悩み、生活態度や警察対応を求められる等なかなか順風満帆とはいかない高校生活の実情を知った思いでした。この間は、留守をしっかり頑張ってくれた後藤副会長に心から感謝しています。

貴重な経験を与えてくれた3年間のP活動に感謝しています。そして、当時の仲間との交流が現在まで引き続き、特に鍋木先輩とは音楽を知るうえで現在も教示を頂いています。





新沢隆夫
19代 PTA会長

PTAそして出会い

息子陽介の雄姿(?)を見たいと夫婦で体育祭へ訪れたところ、好天の余りの暑さに本部テントの日陰に逃げ込んだのがそもそもの始まりでした。そこに当時のPTA会長でいらした栄居義則さんに見つけれ、子どもに教育熱心であるかのように誤解され、後日、PTAの活動を強く勧められてしまいました。

それまで丸っきり未経験の分野でしたが、お手伝いなら何とかという気持ちで役員に入れて頂きました。芝地 甫会長、後藤澄子副会長、そして、山田勉校長、三宅章文教頭がいらして、PTA活動を一から勉強させてもらいました。

自由な校風の中、生徒は皆良い子で勉強や部活に、のびのびと頑張っているなと感じました。生徒の問題で特に苦労はなかったと思います。

私の会長時には八戸敏夫校長に、副会長は原 利枝さん、小池隆一さ

んに変わり、会計は小野寺美恵子さん、書記は佐藤康子さん、監査が柳瀬喜久雄さん、押山兼二さん、山本美津江さん、学校からは芳賀秀高先生に面倒を見てもらいました。各委員会にも小川忍さん、川久保ヒロ子さん、中島廣信さん等多くの人材がいて、和気あいあいと真摯に活動を進めることができました。

この年は市内県立高校PTAの研究発表校になりました。PTA活動を通じた「子どもとの接点を求めて」というテーマで、文化祭やパネルディスカッションでの実践例を発表しましたが、PとTが一丸となって準備をし、特に八戸校長や芳賀先生のご協力を頂き、本校PTAのPRをすることができ、苦労もありましたが楽

しい思い出です。

私は現在、自分の出身校の県立川崎高校の同窓会に関わっています。毎年総会に際し川高OBによる記念講演がありますが、一昨年には元新城高校教頭で現在北里大学教授の渡辺克己先生に「メダカと日本人」のテーマで講演して頂きました。そういえば、当時新城高校の玄関前の小さな池でメダカを飼っていましたよね。

また、各校OBが集う「青春かながわ校歌祭」に昨年は新城高校も初参加されご同慶の至りですが、会場で毎年、湘南高校出身の山田勉元校長の元気な姿を拝見できます。

思わぬことから新城高校PTAに関わり、色々な経験をさせて頂き、また、素晴らしい人達、地域との出会いがありました。これらのことは私の財産であり今後もこのことを大切にしていきたいと思っています。



PTA 役員会にて（平成9年）。
（前列左から）小野寺会計、八戸校長、新沢会長、原副会長、小池副会長。（後列左から）柳瀬監査、笹先生、芳賀先生



了戒浩二
21代 PTA会長

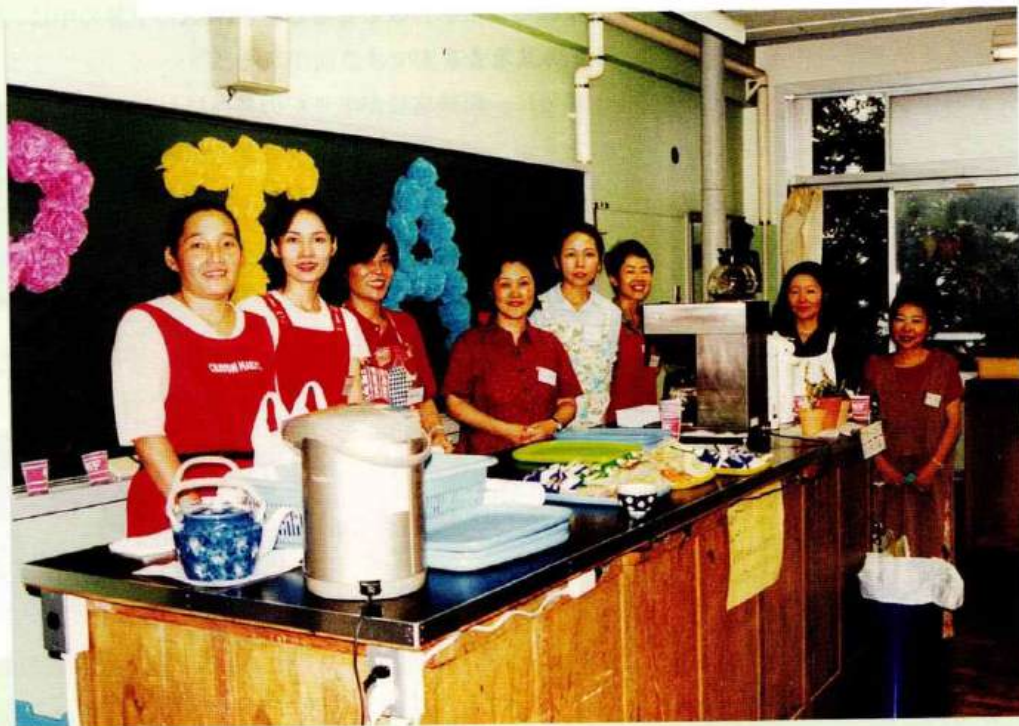
これからも応援します

私が、新城高校のPTAに係わるきっかけとなったのは、私の長男の入学が決定したあとしばらくたったある日突然、二期先輩のPTA会長よりPTAの役員にとの話がありました。2～3時間膝を突き合わせ話し合ったことを昨日のこの様におぼえています。私も仕事が忙しく、PTA役員の肩書きを遠くから眺めていたのが嘘ようです。実際、私自身に役員が務まるのが非常に心細く思っていました。会を重ねるたびに役員のお母様方に励まされ、無事に三年間を務めあげることが出来ました。PTAの全国大会、関東大会の参加、体育祭、文化祭の催し、PTAのお母様方との遠出等、楽しいこともたくさんありました。また、語ることの出来ないことも多々ありました。

任期中、私を励まし続けてくださった当時の校長先生、PTA担当の先生、役員のお母様方には感謝、感謝でいっぱいです。

長男が卒業した今でも、当時の高嶋校長先生の名前を冠にした高嶋会を立ち上げ、毎年親睦会を重ね、今年で12年になります。この会が末長く続くことを願っています。

新城高校が創立50周年を迎えることに喜びを感じます。これから先も、勉強に、スポーツに大きく羽ばたくことを願っています。





新井幹生
22代 PTA会長

当時を振り返って

新城高等学校創立50周年おめでとうございます。

私が新城高校へかかわったのは、2000年から2002年までの3年間でした。それまで、自分は学校とはほとんど無縁の人でした。ところが、新城高校へ息子たちが入学してからは、PTAへのお誘いがあり、副会長という立場で、学校とかかわりを持つこととなりました。

初めての役員会ならびに運営委員会に出席した時は、何もわからず、ただその場所に座って、皆さんの話を聞いていたことを思い出します。徐々に役員会等に参加することにより、学校行事を進めていくうえで、PTAと学校側とが協力していくのがわかるようになりました。そんなこともよく知らない私が、副会長、会長という役職で3年間も新城高校のPTAにかかわってしまい、同時期に活動を共にされた多くの人たちにご迷惑をおかけしたと思います。

この3年の間、学校改革ということが話し合われ、学校側では、2期制導入に向けて、授業内容及び学校行事の変更とでPTAと話し合いがあったり、学校評議員会の設置において、近隣の小、中学校の校長や、町内会長達と、地域における学校のあり方を話し合ったりしました。

また、PTA活動の中で高P連の研修の一環で、川崎地区大会、関東大会（大宮、水戸）、全国大会（東京、宮崎）等へ出席し、他校の活動内容等を聞くことができました。

自分がPTAにかかわった最後の年に、創立40周年を迎えましたが、記念行事というような行事を行うことはなく、芸術鑑賞会という名目で、40周年記念を行いました。そんな時、10年後には50周年を迎え、大々的に記念行事を行うことを思い、PTAの予算の中に、50周年積立金を組み込みました。

最後に、新城高校が半世紀の長さにわたり、歴代の校長先生や教職員の方々が、脈々と受け継がれてきた伝統をこれからも継承し、さらなる発展につながっていくことを願って、お祝い申し上げます。



高木嗣朗
25代 PTA会長

生徒の笑顔と女性のパワーが活動の原動力

創立50周年おめでとうございます。

3年間、副会長、会長としていろいろな行事に取り組む中で、お母さん方のパワーと行動力に圧倒されながらも楽しいPTA活動でした。

PTA委員の皆さんや先生方で行った社会見学や城高祭への参加、懇親会など楽しい思い出がたくさん残っています。中でも、生徒とかかわった活動が、強く印象に残りました。当時実施したアンケート調査で、食育に関するアンケートを行いました。城高生の食生活がきちんとしていることに、驚きと同時に感心もいたしました。交通安全の取り組みでは、文化祭での交通危険箇所ヒヤリマップの作成や、自転車点検を実施しました。初めは、整備不良の多かった自転車も、年ごとに整備状態が向上するなど、成果が目に見えると、努力が報われた思いがしました。

新城高校では、城高祭、特に体育祭に生徒が全力で取り組み、大変な盛り上がりとなります。今ではすっかり定着した、PTAの給水サービスですが、これは、平成17年よりはじまりました。当時、夏の暑さが9月まで続くようになり、体育祭での熱中症対策に水分補給が必要だということで、PTAによる麦茶サービスを行いました。あまり予算をかけないために、水道水を使用することになりました。水を麦茶パック入りポリタンクに入れ、氷入りのジャグに移して生徒に提供しました。最初の平成17年は、外の水道が飲用に使えず、事務室の水道のみで給水することとなり、大きなヤカンでピストン輸送をする羽目になりました。体力勝負でPTA委員のお母さんやPTAOBの方々の応援も加わり、何とか生徒や来場者の皆さんに喜んでもらいました。かなりの肉体労働となりましたが、生徒たちが麦茶を飲んだ後、「ごちそうさま！」と笑顔とともに

コップを返却してくれる姿と声に、疲れもいっぺんに吹き飛んでしまいました。今でも、給水サービスが続いている体育祭を見るたびに、当時がなつかしく思い出されます。



平成17年度 PTA 社会見学
(横浜大栈橋)



松本 伸
26代 PTA会長



夏には欠かせないエアコン。冷房
温度を1℃高く設定すると1日で
風船約16個分のCO₂が削減で
きることを表現

新城高校でのPTA活動を振り返って

新城高校の創立50周年、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

次男が新城高校にお世話になった事が切掛けでPTA活動に三年間携わらせて頂きました。当初は今までPTA活動に参加した事も無かった自分がPTA活動に、しかも初年度から会長という重責を全うする事ができるかとの不安な気持ちで一杯でしたが、活動がスタートするとそのような心配は無用だと実感しました。

月に数回の限られた学校での活動でしたが、何よりも生徒の皆さんが活き活きと高校生活を謳歌する新城高校に魅せられ、それぞれの楽しい高校生活の思い出作りの一助となる事に楽しさを感じながら活動させて頂きました。

体育祭での麦茶サービスでは「最後の一杯まで冷たい麦茶を提供するにはどうすべきか」、文化祭では「これからは豊かな生活の中で地球温暖化に対する意識をもって生活することが必要。その事を一人ひとりが理解をして毎日の活動の中で省エネを実行してもらうにはPTAとしてどのような提案をすれば良いか」、「CO₂の排出量は見えないから日々の行動で削減できるCO₂の量を風船で表現しよう」などPTAの皆さんと問題意識を共有しアイデアを出し合って活動させて頂いたことが走馬灯のように思い出されます。

またこうしたPTA活動を通して、生徒の皆さんにとっても新城高校での三年間が人生に於いて掛け替えのない大切な時間である事を実感しました。

新城高校は半世紀の軌跡の先に新校舎と共に生徒の皆さんの思い出のステージとして新たな歴史を刻み始め、そしてこれからも輝き続ける事でしょう。

創立50年という輝かしい節目を機に、益々新城高校が地域と共に発展し、そして何よりも生徒の皆さんにとって一番の場所であり続けることを祈念しております。また常に学校を支えて頂いている教職員の皆様並びに関係者各位のご健勝をお祈りしております。



体育祭では最後の1杯
まで冷たい麦茶を提供
することを心がけた

PTA活動について

岩田和人 (28代 PTA会長)

本校の開校とともにPTAも活動を開始いたしました。生徒達が健全な高校生活を送れるように様々な活動を行っています。

PTA組織

PTAの組織は【役員会】と3つの【常置委員会】、役員および常置委員会メンバーの中から選任されて編成される【特別委員会】を中心に活動しています。また【監査】を設け、活動費が適正に執行されている事を確認しています。



活動状況

現在866名の保護者全員が本会に入会していますが、各常置委員会の委員として活動を行っている会員は全体のおよそ10%に相当する90名です。

また委員の任期は1年ですが任期を終えても3年間活躍してくれる委員が殆どです。

「無理なく出来る範囲でOK」という活動モットーのもと、派手ではなく地道な活動が中心です。

制服リサイクル

10数年前から制服リサイクル活動にも力を入れています。回収箱を学校内に設置し、不要になった制服や体操服などを回収した後、補修、洗濯、アイロンをかけて保管しており、希望者がいれば提供するというリサイクル運動を推進しています。

本校に転入された生徒や卒業間近で制服がきつ

くなってしまった生徒などに活用してもらっています。

この活動は生徒にも周知してもらえたようで年々回収量も増えてきており、モノを大切にする心も失わなくなってくれていると感じています。



■ 自転車点検

新城高校では全校生徒の約40%が学校まで自転車通学を行っていますが、新城高校のある川崎市中原区近隣6地区は、自転車交通事故多発地域に指定されています。



整備不良が原因で事故の被害者や加害者とならないようにとの目的で、15項目からなる点検を行います。

近隣の自転車屋さんに協力して頂き、約320台の自転車を1台ずつ点検します。点検結果が書かれた整備カードは全車のハンドルに括りつけて、整備対象となった自転車の持ち主に必要な整備箇所を具体的に提示するとともに、広報誌でも点検結果の一覧を示して保護者にも自転車整備の重要性を訴える事を行っています。

■ 麦茶サービス

城高祭（体育祭）が行われる9月はまだ残暑も厳しいので、熱中症予防対策としてドリンクサービスを行っています。

競技が終わるたびに生徒たちが殺到するので、「給水する係」と「ドリンクを補充する係」、「コップを洗う係」が混乱しないようにコミュニケーションを取りながら乗り切っています。

PTAの委員だけでなく一般のPTA会員からもボランティアを募って運営しており、全員汗だくになる活動ですがボランティアを募ると毎年希望者が予定人数を上回る人気の活動でもあります。

「ありがとうございます」、「助かります」など、実にすがすがしい挨拶が聞けたりなど、生徒とのちょっとしたコミュニケーションがとれる事が人気の秘密のようです。



■ 地域貢献清掃活動

PTA主体の活動ではなく、生徒会による自発的な地域貢献清掃活動に、保護者有志も参加しています。

ひと月かふた月に一度、学校周辺および通学路などの清掃活動を行うのですが、これは学校の行事ではなく生徒会の呼びかけによるボランティア活動です。

清掃活動を通じて地域貢献する事で、自分たちも地域社会の一員である事を認識できる良い機会なので、この活動が先輩から後輩にも引き継がれ、参加する生徒も増えてくれる事を期待して、盛り上げたい応援したいという思いで、一緒に参加をしています。

作業の終了後には、PTAから飲み物を提供して労うとともに生徒との交流の場でもあります。

清掃活動がんばってます!!

10月20日(土) 午前10時より生徒、先生方、保護者の総勢16名で、新城高校周辺の清掃活動が行われました。



▲基本的に地味な活動ですが、わき合い合い作業中。

この活動は 前生徒会長の土井貫嗣さんと現生徒会長の幸田準也さんが呼びかけ、生徒会が中心となり行っています。新城高校周辺の地域を綺麗にして気持ち良く生活し、地域の方々とコミュニケーションを深めるという意欲的で素晴らしい企画です。幸いお天気にも恵まれて、絶好のお掃除日和。中原駅方面、新城商店街、せせらぎ周辺、学校周辺の4つに分かれ約1時間で大きなゴミ袋7袋が集

められました。残念なことに道を歩くと、空き缶、空き瓶、ペットボトル、特に多く目についたのが、たばこの吸殻でした。大人のマナーの悪さについて考えさせられました。

活動中は、新城商店街の方々から「新城高校の生徒さんね、ありがとう」という嬉しいお礼の言葉をいただきました。この活動にたくさんボランティアが賛同し広がっていくと良いですね。保護者の皆さまも是非ご参加ください。参加された皆さま、本当にご苦勞様でした。



▶10月20日(土)の活動風景です。次回も多くの方のご参加をお願いします。

■ 校章入りどら焼き

新城高校も50周年を迎えて、これからさらに伝統を重ねていくという時期を迎えました。

これを機会に「新城高校の校章入りどら焼き」を役員で3年前に企画しました。

文化祭で販売したところ、卒業生や保護者の方を中心に初年度は500個くらいでしたが、次の年

には750個と5割増しに伸びています。

このどら焼きは卒業記念の品として卒業生全員にプレゼントをしています。

「新城と言えばどら焼き」「どら焼きを見れば母校を思いだす」くらいに浸透してくれればいいなと思って企画しました。



「愛校心」の育成にも一役買ってくれているのではないかと自負しています。

在学中であるにしろ卒業後であるにしろ「愛校心」のある人は、自分を愛せる事が出来る人です。また、そういった人は自分の住む地域を愛し社会に貢献し、日本という国を愛し国際人として活躍する人材だと思います。

そのような人物に育ってくれるきっかけになれば良いと思います。

■ 最後に

PTA川崎地区大会で本校PTAが研究発表をする機会がありました。新しく何か企画してそれを題材とした研究発表をするというのではなく、新城高校に根付いているPTA活動をありのままに発表することにしました。

その後幸運な事に、神奈川県大会、関東地区大会でも発表の機会を頂きました。

生徒との交流を中心とした地道ながらも長年続いている活動に対して、とても多くの他団体から好評をいただきました。

実際に、「制服リサイクルを自分の学校でもやりたい」「自転車点検の点検項目を教えて欲しい」といった具体的なお問い合わせも頂き、これまで

何気なく行っていた本校PTA活動の奥深さを逆を知る良い機会を得たと思っています。

またこの研究発表を受けて、「優良PTA神奈川県教育委員長賞」「全国高等学校PTA連合会会長賞（団体表彰）」に表彰されました。

日ごろの保護者の活動だけでなく、自転車点検や麦茶サービスのように、学校との協力体制が取れている点や、地域貢献清掃活動や制服リサイクルのように生徒との交流もある点など、歴代のPTAの皆さんから受け継がれた活動が評価されたと受け止めています。

今後もこうした活動を続けて、生徒たちを見守っていききたいと思います。



■ 委員会の活動

学年委員会

51期副委員長 二階堂章子

学年委員会は、委員会の中でも一番人数が多くて、1・2・3年生合わせて毎年30人前後います。高校にもなると学校に来るのに電車やバス、その両方乗り継いできている人もいます。みんなそれぞれに忙しいのですが、委員会は毎月1回土曜日の午後に開いているので、予定を合わせて無理なく参加してくれています。

さて、学年委員の主な仕事ですが、クラス懇談会のお手伝い・体育祭の麦茶サービス・文化祭のPTAの部屋の喫茶コーナー・卒業式後に行う卒業を祝う会の開催です。9月の文化祭では、飲み物を何にするかの話し合いをして、アメやチョコなどのお茶菓子と一緒に前日までに購入してセッティングします。当日2日間は前後半に分かれて生徒や来校した方に飲み物を配ります。3月の卒業を祝う会では、10月から4つのグループ（司会・案内状・食事・レイアウト）に分かれて少しずつ



準備を進めていきます。当日は、1・2年生の委員で会を進行させていきます。この会が終わるころには同じ学年はもちろん、違う学年の委員とも仲良くなり、委員を3年間続けてくれている人もいます。

小中学校の学年委員とは少し違って、全学年が一緒に行事をこなすことがほとんどなのでいろいろ大変なこともあります。しかし、委員長を中心に各学年の副委員長と連携を取り、PTA役員・広報委員・成人教育委員の方々とも協力しながら、生徒や保護者の皆さんに数少ない学校行事に楽しく参加していただく手助けができればと思い、活動を続けています。

成人教育委員会

51期委員長 沖山千恵子

成人教育委員会は、学校と保護者とのつながりを強めるお手伝いをしたいと考えています。また、保護者同士の交流の輪を広げたり、いろいろな体験を一緒にする中で少しでも教養の向上を図りたい



と思っています。主な活動としては、原則として年に二度行われるイベントの企画・運営と文化祭への参加です。

イベントの企画は、講習会やバス旅行・観劇等、その都度委員会の中でも色々な案を持ち寄り、話し合いを重ねています。そして、一人でも多くの保護者が参加できるようにと、内容や日程・参加費等を決めています。平成25年度は、6月に、「ルミネtheよしもと観劇&ホテルランチ」を、11月には「河口湖ハーブ館でのフラワーアレンジ体験&紅葉散策」のバス旅行を企画しました。

9月に行われる文化祭では、委員会の中で制作してきた手作り品を販売しています。毎年内容は違いますが、手作り品は十種類程度、約200点を製作しています。また、生徒や保護者の方も参加できる体験コーナーを設けて交流を図っています。

今年度は「ガラスエッチング」の体験コーナーを設けました。

これらの活動をするうえで、私たち成人教育委員会は大きく二つに分かれています。イベントを企画・運営する企画チームと文化祭チームです。それぞれの活動内容は全く違うものですが、同じ委員会の仲間として助け合いながら楽しく活動しています。もちろん準備に時間や手間がかかることもあり

ますが、その分やりがいもありますし、達成感も味わえます。また、委員会が、委員同士の良い情報交換の場になっているのも間違いありません。

毎年、新しいメンバーが加わり、一緒に活動する顔触れは少しずつ変わっていきませんが、委員会活動をしていく中でいろいろな仲間と親しくなり、私たちは楽しく有意義な時間を共に過ごせていると思っています。

広報委員会

51期委員長 松井和代

広報委員の主な仕事といえば、広報誌を発行することです。新城高校では、「会報新城」を年に3回、教職員紹介特集号・城高祭特集号・卒業特集号をメインテーマに、学校行事、PTA活動などの旬な記事を盛り込んで発行しています。新城高校生としてのお子様の様子を垣間見ていただける場として、学校と家庭とのパイプ役として委員一同、活動に励んでおります。

私にとって広報という仕事は、初めての経験であり未知のものでした。1年目は、先輩委員に手取り足取り段取りを教えていただき、流れを覚えるのが精いっぱいでした。石の上にも三年と申しますが、広報の仕事を覚えて自分たちで作上げた作品であると実感するには、3年という月日が必要な年数であると思う今日この頃です。

「会報新城」は、記事を集め、編集し、3回ほどの校正を重ね印刷へまわります。この地道な作業の中ではメンバーのチームワークをととても強く感じます。皆さんお忙しい中、時間を作って集まってくださり、冬場などは寒くなるまで作業したこともあります。そんな苦労の末、出来上がった「会報新城」を手にとった時、何とも言えない達成感を感じます。

このようにして作り上げた「会報新城」が一人でも多くのPTAの皆様に読んでいただけることを切に願っております。

最後に、新城高校の広報委員長としてPTA活動にかかわれたこと、そして、先生方、役員の皆さん、広報のメンバーと出会えたことに心から感謝申し上げます。また、取材を通じ、気持ちの良い挨拶ができて優しく明るい新城高生に接することができたことは、私の貴重な体験となりました。

新城高校のさらなる発展を心よりお祈りいたします。



新城

CHAPTER 4



50周年記念事業

創立50周年記念講演

新城高校の思い出と 高校生活

● 8期生

植木繁晴さん

● 13期生

石川 洋さん



この対談は、平成24年10月29日(月)、本校体育館で開催された新城高校創立50周年記念式典の中での講演内容をまとめたものです。

講師に、当時Jリーグのザスパ草津代表兼ゼネラルマネージャーとして活躍されていた8期生の植木繁晴さん（現・上武大学ビジネス情報学部教授／サッカー部監督）と、NHKアナウンサーとして、オリンピックをはじめ高校野球など数多くのスポーツシーンにかかわられた13期生の石川洋さんのお二人をお招きして、「新城高校の思い出と高校生活」というテーマでお話しをしていただきました。およそ1時間余りの対談でしたが、高校在学中の様々な思い出話だけでなく、ご自身の就職時のエピソードからサッカーや野球にまつわる裏話、そしてスポーツに寄せるお二人の想いを自由に語り合っていました。

ゼネラルマネージャーとは…

石川：こんにちは、13期生の石川です。植木さんは8期生ですね。皆さんから見たら化石みたいですよ。50周年おめでとうございます。といっても、皆さんはたまたま50周年に当たったという感じかもしれませんけど。これからいろいろ行事が続くと思いますが、50年という節目に、この新城高校にいたということを誇りに思ってください。

植木さんは選手の素質を見抜く力に長けた方

で、当時、湘南ベルマーレのFWだった中田英寿選手をトップ下にコンバートするなど若手育成は高く評価されています。

ところで、「ゼネラルマネージャー（GM）」というのは、最近スポーツの世界でよく聞く言葉ですが、おそらく皆さん知らないと思うんで、実際にどんな仕事をしているのか教えていただけませんか？

植木：端的に言うと、監督を馱（くび）にする、新しい監督を採用する仕事ですね。

石川：チームのお金を握っているんですよね？

植木：そうですね。代表でもあるので選手の年俵を決めたりもしています。会社のすべてを動かしているといってもいいでしょうね。

石川：いわゆる最高責任者の立場にあるんですね。

植木：スポーツをやっている方にしたら、一番おもしろい仕事かなって思いますけどね。

石川：新城にもいい選手がいっぱいいますので、よろしく（笑）。

植木：ぜひ、そういう生徒がいればね。ただ安いよ、うちの給料は（笑）。

石川：サッカー部がすごく元気になってきたという話を聞きました。

植木：そうですね。新しい先生が来られて、きちっと指導されているからだと思います。

お弁当は2時間目、 昼食は食堂でラーメン（石川）

石川：ところで、皆さんの制服、懐かしいですね。皆さんの中にはお父さんが新城、お母さんが新城、兄弟が新城って人もいるかもしれませんが、私は家内、息子、姉、姉の旦那、姪、隣の人、みんな新城なんです。ここまで新城高校でかためているのも珍しいんじゃないですかね。植木さんの時代はどんな雰囲気でしたか？

植木：僕らの時は進学校というイメージはなくて、意外に和気あいあいとした感じだったと思います。昼休みは体育館でバスケットボールして遊んでいてギリギリになって校舎に入るという生活でした。

石川：校舎、体育館、私の時代と変わっていませんね。生徒会館はさすがにお化けがでそうですが。あそこの一階に食堂があったんですね。二時間目が終わった頃お弁当を食べて、昼休みは食堂でラーメンを食べて、部活が終わった後、今は寄っちゃいけないらしいですけど、学校近くの駄菓子屋さんで飲み食いして帰るという、そういう

パターンでしたね。駄菓子屋のおばちゃんも全然変わらずで、駄菓子屋のおばちゃんは、昔からおばちゃんだったんですね。

植木：僕らの時にも食堂はありましたよ。夏休みなどで合宿する時は生徒会館に泊っていましたね。

石川：生徒会館は、もしかしたら高校生活で一番長くいたところかもしれませんね。

私が入学した時は野球部がすごく元気で、春の神奈川県大会で準優勝。この大会の準決勝が準々決勝か忘れましたが、東海大相模に勝ったんですね【1976年春、準々決勝で東海大相模と対戦し5対3で勝利】。ジャイアンツ監督の原辰徳さんが現役の頃です。東海大甲府高校の監督の村中秀人さんがピッチャーでした。当時の東海大相模は公式戦でほとんど負けたことがないという強豪校でした。

原さんと話をする機会があったんですが、「唯一、僕たちが公式戦で負けた相手が新城だった。ただ僕は出ていませんでした」と、新城高校のことを覚えていました。春の大会は直接甲子園に結びつかないので、チームとして主力選手は温存しておきたいんです。怪我なんかされると困るから2軍が中心のチームで、原さんは出なかったんですね。私も甲子園の中継をやっていますが、いつか新城が甲子園に行ってくれないかな。そしたら寄付金100万円くらい出しちゃおうかな（笑）。

国体に出場（植木）

植木：僕らの頃はラグビー部が結構強かったですね。もう少しで全国大会でしたから。サッカー部も全国大会のチャンスがあったんですよ。だけど最近はスポーツの世界で「新城」の名前が聞かれない。少し寂しい。がんばってほしいですね。

石川：植木さんは高校時代、国体の選手に選ばれて全国大会を経験しているんですね。

植木：はい、サッカーを本格的にやりはじめた頃ですね。サッカーで飯を食えるきっかけになったのが国体でした。

石川：その頃サッカー部は常に上位でしたか？

植木：いつも県でベスト8くらいまで行ってたし、川崎市の大会ではほとんど負けた記憶がないくらい強かったです。

ただ、入学した時は中学でサッカーやっていた経験者が僕を含めて2名しかいなかった。でも、仲間意識の強いチームで、いまでも付き合いはありますよ。昨夜も中原の駅前でその頃の仲間たちと一杯やりました。年賀状を毎年500枚以上書くんだけど、サッカーを通してできた友達ですよ。

石川：植木さんがいまの職業に就こうと思い始めたのは、その頃ですか。

植木：いいえ、サッカーを続けて生活していこうという気はなかったです。国体の選手に選ばれた時は、同級生と三宅島にキャンプに行く計画を立ててたんです。「申し訳ないけど先生、俺、国体に行かないでキャンプへ行くわ」って言ったら、「ふざけるな。なんだと思ってるんだ」と怒られましたけど。

将来の夢は……

石川：サッカーで生活していこうと決めたのはいい



石川 洋氏

《家族提供》

家内や息子、姉など
みんな新城出身

石川

つ頃からですか？

植木：大学を卒業してからじゃないかと思います。普通の企業のチームだったので、午前中は会社で仕事をして、午後からサッカーをするという生活でした。でも、僕は仕事をきちんとしていたいという思いがあったので、アマチュアの時は仕事をきちんと5時までやって、それからサッカーをやっていました。

石川：私はバスケットボール部で、高校時代はこの体育館で練習に明け暮れていました。その頃はなんになろうなんて考えてなかったと思います。いまNHKのアナウンサーをしています。実はディレクター志望で面接を受けたんです。たまたま隣のブースでアナウンサーの面接もやっていたんで、飛び込みでアナウンサー試験を受けたら、話が進んでしまった。

植木：そうですね。中学生とか高校生たちには「夢を持ちなさい。自分の夢を持って準備をしていったら必ず夢はかなうから。夢をかなえようとしないと、絶対かなわないよ」って話をするんですよ。

石川：だけど夢を持つことが難しい時代だし、夢をかなえることはもっと難しい。どこで、どういうふうに分かれ道があるのかはある程度の年齢になって、あっ、もしかしたらあそこだったのかなと思うんですよ、自分の人生の分かれ道だったんだと。

植木：そうですね。なかなか思うように進んでいかないだろうけど。ただ、自分はこうなりたいという思いを持ってほしいですね。僕は「一生懸命やれば報われる」「一生懸命やることが先につながる」という思いを持っています。これはサッカーから学んだことです。

石川：夢って、かなわなくても別にいいんだよね。大学へ進学される方は、大学の4年間っていうのは、僕は社会に出る前の猶予期間ではないかって気がします。

球技大会で目立つのが快感 (植木) 教室に泊まって城高祭の準備 (石川)

石川：植木さんは大学生の時に新城で指導をしているんですよね。

植木：大学に入ってから社会人になってからも何年間か指導しています。

石川：植木さんのシュートを受けたゴールキーパーが骨折してしまったとか。

植木：申し訳なかったですね。本気でシュート打ったら手首を折ってしまっただけ。

石川：新城の監督なんてどうですか？

植木：プロになったいま、高校生はいじれないですね。高校生を教えるなら幼稚園生の方がいいですよ。いまはGMの仕事をしていますが、監督をやりたいですね。選手たちにこういうサッカーをやらせたいとか、観客のブーイングや歓声を聞きたいんです。

石川：ところで体育祭のクラブ対抗リレー、今はなくなっちゃったんですか？ サッカー部でやたらと足の速い選手がいたというのは、植木さんのことだったんですね。

植木：50メートルは6秒切っていましたから。

石川：飛び抜けていたんですね。だから国体選手にも選ばれたんでしょうけど。国体のチームは寄せ集めですよ、楽しかったですか。

植木：楽しくなかったですね。僕は学校行事に参加するのが好きだったこともあります。球技大会でバレーボールをやったり、秋はそういう頃なので。国体に行かないで三宅島にキャンプに行くつもりでしたからね (笑)。

石川：一番印象に残っている学校行事はなんですか。

植木：やはり、球技大会ですね。活躍すれば女の子にもてるし (笑)。サッカーもそう、優勝はもちろんのこと、誰かに認められるのって気持ちいいじゃないですか。

石川：私は城高祭 (文化祭) ですかね。クラスで

当時のサッカー部は 県ベスト8の実力

植木



植木繁晴氏

(本人提供)

中庭にコースを作って三輪車で競走させて、それでちょっと儲けちゃった (笑)。

植木：なにをやったか、文化祭は全然覚えてないな。たぶん参加してなかったんでしょうね。

石川：文化祭は非常に楽しかったですね。夏休みに教室の机を並べて、そこにふとんを敷いて一週間くらい合宿した覚えがあります。お化けの出る教室があるという言い伝えがあって、その教室で肝試しをやりましたね。

先生のあだ名も色々ありましたね。校歌の2番に入っているフレーズがあだ名になっている先生がいて、そのフレーズになるとみんな大声で歌う。先輩たちから伝わっていたあだ名だと記憶しています。植木さんの顧問の先生もユニークなあだ名がついていましたね。

植木：いま考えると、ずいぶん失礼なあだ名でしたね。

女子のサッカーは苦手 (植木)

石川：選手や監督時代を通して印象に残っている選手は？

植木：先ほど名前が出た中田選手や、NHKで解説やっている小島伸幸選手かな。小島選手は人間としても非常に素晴らしい。トップレベルの選手

なのに、草津FCを立ち上げた時には、先に立ってグラウンドの石拾いをして整備して、ラインを引いていました。

石川：私はアテネと北京のオリンピックで金メダルをとった北島康介選手ですね。彼は4年に一回、しかも何月何日の何時何分にピークを合わせることができた。彼がいたことで後輩が世界新記録を出せた。カリスマ的というか、大きな力がある選手がひとりいるだけで全然違うんですね。

植木：サッカー選手で一番強い印象を受けたのは釜本邦茂さん【日本サッカー界屈指のストライカー。1968年のメキシコオリンピックで銅メダル獲得に貢献】ですね。天皇杯の決勝で試合をしたことがあるんです。年齢は僕より10歳くらい上かな。身長や体重は僕と変わらないんですけど、受ける印象は大きかったですね。オーラって言い方をするんでしょうけど。

「俺は右45度からのシュート練習をすると決めたなら何百本も練習する」【釜本選手の右45度からのシュートを、当時コーチのクラマーさんは世界最高クラスだと絶賛していた】とおっしゃっていましたが、釜本さんにはこだわりを持って練習をすることの大事さを教えられましたね。

石川：指導者になってからも、その教えをずっと選手に伝えてきたんですね。

植木：ゲーム中でこういうプレーをしたいんだ。こういうシュートを打ちたいんだ。こういうトラップをしたいんだっていう練習をしると。監督の僕に見せる練習ならするなって、口を酸っぱくして言ってきました。

石川：練習のための練習は必要ない、ということですよね。いま女子サッカーの「なでしこジャパン」が元気ですね。

植木：すごいですよね。うちも女子のチームがありますが、スタートした時は15人しかいませんでしたが、今は30人超えていますからね。

石川：女子サッカーの魅力ってなんですか？

植木：僕は、女子はサッカーなんかするなってタ



イプでね。女子サッカーって苦手なんですよ(笑)。

石川：え、そうなんですか？

植木：フジタ工業時代にも女子のサッカーチームあったんですけど、彼女たちの練習する雰囲気は苦手だったんです。もちろん彼女たちはそれぞれ素晴らしい人達でしたよ。女子の監督をやってくれと言われたこともあるんですが、すぐにお断りしました。男子サッカーの方がいいですね。

石川：「なでしこジャパン」が女子サッカーブームに火をつけた、注目を集めさせたというのは大きいですね。

植木：本当に敬意を表します。ワールドカップは世界の大会で一番、すごいと思います。

石川：ここにきて女子も男子も、世界で注目度が非常に高くなってきていますが、なにが大きな理由でしょう？

植木：日本代表のレベルが上がってきて、世界と戦えるところまでできているのが大きな理由でしょうね。

石川：おそらく練習の内容も、昔とは比較できないほど進化しているんじゃないですか？

植木：はい。内容だけでなく、グラウンドなどの練習の環境もよくなっています。この新城のグラウンドはまだ土のままですけどね。固くて、僕は年がら年中擦り傷だらけでした。いま前橋に住んですが、群馬県の高校のグラウンドの大半は人工芝です。

石川：50周年を記念して、新城も天然芝のグラウンドになるといいんじゃないかなと思うんですが。

植木：せめて人工芝になってほしいですね。土と人工芝ではサッカーが全く違いますから。

石川：練習が土のグラウンド、試合が人工芝では……。

新城高校に愛着を持ってほしい(石川・植木)

石川：今の新城高校生に求めたいということはありますか？

植木：新城を出たことに誇りを持ちながら進んで行ってほしいと思いますね。石川さんが奥さんや子供さんたちが新城なんだよねっておっしゃるのは、学校に誇りを持って愛着があるから言えることですね。

そして、あんまり受験、受験っていうふうにはなっていない。高校時代って、一度しかない。この三年間を楽しんでほしいと思います。

石川：訳がわからなくて過ごしてしまうかもしれませんが、それでもいいと思いますよ。それが新城のいいところで、のんびりした校風というのは今も変わってないんじゃないかという気がしますね。

植木：そうですね。あんまり変わってほしくないですね。

石川：50周年のキャッチコピー「未来へ繋ぐ 伝統と魂」。この言葉は、皆さんが高校を卒業して大人になった時に思い出してほしい言葉ですね。皆さんはたまたま50周年にあたったという感じかもしれませんが、50年という節目にこの新城高校にいたということを誇りに感じていただきたいと思います。

植木：当時、学校の周りは全部畑で、中原駅からずっと畑が続いていました。いまは家が建ち、ビルが建ち全く風景が違ってきます。そして校舎が建て替えられたら、またひとつ自分の思い出が消えるんじゃないかって、ちょっとさみしいですね。

植木・石川：校舎が変わっても、伝統は変わらないでほしいですね。みなさん今日はありがとうございます。

* 石川さんの名言誕生秘話 *

●2004年アテネオリンピック100メートル平泳ぎで金メダルをとった北島康介選手の「チョ～気持ちいい」という名言を引き出したのがインタビュアーの石川さん。

「選手がプールから出て最初に言葉を発する相手がインタビュアー。金メダルをとったのだから何か一言ほしい。持ち時間は1分。なるべく北島君にしゃべらせたい。感情をそのまま言葉にしてくれればいいけど、放心状態だった。『金メダルおめでとう』と声をかけたら『ありがとうございます』と答えた後、大きく息を吐いて、何か言いたそうな感じがした。そこで次の質問をしていたらあの言葉は出てこなかったと思います。マイクを突きつけたまま、何かを言え。何か言うに違いない。ここで質問してはダメだと、自分自身を抑えていました。そうしたら、あの「チョ～気持ちいい」という言葉が出てきた。彼の心からの叫びだったんですね。後で北島君に聞いたら、何をしゃべったのか憶えていないと言っていた」

●実況を担当した1998年夏の高校野球準々決勝の横浜高校（松坂大輔投手）とPL学園（上重聡投手）の試合終了直後の「勝って泣く顔があります。負けて笑う顔があります」も有名。

[追記]

石川さんは体調を崩して療養中にもかかわらず、「創立50周年を迎えた母校のためなら」と快く記念講演に出席し、バスケット部の思い出のたくさん詰まった体育館で高校生活を楽しく語られた。石川さんの一日も早い回復を願っていましたが、この記念講演の翌年の平成25年1月6日、53歳という若さで急逝された。心から石川さんのご冥福をお祈り申し上げます。

創立50周年記念事業の足跡

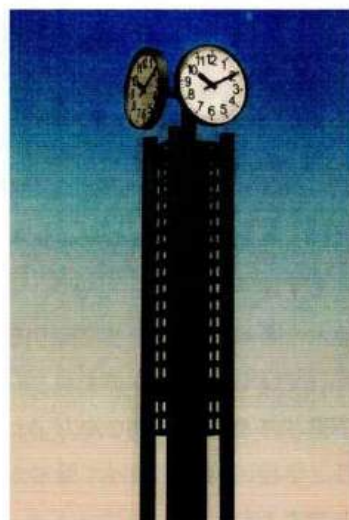
平成26(2014)年7月現在



(上) 校旗 (下) 優勝杯



トロフィー



記念時計塔 (イメージ)

平成 21 (2009) 年	12月	新城高校より城友会 (同窓会) に創立 50 周年記念事業への協力依頼
平成 22 (2010) 年	1 月30日	新城高校と城友会で記念事業の対応を協議
	7 月10日	城友会活動を再開。同窓生有志に委員就任の要請開始
	11月6日	創立 50 周年記念事業準備委員会 (仮称) 開催
平成 23 (2011) 年	5 月14日	第 2 回記念事業準備委員会開催 * 記念事業実行委員会の規約等を協議
	7 月9日	創立 50 周年記念事業実行委員会 (実行委員会) 発足 * 記念事業実行委員会委員の選任
	9 月17日	第 1 回実行委員会
	10月12日	川崎市教育委員会に式典会場 (川崎市教育文化会館) の使用を申請
	12月3日	50 周年記念事業説明会と旧校舎見学会の実施
		第 2 回実行委員会 * 記念ロゴマーク、キャッチコピーの校内募集を決定 * 「青春かながわ校歌祭」参加のため 50 周年記念合唱団結成を決定
平成 24 (2012) 年	1 月21日	城友会ホームページの開設を検討
	3 月17日	第 3 回実行委員会
	3 月24日	50 周年記念合唱団結成
	5 月26日	第 4 回実行委員会
	6 月30日	記念誌の制作委託先を神奈川新聞社に決定
	7 月21日	第 5 回実行委員会
	9 月15日	第 6 回実行委員会 * 50 周年記念ロゴマークとキャッチコピー決定
	10月29日	創立 50 周年校内記念式典を挙 * 城友会より校旗と優勝杯・盾を贈呈 * 記念ロゴマーク、キャッチコピーの入選者を表彰 * 校歌入りクリアファイルを記念品として関係者、生徒に配布 * 記念講演 (植木繁晴氏、石川洋氏) 【本誌130頁に記事掲載】
	12月8日	第 7 回実行委員会 * 記念式典の内容、演奏団体、司会者や記念誌原稿依頼について協議

平成 25 (2013) 年	3月9日	第 8 回実行委員会
	5月11日	第 9 回実行委員会
	7月13日	第 10 回実行委員会
	8月31日	祝賀会会場として川崎日航ホテルを選定。下見実施 48 期卒業委員との懇談会を実施
	9月28日	「第 8 回青春かながわ校歌祭」(県立青少年センターホール) に初出演 * 同窓生、生徒、PTA42 名が参加
	11月9日	第 11 回実行委員会
平成 26 (2014) 年	1月18日	第 12 回実行委員会
	3月21日	第 13 回実行委員会 * 実行委員の一部変更 * 式典・祝賀会分科会より作業状況、予算などの詳細報告後に検討協議
	4月12日	第 14 回実行委員会
	25日	祝賀会会場(川崎日航ホテル)と契約再交渉
	5月31日	第 15 回実行委員会
	6月28日	第 16 回実行委員会
	7月11日	「城友会の公式ページ」をフェイスブックに開設
	7月26日	第 17 回実行委員会
	28日	式典・祝賀会紹介者リストを同窓生有志に郵送
	8月3日	48 期・49 期卒業委員と会食懇談会
	22日	式典・祝賀会案内状を郵送
	30日	第 18 回実行委員会
	9月7日	式典会場(川崎市教育文化会館)の下見
	28日	第 19 回実行委員会
	10月12日	「第 9 回青春かながわ校歌祭」(よこすか芸術劇場) に出演
	10月25日	第 20 回実行委員会
	11月7日	50 周年記念式典(川崎市教育文化会館)、祝賀会(川崎日航ホテル)を開催
平成 27 (2015) 年		新校舎落成後、「創立 50 周年記念時計塔」を設置の予定



創立 50 周年記念ロゴマークとキャッチコピー



～未来に繋ぐ 伝統と魂～

片田美由貴 (48 期生)

根市優香 (50 期生)

【選考の経緯】

- ・平成 24 年度に在籍した 48、49、50 期生から作品を募集しました。
- ・一次選考では「シンプルで伝わりやすい」点を重視し各々 20 作品に絞りました。
- ・二次選考では、ロゴマークを 4 点、キャッチコピーを 2 点に絞り、平成 24 年 9 月 15 日の記念事業実行委員会で決定しました。



平成26(2014)年6月撮影

創立50周年記念事業実行委員会 (敬称略・順不同)

委員長 宮川 誠 (城友会会長・1期)
 副委員長 羽中田圭子 (校長) 伊藤 恵 (PTA会長) 岩田 和人 (前PTA会長)
 事務局長 簗田 大 (副校長)
 事務局
 城友会 宮川 利子 (1期)
 P T A 江平美恵子
 学 校 田中 真琴 有家香奈子 川口 浩(16期)
 会 計 奥山百合子 (2期) 堤 俊二 (3期)
 会計監査
 城友会 吉村 敏雄 (9期)
 P T A 角 奈生美 椿 幸子
 学 校 馬場 昌一 (事務長)



◆記念式典委員会

委員長 簗田 大 (副校長)
 副委員長 平澤 正司 (3期)
 吉濱ゆきほ (PTA)
 委 員
 城友会 内山 岩男 (3期)
 P T A 岡野 郁子 佐藤 泰子 鈴木 雅代
 学 校 川又 明弘 鹿目 秀嘉 鹿沼 慎一
 城間由起子 住久 正大

◆記念誌編集委員会

委員長 石井 正 (1期)
 副委員長 大西 よう (PTA)
 外崎 学 (教頭・17期)
 委 員
 城友会 清水 道夫 (2期) 平澤 正司 (3期)
 笠谷 一夫 (7期)
 P T A 弘井 初江
 学 校 鹿目 秀嘉 鹿沼 慎一 住久 正大

◆記念祝賀会委員会

委員長 内山 岩男 (3期)
 副委員長 小口 早苗 (PTA)
 委 員
 城友会 平澤 正司 (3期) 吉村 敏雄 (9期)
 友田 佳恵 (15期) 戸田 和吾 (17期)
 P T A 城戸 朱美 近藤 律子 鈴木 雅子
 学 校 外崎 学 川又 明弘 鹿目 秀嘉

◆記念事業・冠行事委員会

委員長 堤 俊二 (3期)
 副委員長 吉村 敏雄 (9期) 大西 よう (PTA)
 川又 明弘 (学校)
 委 員
 城友会 大久保正夫 (3期)

◆校歌祭委員会 (50周年記念合唱団)

委員長 大久保正夫 (3期)
 委 員
 城友会 堤 俊二 (3期) 笠谷 一夫 (7期)

記念事業の実施運営に当たって、上記委員の他、学校教職員、城親会、同期会やクラブOB会幹事、48期・49期の卒業委員など多くの方たちのご協力を得たことを申し添えます。

新城

CHAPTER 5



資料



歴代校長

▶▶ 昭和37年～平成2年



初代校長

磯崎 健之助

昭和37年10月1日
～昭和39年8月31日



2代校長

松永 幹雄

昭和39年9月1日
～昭和42年8月31日



3代校長

寺田 進

昭和42年9月1日
～昭和44年8月31日



4代校長

岡田 正太郎

昭和44年9月1日
～昭和47年8月31日



5代校長

白子 福右衛門

昭和47年9月1日
～昭和49年8月31日



6代校長

小川 良一

昭和49年9月1日
～昭和53年8月31日



7代校長

谷 哲郎 (物故)

昭和53年9月1日
～昭和55年8月31日



8代校長

柴田 鐵雄 (物故)

昭和55年9月1日
～昭和57年8月31日



9代校長

関口 真志 (物故)

昭和57年9月1日
～昭和60年3月31日



10代校長

田村 甫華

昭和60年4月1日
～平成2年3月31日



11代校長

柴田 大司

平成2年4月1日
～平成4年3月31日



12代校長

甲谷 武士

平成4年4月1日
～平成7年3月31日



13代校長

山田 勉

平成7年4月1日
～平成9年3月31日



14代校長

八戸 敏夫

平成9年4月1日
～平成11年3月31日



15代校長

高嶋 章

平成11年4月1日
～平成14年3月31日



16代校長

横山 武久

平成14年4月1日
～平成17年3月31日



17代校長

折目 征己

平成17年4月1日
～平成21年3月31日



18代校長

前田 清盛

平成21年4月1日
～平成21年10月31日



19代校長

小泉 力也

平成21年11月1日
～平成25年3月31日



教職員一覽

▶▶ 昭和37年~昭和42年

昭和38年度

職名	氏名	教科
校長	磯崎健之助	
教頭	松永幹雄	
教諭(職代)	岩撫文夫	理科
教諭	石井英吉	英語
教諭	水無瀬重彦	理科・生物
教諭	和田重信	体育
教諭	鈴木恒次郎	数学
教諭	今込静子	家庭
教諭	箕輪昭二	国語
教諭	田島勝博	体育
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	鍵和田祐子	国語
教諭	豊福孝行	美術
教諭	亀掛川博正	社会
教諭	佐波古直暢	社会
教諭	小高芳雄	理科
教諭	荒井雄三	理科
教諭	佐藤儀敏	英語
教諭	諏訪裕子	英語
教諭	辻野文子	数学
兼任教諭	小上馬朋治	音楽
事務長	田沢福平	
事務職員	清水一男	
事務嘱託	多田伸子	
学校作業員	井上岩夫	
学校作業員	元木弥一	

昭和39年度

職名	氏名	教科
校長	磯崎健之助	
教頭	松永幹雄	
教諭(職代)	岩撫文夫	理科
教諭	石井英吉	英語
教諭	水無瀬重彦	理科
教諭	和田重信	体育
教諭	鈴木恒次郎	数学
教諭	今込静子	家庭
教諭	箕輪昭二	国語
教諭	田島勝博	体育
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	鍵和田祐子	国語
教諭	豊福孝行	美術
教諭	亀掛川博正	社会
教諭	佐波古直暢	社会
教諭	小高芳雄	理科
教諭	荒井雄三	理科
教諭	佐藤儀敏	英語
教諭	諏訪裕子	英語
教諭	内野文子	数学
教諭	鯉淵次一	理科
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	木村光男	数学
教諭	小林孝雄	社会
教諭	小岩井茂	英語
教諭	横滝政嗣	理科
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	高柴正義	数学
教諭	鎌田要一	体育
教諭	戸川慎茂	社会
教諭	熊谷茂	音楽
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	木山晶子	英語
教諭	石塚公子	体育
非常勤講師	加藤勇夫	英語
非常勤講師	三戸ミドリ	英語
事務長	田沢福平	
事務職員	清水一男	
事務嘱託	多田伸子	
学校司書補	佐々木温	
学校作業員	井上岩夫	
学校作業員	元木弥一	

昭和40年度

職名	氏名	教科
校長	松永幹雄	
教頭	辻一夫	
教諭(職代)	岩撫文夫	理科
教諭	石井英吉	英語
教諭	水無瀬重彦	理科
教諭	和田重信	体育
教諭	鈴木恒次郎	数学
教諭	今込静子	家庭

教諭	箕輪昭二	国語
教諭	田島勝博	体育
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	鍵和田祐子	国語
教諭	豊福孝行	美術
教諭	佐波古直暢	社会
教諭	小高芳雄	理科
教諭	荒井雄三	理科
教諭	佐藤儀敏	英語
教諭	諏訪裕子	英語
教諭	内野文子	数学
教諭	鯉淵次一	理科
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	木村光男	数学
教諭	小林孝雄	社会
教諭	小岩井茂	英語
教諭	横滝政嗣	理科
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	高柴正義	数学
教諭	鎌田要一	体育
教諭	戸川慎茂	社会
教諭	熊谷茂	音楽
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	木山晶子	英語
教諭	石塚公子	体育
教諭	加藤勇夫	英語
教諭	塚本信夫	国語
教諭	山内淳吉	社会
教諭	藤崎迪夫	英語
教諭	森樺二	英語
教諭	安藤恵一	理科
教諭	露木時男	社会
教諭	石井敏夫	社会
教諭	上田吉保	社会
教諭	岩本一	国語
教諭	村上正彰	国語
教諭	鍵田正男	国語
教諭	改木結次	数学
教諭	飯吉瑞次	英語
教諭	鯉波英武	体育
教諭	渡辺英雄	社会
事務長	富田福平	
事務主事	内野文子	
事務主事補	鯉淵次一	
学校司書補	坂本弓雄	
学校作業員	木村光男	
学校作業員	小岩井茂	
学校作業員	横滝政嗣	
学校作業員	橋本邦雄	
学校作業員	高柴正義	
学校作業員	鎌田要一	
学校作業員	戸川慎茂	
学校作業員	熊谷茂	
学校作業員	宇野清三郎	
学校作業員	木山晶子	
学校作業員	石塚公子	
学校作業員	加藤勇夫	
学校作業員	塚本信夫	
学校作業員	山内淳吉	
学校作業員	藤崎迪夫	
学校作業員	森樺二	

昭和41年度

職名	氏名	教科
校長	松永幹雄	
教頭	辻一夫	
教諭(職代)	岩撫文夫	理科
教諭	石井英吉	英語
教諭	水無瀬重彦	理科
教諭	和田重信	体育
教諭	鈴木恒次郎	数学
教諭	今込静子	家庭
教諭	箕輪昭二	国語
教諭	田島勝博	体育
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	鍵和田祐子	国語
教諭	佐藤儀敏	英語
教諭	内野文子	数学
教諭	鯉淵次一	理科
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	木村光男	数学
教諭	小林孝雄	社会
教諭	小岩井茂	英語
教諭	横滝政嗣	理科
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	高柴正義	数学
教諭	鎌田要一	体育
教諭	戸川慎茂	社会
教諭	熊谷茂	音楽
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	木山晶子	英語
教諭	石塚公子	体育
教諭	加藤勇夫	英語
教諭	塚本信夫	国語
教諭	藤崎迪夫	英語
教諭	森樺二	英語

教諭	安藤恵一	理科
教諭	露木時男	社会
教諭	石井敏夫	社会
教諭	上田吉保	社会
教諭	岩本一	国語
教諭	村上正彰	国語
教諭	鍵田正男	国語
教諭	改木結次	数学
教諭	飯吉瑞次	英語
教諭	鯉波英武	体育
教諭	渡辺英雄	社会
教諭	富田福平	社会
教諭	寺西弘元	社会
教諭	中山真治	社会
教諭	須藤恒弘	社会
教諭	西沢勝美	社会
教諭	河野勝光	社会
教諭	下内義久	体育
非常勤講師	大野智恵子	英語
実習助手	渡辺福平	
事務長	田沢福平	
事務主事	清水一男	
事務主事補	片山英代子	
事務主事補	牛主子	
司書補	草刈温	
学校作業員	井上岩夫	
学校作業員	元木弥一	

昭和42年度

職名	氏名	教科
校長	松永幹雄	
教頭	杉山正三	
教諭(職代)	岩撫文夫	理科
教諭	石井英吉	英語
教諭	水無瀬重彦	理科
教諭	和田重信	体育
教諭	鈴木恒次郎	数学
教諭	今込静子	家庭
教諭	箕輪昭二	国語
教諭	田島勝博	体育
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	鍵和田祐子	国語
教諭	佐藤儀敏	英語
教諭	内野文子	数学
教諭	鯉淵次一	理科
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	木村光男	数学
教諭	小岩井茂	英語
教諭	横滝政嗣	理科
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	高柴正義	数学
教諭	鎌田要一	体育
教諭	戸川慎茂	社会
教諭	熊谷茂	音楽
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	岩瀬晶子	英語
教諭	渡辺公子	体育
教諭	加藤勇夫	英語
教諭	塚本信夫	国語
教諭	藤崎迪夫	英語
教諭	森樺二	英語
教諭	安藤恵一	理科
教諭	露木時男	社会
教諭	石井敏夫	社会
教諭	上田吉保	社会
教諭	岩本一	国語
教諭	村上正彰	国語
教諭	鍵田正男	国語
教諭	改木結次	数学
教諭	飯吉瑞次	英語
教諭	鯉波英武	体育
教諭	富田福平	社会
教諭	寺西弘元	社会
教諭	中山真治	社会
教諭	須藤恒弘	社会
教諭	西沢勝美	社会
教諭	河野勝光	社会
教諭	下内義久	体育
教諭	古明地秀行	理科
教諭	宮城道重	美術
教諭	齊藤俊敏	社会
実習助手	渡辺福平	
事務長	田沢福平	

教職員一覧

▶▶ 昭和42年～昭和46年

事務主事	清水 一男	
事務主事補	片山 美代子	
事務主事補	牛島 圭子	
司書補	草刈 温子	
学校作業員	井上 岩夫	
学校作業員	元木 弥一	

昭和43年度

職名	氏名	教科
校長	寺田 進	
教頭	杉山 正三	
教諭(職代)	岩 撫 文夫	理科
教諭	鈴木 恒次郎	数学
教諭	水無瀬 重彦	理科
教諭	和田 重信	体育
教諭	今 込 静子	家庭
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	鍵和田 祐子	国語
教諭	鯉 潤次	理科
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	木村 孝雄	社会
教諭	小岩 井 茂	英語
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	鎌谷 要一	体育
教諭	熊谷 茂	音楽
教諭	宇野 清三郎	理科
教諭	渡辺 公子	体育
教諭	加藤 公男	英語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	森 橋 二	英語
教諭	安藤 忠一	理科
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	石井 敏吉	社会
教諭	上 田 吉明	社会
教諭	岩本 正保	英語
教諭	村上 正明	理科
教諭	鎌田 彰男	国語
教諭	改木 敏次	数学
教諭	飯波 英次	英語
教諭	難波 瑞恵	英語
教諭	中山 真文	社会
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	西沢 弘元	国語
教諭	河野 勝美	社会
教諭	下内 義光	体育
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	宮城 道重	英語
教諭	斎藤 俊敬	社会
教諭	佐藤 俊敬	社会
教諭	又木 誠八郎	体育
教諭	井上 徳男	数学
教諭	三野 征一郎	体育
教諭	川上 和男	社会
教諭	中村 憲良	社会
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	小林 悠二	音楽
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光雄	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	井上 員一	数学
教諭	桑田 正彦	理科
教諭	水無瀬 重彦	理科
教諭	鯉 潤次	理科
教諭	村上 正明	理科
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	栗山 徳司	理科
教諭	川田 孝彦	理科
教諭	広瀬 重信	体育
教諭	渡辺 克己	理科
教諭	和田 公信	体育
教諭	渡辺 義光	体育
教諭	三野 征一郎	体育
教諭	小林 悠二	体育
教諭	今 込 静子	家庭
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	山本 茂	英語
教諭	岩井 茂	英語
教諭	加藤 勇一	英語
教諭	森 橋 二	英語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	岩本 保治	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	宮城 道重	英語
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小林 悠二	英語

昭和44年度

職名	氏名	教科
校長	寺田 進	
教頭	有賀 密夫	
教諭(職代)	岩 撫 文夫	理科
教諭	鈴木 恒次郎	数学
教諭	水無瀬 重彦	理科
教諭	和田 重信	体育
教諭	今 込 静子	家庭
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	鍵和田 祐子	国語
教諭	鯉 潤次	理科

教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	小村 光雄	数学
教諭	岩井 邦雄	数学
教諭	橋本 正義	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	渡辺 公男	英語
教諭	加藤 公男	英語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	森 橋 二	英語
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	石井 敏吉	社会
教諭	上 田 吉明	社会
教諭	岩本 正保	英語
教諭	村上 正明	理科
教諭	鎌田 彰男	国語
教諭	改木 敏次	数学
教諭	飯波 英次	英語
教諭	難波 瑞恵	英語
教諭	中山 真文	社会
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	西沢 弘元	国語
教諭	河野 勝美	社会
教諭	下内 義光	体育
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	宮城 道重	英語
教諭	斎藤 俊敬	社会
教諭	佐藤 俊敬	社会
教諭	又木 誠八郎	体育
教諭	井上 徳男	数学
教諭	三野 征一郎	体育
教諭	川上 和男	社会
教諭	中村 憲良	社会
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	小林 悠二	音楽
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光雄	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	井上 員一	数学
教諭	桑田 正彦	理科
教諭	水無瀬 重彦	理科
教諭	鯉 潤次	理科
教諭	村上 正明	理科
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	栗山 徳司	理科
教諭	川田 孝彦	理科
教諭	広瀬 重信	体育
教諭	渡辺 克己	理科
教諭	和田 公信	体育
教諭	渡辺 義光	体育
教諭	三野 征一郎	体育
教諭	小林 悠二	体育
教諭	今 込 静子	家庭
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	山本 茂	英語
教諭	岩井 茂	英語
教諭	加藤 勇一	英語
教諭	森 橋 二	英語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	岩本 保治	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	宮城 道重	英語
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小林 悠二	英語

昭和45年度

職名	氏名	教科
校長	岡田 正太郎	
教頭	三波 実	
教諭(職代)	岩 撫 文夫	数学
教諭	水無瀬 重彦	理科
教諭	和田 重信	体育
教諭	今 込 静子	家庭
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	鍵和田 祐子	国語
教諭	鯉 潤次	理科
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	小村 光雄	数学
教諭	岩井 邦雄	数学
教諭	橋本 正義	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	渡辺 公男	英語
教諭	加藤 公男	英語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	森 橋 二	英語
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	石井 敏吉	社会
教諭	上 田 吉明	社会
教諭	岩本 正保	英語
教諭	村上 正明	理科
教諭	鎌田 彰男	国語
教諭	改木 敏次	数学
教諭	飯波 英次	英語
教諭	難波 瑞恵	英語
教諭	中山 真文	社会
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	西沢 弘元	国語

教諭	下内 義光	体育
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	宮城 道重	英語
教諭	斎藤 俊敬	社会
教諭	佐藤 俊敬	社会
教諭	又木 誠八郎	体育
教諭	井上 徳男	数学
教諭	三野 征一郎	体育
教諭	川上 和男	社会
教諭	中村 憲良	社会
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	小林 悠二	音楽
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光雄	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	井上 員一	数学
教諭	桑田 正彦	理科
教諭	水無瀬 重彦	理科
教諭	鯉 潤次	理科
教諭	村上 正明	理科
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	栗山 徳司	理科
教諭	川田 孝彦	理科
教諭	広瀬 重信	体育
教諭	渡辺 克己	理科
教諭	和田 公信	体育
教諭	渡辺 義光	体育
教諭	三野 征一郎	体育
教諭	小林 悠二	体育
教諭	今 込 静子	家庭
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	山本 茂	英語
教諭	岩井 茂	英語
教諭	加藤 勇一	英語
教諭	森 橋 二	英語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	岩本 保治	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	宮城 道重	英語
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小林 悠二	英語

昭和46年度

職名	氏名	教科
校長	岡田 正太郎	
教頭	三波 実	
教諭(職代)	岩 撫 文夫	数学
教諭	鈴木 恒次郎	国語
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	鍵和田 祐子	国語
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	小村 光雄	数学
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	前田 瑞穂	国語
教諭	西沢 弘元	国語
教諭	佐々木 健造	国語
教諭	小林 孝雄	社会
教諭	石井 敏吉	社会
教諭	上 田 吉明	社会
教諭	中村 憲良	社会
教諭	佐藤 俊敬	社会
教諭	川上 和男	社会
教諭	山内 忠雄	社会
教諭	大石 忠雄	社会
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光雄	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	井上 員一	数学
教諭	桑田 正彦	理科
教諭	水無瀬 重彦	理科
教諭	鯉 潤次	理科
教諭	村上 正明	理科
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	栗山 徳司	理科
教諭	川田 孝彦	理科
教諭	広瀬 重信	体育
教諭	渡辺 克己	理科
教諭	和田 公信	体育
教諭	渡辺 義光	体育
教諭	三野 征一郎	体育
教諭	小林 悠二	体育
教諭	今 込 静子	家庭
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	山本 茂	英語
教諭	岩井 茂	英語
教諭	加藤 勇一	英語
教諭	森 橋 二	英語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	岩本 保治	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	宮城 道重	英語
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小林 悠二	英語

教職員一覧

▶▶ 昭和46年～昭和50年

教諭	川村 正一	英語
養護教諭	佐藤 重代	
実習助手	渡辺 智恵子	
事務主事補	清水 一男	
事務主事補	三輪 昭江	
事務主事補	守 真由美	
事務主事補	島津 路男	
司書補	安藤 香寿子	
学校業務員	井上 岩夫	
学校業務員	元木 弥一	
学校業務員	岩崎 智恵子	

昭和47年度

職名	氏名	教科
校長	岡田 正太郎	
教頭	三波 実	
教諭(職代)	鈴木 恒次郎	数学
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	鍵和田 柚	国語
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	前田 瑞穂	国語
教諭	西沢 弘	国語
教諭	佐々木 健造	国語
教諭	小林 孝雄	社会
教諭	石井 敏夫	社会
教諭	中山 真文	社会
教諭	佐藤 俊敬	社会
教諭	川上 和男	社会
教諭	山内 健生	社会
教諭	大石 忠雄	社会
教諭	岩村 基紀	社会
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光男	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	井上 貞一	数学
教諭	桑田 正彦	数学
教諭	水無瀬 重次	理科
教諭	村上 正明	理科
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	栗山 徳司	理科
教諭	川田 孝一	理科
教諭	渡辺 克己	理科
教諭	和田 重信	理科
教諭	井上 重信	理科
教諭	渡辺 公光	理科
教諭	渡辺 公光	理科
教諭	三野 征一郎	理科
教諭	小林 悠二	理科
教諭	今込 静子	理科
教諭	小野里 暢高	理科
教諭	山本 博	理科
教諭	岩井 茂	理科
教諭	森 樺二	理科
教諭	篠崎 迪夫	理科
教諭	岩本 保	理科
教諭	須藤 恒治	理科
教諭	宮城 道	理科
教諭	小野塚 博成	理科
教諭	小林 あい	理科
教諭	川村 正一	理科
養護教諭	佐藤 重代	
実習助手	志村 智恵子	
事務長	高橋 孝雄	
主事	大滝 久子	
主事補	安井 澄雄	
主事補	森川 千津子	
主事	遠藤 清	
学校司書	鬼頭 加寿代	
業務員	元木 弥一	
業務員	竹内 鶴寿	
業務員	湊 光子	

昭和48年度

職名	氏名	教科
校長	白子 福右衛門	
教頭	関 輝男	
職務代行	鈴木 恒次郎	数学
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	鍵和田 柚	国語
教諭	坂本 弓雄	国語

教諭	塚本 信夫	国語
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	佐々木 健造	国語
教諭	岩沢 具治	国語
非常勤講師	佐藤 元信	国語
教諭	小林 孝雄	社会
教諭	石井 敏夫	社会
教諭	中山 真文	社会
教諭	佐藤 俊敬	社会
教諭	川上 和男	社会
教諭	山内 健生	社会
教諭	大石 忠雄	社会
教諭	岩村 基紀	社会
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光男	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	井上 貞一	数学
教諭	桑田 正彦	数学
教諭	水無瀬 重次	理科
教諭	村上 正明	理科
教諭	古明地 秀行	理科
教諭	栗山 徳司	理科
教諭	川田 孝一	理科
教諭	渡辺 克己	理科
教諭	和田 重信	理科
教諭	井上 重信	理科
教諭	渡辺 公光	理科
教諭	渡辺 公光	理科
教諭	三野 征一郎	理科
教諭	小林 悠二	理科
教諭	今込 静子	理科
非常勤講師	須藤 恒治	理科
非常勤講師	小野里 暢高	理科
教諭	山本 博	理科
教諭	岩井 茂	理科
教諭	森 樺二	理科
教諭	篠崎 迪夫	理科
教諭	岩本 保	理科
教諭	須藤 恒治	理科
教諭	宮城 道	理科
教諭	小野塚 博成	理科
教諭	小林 あい	理科
教諭	川村 正一	理科
養護教諭	佐藤 重代	
実習助手	志村 智恵子	
事務長	高橋 孝雄	
主事	大滝 久子	
主事補	安井 澄雄	
主事補	森川 千津子	
主事	遠藤 清	
学校司書	鬼頭 加寿代	
業務員	元木 弥一	
業務員	竹内 鶴寿	
業務員	湊 光子	

昭和49年度

職名	氏名	教科
校長	白子 福右衛門	
教頭	関 輝男	
職務代行	鈴木 恒次郎	数学
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	鍵和田 柚	国語
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	西沢 弘	国語
教諭	佐々木 健造	国語
教諭	岩沢 具治	国語
非常勤講師	佐藤 元信	国語
教諭	小林 孝雄	社会・日本史
教諭	石井 敏夫	社会・世界史
教諭	中山 真文	社会・地理・政治
教諭	佐藤 俊敬	社会・地理・政治
教諭	川上 和男	社会・地理・世界史
教諭	山内 健生	社会・日本史
教諭	大石 忠雄	社会・政治・日本史
教諭	岩村 基紀	社会・倫理・地理
教諭	鈴木 誠一	社会・地理
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光男	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	井上 貞一	数学
教諭	桑田 正彦	数学
教諭	安西 鉄也	数学
教諭	鯉淵 次一	理科・物理

教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光男	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	井上 貞一	数学
非常勤講師	椎名 隆治	数学
教諭	水無瀬 重次	理科・生物
教諭	鯉淵 次一	理科・物理
教諭	村上 正明	理科・物理
教諭	栗山 徳司	理科・化学・物理
教諭	川田 孝一	理科・化学
教諭	渡辺 克己	理科・物理
教諭	井上 重信	理科・地学
教諭	鈴木 恵之介	理科・化学・地学
教諭	石川 道夫	理科・生物
非常勤講師	富田 章	理科・生物
実習助手	高橋 美知子	理科
実習助手	徳竹 静江	理科
教諭	和田 重信	保健体育
教諭	渡辺 公光	保健体育
教諭	下内 義光	保健体育
教諭	三野 征一郎	保健体育
教諭	小林 悠二	保健体育
教諭	秀島 勇治	保健体育
養護教諭	佐藤 重代	
教諭	今込 静子	家庭
非常勤講師	須藤 喜三枝	家庭
教諭	小野里 暢高	音楽
教諭	山本 博	美術
教諭	岩井 茂	英語
教諭	加藤 勇	英語
教諭	森 樺二	英語
教諭	篠崎 迪夫	英語
教諭	岩本 保	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	小野塚 博成	英語
教諭	小林 あい	英語
教諭	川村 正一	英語
非常勤講師	辻田 栄一	英語
非常勤講師	小笠原 稔	英語
事務長	高橋 孝雄	
主事	大滝 久子	
主事	安井 澄雄	
主事補	森川 千津子	
主事	遠藤 清	
学校司書	鬼頭 加寿代	
業務員	元木 弥一	
業務員	竹内 鶴寿	
業務員	湊 光子	

昭和50年度

職名	氏名	教科
校長	小川 良一	
教頭	関 輝男	
職務代行	鈴木 恒次郎	数学
教諭	箕輪 昭二	国語
教諭	鍵和田 柚	国語
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	牛島 一雄	国語
教諭	西沢 弘	国語
教諭	佐々木 健造	国語
教諭	岩沢 具治	国語
教諭	石井 雅郎	国語
教諭	石垣 啓子	国語
非常勤講師	大倉 比呂志	国語
教諭	小林 孝雄	社会・日本史
教諭	石井 敏夫	社会・世界史
教諭	中山 真文	社会・倫理・政治
教諭	佐藤 俊敬	社会・地理・世界史
教諭	川上 和男	社会・地理・世界史
教諭	山内 健生	社会・日本史
教諭	大石 忠雄	社会・政治・日本史
教諭	岩村 基紀	社会・倫理・地理
教諭	鈴木 誠一	社会・地理
教諭	川崎 勝雄	数学
教諭	木村 光男	数学
教諭	高柴 正義	数学
教諭	橋本 邦雄	数学
教諭	井上 貞一	数学
教諭	桑田 正彦	数学
教諭	安西 鉄也	数学
教諭	鯉淵 次一	理科・物理

教職員一覧

▶▶ 昭和50年～昭和53年

教諭	村上正明	理科・物理・地学
教諭	栗山徳司	理科・化学・物理
教諭	川田孝一	理科・化学
教諭	渡辺克巳	理科・物理・地学
教諭	井上勇	理科・地学
教諭	鈴木恵之介	理科・化学
教諭	石川道夫	理科・生物
教諭	小高邦夫	理科・生物
実習助手	高橋美知子	理科
実習助手	徳竹静江	理科
教諭	和田重信	保健体育
教諭	渡辺公子	保健体育
教諭	下内義光	保健体育
教諭	三野征一郎	保健体育
教諭	秀島勇治	保健体育
教諭	若狭孝三	保健体育
養護教諭	佐藤重三	
教諭	今込静子	家庭
非常勤講師	須藤喜三枝	家庭
教諭	内山哲	音楽
教諭	山本博	美術
教諭	岩井茂	英語
教諭	加藤勇	英語
教諭	森崎二夫	英語
教諭	須藤恒治	英語
教諭	小野塚博成	英語
教諭	小林あい	英語
教諭	川村正一	英語
教諭	木村冷子	英語
教諭	渡辺健一	英語
非常勤講師	谷澄子	書道
事務長	高橋孝雄	
主事	三浦正光	
主事	遠藤清	
主事補	森川千津子	
学校司書	尾登久美子	
業務員	元木弥子	
業務員	竹内鶴寿子	
業務員	湊光子	

昭和51年度

職名	氏名	教科
校長	小川良一	
教頭	岩崎巖	
職務代行	鈴木恒次郎	数学
教諭	箕輪昭二	国語
教諭	鎌田柚子	国語
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	塚本信夫	国語
教諭	牛島一雄	国語
教諭	西沢弘元	国語
教諭	石井雅郎	国語
教諭	石垣啓子	国語
教諭	武田友宏	国語
教諭	小林孝雄	社会
教諭	石井敏夫	社会
教諭	中山真文	社会
教諭	川上健生	社会
教諭	大石忠雄	社会
教諭	岩村基紀	社会
教諭	鈴木誠一	社会
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	木村光男	数学
教諭	高榮正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	井上正巳	数学
教諭	桑田正也	数学
教諭	安西鉄也	数学
教諭	黒淵次一	理科・物理
教諭	村上正明	理科・物理
教諭	栗山徳司	理科・化学
教諭	川田孝一	理科・化学
教諭	渡辺克巳	理科・物理・地学
教諭	鈴木恵之介	理科・化学・地学
教諭	石川道夫	理科・生物
教諭	小高邦夫	理科・生物
教諭	荒川淳	理科・地学
実習助手	徳竹静江	理科
教諭	和田重信	保健体育
教諭	渡辺公子	保健体育

教諭	下内義光	保健体育
教諭	三野征一郎	保健体育
教諭	秀島勇治	保健体育
養護教諭	柳沢みどり	
非常勤講師	今込静子	家庭
教諭	須藤喜三枝	家庭
教諭	山本博	美術
非常勤講師	内山哲	音楽
教諭	辻一夫	書道
教諭	岩井茂	英語
教諭	加藤勇	英語
教諭	森崎二夫	英語
教諭	須藤恒治	英語
教諭	小野塚博成	英語
教諭	小林あい	英語
教諭	川村正一	英語
教諭	木村冷子	英語
教諭	渡辺健一	英語
非常勤講師	板垣肇	英語
事務長	高橋孝雄	
主事	大滝久子	
主事	三浦正光	
主事	遠藤清	
主事	萬羽みどり	
学校司書	尾登久美子	
校技員	元木弥子	
業務員	竹内鶴寿子	
業務員	湊光子	

昭和52年度

職名	氏名	教科
校長	小川良一	
教頭	岩崎巖	
職務代行	鈴木恒次郎	数学
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	塚本信夫	国語
教諭	牛島一雄	国語
教諭	西沢弘元	国語
教諭	石井雅郎	国語
教諭	石垣啓子	国語
教諭	武田友宏	国語
教諭	東海枝一三	国語
教諭	齊藤紀子	国語
教諭	小林孝雄	社会
教諭	石井敏夫	社会
教諭	中山真文	社会
教諭	川上健生	社会
教諭	大石忠雄	社会
教諭	岩村基紀	社会
教諭	鈴木誠一	社会
非常勤講師	園部守	社会
教諭	松永和子	社会
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	木村光男	数学
教諭	高榮正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	桑田正也	数学
教諭	安西鉄也	数学
教諭	黒淵次一	理科
教諭	野淵次一	理科
教諭	栗山徳司	理科
教諭	川田孝一	理科
教諭	渡辺克巳	理科
教諭	鈴木恵之介	理科
教諭	石川道夫	理科
教諭	小高邦夫	理科
教諭	荒川淳	理科
実習助手	徳竹静江	理科
実習助手	高見沢いづみ	理科
教諭	和田重信	保健体育
教諭	渡辺公子	保健体育
教諭	下内義光	保健体育
教諭	秀島勇治	保健体育
教諭	若狭孝三	保健体育
教諭	若狭孝三	保健体育
養護教諭	柳沢みどり	
非常勤講師	今込静子	家庭
教諭	須藤喜三枝	家庭
教諭	内山哲	音楽
教諭	黒原進	美術
非常勤講師	辻一夫	書道
教諭	岩井茂	英語
教諭	加藤勇	英語
教諭	森崎二夫	英語
教諭	須藤恒治	英語
教諭	小野塚博成	英語
教諭	小林あい	英語
教諭	木村冷子	英語
教諭	渡辺健一	英語
教諭	板垣肇	英語

教諭	岩井茂	英語
教諭	加藤勇	英語
教諭	森崎二夫	英語
教諭	須藤恒治	英語
教諭	小野塚博成	英語
教諭	小林あい	英語
教諭	川村正一	英語
教諭	木村冷子	英語
教諭	渡辺健一	英語
非常勤講師	板垣肇	英語
事務長	高橋孝雄	
主任主事	大滝久子	
主事	三浦正光	
主事	萬羽みどり	
主事	永瀬裕二	
学校司書	富沢百合子	
校技員	元木弥子	
業務員	湊光子	
業務員	小林信紀	

昭和53年度

職名	氏名	教科
校長	小川良一	
教頭	角田製彦	
職務代行	鈴木恒次郎	数学
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	塚本信夫	国語
教諭	牛島一雄	国語
教諭	西沢弘元	国語
教諭	石井雅郎	国語
教諭	石垣啓子	国語
教諭	武田友宏	国語
教諭	東海枝一三	国語
教諭	後藤紀子	国語
教諭	石井敏夫	社会
教諭	山内健雄	社会
教諭	大石忠雄	社会
教諭	岩村基紀	社会
教諭	鈴木誠一	社会
教諭	園部守	社会
教諭	田中規之	社会
教諭	布宮秀雄	社会
教諭	荒井裕子	社会
非常勤講師	松永和子	社会
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	木村光男	数学
教諭	高榮正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	桑田正也	数学
教諭	安西鉄也	数学
教諭	内野みち子	数学
教諭	黒淵次一	理科
教諭	栗山徳司	理科
教諭	川田孝一	理科
教諭	渡辺克巳	理科
教諭	鈴木恵之介	理科
教諭	石川道夫	理科
教諭	小高邦夫	理科
教諭	荒川淳	理科
実習助手	徳竹静江	理科
実習助手	高見沢いづみ	理科
教諭	和田重信	保健体育
教諭	渡辺公子	保健体育
教諭	下内義光	保健体育
教諭	秀島勇治	保健体育
教諭	若狭孝三	保健体育
教諭	若狭孝三	保健体育
養護教諭	柳沢みどり	
非常勤講師	今込静子	家庭
教諭	須藤喜三枝	家庭
教諭	内山哲	音楽
教諭	黒原進	美術
非常勤講師	辻一夫	書道
教諭	岩井茂	英語
教諭	加藤勇	英語
教諭	森崎二夫	英語
教諭	須藤恒治	英語
教諭	小野塚博成	英語
教諭	小林あい	英語
教諭	木村冷子	英語
教諭	渡辺健一	英語
教諭	板垣肇	英語

教職員一覧

▶▶ 昭和53年～昭和57年

教諭	後藤 博子	英語
事務長	高橋 孝雄	
主任主事	大滝 久子	
主事	三浦 正光	
主事	萬羽 ひとり	
主事	萬羽 裕二	
学校司書	富沢 百合子	
校技員	元木 弥一	
業務員	小林 信紀	
業務員	池口 雅子	

昭和54年度

職名	氏名	教科
校長	谷 哲郎	
教頭	角 田 製彦	
職務代行	鈴木 恒次郎	数 学
教諭	坂本 弓雄	国 語
教諭	塚本 信夫	国 語
教諭	牛島 一雄	国 語
教諭	西沢 弘元	国 語
教諭	石井 雅郎	国 語
教諭	東海枝 一三	国 語
教諭	後藤 紀子	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
教諭	石井 敏夫	社 会
教諭	山内 健雄	社 会
教諭	大石 忠雄	社 会
教諭	岩村 基紀	社 会
教諭	鈴木 誠一	社 会
教諭	園部 守	社 会
教諭	田中 規之	社 会
教諭	布宮 秀雄	社 会
教諭	荒井 裕品	社 会
非常勤講師	松永 和子	社 会
教諭	木崎 勝雄	数 学
教諭	木村 光男	数 学
教諭	高橋 正邦	数 学
教諭	桑本 正巳	数 学
教諭	安西 鉄也	数 学
教諭	内野 みち子	数 学
教諭	布施 光一	数 学
教諭	黒淵 徳司	理 科
教諭	渡辺 克己	理 科
教諭	鈴木 忠之介	理 科
教諭	石川 道夫	理 科
教諭	小高 邦夫	理 科
教諭	荒川 淳	理 科
教諭	渡部 義徳	理 科
実習助手	喜多 静江	理 科
実習助手	高見沢 いづみ	理 科
教諭	和田 重信	保健体育
教諭	渡辺 公子	保健体育
教諭	下内 義光	保健体育
教諭	秀島 勇治	保健体育
教諭	若狭 孝三	保健体育
教諭	邑 榮三	保健体育
非常勤講師	本多 秀吉	保健体育
養護教諭	柳 沢 みどり	
教諭	今 込 静子	家 庭
非常勤講師	須藤 喜三枝	家 庭
教諭	内 山 哲	音 楽
教諭	黒原 進	美 術
教諭	加藤 勇	英 語
教諭	森 樺二	英 語
教諭	篠崎 迪夫	英 語
教諭	須藤 恒治	英 語
教諭	小野塚 博成	英 語
教諭	小林 あい	英 語
教諭	木村 冷子	英 語
教諭	板垣 肇	英 語
教諭	後藤 博子	英 語
教諭	毛塚 誠治	英 語
非常勤講師	浜 屋 徳郎	英 語
非常勤講師	三井 嘉子	英 語
非常勤講師	関 弘之	数 学
事務長	内 野 明	
主任主事	大滝 久子	
主事	萬羽 ひとり	
主事	水 潤 裕二	
主事	古賀 昌道	
学校司書	富沢 百合子	

校技員	元木 弥一
業務員	小林 信紀
業務員	池口 雅子

昭和55年度

職名	氏名	教科
校長	谷 哲郎	
教頭	桑 田 鐵雄	
教諭	坂本 弓雄	国 語
教諭	塚本 信夫	国 語
教諭	牛島 一雄	国 語
教諭	西沢 弘元	国 語
教諭	東海枝 一三	国 語
教諭	後藤 紀子	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
教諭	佐藤 宣行	国 語
非常勤講師	佐藤 宣行	国 語
教諭	石井 敏夫	社 会
教諭	大石 忠雄	社 会
教諭	岩村 基紀	社 会
教諭	鈴木 誠一	社 会
教諭	園部 守	社 会
教諭	田中 規之	社 会
教諭	布宮 秀雄	社 会
教諭	荒井 裕品	社 会
教諭	大岡 建雄	社 会
教諭	川崎 勝雄	数 学
教諭	木村 光男	数 学
教諭	高橋 正邦	数 学
教諭	桑 田 正巳	数 学
教諭	安西 鉄也	数 学
教諭	内野 みち子	数 学
非常勤講師	吉田 和典	数 学
教諭	黒淵 徳司	理 科
教諭	渡辺 克己	理 科
教諭	鈴木 忠之介	理 科
教諭	石川 道夫	理 科
教諭	荒川 淳	理 科
教諭	渡部 義徳	理 科
教諭	伊藤 正澄	理 科
教諭	河井 正澄	理 科
実習助手	喜多 静江	理 科
実習助手	高見沢 いづみ	理 科
教諭	渡辺 公子	保健体育
教諭	下内 義光	保健体育
教諭	秀島 勇治	保健体育
教諭	若狭 孝三	保健体育
教諭	邑 榮三	保健体育
教諭	榮 田 和範	保健体育
非常勤講師	本間 雄一	保健体育
養護教諭	柳 沢 みどり	
教諭	今 込 静子	家 庭
非常勤講師	須藤 喜三枝	家 庭
教諭	内 山 哲	音 楽
教諭	黒原 進	美 術
教諭	加藤 勇	英 語
教諭	森 樺二	英 語
教諭	篠崎 迪夫	英 語
教諭	須藤 恒治	英 語
教諭	小野塚 博成	英 語
教諭	小林 あい	英 語
教諭	木村 冷子	英 語
教諭	板垣 肇	英 語
教諭	後藤 博子	英 語
教諭	毛塚 誠治	英 語
教諭	伊藤 雅子	英 語
教諭	早瀬 伴子	英 語
事務長	内 野 明	
主任主事	大滝 久子	
主事	水 潤 裕二	
主事	古賀 昌道	
主事	富沢 百合子	
学校司書	富沢 百合子	
校技員	元木 弥一	
業務員	小林 信紀	
業務員	池口 雅子	

昭和56年度

職名	氏名	教科
校長	桑 田 鐵雄	
教頭	上 桑 信治	
教諭	坂本 弓雄	国 語
教諭	塚本 信夫	国 語
教諭	牛島 一雄	国 語
教諭	西沢 弘元	国 語
教諭	東海枝 一三	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
教諭	佐藤 宣行	国 語
教諭	山 川 千秋	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
非常勤講師	桜 場 敏夫	社 会
教諭	石 井 敏夫	社 会

教諭	牛島 一雄	国 語
教諭	西沢 弘元	国 語
教諭	東海枝 一三	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
教諭	佐藤 宣行	国 語
教諭	山 川 千秋	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
非常勤講師	小宮 文子	国 語
教諭	石井 敏夫	社 会
教諭	大石 忠雄	社 会
教諭	岩村 基紀	社 会
教諭	鈴木 誠一	社 会
教諭	園部 守	社 会
教諭	田中 規之	社 会
教諭	布宮 秀雄	社 会
教諭	荒井 裕品	社 会
教諭	大岡 建雄	社 会
教諭	川崎 勝雄	数 学
教諭	木村 光男	数 学
教諭	高橋 正邦	数 学
教諭	桑 田 正巳	数 学
教諭	安西 鉄也	数 学
教諭	内野 みち子	数 学
教諭	杉原 光美	数 学
教諭	末永 幸寛	数 学
教諭	黒淵 次郎	理 科
教諭	渡辺 克己	理 科
教諭	鈴木 忠之介	理 科
教諭	石川 道夫	理 科
教諭	荒川 淳	理 科
教諭	渡部 義徳	理 科
教諭	伊藤 正澄	理 科
教諭	河井 正澄	理 科
実習助手	喜多 静江	理 科
実習助手	高見沢 いづみ	理 科
教諭	渡辺 公子	保健体育
教諭	下内 義光	保健体育
教諭	秀島 勇治	保健体育
教諭	若狭 孝三	保健体育
教諭	邑 榮三	保健体育
教諭	榮 田 和範	保健体育
非常勤講師	内 沼 利光	保健体育
養護教諭	柳 沢 みどり	
教諭	今 込 静子	家 庭
非常勤講師	本間 雄一	保健体育
教諭	内 山 哲	音 楽
教諭	黒原 進	美 術
教諭	加藤 勇	英 語
教諭	森 樺二	英 語
教諭	篠崎 迪夫	英 語
教諭	須藤 恒治	英 語
教諭	小野塚 博成	英 語
教諭	小林 あい	英 語
教諭	木村 冷子	英 語
教諭	板垣 肇	英 語
教諭	後藤 博子	英 語
教諭	毛塚 誠治	英 語
教諭	伊藤 雅子	英 語
教諭	早瀬 伴子	英 語
事務長	内 野 明	
主任主事	大滝 久子	
主事	古賀 昌道	
主事	富沢 百合子	
学校司書	富沢 百合子	
校技員	元木 弥一	
業務員	小林 信紀	
業務員	池口 雅子	

昭和57年度

職名	氏名	教科
校長	桑 田 鐵雄	
教頭	上 桑 信治	
教諭	坂本 弓雄	国 語
教諭	塚本 信夫	国 語
教諭	牛島 一雄	国 語
教諭	西沢 弘元	国 語
教諭	東海枝 一三	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
教諭	佐藤 宣行	国 語
教諭	山 川 千秋	国 語
教諭	宮川 幸久	国 語
非常勤講師	桜 場 敏夫	社 会
教諭	石 井 敏夫	社 会

教職員一覧

▶▶ 昭和57年～昭和60年

教諭	大石 忠雄	社会科
教諭	石村 誠一	社会科
教諭	鈴木 守一	社会科
教諭	園部 規之	社会科
教諭	田中 秀雄	社会科
教諭	荒井 裕晶	社会科
教諭	大園 建吾	社会科
非常勤講師	宮沢 佳代	社会科
教諭	木村 光男	数学科
教諭	高橋 正義	数学科
教諭	桑田 正巳	数学科
教諭	安西 鉄也	数学科
教諭	内野 美子	数学科
教諭	杉原 次郎	理科
教諭	鯉沼 克己	理科
教諭	鈴木 恵之介	理科
教諭	石川 淳	理科
教諭	渡部 義徳	理科
教諭	伊藤 元久	理科
教諭	河井 正澄	理科
実習助手	喜多 静江	理科
実習助手	高見 沢いづみ	理科
教諭	渡辺 公子	保健体育
教諭	下内 義光	保健体育
教諭	秀島 勇治	保健体育
教諭	若狭 孝三	保健体育
教諭	邑桑 栄二	保健体育
教諭	柴田 和範	保健体育
養護教諭	柳沢 ひとり	
教諭	今込 静子	家庭
非常勤講師	本間 聡子	家庭
教諭	内山 哲	音楽
教諭	黒原 進	音楽
教諭	加藤 勇	英語
教諭	森崎 操二	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	木村 冷子	英語
教諭	後藤 博	英語
教諭	毛塚 誠治	英語
教諭	伊藤 雅巳	英語
教諭	早瀬 伴子	英語
教諭	吉田 敦子	英語
教諭	三田 ひろみ	英語
非常勤講師	森 フジ子	英語
非常勤講師	安藤 宣裕	英語
事務長	小村 直久	
主任主事	大滝 久子	
主事	小林 章吾	
主事	榊原 富子	
主事	奥沢 陽一	
学校司書	富沢 百合子	
校技員	元木 弥信	
業務員	小林 信紀	
業務員	内木場 雅子	

昭和58年度

職名	氏名	教科
校長	関口 真志	
教頭	上條 信治	
教諭	坂本 信夫	国語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	牛島 弘一	国語
教諭	東海 枝一	国語
教諭	宮川 幸久	国語
教諭	佐藤 宣行	国語
教諭	山川 泰子	国語
教諭	宮川 千秋	国語
教諭	石井 敏夫	社会科
教諭	大石 忠雄	社会科
教諭	岩村 基紀	社会科
教諭	鈴木 誠一	社会科
教諭	園部 守一	社会科
教諭	田中 規之	社会科
教諭	布宮 秀雄	社会科
教諭	荒井 裕晶	社会科
教諭	大園 建吾	社会科
非常勤講師	宮沢 佳代	社会科

非常勤講師	小川 栄史	社会科
教諭	小川 雄男	数学科
教諭	木村 光正	数学科
教諭	高橋 本邦	数学科
教諭	桑田 正巳	数学科
教諭	内野 美子	数学科
教諭	杉原 光美	数学科
教諭	渡辺 克己	理科
教諭	鈴木 恵之介	理科
教諭	荒川 淳	理科
教諭	渡部 義徳	理科
教諭	伊藤 元久	理科
教諭	河井 正澄	理科
教諭	平松 克一	理科
教諭	野島 清三	理科
実習助手	高見 沢いづみ	理科
実習助手	下内 義光	理科
教諭	秀島 勇治	保健体育
教諭	若狭 孝三	保健体育
教諭	邑桑 栄二	保健体育
教諭	野沢 麗子	保健体育
養護教諭	柳沢 ひとり	
教諭	今込 静子	家庭
非常勤講師	本間 聡子	家庭
教諭	黒原 進	音楽
非常勤講師	菊谷 恵子	音楽
教諭	加藤 勇	英語
教諭	森崎 操二	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	木村 冷子	英語
教諭	毛塚 誠治	英語
教諭	伊藤 雅巳	英語
教諭	早瀬 伴子	英語
教諭	吉田 敦子	英語
教諭	澤井 松子	英語
事務長	小村 直久	
主任主事	大滝 久子	
主事	小林 章吾	
主事	榊原 富子	
主事	奥沢 陽一	
学校司書	富沢 百合子	
非常勤職員	元木 弥信	
業務員	小林 信紀	
業務員	内木場 雅子	

昭和59年度

職名	氏名	教科
校長	関口 真志	
教頭	田村 甫華	
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	牛島 弘一	国語
教諭	西沢 弘行	国語
教諭	佐藤 宣行	国語
教諭	山川 泰子	国語
教諭	宮川 千秋	国語
教諭	小池 裕子	国語
教諭	大島 扶桑	国語
教諭	石井 敏夫	社会科
教諭	大石 忠雄	社会科
教諭	岩村 基紀	社会科
教諭	鈴木 誠一	社会科
教諭	園部 守一	社会科
教諭	田中 規之	社会科
教諭	布宮 秀雄	社会科
教諭	荒井 裕晶	社会科
教諭	大園 建吾	社会科
教諭	川崎 勝雄	数学科
教諭	高橋 正義	数学科
教諭	桑田 正巳	数学科
教諭	安西 鉄也	数学科
教諭	内野 美子	数学科
教諭	杉原 光美	数学科
教諭	鈴木 恵之介	理科
教諭	荒川 淳	理科
教諭	伊藤 元久	理科

教諭	河井 正澄	理科
教諭	平松 克一	理科
教諭	野島 清三	理科
教諭	吉田 久美子	理科
教諭	小長 保由美	理科
教諭	下内 義光	保健体育
教諭	秀島 勇治	保健体育
教諭	若狭 孝三	保健体育
教諭	邑桑 栄二	保健体育
教諭	野沢 麗子	保健体育
養護教諭	柳沢 ひとり	
教諭	今込 静子	家庭
教諭	内山 哲	音楽
教諭	黒原 進	音楽
教諭	加藤 勇	英語
教諭	森崎 操二	英語
教諭	須藤 恒治	英語
教諭	木村 冷子	英語
教諭	毛塚 誠治	英語
教諭	伊藤 雅巳	英語
教諭	早瀬 伴子	英語
教諭	吉田 敦子	英語
教諭	澤井 松子	英語
教諭	早川 良夫	英語
非常勤講師	早川 良夫	英語
非常勤講師	小川 栄史	社会科
非常勤講師	深川 節子	保健体育
非常勤講師	三島 聡子	家庭
非常勤講師	三島 聡子	家庭
事務長	大竹 庸夫	
主任主事	小滝 久子	
主任主事	大滝 章吾	
主事	榊原 富子	
主事	奥沢 陽一	
学校司書	富沢 百合子	
業務員	小林 信紀	
業務員	内木場 雅子	
業務員	金 弥太郎	

昭和60年度

職名	氏名	教科
校長	田村 甫華	
教頭	柏木 安司	
教諭	坂本 弓雄	国語
教諭	塚本 信夫	国語
教諭	牛島 弘一	国語
教諭	西沢 弘行	国語
教諭	佐藤 宣行	国語
教諭	山川 泰子	国語
教諭	山岡 千秋	国語
教諭	河井 裕子	国語
教諭	小林 基起	国語
教諭	石井 敏夫	社会科
教諭	大石 忠雄	社会科
教諭	岩村 基紀	社会科
教諭	鈴木 誠一	社会科
教諭	園部 守一	社会科
教諭	田中 規之	社会科
教諭	布宮 秀雄	社会科
教諭	荒井 裕晶	社会科
教諭	大園 建吾	社会科
教諭	川崎 勝雄	数学科
教諭	高橋 正義	数学科
教諭	桑田 正巳	数学科
教諭	安西 鉄也	数学科
教諭	内野 美子	数学科
教諭	杉原 光美	数学科
教諭	鈴木 恵之介	理科
教諭	荒川 淳	理科
教諭	伊藤 元久	理科
教諭	平松 克一	理科
教諭	野島 清三	理科
教諭	勝野 一治	理科
教諭	石川 浩敏	理科
教諭	七尾 和敏	理科
教諭	吉田 久美子	理科
実習助手	長瀬 いづみ	理科
実習助手	小長 保由美	理科
教諭	下内 義光	保健体育

教職員一覧

▶▶ 昭和60年～昭和63年

教諭	秀鳥勇治保体
教諭	若狭孝三保体
教諭	邑榮麗二保体
教諭	北山修子家庭
教諭	今込静哲音楽
教諭	伊内山進美術
教諭	森崎迪二英語
教諭	森崎迪二英語
教諭	木村治子英語
教諭	毛塚誠治英語
教諭	伊藤雅己英語
教諭	早瀬伴子英語
教諭	吉田敦子英語
教諭	早川良夫英語
教諭	勝柴健治英語
教諭	桜田京子英語
非常勤講師	浜野健夫数学
非常勤講師	高橋みどり英語
非常勤講師	三島加津子英語
非常勤講師	高岡聡子家庭
非常勤講師	久保田肇社会
非常勤講師	小倉直子芸術
非常勤講師	小川口浩体育
事務長	大滝久子
主任主事	小林章吾
主任主事	小島映子
主事	奥沢陽一
学校司書	富沢百合子
業務員	小林信紀
業務員	金弥太郎
業務員	岡沢まゆみ

昭和61年度

職名	氏名	教科
校長	田村市華	
教頭	柏木安司	
教諭	坂本弓雄	国語
教諭	塚本信一	国語
教諭	塚本島雄	国語
教諭	西沢弘元	国語
教諭	佐藤宣行	国語
教諭	河井裕子	国語
教諭	小林基起	国語
教諭	中山子	国語
臨任教諭	小川節子	国語
教諭	石井敏夫	社会
教諭	大石忠雄	社会
教諭	岩村基紀	社会
教諭	鈴木誠一	社会
教諭	園部守之	社会
教諭	園部規之	社会
教諭	布宮秀雄	社会
教諭	荒井裕晶	社会
教諭	大國建吾	数学
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	高木正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	桑田正己	数学
教諭	安西鉄也	数学
教諭	安内みち子	数学
教諭	磯沢孝子	数学
教諭	荒川淳久	理科
教諭	伊藤元一	理科
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	吉田久美子	理科
教諭	勝野治	理科
教諭	勝野一治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	七尾幸光	理科
教諭	七尾和敏	理科
実習助手	小長瀬いづみ	理科
実習助手	小保由美	理科
教諭	下内義光	保健
教諭	秀鳥勇治	保健
教諭	若狭孝三	保健
教諭	邑榮麗二	保健
教諭	平田麗子	保健
教諭	伏見康之	保健

養護教諭	北山修子家庭
教諭	今込静哲音楽
教諭	内山進美術
教諭	森崎迪二英語
教諭	森崎迪二英語
教諭	木村治子英語
教諭	毛塚誠治英語
教諭	伊藤雅己英語
教諭	早瀬伴子英語
教諭	吉田敦子英語
教諭	早川良夫英語
教諭	勝柴健治英語
教諭	桜田京子英語
非常勤講師	浜野健夫数学
非常勤講師	高橋みどり英語
非常勤講師	三島加津子英語
非常勤講師	高岡聡子家庭
非常勤講師	久保田肇社会
非常勤講師	小倉直子芸術
非常勤講師	小川口浩体育
非常勤講師	長倉百合子国語
非常勤講師	吉河幸子数学
非常勤講師	今込静子数学
事務長	大竹庸夫
主任主事	小林章吾
主任主事	秋元晴代
主任主事	島貫映子
主事	奥沢陽一
主任学校司書	富沢百合子
技能員	小林信紀
技能員	金弥太郎
技能員	岡沢まゆみ

昭和62年度

職名	氏名	教科
校長	田村市華	
教頭	柏木安司	
教諭	塚本信一	国語
教諭	牛島一雄	国語
教諭	西沢弘元	国語
教諭	河井裕子	国語
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	丸山友和	国語
教諭	植松良子	国語
臨任教諭	三山幸夫	国語
臨任教諭	井原敏夫	社会
教諭	鈴木敏夫	社会
教諭	大石忠雄	社会
教諭	岩村基紀	社会
教諭	鈴木誠一	社会
教諭	園部守之	社会
教諭	園部規之	社会
教諭	布宮秀雄	社会
教諭	大國建吾	社会
教諭	金沢厚紀	社会
教諭	川崎勝雄	数学
教諭	木村光男	数学
教諭	高木正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	桑田正己	数学
教諭	安西鉄也	数学
教諭	安内みち子	数学
教諭	磯沢孝子	数学
教諭	伊藤元一	理科
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	吉田久美子	理科
教諭	勝野治	理科
教諭	勝野一治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	七尾幸光	理科
教諭	七尾和敏	理科
実習助手	小長瀬いづみ	理科
実習助手	小保由美	理科
教諭	下内義光	保健
教諭	秀鳥勇治	保健
教諭	若狭孝三	保健
教諭	邑榮麗二	保健
教諭	平田麗子	保健
教諭	伏見康之	保健
養護教諭	北山修子	

教諭	小川悦子家庭
教諭	内山進美術
教諭	森崎迪二英語
教諭	森崎迪二英語
教諭	木村治子英語
教諭	毛塚誠治英語
教諭	伊藤雅己英語
教諭	早瀬伴子英語
教諭	吉田敦子英語
教諭	早川良夫英語
教諭	勝柴健治英語
教諭	桜田京子英語
非常勤講師	三島加津子英語
非常勤講師	久保田肇社会
非常勤講師	浜野健夫数学
非常勤講師	高橋みどり英語
非常勤講師	小倉直子英語
非常勤講師	小倉百合子国語
非常勤講師	永島仁数学
非常勤講師	島田はる之国語
非常勤講師	八木橋正之社会
非常勤講師	深川節子保健
非常勤講師	飯山綾子保健
非常勤講師	今込静子家庭
事務長	大竹庸夫
主任主事	小林章吾
主任主事	秋元晴代
主任主事	島貫映子
主事	野中利夫
主任学校司書	富沢百合子
技能員	小林信紀
技能員	金弥太郎
技能員	岡沢まゆみ

昭和63年度

職名	氏名	教科
校長	田村市華	
教頭	濱田正一	
教諭	塚本信一	国語
教諭	牛島一雄	国語
教諭	西沢弘元	国語
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	丸山友和	国語
教諭	植松良子	国語
教諭	洪川生野	国語
教諭	竹下洋一	国語
教諭	石井敏夫	社会
教諭	鈴木敏夫	社会
教諭	園部守之	社会
教諭	園部規之	社会
教諭	布宮秀雄	社会
教諭	大國建吾	社会
教諭	金沢厚紀	社会
教諭	仁尾泰泰	社会
教諭	桜井弥生	社会
臨任教諭	内田勝久	社会
教諭	木村光男	数学
教諭	高木正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	桑田正己	数学
教諭	鶴澤孝子	数学
教諭	長谷川泰雄	数学
教諭	瀬川順一	数学
教諭	杉本光吉	数学
臨任教諭	川崎勝雄	数学
教諭	伊藤元一	理科
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	勝野治	理科
教諭	勝野一治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	七尾幸光	理科
教諭	七尾和敏	理科
実習助手	小長瀬いづみ	理科
実習助手	小保由美	理科
教諭	結城典義	理科
教諭	秀鳥勇治	保健
教諭	若狭孝三	保健
教諭	邑榮麗二	保健
教諭	平田麗子	保健
教諭	伏見康之	保健
養護教諭	北山修子	

教職員一覧

▶▶ 昭和63年～平成3年

臨任養護教諭	菊地美穂子	家庭
教諭	小川悦子	家庭
教諭	内山哲雄	美術
教諭	坂本辰雄	美術
教諭	木村冷子	英語
教諭	伊藤雅巳	英語
教諭	早瀬伴子	英語
教諭	吉田敦子	英語
教諭	早川良夫	英語
教諭	勝健治	英語
教諭	桜田京子	英語
教諭	神林恵子	英語
教諭	岩崎章	英語
非常勤講師	三島加津子	美術
非常勤講師	浜野健夫	数学
非常勤講師	高橋みどり	英語
非常勤講師	長倉百合子	国語
非常勤講師	島田はるひ	国語
非常勤講師	深川節子	体育
非常勤講師	飯山敏子	体育
非常勤講師	今込静子	家庭
非常勤講師	岩崎修	社会
非常勤講師	井原純子	数学
非常勤講師	河合節子	理科
非常勤講師	佐々木裕子	理科
非常勤講師	高岡泰子	美術
非常勤講師	森藤二夫	英語
非常勤講師	篠崎迪次	英語
事務長	神明豊	
主査	川崎映子	
主査	富沢百合子	
主事	野中利夫	
主事	加藤律子	
技能技員	小林信紀	
技能員	金弥太郎	
技能員	岡沢まゆみ	

平成元年度

職名	氏名	教科
校長	田村甫華	
教頭	濱田正一	
教諭	塚本信夫	国語
教諭	牛島一雄	国語
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	丸山友和	国語
教諭	植松良子	国語
教諭	竹下洋生	国語
教諭	洪川野	国語
教諭	岩村富貴子	国語
特別講師	西沢弘元	国語・書道
教諭	石井敏夫	社会
教諭	園部守	社会
教諭	布宮秀雄	社会
教諭	大金厚吾	社会
教諭	仁尾泰明	社会
教諭	坂井弥生	社会
教諭	前田清隆	社会
臨任教諭	杉浦敏子	社会
臨任教諭	内田勝久	社会
教諭	木村光男	数学
教諭	高柴正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	橋本孝子	数学
教諭	杉本光吉	数学
教諭	瀬川順一	数学
教諭	長谷川泰雄	数学
教諭	石井誠一	数学
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	宇野清三郎	理科
教諭	勝野治	理科
教諭	石川一治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	小澤幸光	理科
教諭	小澤幸光	理科
教諭	飯田恵里子	理科
実習助手	小俣由美子	理科
実習助手	結城典子	理科
教諭	若狭孝三	体育
教諭	若狭孝三	体育
教諭	平田麗子	体育

教諭	伏見康之	体育
教諭	吉村敏雄	体育
臨任教諭	北山修子	体育
教諭	小川悦子	家庭
教諭	坂本辰雄	美術
教諭	石澤千尋	音楽
教諭	木村冷子	英語
教諭	伊藤雅巳	英語
教諭	早瀬伴子	英語
教諭	吉田敦子	英語
教諭	勝健治	英語
教諭	桜田京子	英語
教諭	岩崎章	英語
教諭	神林恵子	英語
臨任教諭	平沢富雄	英語
非常勤講師	三島加津子	書道
非常勤講師	浜野健夫	数学
非常勤講師	高橋みどり	英語
非常勤講師	島田はるひ	国語
非常勤講師	今込静子	家庭
非常勤講師	岩崎修	社会
非常勤講師	河合節子	理科
非常勤講師	篠崎迪次	英語
非常勤講師	川崎勝雄	数学
非常勤講師	塩谷不二雄	理科
非常勤講師	細川善彦	体育
事務長	神明栄次	
主査	川崎豊	
主査	富沢映子	
主査(司書)	富沢百合子	
主事	野中利夫	
主事	加藤律子	
技能技員	小林信紀	
技能員	金弥太郎	
技能員	岡沢まゆみ	

平成2年度

職名	氏名	教科
校長	柴田大司	
教頭	宇野清三郎	
教諭	牛島一雄	国語
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	丸山友和	国語
教諭	植松良子	国語
教諭	竹下洋一	国語
教諭	岩村富貴子	国語
教諭	布川勝也	国語
臨任教諭	小野宣弘	国語
教諭	石井敏夫	社会
教諭	園部守	社会
教諭	大園建吾	社会
教諭	金沢厚紀	社会
教諭	仁尾泰明	社会
教諭	坂井弥生	社会
教諭	前田清隆	社会
教諭	内田勝久	社会
臨任教諭	杉浦敏子	社会
教諭	高柴正義	数学
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	橋本孝子	数学
教諭	瀬川順一	数学
教諭	長谷川泰雄	数学
特別講師	木村光男	数学
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	勝野治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	小澤幸光	理科
教諭	飯田恵里子	理科
教諭	市川知子	理科
臨任教諭	水田樹三	理科
実習助手	小俣由美子	理科
実習助手	結城典子	理科
教諭	若狭孝三	体育
教諭	若狭孝三	体育
教諭	平田麗子	体育
教諭	伏見康之	体育
教諭	吉村敏雄	体育

教諭	外崎学	体育
臨任教諭	大前佳子	養護
教諭	小川悦子	家庭
教諭	石沢千尋	音楽
教諭	奈良峰博	美術
教諭	木村冷子	英語
教諭	伊藤雅巳	英語
教諭	早瀬伴子	英語
教諭	吉田敦子	英語
教諭	岩崎章	英語
教諭	大沢富雄	英語
教諭	遠藤晃	英語
教諭	田中孝子	英語
臨任教諭	松尾光子	英語
臨任教諭	関敬子	英語
非常勤講師	塚本信夫	国語
非常勤講師	西沢富雄	国語・書道
非常勤講師	川崎勝雄	数学
非常勤講師	花田一則	数学
非常勤講師	河合節子	理科
非常勤講師	塩谷不二雄	理科
非常勤講師	大泉祐子	体育
非常勤講師	細川善彦	体育
非常勤講師	三島加津子	書道
非常勤講師	篠崎迪次	英語
非常勤講師	高橋みどり	英語
非常勤講師	藤原利恵	家庭
事務長	桶飯博一	
主査	川崎豊	
主査	中山清子	
主査(司書)	富沢百合子	
主事	野中利夫	
主事	加藤律子	
技能技員	小林信紀	
技能員	金弥太郎	
技能員	岡沢まゆみ	

平成3年度

職名	氏名	教科
校長	柴田大司	
教頭	宇野清三郎	
教諭	牛島一雄	国語
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	丸山友和	国語
教諭	植松良子	国語
教諭	竹下洋一	国語
教諭	洪川野	国語
教諭	岩村富貴子	国語
教諭	布川勝也	国語
教諭	石井敏夫	社会
教諭	園部守	社会
教諭	大園建吾	社会
教諭	金沢厚紀	社会
教諭	坂井弥生	社会
教諭	前田清隆	社会
教諭	内田勝久	社会
教諭	川口隆子	社会
臨任教諭	杉浦敏子	社会
教諭	橋本邦雄	数学
教諭	杉本光吉	数学
教諭	瀬川順一	数学
教諭	長谷川泰雄	数学
教諭	石井誠一	数学
教諭	南雲浩一	数学
教諭	滝沢一修	数学
教諭	溝呂木育子	数学
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	勝野治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	小澤幸光	理科
教諭	飯田恵里子	理科
教諭	市川知子	理科
教諭	工藤英子	理科
実習助手	小俣由美子	理科
実習助手	結城典子	理科
教諭	若狭孝三	体育
教諭	若狭孝三	体育
教諭	平田麗子	体育
教諭	伏見康之	体育
教諭	吉村敏雄	体育
教諭	外崎学	体育
教諭	今村直彦	体育

教職員一覧

▶▶ 平成3年～平成6年

養護教諭	北山修子	家庭
教諭	小川悦子	音楽
教諭	小澤千尋	音楽
教諭	奈良峰博	美術
教諭	伊藤雅巳	英語
教諭	早瀬伴子	英語
教諭	吉田敦子	英語
教諭	岩崎章子	英語
教諭	神林恵子	英語
教諭	大澤富雄	英語
教諭	遠藤見子	英語
教諭	田中節子	英語
教諭	吉岡節子	英語
教諭	黒崎浩夫	英語
非常勤講師	塚本信夫	英語・書道
非常勤講師	塚本信夫	英語・書道
非常勤講師	川島紀子	社会
非常勤講師	渡部行雄	社会
非常勤講師	川崎勝雄	数学
非常勤講師	木村光男	数学
非常勤講師	河合節子	理科
非常勤講師	河合祐子	理科
非常勤講師	金子敦也	保健
非常勤講師	藤原恵子	家庭
非常勤講師	藤原恵子	家庭
非常勤講師	金子敦子	美術
非常勤講師	高橋みどり	英語
非常勤講師	高橋みどり	英語
非常勤講師	木村冷子	英語
事務長	稲敷博一	
主査	川崎豊	
主査	中山清子	
主査(司書)	富沢百合子	
主事	野中利夫	
主事	加藤律子	
技能技員	小林信紀	
技能員	金弥太郎	
技能員	岡沢まゆみ	

平成4年度

職名	氏名	教科
校長	甲谷武士	
教頭	宇野清三郎	
教諭	牛島一雄	国語
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	九山友和	国語
教諭	植松良子	国語
教諭	竹下洋一	国語
教諭	洪川生野	国語
教諭	岩村富貴子	国語
教諭	布川勝也	国語
教諭	石井敏夫	社会
教諭	園部守	社会
教諭	大園建吾	社会
教諭	金澤厚紀	社会
教諭	桜井弥生	社会
教諭	前田清隆	社会
教諭	内田勝久	社会
教諭	大東洋樹	社会
教諭	川口隆	社会
臨任教諭	杉浦敏子	社会
教諭	杉本光吉	数学
教諭	長谷川泰雄	数学
教諭	石井誠一	数学
教諭	南雲浩一	数学
教諭	滝沢稔	数学
教諭	清呂育子	数学
教諭	藤代満	数学
教諭	笹正	数学
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	野野治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	小澤幸光	理科
教諭	飯田恵子	理科
教諭	飯田知子	理科
教諭	小藤英明	理科
実習助手	工俣由美	理科
実習助手	結城典子	理科
教諭	平見麗子	保健
教諭	伏見敏雄	保健
教諭	吉村敏雄	保健
教諭	外崎学	保健
教諭	今村直彦	保健

教諭	中條明保	体育
教諭	須田敏弘	体育
養護教諭	北山修子	家庭
教諭	小川悦子	音楽
教諭	石澤千尋	音楽
教諭	奈良峰博	美術
教諭	伊藤雅巳	英語
教諭	吉田敦子	英語
教諭	岩崎章子	英語
教諭	神林恵子	英語
教諭	大澤富雄	英語
教諭	遠藤見子	英語
教諭	田中節子	英語
教諭	吉岡節子	英語
教諭	黒崎浩夫	英語
非常勤講師	塚本信夫	英語・書道
非常勤講師	西沢弘元	英語・書道
非常勤講師	川崎勝雄	数学
非常勤講師	橋本邦雄	数学
非常勤講師	河合節子	理科
非常勤講師	金子敦也	保健
非常勤講師	金倉健資	保健
非常勤講師	藤原利恵	家庭
非常勤講師	金子敦子	家庭
非常勤講師	金子敦子	美術
非常勤講師	高橋みどり	英語
非常勤講師	木村冷子	英語
在留外国人助手	B.J. Smith	英語
事務長	稲敷博一	
副主幹	須藤昭子	
主査	中山清子	
主査	森龍彦	
主事	大島優一	
主任学校司書	池内純子	
技能技員	小林信紀	
技能員	金弥太郎	
技能員	岡沢まゆみ	

平成5年度

職名	氏名	教科
校長	甲谷武士	
教頭	白井良雄	
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	植松良子	国語
教諭	竹下洋一	国語
教諭	洪川生野	国語
教諭	岩村富貴子	国語
教諭	布川勝也	国語
教諭	清水博司	国語
教諭	金澤厚紀	社会
教諭	桜井弥生	社会
教諭	前田清隆	社会
教諭	内田勝久	社会
教諭	大東洋樹	社会
教諭	川口隆	社会
教諭	宗田千絵	社会
教諭	原進一	社会
教諭	森本文彦	社会
教諭	杉本光吉	数学
教諭	長谷川泰雄	数学
教諭	石井誠一	数学
教諭	南雲浩一	数学
教諭	滝沢稔	数学
教諭	清呂育子	数学
教諭	藤代満	数学
教諭	笹正	数学
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	野野治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	小澤幸光	理科
教諭	飯田恵子	理科
教諭	飯田知子	理科
教諭	小藤英明	理科
教諭	工俣由美	理科
教諭	結城典子	理科
教諭	平見麗子	保健
教諭	伏見敏雄	保健
教諭	吉村敏雄	保健
教諭	外崎学	保健
教諭	今村直彦	保健
教諭	須田敏弘	保健
教諭	石澤千尋	美術・音楽
教諭	奈良峰博	美術・音楽

教諭	伊藤雅巳	外国語
教諭	吉田敦子	外国語
教諭	岩崎章子	外国語
教諭	神林恵子	外国語
教諭	大澤富雄	外国語
教諭	遠藤見子	外国語
教諭	田中節子	外国語
教諭	吉岡節子	外国語
教諭	黒崎浩夫	外国語
教諭	塩谷啓介	外国語
教諭	小川悦子	家庭
養護教諭	北山修子	
実習助手	小俣由美	理科
実習助手	結城典子	理科
非常勤講師	塚本信夫	英語
非常勤講師	西沢弘元	英語・書道
非常勤講師	川崎勝雄	数学
非常勤講師	橋本邦雄	数学
非常勤講師	金子敦子	美術・音楽
非常勤講師	上田敬子	家庭
在留外国人指導助手	ブレンダン・スミス	外国語・英語
事務長	森谷仁	
副主幹	須藤昭子	
主査	森龍彦	
主任学校司書	池内純子	
主事	大島優一	
主事	大森康江	
技能技員	小林信紀	
技能員	岡沢まゆみ	
技能員	金弥太郎	

平成6年度

職名	氏名	教科
校長	甲谷武士	
教頭	白井良雄	
教諭	小林基起	国語
教諭	小山令子	国語
教諭	植松良子	国語
教諭	竹下洋一	国語
教諭	洪川生野	国語
教諭	岩村富貴子	国語
教諭	布川勝也	国語
教諭	清水博司	国語
教諭	金澤厚紀	社会
教諭	桜井弥生	社会
教諭	前田清隆	社会
教諭	内田勝久	社会
教諭	大東洋樹	社会
教諭	川口隆	社会
教諭	宗田千絵	社会
教諭	原進一	社会
教諭	森本文彦	社会
教諭	杉本光吉	数学
教諭	長谷川泰雄	数学
教諭	石井誠一	数学
教諭	南雲浩一	数学
教諭	滝沢稔	数学
教諭	清呂育子	数学
教諭	藤代満	数学
教諭	笹正	数学
教諭	平松克一	理科
教諭	野島一男	理科
教諭	野野治	理科
教諭	七尾和敏	理科
教諭	小澤幸光	理科
教諭	飯田恵子	理科
教諭	飯田知子	理科
教諭	小藤英明	理科
教諭	工俣由美	理科
教諭	結城典子	理科
教諭	平見麗子	保健
教諭	伏見敏雄	保健
教諭	吉村敏雄	保健
教諭	外崎学	保健
教諭	今村直彦	保健
教諭	須田敏弘	保健
教諭	石澤千尋	美術・音楽
教諭	奈良峰博	美術・音楽

教職員一覽

▶▶平成6年～平成10年

教諭	内山 俊幸	外国語
教諭	小川 悦子	家庭
養護教諭	北山 修子	
実習助手	小俣 由美	理科
非常勤講師	塚本 信夫	国語
非常勤講師	川崎 勝雄	数学
非常勤講師	天野 弘昭	理科
非常勤講師	佐藤 ひさの	保健体育
非常勤講師	西澤 弘元	芸術・書
非常勤講師	上田 敬子	家庭
在留外国人指導助手	キヤリン・アンスワグー	外国語・英語
事務長	布施 昭	
副主幹	須藤 昭子	
主任学校司書	池内 純子	
主事	大島 優一	
主事	大森 康江	
技能技員	小林 信紀	
技能技員	金 弥太郎	
技能員	岡 沢 まゆみ	

平成7年度

職名	氏名	教科
校長	山田 勉	
教頭	細井 博範	
教諭	小林 基起	国語
教諭	小山 令子	国語
教諭	植松 良子	国語
教諭	竹下 洋一	国語
教諭	浪川 生野	国語
教諭	岩村 富貴子	国語
教諭	布川 勝也	国語
教諭	清水 博司	国語
教諭	常石 優正	国語
教諭	金澤 厚紀	社会
教諭	櫻井 弥生	社会
教諭	内田 勝久	社会
教諭	大東 洋樹	社会
教諭	川口 隆	社会
教諭	宗田 千絵	社会
教諭	原 進一	社会
教諭	森本 文彦	社会
教諭	宮崎 朋幸	社会
教諭	杉本 光吉	数学
教諭	長谷川 泰雄	数学
教諭	石井 誠一	数学
教諭	南雲 浩一	数学
教諭	滝澤 稔	数学
教諭	板垣 育子	数学
教諭	藤代 正満	数学
教諭	菅 正春	数学
教諭	勝野 治理	理科
教諭	七尾 和敏	理科
教諭	小澤 幸光	理科
教諭	小林 恵里子	理科
教諭	工藤 英明	理科
教諭	芳賀 秀高	理科
教諭	吉村 敏雄	保健体育
教諭	外崎 直彦	保健体育
教諭	今村 直彦	保健体育
教諭	中條 明	保健体育
教諭	須田 敏弘	保健体育
教諭	飯山 毅	保健体育
教諭	石澤 千尋	芸術・音
教諭	成木 美浩	芸術・美
教諭	岩崎 章	外国語
教諭	神林 恵子	外国語
教諭	大沢 富雄	外国語
教諭	遠藤 晃	外国語
教諭	田中 孝子	外国語
教諭	吉岡 節子	外国語
教諭	黒崎 啓介	外国語
教諭	堀谷 啓介	外国語
教諭	内山 俊幸	外国語
養護教諭	小川 悦子	家庭
実習助手	渡辺 君江	
非常勤講師	小俣 由美	理科
非常勤講師	渡邊 清	理科
非常勤講師	西澤 弘元	芸術・書
非常勤講師	上田 敬子	家庭
非常勤講師	中村 静枝	家庭
非常勤講師	正宗 三枝	家庭
在留外国人指導助手	キヤリン・アンスワグー	外国語・英語
事務長	布施 昭	
主任学校司書	池内 純子	

主事	大島 優一	
主事	大森 康江	
主事	小澤 和幸	
技能技員	小林 信紀	
技能技員	金 弥太郎	
技能技員	岡 沢 まゆみ	

平成8年度

職名	氏名	教科
校長	山田 勉	
教頭	三宅 章文	
教諭	小林 基起	国語
教諭	小山 令子	国語
教諭	植松 良子	国語
教諭	竹下 洋一	国語
教諭	浪川 生野	国語
教諭	岩村 富貴子	国語
教諭	布川 勝也	国語
教諭	清水 博司	国語
教諭	常石 優正	国語
教諭	村田 圭子	国語
教諭	金澤 厚紀	地歴公民
教諭	櫻井 弥生	地歴公民
教諭	川口 隆	地歴公民
教諭	宗田 千絵	地歴公民
教諭	原 進一	地歴公民
教諭	森本 文彦	地歴公民
教諭	宮崎 朋幸	地歴公民
教諭	小山田 隆文	地歴公民
教諭	杉本 光吉	数学
教諭	長谷川 泰雄	数学
教諭	石井 誠一	数学
教諭	南雲 浩一	数学
教諭	滝澤 稔	数学
教諭	板垣 育子	数学
教諭	藤代 正満	数学
教諭	菅 正春	数学
教諭	勝野 治理	理科
教諭	小澤 幸光	理科
教諭	工藤 英明	理科
教諭	芳賀 秀高	理科
教諭	前田 守彦	理科
教諭	吉村 敏雄	保健体育
教諭	外崎 直彦	保健体育
教諭	今村 直彦	保健体育
教諭	中條 明	保健体育
教諭	須田 敏弘	保健体育
教諭	飯山 毅	保健体育
教諭	石澤 千尋	芸術・音
教諭	井庭 亨	芸術・美
教諭	岩崎 章	外国語
教諭	神林 恵子	外国語
教諭	大沢 富雄	外国語
教諭	遠藤 晃	外国語
教諭	田中 孝子	外国語
教諭	吉岡 節子	外国語
教諭	黒崎 啓介	外国語
教諭	堀谷 啓介	外国語
教諭	内山 俊幸	外国語
養護教諭	小川 悦子	家庭
実習助手	渡辺 君江	
非常勤講師	和田 貴弘	理科
非常勤講師	片倉 晴子	数学
非常勤講師	江田 典子	芸術・書
非常勤講師	上田 敬子	家庭
非常勤講師	正宗 三枝	家庭
在留外国人指導助手	ピーター・ビブキン	外国語
事務長	布施 昭	
副主幹	吉田 美知子	
主査(司書)	池内 純子	
主事	早川 英治	
主事	小澤 和幸	
技能技員	小林 信紀	
技能技員	金 弥太郎	
非常勤技能員	大場 真知子	

平成9年度

職名	氏名	教科
校長	八戸 敏夫	
教頭	三宅 章文	
教諭	小林 基起	国語
教諭	小山 令子	国語

教諭	植松 良子	国語
教諭	竹下 洋一	国語
教諭	浪川 生野	国語
教諭	岩村 富貴子	国語
教諭	布川 勝也	国語
教諭	清水 博司	国語
教諭	常石 優正	国語
教諭	村田 圭子	国語
教諭	金澤 厚紀	地歴公民
教諭	櫻井 弥生	地歴公民
教諭	川口 隆	地歴公民
教諭	宗田 千絵	地歴公民
教諭	原 進一	地歴公民
教諭	森本 文彦	地歴公民
教諭	宮崎 朋幸	地歴公民
教諭	小山田 隆文	地歴公民
教諭	杉本 光吉	数学
教諭	長谷川 泰雄	数学
教諭	石井 誠一	数学
教諭	南雲 浩一	数学
教諭	滝澤 稔	数学
教諭	板垣 育子	数学
教諭	藤代 正満	数学
教諭	菅 正春	数学
教諭	勝野 治理	理科
教諭	小澤 幸光	理科
教諭	工藤 英明	理科
教諭	芳賀 秀高	理科
教諭	前田 守彦	理科
教諭	吉村 敏雄	保健体育
教諭	外崎 直彦	保健体育
教諭	今村 直彦	保健体育
教諭	中條 明	保健体育
教諭	須田 敏弘	保健体育
教諭	飯山 毅	保健体育
教諭	石澤 千尋	芸術・音
教諭	井庭 亨	芸術・美
教諭	岩崎 章	外国語
教諭	神林 恵子	外国語
教諭	大沢 富雄	外国語
教諭	遠藤 晃	外国語
教諭	田中 孝子	外国語
教諭	吉岡 節子	外国語
教諭	黒崎 啓介	外国語
教諭	堀谷 啓介	外国語
教諭	内山 俊幸	外国語
養護教諭	小川 悦子	家庭
実習助手	渡辺 君江	
非常勤講師	和田 貴弘	理科
非常勤講師	山口 雪子	数学
非常勤講師	岡 愛弓	芸術・書
非常勤講師	上田 敬子	家庭
非常勤講師	正宗 三枝	家庭
非常勤講師	八巻 陽子	家庭
在留外国人指導助手	ピーター・ビブキン	外国語
事務長	小野 勝洋	
副主幹	吉田 美知子	
主査(司書)	池内 純子	
主事	早川 英治	
主事	小澤 和幸	
技能技員	小林 信紀	
技能技員	金 弥太郎	
技能技員・臨	大場 真知子	

平成10年度

職名	氏名	教科
校長	八戸 敏夫	
教頭	渡辺 克巳	
教諭	小林 基起	国語
教諭	植松 良子	国語
教諭	浪川 生野	国語
教諭	岩村 富貴子	国語
教諭	布川 勝也	国語
教諭	常石 優正	国語
教諭	村田 圭子	国語
教諭	河越 弘子	国語
教諭	金澤 厚紀	地歴公民
教諭	櫻井 弥生	地歴公民
教諭	原 進一	地歴公民
教諭	宮崎 朋幸	地歴公民
教諭	小山田 隆文	地歴公民
教諭	内田 隆	地歴公民

教職員一覧

▶▶平成10年～平成13年

教諭	澤野理	地歴公民
教諭	原田満	地歴公民
教諭	杉本光	数 学
教諭	長谷川泰	数 学
教諭	石井誠一	数 学
教諭	南雲浩一	数 学
教諭	滝澤見	数 学
教諭	板垣育子	数 学
教諭	藤代満	数 学
教諭	會村勉	数 学
教諭	内貴眞	数 学
教諭	小林恵里子	理 科
教諭	芳賀秀高	理 科
教諭	前田守彦	理 科
教諭	加藤和夫	理 科
教諭	川上見宏	理 科
教諭	木幡悦子	理 科
教諭	小山從道	理 科
教諭	吉村敏雄	保健体育
教諭	外崎学	保健体育
教諭	今村直彦	保健体育
教諭	中條明弘	保健体育
教諭	須田敏弘	保健体育
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	中村勝彦	保健体育
教諭	石澤千尋	芸術・音
教諭	井庭亨	芸術・美
教諭	岩崎章	外国語
教諭	神林恵子	外国語
教諭	大沢富雄	外国語
教諭	連藤晃	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	黒崎浩	外国語
教諭	塩谷啓介	外国語
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	岸野悠	外国語
教諭	小川悦子	家 庭
養護教諭	渡辺君江	
実習助手	小倉真紀子	理 科
教諭(臨任)	江田典子	国 語
教諭(休職)	森本文彦	地歴公民
非常勤講師	上田敬子	家 庭
非常勤講師	正宗三枝	家 庭
非常勤講師	八巻陽子	家 庭
非常勤講師	内田元子	芸術・書
在留外国人指導助手	ピーター・ビブキン	外国語
事務長	小野勝洋	
副主幹	鈴木博幸	
主査(司書)	池内純子	
主査	田島美子	
主事	早川英治	
技能技員	小林信紀	
技能技員	金 弥太郎	
技能技員(臨)	小野喜美子	

平成11年度

職 名	氏 名	教 科
校長	高 嶋 章	
教頭	渡辺克己	
教諭	洪川生野	国 語
教諭	岩村富貴子	国 語
教諭	布川勝也	国 語
教諭	常石優正	国 語
教諭	村田圭子	国 語
教諭	河越弘子	国 語
教諭	和泉孝史	国 語
教諭	加藤和浩	国 語
教諭	源佐吉政	国 語
教諭	櫻井弥生	地歴公民
教諭	原進一	地歴公民
教諭	宮崎明幸	地歴公民
教諭	小山田隆	地歴公民
教諭	内田隆	地歴公民
教諭	澤野理	地歴公民
教諭	原田満	地歴公民
教諭	橋本秀人	地歴公民
教諭	杉本光吉	数 学
教諭	石井誠一	数 学
教諭	南雲浩一	数 学
教諭	滝澤見	数 学
教諭	板垣育子	数 学
教諭	會田勉	数 学
教諭	内貴眞	数 学
教諭	中島幸二	数 学

教諭	小林恵里子	理 科
教諭	芳賀秀高	理 科
教諭	前田守彦	理 科
教諭	加藤和夫	理 科
教諭	川上見宏	理 科
教諭	木幡悦子	理 科
教諭	小山從道	理 科
教諭	外崎学	保健体育
教諭	今村直彦	保健体育
教諭	中條明弘	保健体育
教諭	須田敏弘	保健体育
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	中村勝彦	保健体育
教諭	小野瀬眞由美	保健体育
教諭	石澤千尋	芸術・音
教諭	井庭亨	芸術・美
教諭	岩崎章	外国語
教諭	神林恵子	外国語
教諭	大沢富雄	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	塩谷啓介	外国語
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	岸野悠	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	小川悦子	家 庭
養護教諭	坂口郁	
実習助手	小倉真紀子	理 科
教諭(休職)	小林基起	国 語
教諭(休職)	森本文彦	地歴公民
非常勤講師	上田敬子	家 庭
非常勤講師	正宗三枝	家 庭
非常勤講師	八巻陽子	家 庭
非常勤講師	内田元子	芸術・書
在留外国人指導助手	デニス・ジャクソン	外国語
事務長	小野勝洋	
副主幹	鈴木博幸	
主査(司書)	池内純子	
主査	田島美子	
主事	早川英治	
技能技員	小林信紀	
技能技員	金 弥太郎	
技能技員(臨)	小野喜美子	

平成12年度

職 名	氏 名	教 科
校長	高 嶋 章	
教頭	横山武久	
教諭	和泉孝史	国 語
教諭	岩村富貴子	国 語
教諭	加藤和浩	国 語
教諭	河越弘子	国 語
教諭	源佐吉政	国 語
教諭	常石優正	国 語
教諭	布川勝也	国 語
教諭	村田圭子	国 語
教諭	内田隆	地歴公民
教諭	小山田隆	地歴公民
教諭	澤野理	地歴公民
教諭	橋本秀人	地歴公民
教諭	原進一	地歴公民
教諭	宮崎明幸	地歴公民
教諭	會田勉	数 学
教諭	板垣育子	数 学
教諭	滝澤見	数 学
教諭	内貴眞	数 学
教諭	中島幸二	数 学
教諭	南雲浩一	数 学
教諭	早坂正喜	数 学
教諭	加藤和夫	理 科
教諭	川上見宏	理 科
教諭	小山從道	理 科
教諭	木幡悦子	理 科
教諭	芳賀秀高	理 科
教諭	前田守彦	理 科
教諭	横溝均	理 科
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	今村直彦	保健体育
教諭	小野瀬眞由美	保健体育
教諭	須田敏弘	保健体育
教諭	中條明弘	保健体育
教諭	外崎学	保健体育
教諭	中村勝彦	保健体育

教諭	石澤千尋	芸術・音
教諭	井庭亨	芸術・美
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	河野準	外国語
教諭	岸野悠	外国語
教諭	塩谷啓介	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	小川悦子	家 庭
養護教諭	坂口郁	
実習助手	小倉真紀子	理 科
教諭(休職)	小林基起	国 語
教諭(休職)	森本文彦	地歴公民
教諭(休職)	大沢富雄	外国語
非常勤講師	上田敬子	家 庭
非常勤講師	正宗三枝	家 庭
非常勤講師	谷本そのみ	家 庭
非常勤講師	内田元子	書 道
在留外国人指導助手	アンドレ・グリセット	外国語
事務長	富岡正明	
副主幹	鈴木博幸	
主査(司書)	池内純子	
主査	田島美子	
主事	大河原正幸	
主事(臨)	菊地かおり	
技能技員	小林信紀	
技能技員	金 弥太郎	
技能技員(臨)	小野喜美子	

平成13年度

職 名	氏 名	教 科
校長	高 嶋 章	
教頭	横山武久	
教諭	和泉孝史	国 語
教諭	加藤和浩	国 語
教諭	河越弘子	国 語
教諭	久保田元也	国 語
教諭	源佐吉政	国 語
教諭	鈴木涼子	国 語
教諭	常石優正	国 語
教諭	村田圭子	国 語
教諭	内田隆	地歴公民
教諭	小山田隆	地歴公民
教諭	河又洋二	地歴公民
教諭	澤野理	地歴公民
教諭	原進一	地歴公民
教諭	原田満	地歴公民
教諭	宮崎明幸	地歴公民
教諭	會田勉	数 学
教諭	板垣育子	数 学
教諭	滝澤見	数 学
教諭	内貴眞	数 学
教諭	中島幸二	数 学
教諭	南雲浩一	数 学
教諭	早坂正喜	数 学
教諭	加藤和夫	理 科
教諭	川上見宏	理 科
教諭	小山從道	理 科
教諭	木幡悦子	理 科
教諭	芳賀秀高	理 科
教諭	前田守彦	理 科
教諭	横溝均	理 科
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	今村直彦	保健体育
教諭	小野瀬眞由美	保健体育
教諭	須田敏弘	保健体育
教諭	中條明弘	保健体育
教諭	中村勝彦	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音
教諭	井庭亨	芸術・美
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	河野準	外国語
教諭	岸野悠	外国語
教諭	塩谷啓介	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	小川悦子	家 庭
養護教諭	坂口郁	
実習助手	小倉真紀子	理 科
教諭(休職)	大沢富雄	外国語

教職員一覧

▶▶ 平成13年～平成17年

教諭(研修)	布川勝也	国語
非常勤講師	上田敬子	家庭
非常勤講師	正宗三枝	家庭
非常勤講師	谷本そのみ	家庭
在留外国人指導助手	ポール・ウォラー	外国語
事務長	富岡正明	
副主幹	鈴木博幸	
主査(司書)	三浦礼子	
主査	田島美子	
主査	和泉信一	
主事(臨任)	菊池かおり	
技能技員	金 弥太郎	
技能技員	今井雅治	
技能技員(臨任)	小野喜美子	

平成14年度

職名	氏名	教科
校長	横山武久	
教頭	下内義光	
教諭	和泉孝史	国語
教諭	加藤和浩	国語
教諭	河越弘子	国語
教諭	久保田元也	国語
教諭	諏佐吉政	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	常石優正	国語
教諭	村田圭子	国語
教諭	内田隆文	地歴公民
教諭	小山田隆文	地歴公民
教諭	河又洋二	地歴公民
教諭	澤野理	地歴公民
教諭	原 進一	地歴公民
教諭	宮崎明幸	地歴公民
教諭	曾田勉	数学
教諭	熊澤俊晴	数学
教諭	伊達敏久	数学
教諭	内貴真	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	柳沼憲	数学
教諭	加藤和夫	理科
教諭	小山從道	理科
教諭	木幡悦子	理科
教諭	芳賀秀高	理科
教諭	本郷美千夫	理科
教諭	前田守彦	理科
教諭	横溝均	理科
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	小野瀬真由美	保健体育
教諭	須田敏弘	保健体育
教諭	中條明	保健体育
教諭	古屋美穂子	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽
教諭	井庭亨	芸術・美術
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	河野準子	外国語
教諭	岸野稔	外国語
教諭	塩谷啓介	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	小川悦子	家庭
養護教諭	坂口郁	
実習助手	小倉真紀子	理科
非常勤講師	上田敬子	家庭
非常勤講師	正宗三枝	家庭
非常勤講師	宮内淑子	家庭
非常勤講師	小池和代	理科
非常勤講師	野口千恵子	理科
在留外国人指導助手	Jotaro Sakamoto	外国語
事務長	大谷健二	
副主幹	相田光子	
副主幹(司書)	三浦礼子	
主査	和泉信一	
主事(臨任)	菊池かおり	
技能技員	今井雅治	
技能技員(臨任)	小野喜美子	

平成15年度

職名	氏名	教科
校長	横山武久	
教頭	島 俊憲	
教諭	和泉孝史	国語
教諭	加藤和浩	国語
教諭	河越弘子	国語
教諭	久保田元也	国語
教諭	諏佐吉政	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	常石優正	国語
教諭	村田圭子	国語
教諭	内田隆	地歴公民
教諭	小山田隆文	地歴公民
教諭	河又洋二	地歴公民
教諭	澤野理	地歴公民
教諭	原 進一	地歴公民
教諭	宮崎明幸	地歴公民
教諭	曾田勉	数学
教諭	熊澤俊晴	数学
教諭	伊達敏久	数学
教諭	持田克彦	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	柳沼憲	数学
教諭	加藤和夫	理科
教諭	小山從道	理科
教諭	木幡悦子	理科
教諭	鈴木健夫	理科
教諭	本郷美千夫	理科
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	植竹龍治	保健体育
教諭	小野瀬真由美	保健体育
教諭	須田敏弘	保健体育
教諭	中條明	保健体育
教諭	古屋美穂子	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽
教諭	井庭亨	芸術・美術
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	河野準子	外国語
教諭	岸野稔	外国語
教諭	塩谷啓介	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	小川悦子	家庭
教諭	前田守彦	情報
養護教諭	遠藤郁子	
実習助手	小倉真紀子	理科
非常勤講師	上田敬子	家庭
非常勤講師	正宗三枝	家庭
非常勤講師	宮内淑子	家庭
非常勤講師	小池和代	理科
非常勤講師	野口千恵子	情報
非常勤講師	川津香	地歴公民
非常勤講師	植松秀樹	理科
在留外国人指導助手	Jotaro Sakamoto	外国語
教員補助者	高砂和重	保健体育
教員補助者	藤原順子	家庭
事務長	大谷健二	
副主幹	相田光子	
副主幹(司書)	三浦礼子	
主査	和泉信一	
主事(臨時)	菊池かおり	
技能技員	今井雅治	
技能技員(臨時)	小野喜美子	

平成16年度

職名	氏名	教科
校長	横山武久	
教頭	島 俊憲	
教諭	井草孝治	国語
教諭	和泉孝史	国語
教諭	加藤和浩	国語
教諭	久保田元也	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	常石優正	国語
教諭	成澤明美	国語
教諭	山根理美子	国語
教諭	内田隆	地歴公民
教諭	小山田隆文	地歴公民
教諭	澤野理	地歴公民

教諭	関本博	地歴公民
教諭	林 純夫	地歴公民
教諭	星野清寛	地歴公民
教諭	宮崎明幸	地歴公民
教諭	曾田勉	数学
教諭	熊澤俊晴	数学
教諭	伊達敏久	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	持田克彦	数学
教諭	柳沼憲	数学
教諭	加藤和夫	理科
教諭	小山從道	理科
教諭	木幡悦子	理科
教諭	鈴木健夫	理科
教諭	本郷美千夫	理科
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	植竹龍治	保健体育
教諭	小野瀬真由美	保健体育
教諭	中村勝彦	保健体育
教諭	古屋美穂子	保健体育
教諭	松井一朗	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽
教諭	工藤知世	芸術・美術
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	河野準子	外国語
教諭	岸野稔	外国語
教諭	芝田美智子	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	小川悦子	家庭
教諭	前田守彦	情報
養護教諭	遠藤郁子	
実習助手	笹目麻子	理科
在留外国人指導助手	Jotaro Sakamoto	外国語
教員補助者	石川梨雅	国語
教員補助者	中村太郎	情報
教諭	河越弘子	大学院派遣
事務長	大谷健二	
副主幹	相田光子	
副主幹(司書)	三浦礼子	
主事(臨時)	菊池かおり	
技能技員	今井雅治	
技能技員(臨時)	小野喜美子	

平成17年度

職名	氏名	教科
校長	折目征己	
教頭	島 俊憲	
教諭	井草孝治	国語
教諭	加藤和浩	国語
教諭	久保田元也	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	常石優正	国語
教諭	成澤明美	国語
教諭	山根理美子	国語
教諭	内田隆	地理・歴史・公民
教諭	小山田隆文	地理・歴史・公民
教諭	澤野理	地理・歴史・公民
教諭	関本博	地理・歴史・公民
教諭	林 純夫	地理・歴史・公民
教諭	星野清寛	地理・歴史・公民
教諭	倉田和久	数学
教諭	佐久間修	数学
教諭	伊達敏久	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	持田克彦	数学
教諭	柳沼憲	数学
教諭	秋元和広	理科
教諭	小山從道	理科
教諭	木幡悦子	理科
教諭	鈴木健夫	理科
教諭	田辺誠一	理科
教諭	本郷美千夫	理科
教諭	飯山毅	保健体育
教諭	植竹龍治	保健体育
教諭	中村勝彦	保健体育
教諭	古屋美穂子	保健体育
教諭	松井一朗	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽

教職員一覽

▶▶平成17年～平成21年

教諭	森谷秀夫	芸術・美術
教諭	内山俊幸	外国語
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	河野準子	外国語
教諭	岸野稔	外国語
教諭	芝田美智子	外国語
教諭	田中孝子	外国語
教諭	中牟田晴美	家庭
教諭	前田守彦	情報
養護教諭	遠藤郁子	理科
実習助手	笹目麻子	理科
在留外国人指導助手	Jesse Cesario	外国語
教諭	河越弘子	大学院派遣
事務長	大谷健二	
副主幹	相田光子	
副主幹	田中省三	
副主幹(司書)	三浦礼子	
主事(臨時)	菊池かおり	
技能技員	今井雅治	
技能員(臨時)	石井次朗	

平成18年度

職名	氏名	教科
校長	折目征己	
教頭	小澤幸光	
教諭	井草勇治	国語
教諭	加藤和浩	国語
教諭	久保田元也	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	常石健正	国語
教諭	成澤明美	国語
教諭	山根理美子	国語
教諭	内田隆	地理・歴史・公民
教諭	小山田隆文	地理・歴史・公民
教諭	岡崎恭一	地理・歴史・公民
教諭	岡本博	地理・歴史・公民
教諭	林純夫	地理・歴史・公民
教諭	星野清寛	地理・歴史・公民
教諭	倉田和久	数学
教諭	佐久間修	数学
教諭	伊達敏久	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	持田克彦	数学
教諭	柳沼恵	数学
教諭	秋元和広	理科
教諭	木幡悦子	理科
教諭	鈴木健夫	理科
教諭	田辺誠一	理科
教諭	本郷美千夫	理科
教諭	松下登久	理科
教諭	植竹龍治	保健体育
教諭	中村勝彦	保健体育
教諭	平間隆	保健体育
教諭	古屋美穂子	保健体育
教諭	松井一朗	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽
教諭	森谷秀夫	芸術・美術
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	柏原旭	外国語
教諭	河野準子	外国語
教諭	五島智彦	外国語
教諭	芝田美智子	外国語
教諭	岸野稔	外国語
教諭	中牟田晴美	家庭
教諭	前田守彦	情報
養護教諭	遠藤郁子	理科
実習助手	笹目麻子	理科
非常勤講師	田中孝子	外国語
非常勤講師	久保井アツ子	家庭
在留外国人指導助手	Jesse Cesario	外国語
教諭	澤野理	派遣研修
事務長	中村薫	
副主幹	田中省三	
主査	薄井由志子	
副主幹(司書)	三浦礼子	
技能技員	今井雅治	
技能員(臨時)	石井次朗	
事務補助(非常勤)	横田美子	

平成19年度

職名	氏名	教科
校長	折目征己	
副校長	小澤幸光	
総括教諭	加藤和浩	国語
総括教諭	松本伊戸美	国語
総括教諭	持田克彦	数学
総括教諭	本郷美千夫	理科
総括教諭	前田守彦	情報
教諭	井草勇治	国語
教諭	久保田元也	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	成澤明美	国語
教諭	山根理美子	国語
教諭	内田隆	地理・歴史・公民
教諭	小山田隆文	地理・歴史・公民
教諭	岡崎恭一	地理・歴史・公民
教諭	岡本博	地理・歴史・公民
教諭	林純夫	地理・歴史・公民
教諭	星野清寛	地理・歴史・公民
教諭	倉田和久	数学
教諭	佐久間修	数学
教諭	伊達敏久	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	柳沼恵	数学
教諭	秋元和広	理科
教諭	木幡悦子	理科
教諭	鈴木健夫	理科
教諭	松下登久	理科
教諭	植竹龍治	保健体育
教諭	久家千明	保健体育
教諭	平間隆	保健体育
教諭	古屋美穂子	保健体育
教諭	松井一朗	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽
教諭	森谷秀夫	芸術・美術
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	河野準子	外国語
教諭	中牟田晴美	家庭
養護教諭	遠藤郁子	理科
実習助手	笹目麻子	理科
非常勤講師	玉木将雄	保健体育
非常勤講師	岸野稔	外国語
非常勤講師	田中礼子	外国語
非常勤講師	坂本恵美子	外国語
非常勤講師	田村由美子	家庭
在留外国人指導助手	Jesse Cesario	外国語
事務長	中村薫	
副主幹	田中省三	
主査	薄井由志子	
副主幹(司書)	三浦礼子	
技能技員	今井雅治	
技能員(臨時)	原田俊平	
事務補助(非常勤)	横田美子	

平成20年度

職名	氏名	教科
校長	折目征己	
副校長	千葉強	
総括教諭	松本伊戸美	国語
総括教諭	持田克彦	数学
総括教諭	樋口順亮	理科
総括教諭	本郷美千夫	理科
総括教諭	鹿沼慎一	体育
総括教諭	中山昭二	外国語
教諭	井草勇治	国語
教諭	久保田元也	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	竹本仁美	国語
教諭	成澤明美	国語
教諭	山根理美子	国語
教諭	内田隆	地理・歴史・公民
教諭	岡崎恭一	地理・歴史・公民
教諭	小山田隆文	地理・歴史・公民
教諭	岡本博	地理・歴史・公民
教諭	林純夫	地理・歴史・公民
教諭	星野清寛	地理・歴史・公民
教諭	佐久間修	数学

教諭	伊達敏久	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	柳沼恵	数学
教諭	飯田泰司	数学
教諭	秋元和広	理科
教諭	木幡悦子	理科
教諭	坂口大介	理科
教諭	松下登久	理科
教諭	小澤摩里子	保健体育
教諭	久家千明	保健体育
教諭	平間隆	保健体育
教諭	松井一朗	保健体育
教諭(臨)	橋川有太	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽
教諭	森谷秀夫	芸術・美術
教諭	大石松代	外国語
教諭	小幡明	外国語
教諭	河野準子	外国語
教諭	神吉扶美子	外国語
教諭	五島智彦	外国語
教諭	芝田美智子	外国語
教諭	中牟田晴美	家庭
養護教諭	遠藤郁子	理科
実習指導員	笹目麻子	理科
非常勤講師	木村亮	国語
非常勤講師	田辺誠一	理科
非常勤講師	岸野稔	外国語
非常勤講師	田中礼子	外国語
非常勤講師	田村由美子	家庭
在留外国人指導助手	Jesse Cesario	外国語
事務長	小山和男	
副主幹	大野久男	
主査	薄井由志子	
副主幹(司書)	三浦礼子	
技能技員	針生武志	
技能員(臨)	原田俊平	
事務補助(非常勤)	高瀬千恵	

平成21年度

職名	氏名	教科
校長	前田清隆	
副校長	千葉強	
教頭	内山達之	
総括教諭	持田克彦	数学
総括教諭	本郷美千夫	理科
総括教諭	鹿沼慎一	保健体育
総括教諭	井上由一	地歴公民
総括教諭	中山昭二	外国語
総括教諭	樋口順亮	理科
教諭	井草勇治	国語
教諭	小山聖子	国語
教諭	鈴木涼子	国語
教諭	竹本仁美	国語
教諭	成澤明美	国語
教諭	山根理美子	国語
教諭(臨)	長沼純代	国語
教諭	岡崎恭一	地歴公民
教諭	岡本博	地歴公民
教諭	林純夫	地歴公民
教諭	星野清寛	地歴公民
教諭	三舟薫	地歴公民
教諭	佐久間修	数学
教諭(再)	伊達敏久	数学
教諭	清野勝	数学
教諭	関本与志雄	数学
教諭	早坂正喜	数学
教諭	柳沼恵	数学
教諭	中島幸二	数学
教諭	秋元和広	理科
教諭(再)	遠藤悦美	理科
教諭	坂口大介	理科
教諭	松下登久	理科
教諭	松本齊	理科
教諭	山口優子	理科
教諭	小澤摩里子	保健体育
教諭	久家千明	保健体育
教諭	平間隆	保健体育
教諭	本田真吾	保健体育
教諭	松井一朗	保健体育
教諭	大久保正夫	芸術・音楽
教諭	森谷秀夫	芸術・美術
教諭	大石松代	外国語
教諭	河野準子	外国語

教職員一覽

▶▶ 平成21年～平成25年

教諭	神吉 扶美子	外国語
教諭	五島 智彦	外国語
教諭	芝田 美智子	外国語
教諭	反町 華恵	外国語
教諭(臨)	布施 弘子	外国語
教諭	中牟田 晴美	家庭
養護教諭	遠藤 郁子	
実習指導員	笹目 麻子	理科
非常勤講師	倉田 和久	数学
非常勤講師	田村 由美子	家庭
事務長	小山 和男	
副主幹	大野 久男	
主査	薄井 由志子	
臨時学校司書	根本 千賀子	
技能技員	針生 武志	
臨時技能員	原田 俊平	
在留外国人指導助手	Mike Smith	

平成22年度

職名	氏名	教科
校長	小泉 力也	
副校長	武川 慎一	
教頭	赤羽 三枝	
総括教諭	井上 由一	地歴公民
総括教諭	鹿沼 慎一	保健体育
総括教諭	栗原 精一	外国語
総括教諭	齋藤 新	理科
総括教諭	樋口 順亮	理科
総括教諭	持田 克彦	数学
教諭	井草 勇治	国語
教諭	大久保 弥	国語
教諭	小山 聖子	国語
教諭	竹本 仁美	国語
教諭	成澤 明美	国語
教諭	山根 理美子	国語
教諭	鈴木 涼子	国語
教諭	岡崎 恭一	地歴公民
教諭	関本 博	地歴公民
教諭	林 純夫	地歴公民
教諭	星野 清寛	地歴公民
教諭	清野 勝	数学
教諭	佐久間 修	数学
教諭	関本 与志雄	数学
教諭(再)	伊達 敏久	数学
教諭(臨)	柳山 俊司	数学
教諭	柳沼 憲	数学
教諭	秋元 和広	理科
教諭	坂口 大介	理科
教諭	松下 登久	理科
教諭	松本 齊	理科
教諭	山口 優子	理科
教諭	小川 崇	保健体育
教諭	小澤 摩里子	保健体育
教諭	久家 千明	保健体育
教諭	本田 眞吾	保健体育
教諭	松井 一朗	保健体育
教諭	大久保 正夫	芸術・音楽
教諭	森谷 秀夫	芸術・美術
教諭	神吉 扶美子	外国語
教諭	五島 智彦	外国語
教諭	芝田 美智子	外国語
教諭	反町 華恵	外国語
教諭(再)	田辺 勝義	外国語
教諭	廣木 明夫	外国語
教諭	富貴 大介	外国語
教諭(臨)	布施 弘子	外国語
教諭	星川 智恵子	外国語
教諭	中牟田 晴美	家庭
養護教諭	遠藤 郁子	
実習指導員	笹目 麻子	理科
非常勤講師	倉田 和久	数学
非常勤講師	田辺 精一	理科
非常勤講師	渡辺 律子	理科
非常勤講師	田村 由美子	家庭
ALT	シェパード・ホト	
教員補助	富永 佳子	
教員補助	大山 和子	
教員補助	滝口 良	
事務長	小山 和男	
副主幹	大野 久男	
副主幹	浦 恭子	
臨時学校司書	南部 真純	
技能技員	針生 武志	

臨時技能員	原田 俊平	
-------	-------	--

平成23年度

職名	氏名	教科
校長	小泉 力也	
副校長	武川 慎一	
教頭	神戸 永江	
総括教諭	井上 由一	地歴公民
総括教諭	鹿沼 慎一	保健体育
総括教諭	栗原 精一	外国語
総括教諭	川又 弘明	理科
総括教諭	樋口 順亮	理科
総括教諭	持田 克彦	数学
教諭	井草 勇治	国語
教諭	大久保 弥	国語
教諭	小山 聖子	国語
教諭	竹本 仁美	国語
教諭	成澤 明美	国語
教諭	山根 理美子	国語
教諭	高田 慶子	国語
教諭(再)	宮川 幸久	国語
教諭	岡崎 恭一	地歴公民
教諭	関本 博	地歴公民
教諭	林 純夫	地歴公民
教諭	星野 清寛	地歴公民
教諭	三舟 薫	地歴公民
教諭	清野 勝	数学
教諭	佐久間 修	数学
教諭	関本 与志雄	数学
教諭	柳沼 憲	数学
教諭	田中 眞琴	数学
教諭(再)	伊達 敏久	数学
教諭	秋元 和広	理科
教諭	坂口 大介	理科
教諭	松下 登久	理科
教諭	松本 齊	理科
教諭	山口 優子	理科
教諭	小川 崇	保健体育
教諭	小澤 摩里子	保健体育
教諭	久家 千明	保健体育
教諭	本田 眞吾	保健体育
教諭	松井 一朗	保健体育
教諭(再)	大久保 正夫	芸術・音楽
教諭	森谷 秀夫	芸術・美術
教諭	迎 扶美子	外国語
教諭	五島 智彦	外国語
教諭	芝田 美智子	外国語
教諭	反町 華恵	外国語
教諭	廣木 明夫	外国語
教諭	富貴 大介	外国語
教諭	佐藤 由梨	外国語
教諭	星川 智恵子	外国語
養護教諭	中牟田 晴美	家庭
実習指導員	笹目 麻子	理科
非常勤講師	上野 裕二	国語
非常勤講師	倉田 和久	数学
非常勤講師	高木 聡	数学
非常勤講師	本宮 優子	保健体育
非常勤講師	谷合 康則	外国語
非常勤講師	寒河江 ちあ子	家庭
ALT	ガエタン・モロー	
教員補助	宗形 舞	
教員補助	大山 典子	
教員補助	田崎 真悠	
事務長	友野 壽一	
副主幹	山本 勉	
副主幹	浦 恭子	
学校司書(臨時)	大竹 文	
技能技員	針生 武志	
技能技員(臨時)	原田 俊平	

平成24年度

職名	氏名	教科
校長	小泉 力也	
副校長	武川 慎一	
教頭	神戸 永江	
総括教諭	鹿目 秀嘉	地歴公民
総括教諭	住久 正太郎	地歴公民
総括教諭	川又 弘明	理科
総括教諭	樋口 順亮	理科
総括教諭	鹿沼 慎一	保健体育
総括教諭	栗原 精一	外国語
教諭	岩田 治子	国語

教諭	大久保 弥	国語
教諭	小山 聖子	国語
教諭	高田 慶子	国語
教諭	竹本 仁美	国語
教諭	成澤 明美	国語
教諭(再)	有座 俊史	国語
教諭	岡崎 恭一	地歴公民
教諭	星野 清寛	地歴公民
教諭	三舟 薫	地歴公民
教諭	清野 勝	数学
教諭	佐久間 修	数学
教諭	佐藤 敦志	数学
教諭	関本 与志雄	数学
教諭	田中 眞琴	数学
教諭	林 祐介	数学
教諭(再)	伊達 敏久	数学
教諭	宇佐美 敏貞	理科
教諭	坂口 大介	理科
教諭	松下 登久	理科
教諭	松本 齊	理科
教諭	山口 優子	理科
教諭	小川 崇	保健体育
教諭(臨)	小林 明日香	保健体育
教諭	本田 眞吾	保健体育
教諭	松井 一朗	保健体育
教諭	箕輪 義信	保健体育
教諭(再)	大久保 正夫	芸術・音楽
教諭(臨)	児玉 富彦	芸術・美術
教諭	五島 智彦	外国語
教諭	佐藤 由梨	外国語
教諭	芝田 美智子	外国語
教諭	反町 華恵	外国語
教諭	廣木 明夫	外国語
教諭	富貴 大介	外国語
教諭	星川 智恵子	外国語
教諭(臨)	四本 泉	外国語
教諭	迎 扶美子	外国語
教諭	中牟田 晴美	家庭
養護教諭	遠藤 郁子	
実習指導員	笹目 麻子	理科
非常勤講師	小山田 隆文	地歴公民
非常勤講師	鈴木 尚武	数学
非常勤講師	高木 聡	数学
非常勤講師	金 美江	理科
非常勤講師	新垣 有里乃	保健体育
非常勤講師	長谷 拓也	保健体育
非常勤講師	谷合 康則	外国語
非常勤講師	谷口 洋子	外国語
非常勤講師	中村 彩	家庭
ALT	ガエタン・モロー	
教員補助	片桐 理貴	
事務長	友野 壽一	
副主幹	山本 勉	
副主幹	浦 恭子	
学校司書(臨時)	大竹 文	
技能技員	針生 武志	
技能技員(臨時)	原田 俊平	

平成25年

職名	氏名	教科
校長	羽中田 圭子	
副校長	神戸 永江	
教頭	外崎 学	
総括教諭	鹿沼 慎一	保健体育
総括教諭	鹿目 秀嘉	地歴公民
総括教諭	川又 弘明	理科
総括教諭	住久 正太郎	地歴公民
総括教諭	城間 由紀子	保健体育
教諭	岩田 治子	国語
教諭	大久保 弥	国語
教諭	小山 聖子	国語
教諭	高田 慶子	国語
教諭	成澤 明美	国語
教諭	渡邊 美佐子	国語
教諭(再)	川口 晴久	国語
教諭	岡崎 恭一	地歴公民
教諭	三舟 薫	地歴公民
教諭	辻 寿一	地歴公民
教諭	佐藤 俊	地歴公民
教諭(再)	星野 清寛	地歴公民
教諭	清野 勝	数学
教諭	藤巻 拓也	数学
教諭	佐藤 敦志	数学
教諭	田中 眞琴	数学

教職員一覧

▶▶ 平成25年

教諭	林 裕 介	数 学
教諭(再)	関 本 与志雄	数 学
教諭(臨)	中 澤 祐 二	数 学
教諭	宇佐美 敏 貞	理 科
教諭	上 野 博 史	理 科
教諭	松 下 誉 久	理 科
教諭	松 本 齊 一	理 科
教諭	山 口 優 子	理 科
教諭	鈴 木 康 介	理 科
教諭(再)	鈴 木 克 己	理 科
教諭	小 川 崇	保健体育
教諭	本 田 眞 吾	保健体育
教諭	松 井 一 朗	保健体育
教諭	笠 輪 義 信	保健体育
教諭(再)	大久保 正 夫	音 楽
教諭(臨)	児 玉 富美子	美 術
教諭	五 島 智 彦	外国語
教諭	佐 藤 由 梨	外国語
教諭	有 家 香奈子	外国語
教諭	反 町 華 恵	外国語
教諭	廣 木 明 夫	外国語
教諭	富 貴 大 介	外国語
教諭	星 川 智恵子	外国語
教諭	迎 田 扶美子	外国語
教諭(再)	嶋 崎 裕	外国語
教諭(臨)	四 本 泉	外国語
教諭	澤 口 麻 里	外国語
教諭	中牟田 晴 美	家 庭
養護教諭	添 川 彩 子	養 護
実習指導員	佐々木 広 子	理 科
非常勤講師	伊 達 敏 久	数 学
非常勤講師	新 垣 有里乃	保健体育
非常勤講師	浦 井 千 夏	家 庭
非常勤講師	野 地 徹	情 報
A.L.T	ガエタン・モロー	
教員補助	石 崎 梨 乃	
教員補助	内 山 涼 子	
事務長	友 野 壽 一	
副主幹	山 本 勉	
主事	前 田 薫	
学校司書(臨)	大 竹 文	
技能技員	針 生 武 志	
技能員(臨)	原 田 俊 平	

○教職員一覧は、学校要覧をもとに作成しています。
 ならび順、職名、教科名は当時のものです。

新城高校 教育課程の変遷

1. 昭和38年度＜創設時＞の教育課程

昭和38年度から学年進行で実施された学習指導要領に準拠した教育課程



教科	科目	標準 単位		1 年	2 年	3 年	
				共 通	共 通	理 科 型	文 科 型
国 語	現代国語	7	○	3	3・	2	2
	古典乙Ⅰ	5	○	2	3		
	古典乙Ⅱ	3				3	4・
社 会	倫理・社会	2	○		2		
	政治・経済	2	○			2	3・
	日本史	3	○			3	4・
	世界史B	4	○		3・	2	3・
	地 理 B	4	○	4			
数 学	数 学 Ⅰ	5	○	6・			
	数 学 Ⅱ B	5	○		男6・女5 5		2・
	数 学 Ⅲ	5				6・	
理 科	物 理 B	5	○		3	3・	2
	化 学 B	4	○		2	3・	2
	生 物	4	○	4			
	地 学	2	○	2			
保 健 体 育	体 育	男9 女7	○	男4 女2	3	2	2
	保 健	2	○		1	1	1
芸 術	音 楽 Ⅰ	2	○	②			②
	美 術 Ⅰ	2		②			②
外国語	英 語 B	15	○	6・	男7・女6・	6・	6・
家 庭	家庭一般	4	○	女2	女2		
	食 物 Ⅰ	2～6					女②
小 計				33	33	33	33
特別教育活動				1	1	1	1
合 計				34	34	34	34

備考

標準単位の欄○印は必修、・印は増加単位を含む。

□はいずれか1つを選ぶ。（3年芸術は1年で選んだ以外。）

2. 昭和50年度の教育課程

昭和48年度から学年進行で実施された学習指導要領に準拠した教育課程の完成年度

教科	科目	標準単位 ○必修	1 年	2 年	3 年	
					文	理
国 語	現代国語	⑦	2	2	3②	3
	古典Ⅰ乙	⑤	3	3		
	古典Ⅱ	3			3	
社 会	倫理社会	②			2	2
	政治経済	②			2	2
	日本史	3		2	3	1
	世界史	3		2	3	1
	地理A	3	3			
数 学	数学Ⅰ	⑥	6			
	数学ⅡB	5		5	②④	
	数学Ⅲ	5				7
理 科	物理Ⅰ	3		3		
	化学Ⅰ	3		3		
	生物Ⅰ	3	3			
	地学Ⅰ	3	2		1	
	物理Ⅱ	3			┌—2	┌—4 └—3
	化学Ⅱ	3				
	生物Ⅱ	3				
	地学Ⅱ	3				
保健体育	体 育	11-7	男4 女2	男4 女3	男3 女2	男3 女2
	保 健	②	1	男1	女1	女1
芸 術	音楽Ⅰ	2	┌—2			
	美術Ⅰ	2③				
	書道Ⅰ	2				
	音楽Ⅱ	2		┌—1		
	美術Ⅱ	2				
	書道Ⅱ	2				
	音楽Ⅲ	2			┌—②	
	美術Ⅲ	2				
	書道Ⅲ	2				
外国語	英語B	15	6	6	6②	6
家 庭	家庭一般	④女	女2	女2		
	食物Ⅰ	2			女2	
特別教育活動	ホームルーム		1	1	1	1
	ク ラ ブ		1	1	1	1
		計	34	34	34	34

3. 昭和59年度の教育課程

昭和57年度から学年進行で実施された学習指導要領に準拠した教育課程の完成年度

教科	科目	1 年	2 年	3 年	
				文	理
国 語	国 語 I	5			
	現 代 文		2	3	3
	古 典		3	3	②
社 会	政治・経済			2 ②	2 ②
	日 本 史			4 ②	④
	世 界 史	2	2	②	②
	地 理	3		②	②
	倫 理		2	②	②
数 学	数 学 I	5		②④	
	代数・幾何		3	②④	
	基礎解析		3	②④	
	微分積分				4
	確率統計				3
理 科	理 科 I	5			
	物 理		3	2	3・5
	化 学		2	2	3
	生 物		3	2	3・5
	地 学		3	2	8
保健体育	体 育	男 4 女 2	男 4 女 3	男 3 女 2	男 3 女 2
	保 健	1	男 1	女 1	女 1
芸 術	音 楽 I	2			
	音 楽 II		2		
	音 楽 III			②	
	美 術 I	2	2		
	美 術 II		2	2	
	美 術 III			②	
	書 道 I	2			
	書 道 II		2		
外国語	英 語 I	5			
	英 語 II		5		
	英 語 II B			5 ②	4 ②
	英 語 II C			2 ②	2 ②
家 庭	家庭一般	女 2	女 2		
	食 物			女 2	
特別教育活動	ホームルーム	1	1	1	1
	ク ラ ブ	1	1	1	1
計		34	34	28~34	29.30~33

備考

理科、芸術の□の記号は、いずれか1科目選択、○は選択科目

4. 平成9年度の教育課程

平成6年度から学年進行で実施された学習指導要領に準拠した教育課程

※完成年度は平成8年度であるが、校内で変更があったため、ここでは平成9年度分を掲出

入 学 年 度		平成7・8・9年度							
小学科または類型		共 通	共 通	文 系			理 系		
				必 修	必 選	自 選	必 修	必 選	自 選
学 年		1 年	2 年	3 年					
教科	学 級 数	7	7	7 (7年度生)					
	科 目	8	8	8 (8年度生)					
		8	8	9 (9年度生)					
国 語	国 語 I	4							4
	国 語 表 現					2		2	0.2
	現 代 文		2	2			2		4
	古 典 I		4	2		2		2	2.4.6
	古 典 II				4				0.4
地 理 歴 史	古 典 講 読					2			0.2
	世 界 史 B		4		2				4.6
	日 本 史 A			2			2		2
	日 本 史 B				4				0.4
	地 理 A				2				0.2
公 民	地 理 B				4				0.4
	現 代 社 会	4				2			4.6
	倫 理				2				0.2
数 学	政 治 ・ 経 済				2				0.2
	数 学 I	3							3
	数 学 II		3						3
	数 学 III						4	2	0.4.6
	数 学 A	2			4	2			2.4.6
	数 学 B		0	2		2		2	0.2
理 科	数 学 C						4		0.4
	物 理 I A	2							0.2
	物 理 I B	2	2			2			0.4.6
	物 理 II				3	3	3	3	0.3
	化 学 I B		3			2			3.5
	化 学 II				3	3	3	3	0.3
	生 物 I A	2							0.2
	生 物 I B	2	2			2			0.4.6
保 健 体 育	生 物 II				3	3	3	3	0.3
	地 学 I A					2			0.2
	体 育	3	3	3			3		9
	保 健	1	1						2
芸 術	音 楽 I	2							0.2
	音 楽 II		2						0.2
	音 楽 III					2		2	0.2
	美 術 I	2							0.2
	美 術 II		2						0.2
	美 術 III							2	0.2
	書 道 I	2							0.2
	書 道 II		2						0.2
外 国 語	英 語 I	4							4
	英 語 II		3			2		2	3.5
	オーストラリア・コミュニケーションB	2							2
	リーディング			4			4		4
	ライティング		2	2			2		4
	スペイン語					2		2	0.2
家 庭	家 庭 一 般	2	2						4
	食 物					2		2	0.2
	被 服					2		2	0.2
	保 育					2		2	0.2
計		31	31	13	7~8	0~10	21	3	0~7
ロング・ホームルーム		1	1			1			
ク ラ ブ 活 動		1	1			1			
総 計		33	33			22~33			

備考

1年の芸術は1科目選択し、2年次にも同じ科目のIIを選択する。

1年の理科は「物理IA・生物IB」「物理IB・生物IA」のいずれかの組合せで選択する。

2年の理科は「化学IB」は必修で、1年次選択した「物理IB」または「生物IB」を継続選択する。

3年文系の必修選択は次のいずれかとする。

◇国語4単位+社会4単位 ◇国語4単位+数学4単位 ◇数学4単位+理科3単位 ただし、社会4単位は次のいずれかとする。○日本史B4単位 ○地理B4単位 ○世界史B2単位+倫理2単位 ○政治経済2単位+〔世界史B2単位又は倫理2単位又は地理A2単位〕

※8年度入学生は3年次、9年度入学生は2・3年次については変更になる場合がある。

5. 平成17年度の教育課程

平成15年度から学年進行で実施された学習指導要領に準拠した教育課程の完成年度

類 型			I	II	III	IV	V	VI	自選
学 年		1 年	2 年		3 年		3 年		
教科	科 目	単位数	単 位 数		単 位 数		単 位 数		
国 語	国 語 総 合	4							
	現 代 文					3	3	3	
	古 典 講 義		3	3	3※1	4		4※4	2
	古 典 総 合								1
	現 代 文 読 解		2	2	2				2
	表 現 演 習								2
	評 論 読 解								2
	文 章 作 法							2※5	
地 理 歴 史	小 論 文 探 求								1
	世 界 史 A		2	2	2				2
	世 界 史 B					4			
	日 本 史 A		3		3※3				2
公 民	日 本 史 B					4			
	地 理 A	2				4			
	地 理 B					4			
	現 代 社 会							2※5	
数 学	倫 理	2							
	政 治 ・ 経 済					2	2	2	2
	数 学 I	3							
	数 学 II		4	4	4	4	4	4※4	
	数 学 III						4		2
	数 学 A	2							
	数 学 B			3	3※2				2
	数 学 C						3		
理 科	解 法 研 究 A								1
	解 法 研 究 B								1
	理 科 総 合 A	2							
	物 理 I			3	3※3				2
	物 理 II						4	4※5	
	化 学 I		3	3	3				2
	化 学 II						4	4※5	4
	生 物 I		3	3	3※3				2
保 健 体 育	生 物 II						4	4※5	4
	体 育	3	3	3	3	2	2	2	
	保 健	1	1	1	1				
	音 楽 I	2							
芸 術	音 楽 II				3※2				
	音 楽 III							2※5	
	美 術 I	2							
	美 術 II				3※2				
	美 術 III							2※5	
	音 楽 実 践				3※1				
外 国 語	美 術 実 践				3※1				
	英 語 I	5							
	英 語 II		4	4	4				
	リ ー デ ィ ン グ					4	4	4	
	ラ イ テ ィ ン グ		2	2	2	2	2	2	
	上 級 英 語 読 解								2
家 庭	ス ペ イ ン 語								2
	家 庭 基 礎	2							
	生 活 文 化				3※1				
情 報	生 活 科 学							4※4	
	情 報 A	2							
	情 報 B							2※5	
家 庭	発 達 と 保 育								2
	服 飾 文 化								2
	フ ー ド デ ザ イ ン								2
体 育	ス ポ ー ツ II				3※2				2
総合的な学習の時間		1	1	1	1	1	1	1	
計		31	31		22		1		0～8
ホームルーム活動		1	1						
総 計		32	32				23～31		

備考 2年 ※1より1科目選択。 ※2より1科目選択。 ※3より1科目選択。
3年 ※4より1科目選択。 ※5より4単位選択。

6. 平成27年度の教育課程 <予定>

平成25年度（一部22年度から先行実施）から学年進行で実施された学習指導要領に準拠した教育課程

入 学 年 度		平成27年度（予定）					小 計
学 年		1 年	2 年	必 修	必修選択	自由選択	
教科	科目 学級数 標準 単位数						
国 語	国 語 総 合	4	4				4
	現 代 文 B	4		2			4
	古 典 探 究 *	4	3				3
	古 典 探 究 *				4 ^{*5}		0.4
	基 礎 古 典 *				4 ^{*5}		0.4
	応 用 古 典 *					2	0.2
	古 典 総 合 *					2	0.2
	評 論 読 解 *					1	0.1
地 理 歴 史	世 界 史 A	2		2			2
	世 界 史 B	4		4		4 ^{*5}	0.4
	日 本 史 A	2		2			2
	日 本 史 B	4		4		4 ^{*5}	0.4
	地 理 A	2	2				2
	地 理 B	4		2		4 ^{*5}	0.4
	世 界 史 探 究 *				3 ^{*3}		0.3
	世 界 史 研 究 *					2	0.2
公 民	日 本 史 探 究 *				3 ^{*3}		0.3
	日 本 史 研 究 *					2	0.2
	地 理 探 究 *				3 ^{*3}		0.3
	地 理 研 究 *					2	0.2
	現 代 社 会	2		2			2
	倫 理	2			3 ^{*3*4}		0.3
	政 治 ・ 経 済	2			3 ^{*4}		0.3
	倫 理 研 究 *					2	0.2
数 学	政 治 ・ 経 済 研 究 *					2	0.2
	数 学 I	3	3				3
	数 学 II	4	4				4
	数 学 III	5			6 ^{*3*4}		0.6
	数 学 A	2	2				2
	数 学 B	2	2				2
	数 学 探 究 a *				3 ^{*3*4}		0.3
	数 学 探 究 β *				3 ^{*4}		0.3
理 科	解 法 研 究 A *					1	0.1
	解 法 研 究 B *					1	0.1
	解 法 研 究 C *					2	0.2
	物 理 基 礎	2	2				2
	物 理 基 礎	4			4 ^{*5}		0.4
	化 学 基 礎	2	2				2
	化 学 基 礎	4	4		4 ^{*5}		0.4
	生 物 基 礎	2	2				2
保 健 体 育	生 物 基 礎	4	4		4 ^{*5}		0.4
	物 理 探 究 *					2	0.2
	化 学 探 究 *					2	0.2
	生 物 探 究 *					2	0.2
	体 育	7～8	3	3	2		8
	保 健	2	1	1			2
	音 楽 I	2	2				0.2
	音 楽 II	2	2				0.4
芸 術	音 楽 III	2	2		3 ^{*3}		0.3
	美 術 I	2	2				0.2
	美 術 II	2	2				0.4
	美 術 III	2			3 ^{*3}		0.3
	音 楽 実 践 *					2	0.2
	美 術 実 践 *					2	0.2
	外 国 語						
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 I	3	4				4
外 国 語	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 II	4		4			4
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 III	4			4		4
	英 語 表 現 I	2	2				2
	英 語 表 現 II	4	2	2			4
	英 語 探 究 *				3 ^{*3*4}		0.3
	英 語 研 究 *					2	0.2
	家 庭 基 礎	2	2				2
	社 会 と 情 報	2	2				2
家 庭 情 報	子 ど も の 発 達 と 保 育	2～6				2	0.2
	フ ォ ー ド デ ザ イ ン	2～6				2	0.2
	ス ポ ー ツ II	2～13				2	0.2
	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 **		1	1		1	0.1, 2, 3
	就 業 体 験 活 動 **		1	1		1	0.1, 2, 3
	計	3～6	1	1	1		3
	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1	1		1	3
	総 計		33～35	33～35	24～30		90～100

1 年 ※1より1科目選択。 2 年 ※2より1科目選択。
3 年 ※3より1科目選択。 ※4より1科目選択。
ただし「数学Ⅲ」の場合は、※3※4同時選択。
※5より1科目選択。

科目末尾に「*」が付いている科目は学校設定科目。
※「学校外における学修」の科目「ボランティア活動」
「就業体験活動」の履修は任意であり、「ボランティア活動」
「就業体験活動」それぞれ各学年1単位ずつ、最大3単位
まで認定する。ただし、卒業に必要な単位数には含まない。

2 学期制。学期の区分に応じた単位認定。授業時間は65分。
教育課程編成は、調整することがある。

新城高校のあゆみ 過去進路実績

	国公立 4年生 大 学	私 立 4年生 大 学	国公立 大 学 校	国 公 立 短 期 大 学	私 立 短 期 大 学	国公立 短 期 大 学 校	各種学校 専門学校	公務員 ・ 公 営 企 業 体	民間就職	その他
昭和 41 年	昭和 41 年、昭和 42 年についてはデータなし									
昭和 42 年										
昭和 43 年	21	315	データ略	7	44		データ略	7	88	
昭和 44 年	9	277	データ略	11	66		データ略			
昭和 45 年	14	291		1	67			1	64	
昭和 46 年	14	312		5	67			15	69	
昭和 47 年	15	317	1	7	70			8	42	
昭和 48 年	21	252	1	5	79			12	45	
昭和 49 年	23	341		9	126			7	22	
昭和 50 年	25	338	1	11	137			4	20	
昭和 51 年	29	344		8	110				19	
昭和 52 年	23	324	2	9	133			7	18	
昭和 53 年	23	342		14	112			16	14	1
昭和 54 年	44	409		12	157		29	13	24	
昭和 55 年	34	375		5	99		34	8	10	
昭和 56 年	33	346	1	7	118		47	6	8	
昭和 57 年	40	433	3	7	128		25	4	5	
昭和 58 年	35	401	1	7	82		39	4	4	
昭和 59 年	35	410	1	11	133		43	6	8	
昭和 60 年	17	376		10	98		73	4	8	
昭和 61 年	32	353		2	99		49	9	6	
昭和 62 年	27	362		2	94		40	8	10	
昭和 63 年	38	362		8	96		44	3	11	
平成元年	17	361		2	87		36	9	2	
平成 2 年	13	440		2	106		46	9	9	
平成 3 年	21	460		5	116		39	5	8	
平成 4 年	22	461	1	3	136		46	2	5	4
平成 5 年	24	593		5	124		33	2	9	
平成 6 年	23	422	2	6	113		44	1	9	
平成 7 年	19	473		5	85		48	2	5	
平成 8 年	16	382		4	77		48	1	9	
平成 9 年	15	327		8	58		42		3	
平成 10 年	18	312	1		59		32	1	6	
平成 11 年	8	372		6	55	2	46		3	
平成 12 年	18	355	1	5	43		41	1	6	
平成 13 年	12	321	1	4	56		75	4	3	1
平成 14 年	14	363		5	33		55	2	3	1
平成 15 年	11	317		5	24		29	2	1	1
平成 16 年	12	274	2	3	47		69	6	2	
平成 17 年	11	134	2	3	30		41	4		
平成 18 年	6	427		1	27		48	2	6	
平成 19 年	9	446		3	15		17	2	5	
平成 20 年	8	335		3	12		31	2	4	
平成 21 年	8	428			11		13	5	1	
平成 22 年	5	419		2	22		25	1		
平成 23 年	4	375			15		19			
平成 24 年	3	351		3	13		26			
平成 25 年	別ページに詳細データあり									
平成 26 年										

平成24年度 合格実績

4年制大学			
国立		(現役)	(過年度)
	埼玉大学	1	
	筑波大学	1	
	電気通信大学	1	
	東京学芸大学		1
	東京農工大学	1	
	長崎大学	1	
	国立計	5	1
公立		(現役)	(過年度)
	神奈川県立保健福祉大学	2	
	首都大学東京	1	
	公立計	3	0
私立		(現役)	(過年度)
	青山学院大学	9	4
	麻布大学	2	
	桜美林大学	8	
	大妻女子大学	1	
	学習院大学	3	1
	神奈川工科大学	3	1
	神奈川大学	33	2
	鎌倉女子大学	3	
	関東学院大学	10	
	北里大学	3	
	杏林大学	1	
	恵泉女学園大学	2	
	工学院大学	4	
	國學院大学	9	1
	国際医療福祉大学	1	
	国士館大学	5	
	駒沢女子大学	2	
	駒澤大学	11	3

私立	相模女子大学	10	
	産業能率大学	7	
	実践女子大学	2	
	芝浦工業大学	6	
	松陰大学	1	
	上智大学	6	
	昭和女子大学	6	
	昭和大学	4	
	女子美術大学	1	
	杉野服飾大学	1	
	湘南工科大学		1
	成蹊大学	8	1
	成城大学	8	1
	専修大学	22	3
	大東文化大学	1	
	高千穂大学	1	
	拓殖大学	2	1
	玉川大学	5	
	多摩大学	3	
	多摩美術大学	7	
	中央大学	15	3
	帝京大学	6	2
	帝京平成大学	1	
	東海大学	20	3
	東京医科大学	1	1
	東京医療学院大学		1
	東京医療保健大学	1	
	東京家政学院大学	3	
	東京家政大学	6	
	東京経済大学	5	
	東京工科大学	7	
	東京工芸大学	1	
	東京女子大学	1	
	東京造形大学	3	

私立	東京電機大学	2	
	東京都市大学	18	
	東京農業大学	7	
	東京薬科大学	1	
	東京理科大学	1	2
	桐朋学園大学	1	
	東邦大学	2	
	東洋英和女学院大学	1	
	東洋大学	20	2
	獨協大学	1	
	二松学舎大学	1	
	日本映画大学	1	
	日本女子大学	2	
	日本大学	29	2
	フェリス学院大学	5	
	佛教大学	1	
	文化学園大学	2	
	法政大学	11	3
	武蔵大学	3	
	武蔵野大学	2	
	武蔵野美術大学	1	
	明治学院大学	22	
	明治大学	14	4
	明星大学	4	1
	ヤマザキ学園大学	1	
	横浜創英大学	1	
	横浜薬科大学	1	
	立教大学	12	1
	立正大学	3	
	立命館大学アジア太平洋大学	1	
	和光大学	2	1
	早稲田大学	6	2
	私立計	460	47
	4年制大学計	468	48

大学校			
	(現役)	(過年度)	
水産大学校	1		
大学校計	1	0	
短期大学			
	(現役)	(過年度)	
実践女子短期大学	1		
自由が丘産能短期大学	2		
洗足こども短期大学	3		
鶴見大学短期大学部	1		
帝京短期大学	1		
東京農業大学(短期大学部)	1	1	
山野美容芸術短期大学	1		
東京家政大学(短期大学部)	1		
短大計	11	1	
各種・専門学校			
	(現役)	(過年度)	
OHLONE COLLEGE	1		
厚木看護専門学校	1		
大原法律公務員専門学校	2		
音響芸術専門学校	1		
国際文化理容美容専門学校	1		

首都医校	1	
昭和医療技術専門学校	1	
昭和大学医学部附属看護専門学校	1	
職業学院	1	
聖マリアンナ専門学校		1
東京動物専門学校	1	
日本工学院専門学校	2	
舞台芸術学院	1	
ベルエポック美容専門学校	1	
町田調理師専門学校	1	
横浜こども専門学校	1	
横浜労災看護専門学校	2	
各種・専門学校計	19	1
就職		
	(現役)	(過年度)
神奈川県警察	2	
東京消防庁	1	
川崎市職員	1	
就職計	4	0

平成25年度 合格実績

4年制大学			
		(現役)	(過年度)
国立	電気通信大学		1
	国立計		1
		(現役)	(過年度)
公立			
	公立計	0	0
		(現役)	(過年度)
私立	青山学院大学	15	
	跡見学園女子大学	1	
	桜美林大学	8	
	大妻女子大学	10	
	学習院大学	6	
	神奈川工科大学	3	
	神奈川大学	24	1
	鎌倉女子大学	3	
	神田外語大学	2	
	関東学院大学	8	
	北里大学	4	1
	共立女子大学	1	
	杏林大学	3	1
	恵泉女子学園大学	1	
	慶應義塾大学	1	1
	工学院大学	2	
	國學院大学	6	1
	国際医療福祉大学	1	2
	国土館大学	6	
	駒澤大学	14	2
	相模女子大学	4	

産業能率大学	5	
芝浦工業大学	4	
上智大学	3	
昭和女子大学	2	
昭和大学	2	
湘南工科大学	1	
成蹊大学	2	1
成城大学	6	1
聖徳大学	1	
専修大学	19	3
創価大学	2	
大東文化大学		1
高千穂大学	1	
拓殖大学	1	
玉川大学	5	
私立 千葉工業大学	1	
中央大学	15	3
帝京科学大学	2	
帝京平成大学	1	1
帝京大学	7	
桐蔭横浜大学	5	
東海大学	9	1
東京医療学院大学		1
東京医療保健大学	3	
東京家政大学	5	
東京経済大学	8	
東京工科大学	3	1
東京造形大学	2	
東京電機大学	1	
東京都市大学	11	1
東京農業大学	1	

東京福祉大学	1	
東京未来大学	1	
東京薬科大学	1	1
東京理科大学	5	
同志社大学	2	
東邦大学	1	
東洋英和女学院大学	4	
東洋大学	14	2
獨協大学	1	
日本女子大学	1	
日本女子体育大学	3	
日本大学	27	1
フェリス学院大学	3	
文京学院大学	1	
私立 法政大学	36	1
武蔵大学	1	
武蔵野大学	2	
明星大学	5	
明治学院大学	25	4
明治大学	12	2
目白大学	4	
横浜商科大学	1	
横浜創英大学	2	
横浜薬科大学	1	
立教大学	10	
立正大学	1	
立命館大学	1	
早稲田大学		1
私立計	417	34
4年制大学計	417	35

大学校			
		(現役)	(過年度)
	防衛大学校		2
	大学校計	0	2
短期大学			
		(現役)	(過年度)
公立	川崎市立看護短期大学	2	
	公立計	2	0
		(現役)	(過年度)
私立	青山学院女子短期大学	1	
	神奈川歯科大学短期大学部	1	
	戸板女子短期大学	1	
	東海大学医療技術短期大学	1	
	東京農業大学短期大学部	3	
	鶴見大学短期大学部	2	
	私立計	9	0
	短大計	11	0

各種・専門学校			
		(現役)	(過年度)
	エコール辻東京	1	
	国際文化理容美容専門学校	1	
	昭和大学医学部附属看護専門学校	2	
	東京栄養食糧専門学校	1	
	東京コミュニケーションアート専門学校	1	
	東京デザイン専門学校	1	
	東京マックス美容専門学校	2	
	日本工学院専門学校	1	
	日本航空専門学校	1	
	日本デザイナー学院	1	
	日本ヒューマンセラモニー専門学校	1	
	ミス・パリ・ピーティ専門学校	1	
	武蔵野美術学園	1	
	横浜ビューティーアート専門学校	1	
	国際航空専門学校	1	
	東洋鍼灸専門学校	1	
	各種・専門学校計	18	0
就職			
		(現役)	(過年度)
	川崎市職員	1	
	自衛隊	1	
	アルフレッサ株式会社	1	
	就職計	3	0

新城時報 ～創立期の歴史綴った学校新聞

創立の年から約4年間発行されていた新城時報。褐色に変色してしまった紙面には、創立期の生徒や先生が新しい歴史をつくっていかうとの志が輝いている。

「県立新城高校創立」「名実共に堂々の発足」「入学式盛大に挙行」との見出しがついた昭和38年5月10日付の創刊号の1面トップ記事には、「新入生を代表して誉士太利則君が、『わたくし達は本校の教育方針、学則その他の諸規程および指示をかたく守り修業に専念することを誓います』と力強く述べた」とあり、新城高等学校は「今希望に輝く440の瞳を集めて名実共に誕生したのである」と記されている。日付の5月10日は開校式の日であり、創刊号は全生徒に配付された。

制作にかかわっていた宮川誠・城友会会長（1期生）は「創立時は、部活動を支える予算や備品だけでなく、あらゆる施設が不十分な状態でした。にも関わらず大勢の生徒の要望によって多くのクラブが次々と創設されていた。生徒たちの想いに応え、先生たちも熱心に顧問を務めて下さった。バレーボール部、野球部、バスケットボール部などの運動部が次々と誕生していく中で、いち早く名乗りを上げた文化部の一つが新聞部でした」と振り返る。

「初めは学校が主体となって発足させる計画だったようですが、生徒からの要望を追認する形でクラブとして承認されたようです」と続けた。それを裏付けるように第7号（昭和40年3月発行）までは新聞委員会発行で、8号（同年6月発行）から新聞部発行と記載されている。顧問だった故・亀掛川博正先生（社会科）の力も大きく、「レベルの高い新聞を制作しようとの想いは、『新城時報』と名付けられたり、普通の新聞と同サイズのブランケット版で発行されたりしたことでも明らかです」と宮川会長。

「ガリ版刷りの壁新聞程度の知識しかなかった新聞部員たちではありましたが、原稿を書いたり、取材に出かけたり、時には広告掲載のお願いで広告主を訪ねたりと、得難い経験を積ませて頂いた。新聞部の自由闊達な雰囲気は、亀掛川先生との強い信頼関係に支えられていました」。創刊から亀掛川先生が転任する昭和40年4月までの2年間で、県下高校新聞コンクールで2度の入賞を果たすなど高い評価を得ていた。

しかし、昭和42年3月の15号で休刊となり、部そのものも廃部に。昭和43年頃、城友会の依頼で新聞部OBを中心にタブロイド版の「THE SHINJO」を創刊。「今私の手元には7号（昭和49年6月10日）までありますが、その後は分かりません。新城時報は、昭和47年10月1日付で創立10周年記念号として復刊されましたが、一度限りで終わったようです。ちなみに江戸川乱歩賞作家の山崎洋子さんも、新聞部OBのひとり」と宮川会長は話す。

新城時報は途絶えたが、学校の歴史は脈々と続いている。創刊号には、「入学に想う」と題してこんな記事も載っていた。「人口70万人を数える工都川崎に新しい高校が誕生した。その名は新城高等学校。いまわたくしたちはその正門をくぐった。真新しい帽子、真新しい徽章、真新しい制服をつけて。胸をはり蒼い空を見上げながら。今日から始まる歴史の第1頁。それが今日記されたのだ」



50年という時間^{とき}が流れた。母校を取り囲んでいた田んぼや畑は、いつの間にかビルや住宅に変わり、創立当時の風景はどこにも見当たりません。

新城高校創立50周年記念事業の一環として記念誌を刊行することになり、その編集作業を進めましたが、時間の制約や写真・記録など資料の散逸、力不足もあって正確な「50年」の記録を編纂することができませんでした。それでも、卒業生の皆さんに寄稿していただいた「高校生活の思い出」の一編一編から伝わる仲間たちとの、そして書き手自身のあの時の熱い想い。50周年記念のキャッチコピー「未来へ繋ぐ 伝統と魂」の意^{こころ}を読みとっていただけたら幸いです。

お忙しい中、ご寄稿いただいた方々、写真などの資料を提供下さった方々、PTAの皆様、また多忙な校務にもかかわらずご協力いただいた先生方をはじめ、さまざまな形でお力添えいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

新校舎の窓に生徒たちの笑顔があふれる日も、もうすぐです。彼らが新城高校の卒業生であることを誇らしげに語り合う姿を夢みて。
(記念誌編集委員長・石井 正)

● 実行委員の皆さんに感想を寄せて頂きました。

(敬称略・順不同)

宮 川 誠：記念事業は大勢の皆様の力で実現出来ました。新城高校の未来は次世代の後輩たちに託します。

宮 川 利 子：高校生になった孫を見るにつけ、新城の時代から永い歳月が過ぎたことを感じます。微力ながら50周年のお手伝いさせて頂きました。

奥山百合子：実行委員会が立ち上がり、卒業以来の懐かしい方たちと出会い、この記念事業に参加できたことを感謝します。

清 水 道 夫：新城高校の半世紀の歩みに感慨深いものがあります。これからの半世紀に大いに期待します。

堤 俊 二：5年前からいろいろな打合せをし、皆様の協力で、11月に無事50周年の式典・祝賀会を迎えることが出来ました。皆様に感謝します。

内 山 岩 男：男子生徒の黒ボタンの制服が50年前の遠い昔を思い出させてくれて、とても懐かしい気がした。

平 澤 正 司：記念誌用の写真を探すうちに色々と思いがよみがえり、特に修学旅行地の変遷や景色が懐かしく思いました。半世紀！長いようで短く感じます。

大久保正夫：母校新城の教員として実行委員会に参加出来たことを誇りに思います。

笠 谷 一 夫：50周年の節目を通して、新城高校の過去・現在・未来、そして自分を見つめることが出来ました。

吉 村 敏 雄：合縁奇縁、新城に入学以来その関わりは43年間になります。50周年という時を重ねた新城仲間としての繋がりは宝、そして感謝！

友 田 佳 恵：新たな1ページの幕開け！きっとまた「新城高校の生徒で良かった」という思いが強くなることでしょう。貴重な瞬間にいられることを本当に嬉しく思います。

戸 田 和 吾：川崎市内の他の公立高校に入学した同級生から、「母校があって羨ましいよ」と言われたことがある。たゆまぬ伝統の継承に感謝。

羽中田圭子：長雨の時も 猛暑の時も 大雨の時も 凍て付くときも 晴れていても 曇っていても 何回も何回も新城高校に歩を運んでいただき、実行委員の皆様本当にありがとうございました。

- 箕田 大：異動してきたばかりで右も左も分らない状態でしたが、式典の成功に向けて頑張りました。
- 外崎 学：17期の卒業生として、11年間保健体育科教員として、そして教頭として2年、母校の節目に関われたことを光栄に思っています。
- 川口 浩：4月に母校新城高校に転勤してより50周年の事務局として携うことができました。
- 伊藤 恵：記念事業は携わった皆様方の力無くしては実現出来ませんでした。新城高校万歳!!
- 岩田 和人：足掛け4年に亘ってこの事業に関わることが出来ました。50年の節目を過ぎて、新城高校が伝統校として歩み始めた歴史的瞬間に立ち会うことが出来たことを嬉しく思います。
- 近藤 律子：ふたりの子どもの母校なので、親として良い思い出が出来ました。
- 弘井 初江：新城に感謝。子供達が新城高校生になり、縁あって記念事業に参加する機会をいただき楽しく幸せでした。これからも新城高校生を応援していきます。
- 鈴木 雅子：娘が50期生ということで関わらせていただきました。新城高校時代の思い出は一生の宝物になると思います。
- 佐藤 泰子：新城高校は、先生方・在校生・卒業生・地域の方々と強い結びつきがあり、50年という年月で素敵な輪を作り上げてきていることを感じました。
- 城戸 朱美：50周年事業に関わる機会を頂き、改めて歴史を感じました。益々のご発展をお祈り致します。
- 鈴木 雅代：50周年記念合唱団にも参加し、楽しくお手伝いさせていただきました。
- 岡野 郁子：同窓会の方々が活き活きとしておられるのが印象的でした。青年期の3年間に自信を深め過ごす場として、新城高校の未来に期待します。
- 吉濱 ゆきほ：50周年記念式典のお手伝いをさせて頂きました。このような節目のお祝に参加させていただいたことを嬉しく思います。
- 大西 よう：PTAのOBとして、実行委員会に参加しました。卒業生の方々の“新城愛”に眼福致しました。
- 江平 美恵子：50周年おめでとうございます。周年行事のお手伝いが出来ましたことを大変光栄に思っております。
- 小口 早苗：50周年という節目に委員として参加させていただいて光栄でした。新城高校のOBの方々にはパワーをいただきました。

神奈川県立新城高等学校

創立50周年記念誌 未来へ繋ぐ 伝統と魂

- 発行 2014年11月7日
神奈川県立新城高等学校
〒211-0042 川崎市中原区下新城1-14-1
TEL 044(766)7456 FAX 044(752)7812
- 編集 神奈川県立新城高等学校 城友会
創立50周年記念事業実行委員会
- 制作・印刷 神奈川新聞社

50
Shinjo